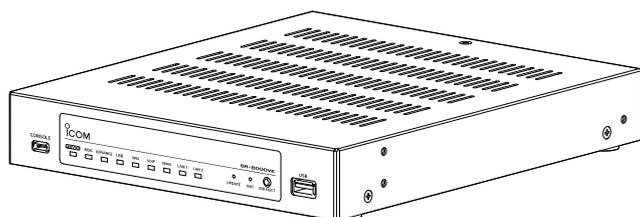


VoIP ROUTER
SR-8000VK

本書は、本製品で設定できるさまざまな機能について、メニューの設定画面ごとに詳しく説明しています。
取扱説明書 [導入編]に記載されていない詳細な機能を設定するときなど、本書と併せてご覧ください。



Icom Inc.

はじめに

1 TOP

2 情報表示

3 ネットワーク設定

4 VoIP用ネットワーク設定

5 ルーター設定

6 システム設定

7 電話回線設定

8 PBX設定

9 PBX内線詳細設定

10 PBX拡張設定

11 管理

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、弊社製無線機をVoIPネットワークに融合するコンバーターユニットです。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

登録商標/著作権

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。
本ソフトウェア、および本ドキュメントは、アイコム株式会社が著作権を保有します。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

[]表記：本製品の各メニューと、そのメニューに属する設定画面の名称を(「」)で囲んで表記します。

[]表記：キー、ランプ、ポート、各設定画面の設定項目名を([])で囲んで表記します。

< >表記：設定画面上に設けられたコマンドボタンの名称を(<>)で囲んで表記します。

※ 本書は、SR-8000VK Ver. 1.05のファームウェアを使用して説明しています。

※ 本書では、Windows 10の画面を例に説明しています。

※ 本書では、パナソニック社製IP電話機(KX-UT123N、KX-UT136N、KX-HDV130N、KX-HDV230N)を「KXシリーズ」と表記しています。

※ 本書では、IP100H、IP110H、IP200H*、IP200PG*、IP210H*、VP-2100*を「WLAN無線機」、IP200APPを「IP電話機」と表記しています。

★IP電話機モードの説明では「IP電話機」と表記しています。

※ 本書では、WLAN無線機を制御するコントローラー(AP-9500、IP1000C、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4)を「無線機コントローラー」と表記しています。

2024年10月現在、VP-2100に対応しているコントローラーは、AP-9500、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。

※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

※ 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

はじめに

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」、弊社ホームページに掲載の下記取扱説明書(PDFファイル)で構成されています。

ご使用になる前に(別紙)

本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を説明しています。また、本製品の初期化操作など、保守についても説明しています。

取扱説明書[導入編](別冊)

本製品の基本的な方法について、本書を最初からお読みいただくことで、設定や設置の作業ができるように構成しています。

取扱説明書[活用編](本書)

本製品に設定できる詳細な機能について、設定メニューごとに詳細を説明しています。

ユーザー画面設定マニュアル(別冊)

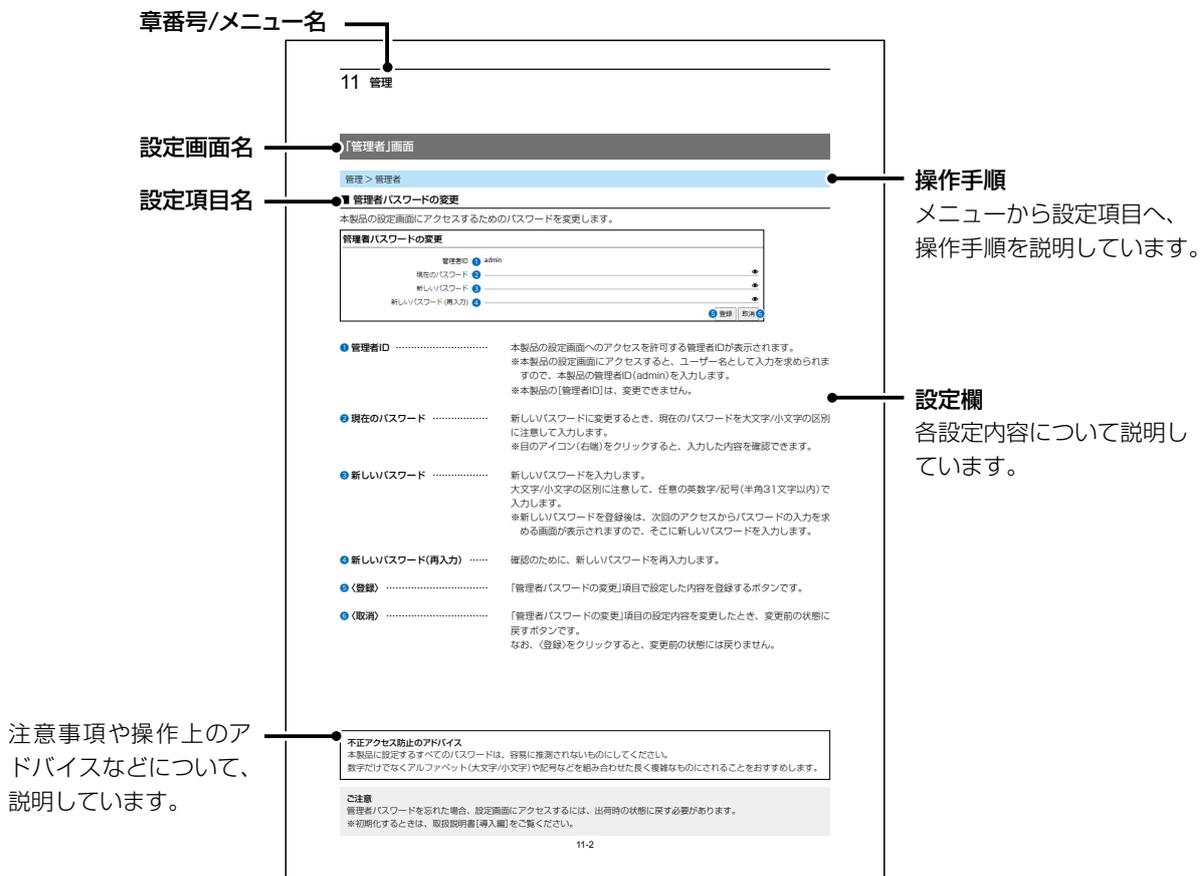
ユーザー画面で設定できる機能について、設定メニューごとに詳細を説明しています。

WLAN無線機導入ガイド(別冊)

本製品のWLAN無線機コントローラー機能について、設定メニューごとに詳細を説明しています。

説明ページの構成について

本書は、次のような構成で説明しています。



この章では、
「TOP」画面の設定について説明します。

「TOP」画面	1-2
■ システム情報	1-2
■ MACアドレス	1-2

「TOP」画面

TOP

■ システム情報

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

システム情報	
本体名称	SR-8000VK
バージョン	Copyright Icom Inc.
内蔵ファームウェアバージョン (IP100H)	
内蔵ファームウェアバージョン (IP110H)	
内蔵ファームウェアバージョン (IP200H)	
内蔵ファームウェアバージョン (IP200PG)	
内蔵ファームウェアバージョン (IP210H)	
内蔵ファームウェアバージョン (VP-2100)	

※本製品に登録されたWLAN無線機ごとのファームウェアのバージョン情報は、「無線機管理」画面で確認できます。

TOP

■ MACアドレス

本製品のMACアドレス(LAN1/LAN2/WAN)が表示されます。

MACアドレス	
LAN1	00-90-C7- - - -
LAN2	00-90-C7- - - -
WAN	00-90-C7- - - -

※MACアドレスは、本製品のようなネットワーク機器がそれぞれ独自に持っている機器固有の番号で、12桁(00-90-C7-xx-xx-xx)で表示されています。

※本製品本体に貼られているシリアルシールでも、MACアドレスを確認できます。

この章では、
「情報表示」メニューの設定について説明します。

「ネットワーク情報」画面	2-2
■ インターフェース	2-2
■ Ethernetポート接続情報	2-2
■ DHCPリース情報	2-2
■ VoIP用DHCPリース情報	2-3
「SYSLOG」画面	2-4
■ SYSLOG	2-4
「PBX情報」画面	2-5
■ 内線代表一覧	2-5
■ 内線一覧	2-6
「電話通信記録」画面	2-7
■ 電話通信記録	2-7
「留守電情報」画面	2-8
■ 留守電ボックス情報	2-8
■ 内部メモリー録音メッセージ	2-9

2 情報表示

「ネットワーク情報」画面

情報表示 > ネットワーク情報

■ インターフェース

「ネットワーク設定」メニュー→「スタティックルーティング」画面→[IP経路情報]項目、「VoIP用ネットワーク設定」メニュー→「VoIP用スタティックルーティング」画面→[IP経路情報]項目に表示された[経路]について、その詳細が表示されます。

インターフェース

インターフェース	IPアドレス	サブネットマスク
br-lan	192.168.0.24	255.255.255.0
br-volan	192.168.1.1	255.255.255.0

情報表示 > ネットワーク情報

■ Ethernetポート接続情報

本製品のポートについて、通信速度と通信モードが表示されます。

Ethernetポート接続情報

インターフェース	MACアドレス	リンク状態
LAN1	00-90-C7-████████	100BASE-TX full-duplex
LAN2	00-90-C7-████████	リンクダウン
WAN	00-90-C7-████████	リンクダウン

※本製品の[LAN1]ポート、[LAN2]ポート、[WAN]ポートは、接続モードが「自動(Auto)」となっています。

接続する機器側も「自動(Auto)」に設定することで、通信に最適な速度、モードが自動選択されます。

※接続する機器を100Mbps、または10Mbpsで固定する場合、半二重(half-duplex)設定にしてください。

弊社製品に限らず、自動(Auto)と固定速度full-duplexとがネゴシエーションする場合、自動(Auto)側はhalf-duplexと認識されることがあり、パフォーマンスが著しく低下する原因になることがあります。

※通信速度に関係なく、接続するHUBを「full-duplex」固定に設定すると、[Ethernetポート接続情報]項目で「half-duplex」と表示されることがあります。

情報表示 > ネットワーク情報

■ DHCPリース情報

本製品のDHCPサーバー機能(P.3-4)を使用している場合、本製品に接続する端末に割り当てられたIPアドレスの状態と有効期限が表示されます。

DHCPリース情報

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限
██████████	██████████	192.168.0.23	██████████
██████████	██████████	192.168.0.85	██████████
██████████	██████████	192.168.0.83	██████████
██████████	██████████	192.168.0.31	██████████
██████████	██████████	192.168.0.94	██████████

2 情報表示

「ネットワーク情報」画面

情報表示 > ネットワーク情報

■ VoIP用DHCPリース情報

本製品のVoIP用DHCPサーバー機能(P.4-4)を使用している場合、本製品に接続する端末に割り当てされたIPアドレスの状態と有効期限が表示されます。

VoIP用DHCPリース情報

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限
	00:0C:29:00:00:00	192.168.0.44	2023/10/27 10:00:00
	00:0C:29:00:00:00	192.168.0.53	2023/10/27 10:00:00
	00:0C:29:00:00:00	192.168.0.43	2023/10/27 10:00:00

「SYSLOG」画面

情報表示 > SYSLOG

■ SYSLOG

本製品のログ情報が表示されます。

SYSLOG

現在時刻 : ██████████ (稼働時間: 2 days 08:46:38)

表示するレベル: ① DEBUG INFO NOTICE

表示フィルター: ② _____ を含む ③ ④ ⑤

最新の情報に更新 保存 クリア

日付・時間	レベル	内容
██████████	DEBUG	iprsd: userdata loading complete.(ret=0)
██████████	DEBUG	iprsd: load userdata.(1)
██████████	DEBUG	iprsd: signal received.(1)

- ① 表示するレベル 非表示に設定するときは、非表示にするレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]をはずします。
※「SYSLOG」画面のチェックボックス状態は、保存されません。
設定画面へのアクセスごとに、元の状態に戻ります。
※すべてのチェックマーク[✓]をはずすことはできません。
- ② 表示フィルター 表示内容を絞りこむときに使用するフィルターです。
フィルターとして使用するキーワード(大文字小文字の区別なし)(例: dhcp)を入力し、「を含む」/「含まない」を選択します。
以下の半角文字を検索するには、前に「\」を入れます。(例:「*」は「*」と入力)
^.[\$ () ! * + ? { \
- ③ <最新の情報に更新> [表示するレベル]欄でチェックマーク[✓]のあるレベルについてのSYSLOG情報を最新の状態にするボタンです。
※最大1000件のログ情報を記憶できます。
1000件を超えると、古いログ情報から削除されます。
- ④ <保存> [表示するレベル]欄に応じた内容を保存するボタンです。
※クリックして、表示された画面にしたがって操作すると、ログ情報をテキスト形式(拡張子: txt)で保存できます。
- ⑤ <クリア> すべてのログ情報を削除するボタンです。

2 情報表示

「PBX情報」画面

情報表示 > PBX情報

■ 内線代表一覧

登録された内線子機(IP電話機)に対する各内線代表番号と、内線代表の設定内容が表示されます。
※画面は、設定例です。

内線代表一覧		
内線代表に属さない内線 ①		33 34 301 3000
200 ② (営業部)	内線一覧 ③	31 32
	1次着信	31
	2次着信 ④	32
	3次着信	なし

- ① 内線代表に属さない内線 …………… 内線代表に所属しない内線子機の内線番号が表示されます。
- ② 内線代表番号 …………… 内線子機が所属する内線代表の内線番号と内線代表名が表示されます。
- ③ 内線一覧 …………… 内線代表に所属する内線子機の内線番号が表示されます。
- ④ 内線代表着信設定 …………… 内線代表番号(②)に着信したとき、鳴動させる内線子機の内線番号が表示されます。

2 情報表示

「PBX情報」画面

情報表示 > PBX情報

■ 内線一覧

登録された内線子機(IP電話機)の設定内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

名前 ①	内線番号 ②	種別 ③	自動捕捉回線番号 ④		留守電ボックス ⑤	WAN側からの接続 ⑥	設定グループ ⑦
			IP回線	Peer to Peer			
受付1	31	標準SIPフォン	捕捉しない	捕捉しない	ボックス1	禁止	設定グループ1
受付2	32	標準SIPフォン	捕捉しない	捕捉しない	ボックス1	禁止	設定グループ1
受付3	33	標準SIPフォン	捕捉しない	捕捉しない	ボックス1	禁止	設定グループ1
受付4	34	標準SIPフォン	捕捉しない	捕捉しない	ボックス1	禁止	設定グループ1
	301	KX-HDVシリーズ	捕捉しない	捕捉しない	ボックス1	禁止	設定グループ1
	3000	無線機コントローラー電話接続	捕捉しない	捕捉しない	ボックス1	--	設定グループ1

- ① 名前 登録されている場合は、名前が表示されます。
- ② 内線番号 登録された内線の内線番号が表示されます。
- ③ 種別 登録された内線の機種(IP200H、IP200APP、IP200PG、IP210H、VP-2100、KX-UTシリーズ、KX-HDVシリーズ、標準SIPフォン、標準SIPフォン(WLAN)、TEL1、TEL2、TEL3、TEL4、無線機コントローラー電話接続)が表示されます。
- ④ 自動捕捉回線番号 登録された内線で発信するときの回線捕捉が表示されます。
- ⑤ 留守電ボックス 登録された内線子機で使用するボックス番号(ボックス1～ボックス30)が表示されます。
- ⑥ WAN側からの接続 登録された内線へのWAN側からの登録(レジスト)について、設定(禁止/許可)が表示されます。
- ⑦ 設定グループ 登録された設定グループが表示されます。

2 情報表示

「電話通信記録」画面

情報表示 > 電話通信記録

■ 電話通信記録

IP電話の発信と着信履歴、および電話機能に関する履歴が表示されます。

電話通信記録

表示フィルター: ① _____ を含む ②

③ ④

最新の情報に更新 保存 クリア

日付・時間	内容
09-12 07:19:35	[REGISTER]端末登録: 32 (子機No.2)
09-12 07:19:08	[REGISTER]端末登録: 31 (子機No.1)
09-11 15:43:43	終了: <通話終了> (ID=5)
09-11 15:43:39	通話開始: 32 (子機No.2) (ID=5)

- ① **表示フィルター** 表示内容を絞りこむときに使用するフィルターです。
フィルターとして使用するテキストを入力し、「を含む」/「を含まない」を選択します。
- ② **最新の情報に更新** 履歴を最新の情報にするボタンです。
※約1000件の履歴を記録できます。
約1000件を超えると、古い履歴から削除されます。
- ③ **保存** 表示された履歴を保存するボタンです。
※クリックして、表示された画面にしたがって操作すると、履歴をテキスト形式(拡張子:txt)で保存できます。
- ④ **クリア** 表示された履歴を削除するボタンです。

2 情報表示

「留守電情報」画面

情報表示 > 留守電情報

■ 留守電ボックス情報

留守電ボックスごとの使用状態が表示されます。

留守電ボックス情報

ボックス1	状態	動作中	
	保存件数	内部メモリー	新着：0件 再生済み：0件
ボックス2	状態	停止中	
	保存件数	内部メモリー	新着：0件 再生済み：0件
ボックス3	状態	停止中	
	保存件数	内部メモリー	新着：0件 再生済み：0件
ボックス4	状態	停止中	
	保存件数	内部メモリー	新着：0件 再生済み：0件
ボックス5	状態	停止中	
	保存件数	内部メモリー	新着：0件 再生済み：0件

ボックス1～ボックス30 ………

留守番電話のボックスごとに、新着や再生済みの件数など使用状態を表示します。

※「PBX設定」メニュー→「基本」画面→「留守番電話機能」欄を「無効」に設定しているときは、赤文字で「留守番電話機能は無効です。」と表示されます。

留守番電話機能を使用する場合は、「有効」に設定してください。

※留守番電話機能を使用する回線(電話番号)ごとのボックス番号、保存できる録音件数などは、ユーザー用の設定画面で設定できます。

詳しくは、「ユーザー設定画面マニュアル」をご覧ください。

「留守電情報」画面

情報表示 > 留守電情報

■ 内部メモリー録音メッセージ

録音された留守番電話ごとに、相手先の電話番号や状態などが表示されます。

※「PBX設定」メニュー→「基本」画面→「留守番電話の保存先」欄を「USBメモリー」に設定しているときは、「USBメモリー録音メッセージ」項目を表示します。

※録音メッセージの削除については、「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

ボックス番号 ①	録音日時 ②	相手先番号 ③	着信先番号 ④	状態 ⑤	音声データ ⑥
1	2017/07/07 10:00	06-1234-5678	06-1234-5678	再生済み	FB01M001.wav
1	2017/07/07 10:00	06-1234-5678	06-1234-5678	新着	FB01M002.wav
1	2017/07/07 10:00	06-1234-5678	06-1234-5678	新着	FB01M003.wav
2	2017/07/07 10:00	06-1234-5678	06-1234-5678	新着	FB02M001.wav

- ① **ボックス番号** メッセージが録音されたボックス番号(1～30)を表示します。
- ② **録音日時** メッセージが録音された日時を表示します。
- ③ **相手先番号** ナンバーディスプレイサービスをご契約の場合、メッセージを録音した相手先から通知された発信者番号を表示します。
 発信者番号を表示できないときは、非通知理由を下記の記号で表示します。
 ◎P：ユーザー非通知(相手が非通知発信(184発信など)したことによる非通知)
 ◎C：公衆電話発信による非通知
 ◎O：サービス提供不可(一部の国際電話などで非通知理由が取得できない場合)
 ◎S：サービス競合のため通知不可能(相手から発信者番号が通知されているが、サービスの契約条件などにより発信番号を通知しない)
 ※ナンバーディスプレイサービスをご契約でない場合は、非通知理由として、O(サービス提供不可)を表示します。
- ④ **着信先番号** 不在時などにメッセージが録音された電話番号を表示します。
 ※留守番電話を使用する電話番号(本製品に登録した回線)とボックス番号の設定は、ユーザー用の設定画面で設定できます。
 詳しくは、「ユーザー設定画面マニュアル」をご覧ください。
- ⑤ **状態** メッセージの確認状態を「再生済み」/「新着」で表示します。
- ⑥ **音声データ** ファイル名を右クリックして、表示された画面にしたがって操作すると、音声データ(拡張子:wav)を保存できます。
 ※ファイル名をクリックすると、再生用ソフトウェア(Windows Media Playerなど)が起動して、音声データ(拡張子:wav)を再生できます。
 ※操作方法は、ご使用のソフトウェアによって異なりますので、ソフトウェアの取扱説明書などでご確認ください。

この章では、
「ネットワーク設定」メニューの設定について説明します。

「IPアドレス」画面	3-2
■ 本体名称	3-2
■ IPアドレス設定	3-3
「DHCPサーバー」画面	3-4
■ DHCPサーバー設定	3-4
■ 静的DHCPサーバー設定	3-7
■ 静的DHCPサーバー設定一覧	3-7
「スタティックルーティング」画面	3-8
■ IP経路情報	3-8
■ スタティックルーティング設定	3-9
■ スタティックルーティング設定一覧	3-9
「ポリシールーティング」画面	3-10
■ 送信元ルーティング設定	3-10
■ 送信元ルーティング設定一覧	3-10
「QoS」画面	3-11
■ QoS設定	3-11
■ QoSルール設定	3-12
■ QoSルール設定一覧	3-12

3 ネットワーク設定

「IPアドレス」画面

ネットワーク設定 > IPアドレス

■ 本体名称

本製品の名称を設定します。

本体名称
本体名称: SR-8000VK

本体名称.....

Telnet/SSHで本製品に接続したとき、ここで設定した本体名称が表示されます。
(出荷時の設定：SR-8000VK)

※半角英数字(a～z、A～Z、0～9、-)を、任意の31文字以内で設定します。
なお、半角英数字以外の文字は、使用しないでください。

※「- (ハイフン)」を本体名称の先頭、または末尾に使用すると、登録できません。

3 ネットワーク設定

「IPアドレス」画面

ネットワーク設定 > IPアドレス

■ IPアドレス設定

本製品のIPアドレスを設定します。

IPアドレス設定	
IPアドレス	① 192.168.0.1
サブネットマスク	② 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	③
プライマリ-DNSサーバー	④
セカンダリ-DNSサーバー	⑤
⑥ 登録 ⑦ 取消	

- ① IPアドレス 本製品のIPアドレスを入力します。 (出荷時の設定：192.168.0.1)
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合は、[割り当て開始IPアドレス]欄(P.3-4)についてもネットワーク部を同じに設定してください。
- ② サブネットマスク 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。 (出荷時の設定：255.255.255.0)
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
- ③ デフォルトゲートウェイ 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。
- ④ プライマリ-DNSサーバー 本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※使い分けたいアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力してください。
- ⑤ セカンダリ-DNSサーバー [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様に、本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※必要に応じて、使い分けたいDNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ⑥ <登録> [IPアドレス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑦ <取消> [IPアドレス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定

本製品のDHCPサーバー機能を設定します。

DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー: ①	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
割り当て開始IPアドレス: ②	192.168.0.10
割り当て個数: ③	128 個
サブネットマスク: ④	255.255.255.0
リース期間: ⑤	72 時間
ドメイン名: ⑥	
デフォルトゲートウェイ: ⑦	

- ① DHCPサーバー 本製品のDHCPサーバー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、[割り当て開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄に設定された内容にしたがって、DHCPサーバーとして動作します。
- ② 割り当て開始IPアドレス 本製品に接続する端末へ、IPアドレスを自動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。 (出荷時の設定: 192.168.0.10)
- ③ 割り当て個数 本製品が自動割り当てできるIPアドレスの個数を設定します。 (出荷時の設定: 128)
[割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスから連続で自動割り当てできるIPアドレスの最大個数は、「0～128」(個)までです。
※128個を超える分については設定できませんので、手動でクライアントに割り当ててください。
※「0」を設定したときは、自動割り当てをしません。
- ④ サブネットマスク [割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスに対するサブネットマスクを設定します。 (出荷時の設定: 255.255.255.0)
- ⑤ リース期間 DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの有効期間を時間で指定します。 (出荷時の設定: 72)
設定できる範囲は、「1～9999」(時間)です。
- ⑥ ドメイン名 指定のドメイン名を設定する必要があるときは、DHCPサーバーが有線で接続する端末に通知するネットワークアドレスのドメイン名を253文字(半角英数字)以内で入力します。
- ⑦ デフォルトゲートウェイ 本製品のDHCPサーバー機能を使用するときに、クライアントに通知するデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
※空白にした場合は、本製品のIPアドレスを通知します。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定

DHCPサーバー設定

DNS代理応答: 8 無効 有効

プライマリ-DNSサーバー: 9 _____

セカンダリ-DNSサーバー: 10 _____

プライマリ-WINSサーバー: 11 _____

セカンダリ-WINSサーバー: 12 _____

TFTPサーバーの配布: 13 無効 有効

TFTPサーバー: 14 _____

15 登録 16 取消

※上図は、[DNS代理応答]欄を「無効」に設定したときに表示される画面です。

- 8 DNS代理応答 本製品のDNS代理応答機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
DNS代理応答機能とは、端末からのDNS要求をプロバイダー側のDNSサーバーへ転送する機能です。
「有効」に設定すると、本製品のアドレスをネットワーク上の端末にDNSサーバーとして設定している場合、本製品が接続する先のDNSサーバーのアドレスが変更になったときでも、端末側の設定を変更する必要がありません。
- 9 プライマリ-DNSサーバー DNSサーバーを利用する場合は、DNSサーバーアドレスを入力します。
DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
※ [DNS代理応答]欄を「有効」に設定している場合は、この欄と[セカンダリ-DNSサーバー]欄は表示されず、本製品がプライマリ-DNSサーバーとして通知されます。
- 10 セカンダリ-DNSサーバー [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。
- 11 プライマリ-WINSサーバー ... 本製品のDHCPサーバー機能を利用するときに、クライアントに通知するWINSサーバーアドレスを入力します。
WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- 12 セカンダリ-WINSサーバー ... [プライマリ-WINSサーバー]欄と同様、WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定

※上図は、[DNS代理応答]欄(P.3-5)を「無効」に設定したときに表示される画面です。

- 13 TFTPサーバーの配布**…………… KX-HDVシリーズの電話機を設定(プロビジョニング)するために、本製品のTFTPサーバー機能を設定します。(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、電話機は本製品から設定データを取得して、自動的に設定を反映します。
※ご使用になる電話機ごとに、「内線個別」画面でMACアドレスの登録が必要です。
※電話機は、DHCPサーバーからTFTPサーバーのアドレスを取得しますので、固定IPアドレスで運用される場合は、取扱説明書[導入編]をご覧ください。
- 14 TFTPサーバー**…………… KX-HDVシリーズの電話機が設定(プロビジョニング)を取得するために、接続するTFTPサーバーのアドレスを入力します。(出荷時の設定：空白)
※空白の場合は、本製品のIPアドレス(P.3-3)を通知します。
- 15 <登録>**…………… [DHCPサーバー設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- 16 <取消>**…………… [DHCPサーバー設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ 静的DHCPサーバー設定

固定IPアドレスを特定の端末に割り当てる設定です。

静的DHCPサーバー設定

MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

端末のMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを登録します。

※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合に有効です。(P.3-4)

※入力後は、〈追加〉をクリックしてください。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※DHCPサーバー機能により自動で割り当てられるIPアドレスの範囲外でIPアドレスを設定してください。

例：[DHCPサーバー設定]項目(P.3-4)で、[割り当て開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄が初期値の場合は、192.168.0.138以降のIPアドレスを設定してください。

※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ 静的DHCPサーバー設定一覧

[静的DHCPサーバー設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

静的DHCPサーバー設定一覧

MACアドレス	IPアドレス	
00-90-C7- <input type="text"/>	192.168.0.150	<input type="button" value="削除"/>

〈削除〉…………… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

3 ネットワーク設定

「スタティックルーティング」画面

ネットワーク設定 > スタティックルーティング

■ IP経路情報

パケットの送信において、そのパケットをどのルーター、またはどの端末に配送すべきかの情報が表示されます。
※この項目では、現在有効な経路だけが表示されます。

宛先 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④
192.168.0.0	255.255.255.0		br-lan
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	br-lan

- ① 宛先 ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスが表示されます。
- ② サブネットマスク 宛先IPアドレスに対するサブネットマスクが表示されます。
- ③ ゲートウェイ 宛先IPアドレスに対するゲートウェイが表示されます。
- ④ 経路 宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースが表示されます。
◎br-lan : インターフェースがLANの場合
◎eth0 : インターフェースがWAN側の場合
◎ppp0～ppp7 : インターフェースがWAN側PPPoEの場合
◎vti0～vti31 : インターフェースがIPsecの場合

3 ネットワーク設定

「スタティックルーティング」画面

ネットワーク設定 > スタティックルーティング

■ スタティックルーティング設定

パケットの中継経路を最大32件まで登録できます。

スタティックルーティング設定				
宛先 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④	
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	ゲートウェイを設定 ▼	追加 ⑤

- ① 宛先 対象となる相手先のIPアドレスを入力します。
- ② サブネットマスク 対象となる宛先のIPアドレスに対するサブネットマスクを入力します。
- ③ ゲートウェイ パケット転送先ルーターのIPアドレスを入力します。
- ④ 経路 宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースを、「ゲートウェイを設定」、「ppp0(WAN01)～ppp7(WAN08)」、「vti0～vti31」から選択します。
- ⑤ <追加> クリックすると、入力内容が登録されます。
[スタティックルーティング設定一覧]項目で登録した内容を確認できます。

ネットワーク設定 > スタティックルーティング

■ スタティックルーティング設定一覧

[スタティックルーティング設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

スタティックルーティング設定一覧				
宛先	サブネットマスク	ゲートウェイ	経路	
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254		① ② 編集 削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
- ② <削除> 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

3 ネットワーク設定

「ポリシールーティング」画面

ネットワーク設定 > ポリシールーティング

■ 送信元ルーティング設定

送信元の端末(パソコンなど)を特定して、パケットの中継経路を最大32件まで登録できます。

送信元ルーティング設定				
送信元 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④	
192.168.0.20	255.255.255.255		ppp1 (WAN02)	追加 ⑤

- ① 送信元 送信元のIPアドレスを入力します。
- ② サブネットマスク 対象となる送信元のIPアドレスに対するサブネットマスクを入力します。
- ③ ゲートウェイ [経路] (④)で「ゲートウェイを設定」を選択した場合に、パケット転送先ルーターのIPアドレスを入力します。
- ④ 経路 対象となる送信元IPアドレスから送られてきたパケットの転送先インターフェースを、「ゲートウェイを設定」、「ppp0(WAN01)～ppp7(WAN08)」、「vti0～vti31」から選択します。
- ⑤ <追加> クリックすると、入力内容が登録されます。
[送信元ルーティング設定一覧]項目で登録した内容を確認できます。

ネットワーク設定 > ポリシールーティング

■ 送信元ルーティング設定一覧

[送信元ルーティング設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

送信元ルーティング設定一覧				
送信元	サブネットマスク	ゲートウェイ	経路	
192.168.0.20	255.255.255.255		ppp1 (WAN02)	① 編集 ② 削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
- ② <削除> 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

3 ネットワーク設定

「QoS」画面

ネットワーク設定 > QoS

■ QoS設定

IP電話機による通話中、および[TEL](1~4)ポートに接続された電話機の通話中(オフフックの状態を含む)のとき、WANとLAN間のデータ通信を設定した帯域で制限するための設定をします。

QoS設定

QoS : ① 無効 有効

送信帯域制限 ②

WAN :	100.0	Mbps
LAN :	100.0	Mbps

登録 取消

③ ④

- ① **QoS** パケット処理の優先制御機能について設定します。(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、[QoSルール設定]項目(P.3-12)から登録したQoSルールが有効になり、パケットを優先して送信し、それ以外の送信帯域を制限できます。
※[PBX拡張設定]メニュー→「拡張」画面→[VoIP設定]項目(P.10-6)で、「TOS」、または「Diffserv」を設定すると、VoIPのパケットのTOSを設定します。
- ② **送信帯域制限** 優先処理されないデータを送信できる帯域をインターフェースごとに、0.1Mbps単位で設定します。(出荷時の設定：100.0)
設定された帯域を超えるパケットは抑止されますが、優先設定されたパケットは、設定された帯域に関係なく送信されます。
設定できる範囲は、「0~2500」(Mbps)です。
※0を設定しても、通信は完全に遮断できません。
- ③ **登録** [QoS設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ **取消** [QoS設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお「登録」をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

3 ネットワーク設定

「QoS」画面

ネットワーク設定 > QoS

■ QoSルール設定

優先するパケットの条件を、DSCP値で指定します。

QoSルール設定

番号: ① 1

DSCP値: ②

③ ④

追加 取消

- ① 番号 QoSルールを登録するために、「1～8」の番号を選択します。
最大8件まで登録できます。
登録すると、本製品がパケットを送信するごとに、[QoSルール設定一覧]項目に表示されたルールと比較します。
- ② DSCP値 対象となるDSCP値を入力します。
設定できる範囲は、「0～63」です。
- ③ <追加> 新規作成、または編集した内容をQoSルールとして登録するとき、クリックします。
※ [QoSルール設定一覧]項目で登録内容をご確認ください。
※ QoSのルールは、1つ以上指定してください。
- ④ <取消> [QoSルール設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

ネットワーク設定 > QoS

■ QoSルール設定一覧

[QoSルール設定]項目で登録した内容が表示されます。

QoSルール設定リスト

番号	DSCP値	16進表示	①	②
1	40	A0	編集	削除

出荷時の状態(上図)では、VoIP関連のパケットを優先できるように、番号「1」にDSCP値「40」が登録されています。

- ① <編集> ボタンの左側に表示されたQoSルールを編集するボタンです。
<編集>をクリックすると、表示された内容を[QoSルール設定]項目の各欄に表示します。
- ② <削除> ボタンの左側に表示されたQoSルール設定を削除するボタンです。

この章では、

「VoIP用ネットワーク設定」メニューの設定について説明します。

「VoIP用LAN」画面	4-2
■ VoIP用LAN	4-2
■ VoIP用IPアドレス設定	4-3
「VoIP用DHCPサーバー」画面	4-4
■ VoIP用DHCPサーバー設定	4-4
■ 静的DHCPサーバー設定	4-6
■ 静的DHCPサーバー設定一覧	4-6
「VoIP用スタティックルーティング」画面	4-7
■ IP経路情報	4-7
■ VoIP用スタティックルーティング設定	4-8
■ VoIP用スタティックルーティング設定一覧	4-8

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用LAN」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用LAN

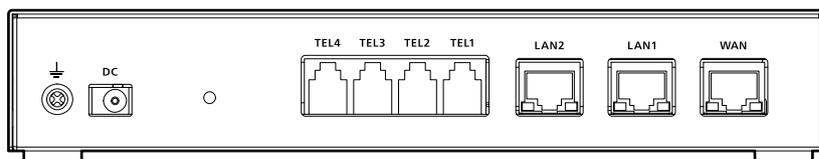
■ VoIP用LAN

本製品のVoIP用LANを設定します。

VoIP用LAN

VoIP用LAN : ① 無効 有効

- ① **VoIP用LAN**…………… 本製品のVoIP用LANを設定します。 (出荷時の設定：有効)
- **有効**：本製品の[LAN2]ポートがVoIP用として動作します。
※データ通信で使用する端末は[LAN1]ポート、IP電話機など音声通信で使用する端末は[LAN2]ポートに接続してください。
- **無効**：「ネットワーク設定」メニューの設定が適用され、[LAN1]ポートと[LAN2]ポートは共通の状態になります。



- ② **〈登録〉**…………… [VoIP用LAN]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉**…………… [VoIP用LAN]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用LAN」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用LAN

■ VoIP用IPアドレス設定

本製品のVoIP用IPアドレスを設定します。

VoIP用IPアドレス設定

IPアドレス: ① 192.168.1.1

サブネットマスク: ② 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: ③

デフォルトゲートウェイ設定は、WANモードが3セグメントに設定されている場合は無効となります。

④ 登録 ⑤ 取消

- | | |
|---------------|---|
| ① IPアドレス | 本製品のVoIP用IPアドレスを入力します。(出荷時の設定: 192.168.1.1)
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※本製品のVoIP用DHCPサーバー機能を使用する場合は、[割り当て開始IPアドレス]欄(P.4-4)についてもネットワーク部を同じに設定してください。 |
| ② サブネットマスク | 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。(出荷時の設定: 255.255.255.0)
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。 |
| ③ デフォルトゲートウェイ | 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。 |
| ④ <登録> | [VoIP用IPアドレス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。 |
| ⑤ <取消> | [VoIP用IPアドレス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。 |

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用DHCPサーバー」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用DHCPサーバー

■ VoIP用DHCPサーバー設定

本製品のVoIP用DHCPサーバー機能を設定します。

VoIP用DHCPサーバー設定

VoIP用DHCPサーバー: ① 無効 有効

割り当て開始IPアドレス: ② 192.168.1.10

割り当て個数: ③ 128 個

サブネットマスク: ④ 255.255.255.0

リース期間: ⑤ 72 時間

ドメイン名: ⑥

デフォルトゲートウェイ: ⑦

TFTPサーバーの配布: ⑧ 無効 有効

TFTPサーバー: ⑨

⑩ 登録 ⑪ 取消

- ① VoIP用DHCPサーバー…………… 本製品のVoIP用DHCPサーバー機能を設定します。（出荷時の設定：有効）
「有効」に設定すると、[割り当て開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄に設定された内容にしたがって、DHCPサーバーとして動作します。
- ② 割り当て開始IPアドレス ……… 本製品に接続する端末へ、IPアドレスを自動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。
（出荷時の設定：192.168.1.10）
- ③ 割り当て個数 ……………… 本製品が自動割り当てできるIPアドレスの個数を設定します。
（出荷時の設定：128）
[割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスから連続で自動割り当てできるIPアドレスの最大個数は、「0～128」(個)までです。
※128個を超える分については設定できませんので、手動でクライアントに割り当ててください。
※「0」を設定したときは、自動割り当てをしません。
- ④ サブネットマスク ……………… [割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスに対するサブネットマスクを設定します。
（出荷時の設定：255.255.255.0）
- ⑤ リース期間 ……………… DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの有効期間を時間で指定します。
（出荷時の設定：72）
設定できる範囲は、「1～9999」(時間)です。
- ⑥ ドメイン名 ……………… 指定のドメイン名を設定する必要があるときは、DHCPサーバーが有線で接続する端末に通知するネットワークアドレスのドメイン名を253文字(半角英数字)以内で入力します。

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用DHCPサーバー」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用DHCPサーバー

■ VoIP用DHCPサーバー設定

VoIP用DHCPサーバー設定

VoIP用DHCPサーバー: ① 無効 有効

割り当て開始IPアドレス: ② 192.168.1.10

割り当て個数: ③ 128 個

サブネットマスク: ④ 255.255.255.0

リース期間: ⑤ 72 時間

ドメイン名: ⑥

デフォルトゲートウェイ: ⑦

TFTPサーバーの配布: ⑧ 無効 有効

TFTPサーバー: ⑨

⑩ 登録 ⑪ 取消

- ⑦ デフォルトゲートウェイ …………… 本製品のVoIP用DHCPサーバー機能を使用するときに、[割り当て開始IPアドレス]欄のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※空白にした場合は、本製品をデフォルトゲートウェイとして通知します。
※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。
- ⑧ TFTPサーバーの配布…………… KXシリーズの電話機を設定(プロビジョニング)するために、本製品のTFTPサーバー機能を設定します。(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、電話機は本製品から設定データを取得して、自動的に設定を反映します。
※ご使用になる電話機ごとに、「内線個別」画面でMACアドレスの登録が必要です。
- ⑨ TFTPサーバー…………… KXシリーズの電話機が設定(プロビジョニング)を取得するために、接続するTFTPサーバーのアドレスを入力します。(出荷時の設定: 空白)
※空白の場合は、「VoIP用LAN」画面→[VoIP用IPアドレス設定]項目にある[IPアドレス]欄の設定が、TFTPサーバーのアドレスになります。
- ⑩ <登録> …………… [VoIP用DHCPサーバー設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑪ <取消> …………… [VoIP用DHCPサーバー設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用DHCPサーバー」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用DHCPサーバー

■ 静的DHCPサーバー設定

固定IPアドレスを特定の端末に割り当てる設定です。

静的DHCPサーバー設定		
MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

端末のMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを登録します。

※本製品のVoIP用DHCPサーバー機能を使用する場合に有効です。(P.4-4)

※入力後は、〈追加〉をクリックしてください。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※VoIP用DHCPサーバー機能により自動で割り当てられるIPアドレスの範囲外でIPアドレスを設定してください。

例：[VoIP用DHCPサーバー設定]項目(P.4-4)で、[割り当て開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄が初期値の場合、192.168.1.138以降のIPアドレスを設定してください。

※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用DHCPサーバー

■ 静的DHCPサーバー設定一覧

[静的DHCPサーバー設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

静的DHCPサーバー設定一覧		
MACアドレス	IPアドレス	
00-90-C7- <input type="text"/>	192.168.1.150	<input type="button" value="削除"/>

〈削除〉…………… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用スタティックルーティング」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用スタティックルーティング

「ルーター設定」メニュー→「WANモード」画面→「WANモード設定」項目の「WANモード」欄(P.5-2)を「3セグメント」に設定したときだけ表示され、設定できる画面です。

■ IP経路情報

パケットの送信において、そのパケットをどのルーター、またはどの端末に配送すべきかの情報が表示されます。
※この項目では、現在有効な経路だけが表示されます。

IP経路情報			
宛先 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④
192.168.1.0	255.255.255.0		br-volan
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	br-volan

- ① 宛先 ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスが表示されます。
- ② サブネットマスク 宛先IPアドレスに対するサブネットマスクが表示されます。
- ③ ゲートウェイ 宛先IPアドレスに対するゲートウェイが表示されます。
- ④ 経路 宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースが表示されます。
※「br-volan」(VoIP用LAN)に固定されています。

4 VoIP用ネットワーク設定

「VoIP用スタティックルーティング」画面

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用スタティックルーティング

■ VoIP用スタティックルーティング設定

パケットの中継経路を最大32件まで登録できます。

VoIP用スタティックルーティング設定				
宛先 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④	
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	ゲートウェイを設定 ▼	追加 ⑤

- ① 宛先 対象となる相手先のIPアドレスを入力します。
- ② サブネットマスク 対象となる宛先のIPアドレスに対するサブネットマスクを入力します。
- ③ ゲートウェイ パケット転送先ルーターのIPアドレスを入力します。
- ④ 経路 宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースを設定します。
※「ゲートウェイを設定」に固定されています。
- ⑤ <追加> クリックすると、入力内容が登録されます。
[VoIP用スタティックルーティング設定一覧]項目で登録した内容を確認できます。

VoIP用ネットワーク設定 > VoIP用スタティックルーティング

■ VoIP用スタティックルーティング設定一覧

[VoIP用スタティックルーティング設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

VoIP用スタティックルーティング設定一覧				
宛先	サブネットマスク	ゲートウェイ	経路	
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254		① ② 編集 削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
- ② <削除> 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

この章では、
「ルーター設定」メニューの設定について説明します。

「WANモード」画面	5-2
■ WANモード設定	5-2
■ WAN側通信速度設定	5-2
■ ネットワーク優先設定	5-3
「WAN接続先」画面	5-4
■ 回線状態表示 [DHCPクライアント設定時]	5-4
■ 回線状態表示 [固定IP設定時]	5-5
■ 回線状態表示 [PPPoE設定時]	5-6
■ 回線種別設定	5-7
■ 回線設定 [DHCPクライアント設定時]	5-8
■ 回線設定 [固定IP設定時]	5-9
■ 回線設定 [PPPoE設定時]	5-11
■ 回線設定一覧 [PPPoE設定時]	5-14
「VoIP用WAN」画面	5-15
■ 回線状態表示	5-15
■ 回線種別設定	5-16
■ 回線設定	5-16
「アドレス変換」画面	5-17
■ アドレス変換設定	5-17
■ DMZホスト設定	5-17
■ 静的マスカレードテーブル設定	5-18
■ 静的マスカレードテーブル設定一覧	5-19
「IPフィルター」画面	5-20
■ 一般設定	5-20
■ IPフィルター設定	5-21
■ IPフィルター設定一覧	5-26
「簡易DNS」画面	5-27
■ 簡易DNSサーバー設定	5-27
■ 簡易DNSサーバー設定一覧	5-27
「VPN」画面	5-28
■ IPsec設定	5-28
■ IPsecトンネル設定	5-29
■ IPsecトンネル設定一覧	5-31
■ IPsecトンネル設定例(1)	5-32
■ IPsecトンネル設定例(2)	5-33

5 ルーター設定

「WANモード」画面

ルーター設定 > WANモード

■ WANモード設定

本製品のWANモードを設定します。

WANモード設定	
WANモード:	<input type="radio"/> 1セグメント <input checked="" type="radio"/> 3セグメント
IP回線の接続先の選択でKDDI 光ダイレクトまたはKDDI-IPフォンが選択されている場合のみ、3セグメントを設定できます。	

- WANモード 本製品のWANモードを設定します。 (出荷時の設定：3セグメント)
- ◎1セグメント：WANポートとして動作します。
 - ◎3セグメント：「網側WAN」、「インターネット用WAN」(データ用)、「VoIP用WAN」(音声用)の3ポートとして動作します。
- ※「IP回線」画面で接続先(P.7-2)が「サーバー接続」、「使用しない」に設定されている場合は、「1セグメント」に固定されます。

ルーター設定 > WANモード

■ WAN側通信速度設定

WAN側通信速度を設定します。

WAN側通信速度設定	
WAN側通信速度:	自動 ▼

- WAN側通信速度 WAN側(本製品の[WAN]ポートとLANケーブルで接続された機器間)の通信速度を、「自動」、「100BASE-TX half-duplex」、「100BASE-TX full-duplex」から選択します。 (出荷時の設定：自動)
- ※「100BASE-TX half-duplex」または「100BASE-TX full-duplex」を選択する場合は、優先されないデータの帯域に合わせて、「ネットワーク設定」メニュー→「QoS」画面→「QoS設定」項目の「送信帯域制限」欄(P.3-11)の値を下げてご使用ください。

5 ルーター設定

「WANモード」画面

ルーター設定 > WANモード

■ ネットワーク優先設定

優先するネットワークを設定します。

※「IP回線」画面で[接続先の選択]欄(P.7-2)を「KDDI光ダイレクト」、「KDDI-IPフォン」に設定したときに表示される項目です。

ネットワーク優先設定

LAN設定優先: ① 無効 有効

有効にすると、デフォルトゲートウェイ・DNSサーバー設定はWANよりLANを優先します。IP回線の接続先の選択でKDDI 光ダイレクトまたはKDDI-IPフォンが選択されている場合のみ、設定できます。

② ③

登録 取消

- ① LAN設定優先 音声通話でWANを使用し、それ以外の通信をLAN経由とする場合に設定します。(出荷時の設定：無効)
※「有効」にすると、音声通信以外では、「WAN接続先」画面より「IPアドレス」画面(P.3-3)のデフォルトゲートウェイとDNSサーバーの設定を優先します。
- ② <登録> [WANモード設定]、[WAN側通信速度設定]、[ネットワーク優先設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ <取消> [WANモード設定]、[WAN側通信速度設定]、[ネットワーク優先設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線状態表示 [DHCPクライアント設定時]

登録された回線への接続状態が表示されます。

※「IP回線」画面で「接続先の選択」欄(P.7-2)を「サーバー接続」、「使用しない」に設定したときに表示される項目です。

※画面は、表示例です。

① 接続状態	ケーブル未接続
② 回線種別	DHCPクライアント
③ 本体側のIPアドレス	
④ 相手先のIPアドレス	
⑤ DNSサーバー	

- ① 接続状態 WAN側回線への接続状態が「ケーブル未接続」/「接続試行中」/「接続中」で表示されます。
- ② 回線種別 本製品に設定されている回線への接続方式が表示されます。
- ③ 本体側のIPアドレス 本製品のWAN側のIPアドレスが表示されます。
- ④ 相手先のIPアドレス ご契約の回線接続業者のIPアドレスが表示されます。
- ⑤ DNSサーバー ご契約の回線接続業者のDNSサーバーIPアドレスが表示されます。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線状態表示 [固定IP設定時]

登録された回線への接続状態が表示されます。
※画面は、表示例です。

WANモード：1セグメント

回線状態表示	
① 接続状態	ケーブル未接続
② 回線種別	固定IP
③ 本体側のIPアドレス	
④ 相手先のIPアドレス	
⑤ DNSサーバー	

WANモード：3セグメント

① 接続状態	ケーブル未接続
② 回線種別	固定IP
③ 本体側のIPアドレス	
④ 相手先のIPアドレス	
⑤ DNSサーバー	
⑥ インターネット用IPアドレス	

- ① 接続状態 WAN側回線への接続状態が「未接続」/「ケーブル未接続」/「接続中」で表示されます。
- ② 回線種別 本製品に設定されている回線への接続方式が表示されます。
- ③ 本体側のIPアドレス 本製品のWAN側に設定されているIPアドレスが表示されます。
※「WANモード」画面で「3セグメント」(P.5-2)に設定したときは、「網側WAN」のIPアドレスが表示されます。
- ④ 相手先のIPアドレス ご契約の回線接続業者のIPアドレスが表示されます。
※「WANモード」画面で「3セグメント」(P.5-2)に設定したときは、「網側WAN」のデフォルトゲートウェイIPアドレスが表示されます。
- ⑤ DNSサーバー ご契約の回線接続業者のDNSサーバーIPアドレスが表示されます。
- ⑥ インターネット用IPアドレス ...
WANモード：3セグメント 本製品に設定された「インターネット用WAN」(データ用)のIPアドレスが表示されます。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線状態表示 [PPPoE設定時]

登録された回線への接続状態が表示されます。

※「IP回線」画面で「接続先の選択」欄(P.7-2)を「サーバー接続」、「使用しない」に設定したときに表示される項目です。

※登録したPPPoE接続先から、PPPoEセッションを2つまで同時に接続できます。

※第1セッションは本製品のデフォルトゲートウェイに設定されます。

※第2セッションを利用する場合、必要なルーティング設定(スタティックルーティング、ポリシールーティング)を設定する必要があります。

※画面は、表示例です。

回線状態表示		
① PPPoEセッション	第1セッション	第2セッション
② 接続先の選択	WAN01 (ppp0) ▼	なし ▼
③ 接続状態	ケーブル未接続	
④ 回線種別	PPPoE	PPPoE
⑤ 本体側のIPアドレス		
⑥ 相手先のIPアドレス		
⑦ DNSサーバー		
⑧ 接続時間		

- ① PPPoEセッション …………… 第1セッション、第2セッションがそれぞれ表示されます。
- ② 接続先の選択 …………… [回線設定]項目(P.5-11)で登録したWAN側回線への接続先から選択します。
※回線接続中は、選択できません。
〈接続〉/〈切断〉
手動で回線を接続、および切断するとき、クリックします。
※〈切断〉は、回線が接続されているとき表示されます。
※接続操作をしても「接続状態」欄に「接続中」と表示されない場合は、登録した設定内容やWAN側の接続ケーブル(リンク状態)をご確認ください。
- ③ 接続状態 …………… WAN側回線への接続状態が「未接続」/「ケーブル未接続」/「接続試行中」/「接続中」で表示されます。
- ④ 回線種別 …………… 本製品に設定されている回線への接続方式が表示されます。
- ⑤ 本体側のIPアドレス …………… 本製品のWAN側に設定されているIPアドレスが表示されます。
- ⑥ 相手先のIPアドレス …………… ご契約の回線接続業者のIPアドレスが表示されます。
- ⑦ DNSサーバー …………… ご契約の回線接続業者のDNSサーバーIPアドレスが表示されます。
- ⑧ 接続時間 …………… ご契約の回線接続業者に接続してから、この画面にアクセスした時点までの時間が表示されます。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線種別設定

WANポートの回線種別についての設定です。

回線種別設定

回線種別:

回線種別.....

ご契約の回線接続業者から指定された回線種別を選択します。

(出荷時の設定：使用しない)

「DHCPクライアント」、「固定IP」、「PPPoE」を設定したときは、ルーター機能が有効になり、本製品のWAN側ポートが使用できます。

◎回線を本製品のWAN側ポートに接続しない場合

使用しない

回線を本製品のWAN側ポートに接続しても通信できません。

◎回線を本製品のWAN側ポートに接続する場合

ブリッジタイプモデム、またはFTTHでお使いの回線終端装置と接続できます。

DHCPクライアント★

本製品のWAN側IPアドレスを、ご契約の回線接続業者から「DHCP」方式で取得します。

固定IP

本製品のWAN側IPアドレスを、ご契約の回線接続業者から指定された固定のIPアドレスを割り当てて使用するときを選択します。

PPPoE★

本製品のWAN側IPアドレスを、ご契約の回線接続業者から「PPPoE」方式で取得します。

★「電話回線設定」メニュー→「IP回線」画面→「SIPサーバー接続共通設定」項目の「接続先の選択」欄を「KDDI 光ダイレクト」、「KDDI-IPフォン」に設定したときは、「DHCPクライアント」、「PPPoE」を選択できません。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [DHCPクライアント設定時]

本製品のWAN側について設定します。

※「IP回線」画面で「接続先の選択」欄(P.7-2)を「サーバー接続」、「使用しない」に設定したときに表示される項目です。

回線設定

接続先名: ① _____

プライマリ-DNSサーバー: ② _____

セカンダリ-DNSサーバー: ③ _____

④ ⑤

- ① **接続先名** ご契約の回線接続業者の名前を任意の英数字、半角31(全角31)文字以内で入力します。

- ② **プライマリ-DNSサーバー** ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。

- ③ **セカンダリ-DNSサーバー** [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。

- ④ **〈登録〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

- ⑤ **〈取消〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [固定IP設定時]

本製品のWAN側について設定します。

	回線設定
WANモード：1セグメント	<p>接続先名：① _____</p> <p>IPアドレス：② _____</p> <p>サブネットマスク：③ _____</p> <p>デフォルトゲートウェイ：④ _____</p> <p>プライマリDNSサーバー：⑤ _____</p> <p>セカンダリDNSサーバー：⑥ _____</p> <p style="text-align: right;">⑧ ⑨</p> <p style="text-align: right;">登録 取消</p>
WANモード：3セグメント	<p>接続先名：① _____</p> <p>IPアドレス：② _____</p> <p>サブネットマスク：③ 255.255.255.252</p> <p>プライマリDNSサーバー：⑤ _____</p> <p>セカンダリDNSサーバー：⑥ _____</p> <p>インターネット用IPアドレス：⑦ _____</p> <p style="text-align: right;">⑧ ⑨</p> <p style="text-align: right;">登録 取消</p>

- ① 接続先名 ご契約の回線接続業者の名前を任意の英数字、半角31(全角31)文字以内で入力します。
- ② IPアドレス ご契約の回線接続業者から指定された本製品のWAN側IPアドレスを入力します。
- ③ サブネットマスク ご契約の回線接続業者から指定された本製品のWAN側のサブネットマスクを入力します。
※「WANモード」画面で「3セグメント」(P.5-2)に設定したときは、「255.255.255.252」に固定されます。
- ④ デフォルトゲートウェイ
WANモード：1セグメント ご契約の回線接続業者から指定された本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。
- ⑤ プライマリDNSサーバー ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- ⑥ セカンダリDNSサーバー [プライマリDNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [固定IP設定時]

WANモード：1セグメント

回線設定	
接続先名：①	_____
IPアドレス：②	_____
サブネットマスク：③	_____
デフォルトゲートウェイ：④	_____
プライマリ-DNSサーバー：⑤	_____
セカンダリ-DNSサーバー：⑥	_____
	⑧ ⑨
	登録 取消

WANモード：3セグメント

接続先名：①	_____
IPアドレス：②	_____
サブネットマスク：③	255.255.255.252
プライマリ-DNSサーバー：⑤	_____
セカンダリ-DNSサーバー：⑥	_____
インターネット用IPアドレス：⑦	_____
	⑧ ⑨
	登録 取消

⑦ **インターネット用IPアドレス** … ご契約の回線接続業者から指定された「インターネット用WAN」(データ用)のIPアドレスを入力します。

WANモード：3セグメント

⑧ **登録** …………… [回線種別設定]項目、[回線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

⑨ **取消** …………… [回線種別設定]項目、[回線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお「登録」をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [PPPoE設定時]

本製品のWAN側について設定します。

※「IP回線」画面で「接続先の選択」欄(P.7-2)を「サーバー接続」、「使用しない」に設定したときに表示される項目です。

回線設定	
接続先の選択	① WAN01 (ppp0) ▼
接続先名	② WAN01
ユーザーID	③
パスワード	④ <input type="password"/> 
接続方法	⑤ 常時 ▼
IPアドレス	⑥
プライマリーDNSサーバー	⑦
セカンダリーDNSサーバー	⑧
認証プロトコル	⑨ 接続先に合わせる ▼
MSS制限値	⑩ 1322 ⑪ ⑫
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>	

- ① 接続先の選択 接続先を追加/編集するときは、〈▼〉をクリックして、「WAN01 (ppp0)」～「WAN08 (ppp7)」(最大8件まで設定可能)から選択します。
(出荷時の設定：WAN01 (ppp0))
- ② 接続先名 ご契約の回線接続業者の名前を任意の英数字、半角31(全角31)文字以内で入力します。
※「接続先の選択」欄に設定した接続先名が表示されます。
- ③ ユーザーID ご契約の回線接続業者から指定されたログインユーザー名、またはアカウント名を大文字/小文字の表記に注意して入力します。
- ④ パスワード ご契約の回線接続業者から指定されたログインパスワードを大文字/小文字の表記に注意して入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ⑤ 接続方法 「PPPoE」回線への接続方法を選択します。 (出荷時の設定：常時)
◎手動
[回線状態表示]項目(P.5-6)の〈接続〉/〈切断〉をクリックして、回線を手動で接続、または切断できます。
※本製品を起動したときは、切断された状態です。
◎常時
常時接続します。
[接続先の選択]欄で指定した接続先と常に接続状態を保持します。
※本製品を起動したときは、接続された状態です。
※[回線状態表示](P.5-6)項目の〈接続〉/〈切断〉をクリックすると、手動で操作できます。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [PPPoE設定時]

回線設定
接続先の選択: ① WAN01 (ppp0) ▼
接続先名: ② WAN01
ユーザーID: ③ _____
パスワード: ④ _____ 👁
接続方法: ⑤ 常時 ▼
IPアドレス: ⑥ _____
プライマリDNSサーバー: ⑦ _____
セカンダリDNSサーバー: ⑧ _____
認証プロトコル: ⑨ 接続先に合わせる ▼
MSS制限値: ⑩ 1322 ⑪ ⑫
登録 取消

- ⑥ IPアドレス ご契約の回線接続業者から指定されたときに限り、本製品のWAN側IPアドレスを入力します。
- ⑦ プライマリDNSサーバー ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- ⑧ セカンダリDNSサーバー [プライマリDNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ⑨ 認証プロトコル ご契約の回線接続業者から指定された、認証プロトコルを設定します。
(出荷時の設定：接続先に合わせる)
指定のない場合は、「接続先に合わせる」でご使用ください。
- ◎接続先に合わせる
PAP/CHAPを相手先の要求に応じて自動で切り替わります。
- ◎PAP
パスワードによってユーザーを識別します。パスワードが暗号化されないなどの弱点があります。
- ◎CHAP
認証情報のやり取りが暗号化されるため、PAPよりも安全性が高い認証プロトコルです。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [PPPoE設定時]

回線設定

接続先の選択:	① WAN01 (ppp0)	▼
接続先名:	② WAN01	_____
ユーザーID:	③ _____	_____
パスワード:	④ _____	👁
接続方法:	⑤ 常時	▼
IPアドレス:	⑥ _____	_____
プライマリDNSサーバー:	⑦ _____	_____
セカンダリDNSサーバー:	⑧ _____	_____
認証プロトコル:	⑨ 接続先に合わせる	▼
MSS制限値:	⑩ 1322	⑪ ⑫

登録 取消

- ⑩ **MSS制限値** ご契約の回線接続業者から指定されている場合に限り、WAN側回線への最大有効データ長を数字で指定します。 (出荷時の設定：1322)
設定できる範囲は、「536～1452(バイト)」です。
MSS値とは、受信できるTCP最大セグメントサイズのことです。一般に、MSS値は、フラグメントが発生しない範囲で大きいほどよいとされています。しかし、[PPPoE]回線のMTUは、通常のEthernetのMTU(1500バイト)より小さいためMSS値が大きくなりすぎると、パケットがインターネット上を通過しないことがありますのでご注意ください。
- ⑪ **〈登録〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑫ **〈取消〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定一覧 [PPPoE設定時]

[回線設定]項目(P.5-11)で登録した接続先の一覧です。

※「IP回線」画面で[接続先の選択]欄(P.7-2)を「サーバー接続」、「使用しない」に設定したときに表示される項目です。

※画面は、設定例です。

回線設定一覧			
接続先名	ユーザーID	接続方法	
WAN01(ppp0)	XXXXXXXXXX	常時	削除

<削除>.....

ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。

5 ルーター設定

「VoIP用WAN」画面

ルーター設定 > VoIP用WAN

下記のように設定したときだけ表示され、設定できる画面です。

◎「電話回線設定」メニュー→「IP回線」画面→[SIPサーバー接続共通設定]項目の[接続先の選択]欄(P.7-2)を「KDDI 光ダイレクト」、または「KDDI-IPフォン」に設定したとき

◎「ルーター設定」メニュー→「WANモード」画面→[WANモード設定]項目の[WANモード]欄を「3セグメント」に設定したとき

■ 回線状態表示

ご契約の回線接続業者との接続状態が表示されます。

※画面は、表示例です。

回線状態表示	
① 接続状態	
② 本体側のIPアドレス	
③ DNSサーバー	

- ① 接続状態 WAN側回線への接続状態が「ケーブル未接続」/「接続試行中」/「接続中」で表示されます。
- ② 本体側のIPアドレス 本製品の「VoIP用WAN」(音声用)に設定されているIPアドレスが表示されません。
- ③ DNSサーバー VoIP用WAN回線で利用するDNSサーバーアドレスを表示します。

5 ルーター設定

「VoIP用WAN」画面

ルーター設定 > VoIP用WAN

■ 回線種別設定

「WAN接続先」画面の「回線種別設定」項目(P.5-7)で設定した回線種別が表示されます。

回線種別設定	
回線種別:	固定IP

ルーター設定 > VoIP用WAN

■ 回線設定

ご契約の回線接続業者から指定されたVoIP用WAN側のIPアドレスとDNSサーバーアドレスについての設定です。

回線設定	
IPアドレス: ①	_____
プライマリーDNSサーバー: ②	_____
セカンダリーDNSサーバー: ③	_____
	④ ⑤
	登録 取消

- ① IPアドレス ご契約の回線接続業者から指定された本製品の「VoIP用WAN」(音声用)のIPアドレスを入力します。
- ② プライマリーDNSサーバー ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- ③ セカンダリーDNSサーバー 「プライマリーDNSサーバー」欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ④ <登録> 「回線設定」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ <取消> 「回線設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「アドレス変換」画面

ルーター設定 > アドレス変換

■ アドレス変換設定

本製品のアドレス変換を設定します。

アドレス変換設定

アドレス変換: 無効 有効
WANモードで3セグメントが選択されている場合は、アドレス変換は有効に固定されます。

アドレス変換…………… 本製品のアドレス変換機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、本製品のIPマスカレード機能を使用して、WAN側グローバルアドレスをプライベートアドレスに変換します。
※「WANモード」画面で「3セグメント」(P.5-2)に設定したときは、「有効」に固定されます。

ルーター設定 > アドレス変換

■ DMZホスト設定

本製品のDMZホスト機能を設定します。

DMZホスト設定

DMZホスト IPアドレス: ① _____ ② ③
登録 取消

- ① DMZホスト IPアドレス** …… DMZホスト機能(非武装セグメント)の対象となるパソコン(ホスト)のIPアドレスを入力します。DMZホスト機能を使用すると、WAN(インターネット)側から発信された転送先不明のIPフレームを、LAN側に存在する特定IPアドレスへ転送できます。
これにより、本製品のLAN側に存在する端末で各種サーバーを運用したり、ネットワーク対戦ゲームをしたりできますが、転送先に設定した端末のIPアドレスに対してセキュリティが低下しますので、ご使用には十分ご注意ください。
※DMZホスト機能と静的マスカレードテーブルを同時に使用した場合は、静的マスカレードテーブルの設定が優先されます。
※セキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ② <登録>** …… [アドレス変換設定]項目、[DMZホスト設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ <取消>** …… [アドレス変換設定]項目、[DMZホスト設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「アドレス変換」画面

ルーター設定 > アドレス変換

■ 静的マスカレードテーブル設定

テーブルに追加すると、マスカレードIP(ルーターグローバルIP)に対して、アクセスしてきたパケットをプロトコルとポート番号により判定し、ここで指定したプライベートIPアドレスを割り当てたローカル端末へ転送します。

静的マスカレードテーブル設定

WAN側ポート ①	LAN側IP ②	LAN側ポート ③	プロトコル ④	⑤
指定 ▼		指定 ▼	TCP ▼	追加

- ① WAN側ポート [プロトコル]欄で選択したプロトコルに対するWAN側ポートをポート番号で指定するときは、「指定」を選択し、隣のテキストボックスにポート番号を入力します。ポート番号で指定しない場合は、ニーモニック(DNS、Finger、FTP、Gopher、NEWS、POP3、SMTP、Telnet、Web、Whois)から選択します。
- ② LAN側IP 該当するパケットを転送するLAN側プライベートIPアドレスを入力します。
- ③ LAN側ポート [プロトコル]欄で選択したプロトコルに対するLAN側ポートをポート番号で指定するときは、「指定」を選択し、隣のテキストボックスにポート番号を入力します。ポート番号で指定しない場合は、ニーモニック(DNS、Finger、FTP、Gopher、NEWS、POP3、SMTP、Telnet、Web、Whois)から選択します。
- ④ プロトコル TCP、UDP、TCP/UDP、GRE、ESPから選択します。
- ⑤ <追加> 静的マスカレードテーブルを本製品に登録するとき、クリックします。
※最大32個のマスカレードテーブルを登録できます。

5 ルーター設定

「アドレス変換」画面

ルーター設定 > アドレス変換

■ 静的マスカレードテーブル設定一覧

[静的マスカレードテーブル設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

WAN側ポート	LAN側IP	LAN側ポート	プロトコル	①	②
Web	192.168.0.100	Web	TCP/UDP	編集	削除
FTP	192.168.0.200	FTP	TCP/UDP	編集	削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
※登録されている内容は、[静的マスカレードテーブル設定]項目に表示されます。
- ② <削除> 登録した内容を削除するときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ 一般設定

登録した条件に該当するパケットの通過と阻止についての設定です。

※IPフィルターの変更によるセキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

一般設定

遮断時の動作: ① 破棄 拒絶

IPフィルター不一致時のSYSLOG: ② 無効 有効

③ ④

- ① 遮断時の動作 パケットを遮断するときの動作を選択します。 (出荷時の設定: 破棄)
◎破棄: パケットを破棄し、相手に何も返しません。
◎拒絶: 受け取らないという拒否パケットを相手に返します。
- ② IPフィルター不一致時のSYSLOG WAN側から開始し、どのIPフィルターにも一致しないパケットの場合、遮断します。このとき、ログに記録するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効)
※大量のログを処理すると、システム処理速度に影響します。
- ③ <登録> [一般設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ <取消> [一般設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

登録した条件に該当するパケットの通過と阻止についての設定です。

※IPフィルターの変更によるセキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

IPフィルター設定

番号: ① _____

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ _____ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ _____ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP

送信元ポート番号: ⑧ すべて 指定時: _____

宛先ポート番号: ⑨ すべて 指定時: _____

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.5-22)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

① 番号

IPフィルターが比較する順位を指定します。
選択できる範囲は、「1」～「64」です。

※ [IPフィルター設定一覧]項目に登録されている番号は選択できません。
IPフィルター機能を使用時、本製品が受信、または送信するパケットと [IPフィルター設定一覧]項目の内容を比較します。

② エントリー

登録するフィルターの使用について設定します。 (出荷時の設定: 無効)
登録しても使用しないときは、「無効」を選択します。

「無効」で登録すると、下図のように、[IPフィルター設定一覧]項目の[番号]欄に「(off)」が表示されます。

※番号「1」のフィルターを無効にした例です。

番号	フィルター方法	プロトコル (TCPフラグ)	送信元IPアドレス (送信元ポート番号)	SYSLOGに出力	
	フィルター方向		宛先IPアドレス (宛先ポート番号)		
1 (off)	透過	すべて	* (*)	無効	編集 削除
	IN		* (*)		

③ フィルター方法

フィルタリングの方法は、次の2とおりから選択します。

(出荷時の設定: 透過)

◎ **遮断**: フィルタリングの条件に一致した場合、そのパケットをすべて破棄します。

◎ **透過**: フィルタリングの条件に一致した場合、そのパケットをすべて通過させます。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: ⑤

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: ⑥

プロトコル: ⑦

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.5-22)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

- ④ **フィルター方向** …………… フィルターの対象となるパケットの通信方向を設定します。
(出荷時の設定：IN)
- ◎IN : WAN側から本製品が受信するパケットに対してフィルタリング処理をします。
 - ◎OUT : 本製品からWAN側に送信するパケットに対してフィルタリング処理をします。
- ⑤ **送信元IPアドレス** …………… 送信元ホストのIPアドレス、サブネットマスク(ビット数)を設定することにより、特定のホストからのパケットをフィルタリング処理します。
何も設定しない場合は、すべてのアドレスを対象とします。マスク(ビット数)の選択できる範囲は、「1」～「32」です。
- ⑥ **宛先IPアドレス** …………… 宛先ホストのIPアドレス、サブネットマスク(ビット数)を設定することにより、特定のホストからのパケットをフィルタリング処理します。
何も設定しない場合は、すべてのアドレスを対象とします。
マスク(ビット数)の選択できる範囲は、「1」～「32」です。
- ⑦ **プロトコル** …………… フィルタリングの対象となるパケットのトランスポート層プロトコルを選択する項目です。
(出荷時の設定：すべて)
- ◎すべて : すべてのプロトコルに一致します。
 - ◎TCP : TCPだけに一致します。
「TCP」を選択すると、[送信元ポート番号] (⑧) 欄、[宛先ポート番号] (⑨) 欄、[TCPフラグ] (⑩) 欄が表示されます。
 - ◎UDP : UDPだけに一致します。
「UDP」を選択すると、[送信元ポート番号] (⑧) 欄、[宛先ポート番号] (⑨) 欄が表示されます。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP 指定時:

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.5-22)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

⑦ プロトコル(つづき) ……………

◎TCP/UDP : TCPとUDPに一致します。

「TCP/UDP」を選択すると、[送信元ポート番号] (⑧) 欄、[宛先ポート番号] (⑨) 欄が表示されます。

◎ICMP : ICMPだけに一致します。

「ICMP」を選択すると、[タイプ] 欄、[コード] 欄(下図)が表示されます。

プロトコル:	ICMP	指定時:	<input type="text"/>
タイプ:	<input type="text"/>		
コード:	<input type="text"/>		

[タイプ]

フィルタリングの対象となるICMPヘッダー内のタイプを番号(0～255)で指定します。

※指定しないときは、すべてがフィルタリングの対象になります。

[コード]

フィルタリングの対象となるICMPヘッダー内のコードを番号(0～255)で指定します。

※指定しないときは、すべてがフィルタリングの対象になります。

◎IGMP : IGMPだけに一致します。

◎指定

: 右のテキストボックスに、IP層ヘッダーに含まれる上位層プロトコル番号を入力します。

プロトコル番号は、「0～255」までの半角数字を入力します。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP 指定時:

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.5-22)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

⑧ 送信元ポート番号 …………… フィルタリングの対象となる発信元のTCP/UDPポート番号を指定する項目です。
(出荷時の設定：すべて)

指定には、2とおりの方法があります。

◎数字で指定するとき

- 1.「指定」を選択します。
- 2.「指定時：(始点)～(終点)」欄のテキストボックスに番号を入力します。
特定のポートだけを指定するときは、始点だけ、または始点/終点に同一の番号を入力してください。
入力できる範囲は、「1～65535」までの半角数字です。

◎ニーモニックで指定するとき

「すべて」、「指定」以外の項目を選択します。
本製品で指定できるニーモニックは、「DNS」、「Finger」、「FTP」、「Gopher」、「NEWS」、「POP3」、「SMTP」、「Telnet」、「Web」、「Whois」です。
※「すべて」を選択した場合は、すべてのポート番号を対象とします。

⑨ 宛先ポート番号 …………… フィルタリングの対象となる発信元のTCP/UDPポート番号を指定する項目です。
(出荷時の設定：すべて)

指定には、2とおりの方法があります。

◎数字で指定するとき

- 1.「指定」を選択します。
- 2.「指定時：(始点)～(終点)」欄のテキストボックスに番号を入力します。
特定のポートだけを指定するときは、始点だけ、または始点/終点に同一の番号を入力してください。
入力できる範囲は、「1～65535」までの半角数字です。

◎ニーモニックで指定するとき

「すべて」、「指定」以外の項目を選択します。
本製品で指定できるニーモニックは、「DNS」、「Finger」、「FTP」、「Gopher」、「NEWS」、「POP3」、「SMTP」、「Telnet」、「Web」、「Whois」です。
※「すべて」を選択した場合は、すべてのポート番号を対象とします。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: ⑤

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: ⑥

プロトコル: ⑦ TCP

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.5-22)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

- ⑩ TCPフラグ [プロトコル]欄(P.5-22)で「TCP」を選択したとき、フィルタリングの対象となるTCPの通信フラグを選択する項目です。(出荷時の設定：指定なし)
本製品で指定できるTCPフラグは、URG、ACK、PSH、RST、SYN、FINです。
※選択したTCPフラグは、[現在の登録]項目の[プロトコル(TCPフラグ)]欄で、下記の画面のように表示(例：RST)します。

3	透過	TCP (R)	* (*)	無効	編集 削除
	IN		* (*)		

※「指定なし」を選択した場合は、TCPのフラグオプションをフィルターの条件にしません。

- ⑪ SYSLOGに出力 IPフィルター登録時、このオプションを「有効」に設定すると、フィルタリング処理をしたとき、SYSLOGを出力します。
(IPフィルター新規作成時の初期値：無効)
※SYSLOGが出力されると、「情報表示」メニューの「SYSLOG」画面に表示されます。(P.2-4)
※大量のログを処理すると、システム処理速度に影響します。
動作確認や試験運用以外は、通話品質を確保するため、ご利用をお控えください。

- ⑫ <登録> [IPフィルター設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[IPフィルター設定一覧]項目に表示されます。

- ⑬ <取消> [IPフィルター設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定一覧

[IPフィルター設定]項目(P.5-21)で登録した現在の各エントリーの内容が表示されます。

番号	フィルター方法	プロトコル (TCPフラグ)	送信元IPアドレス (送信元ポート番号)	SYSLOGに出力		
	フィルター方向		宛先IPアドレス (宛先ポート番号)		①	②
59	遮断	TCP/UDP	* (135)	無効	編集	削除
	OUT		* (*)			
60	遮断	TCP/UDP	* (*)	無効	編集	削除
	OUT		* (135)			
61	遮断	TCP/UDP	* (445)	無効	編集	削除
	OUT		* (*)			
62	遮断	TCP/UDP	* (*)	無効	編集	削除
	OUT		* (445)			
63	遮断	TCP (フラグ指定なし)	* (*)	無効	編集	削除
	OUT		* (137-139)			
64	遮断	UDP	* (137-139)	無効	編集	削除
	OUT		* (137-139)			

【初期設定で登録されているIPフィルターについて】

◎59～64番：Windowsのアプリケーションを外部からリモートコントロールされる危険性、およびファイル共有機能による外部への情報漏えいを防止します。

※「*」は、各欄で設定できる「すべて」を対象としています。

① <編集> ボタンの左側に表示されたIPフィルターを編集するボタンです。
<編集>をクリックすると、表示された内容が[IPフィルター設定]項目の各欄に表示されます。

② <削除> ボタンの左側に表示されたIPフィルターを削除するボタンです。

5 ルーター設定

「簡易DNS」画面

ルーター設定 > 簡易DNS

■ 簡易DNSサーバー設定

本製品を簡易DNSサーバーとして使用するとき設定します。

簡易DNSサーバー設定		
※DHCPサーバーのDNS代理応答を有効にしておく必要があります。		
IPアドレス	ホスト名	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

端末のホスト名と対応するIPアドレスの組み合わせを入力して、〈追加〉をクリックします。

登録すると、ドメイン名からIPアドレスを検索するDNS要求と、IPアドレスからドメイン名を検索するDNS逆引き要求に応答します。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※本製品のDNS代理応答機能を使用する場合に有効です。

※ローカルIPアドレスとそのホスト名を登録するときは、静的DHCPサーバーを利用してMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを固定しておくことをおすすめします。

ルーター設定 > 簡易DNS

■ 簡易DNSサーバー設定一覧

[簡易DNSサーバー設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

簡易DNSサーバー設定一覧		
IPアドレス	ホスト名	
192.168.1.50	example.com	<input type="button" value="削除"/>

登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

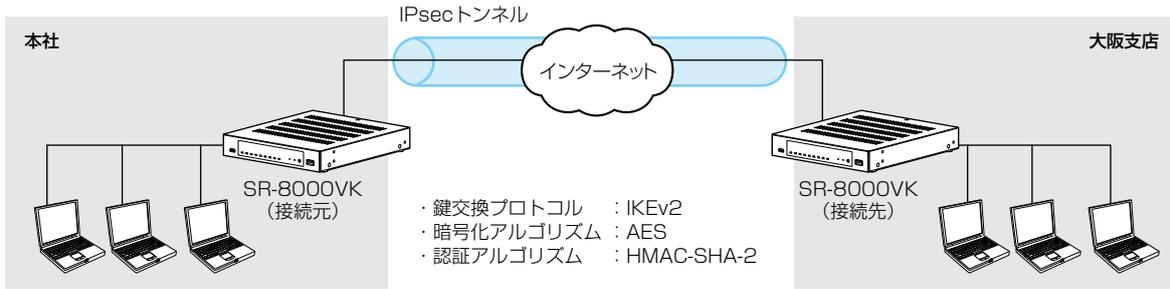
5 ルーター設定

「VPN」画面

VPN(Virtual Private Network)機能を使用すると、インターネット上の2地点を暗号化通信で接続して、仮想的なネットワークを構成できます。

※本製品のVPN機能は、AP-9600、AP-9500、SR-7100VN、SR-8000V、VE-PG4と互換性があります。(2024年10月現在)

※接続先に合わせて、IPsecトンネルを登録してください。(P.5-29、P.5-30)



ルーター設定 > VPN

■ IPsec設定

IPsecによる仮想プライベートネットワーク(VPN)接続を使用するための設定です。

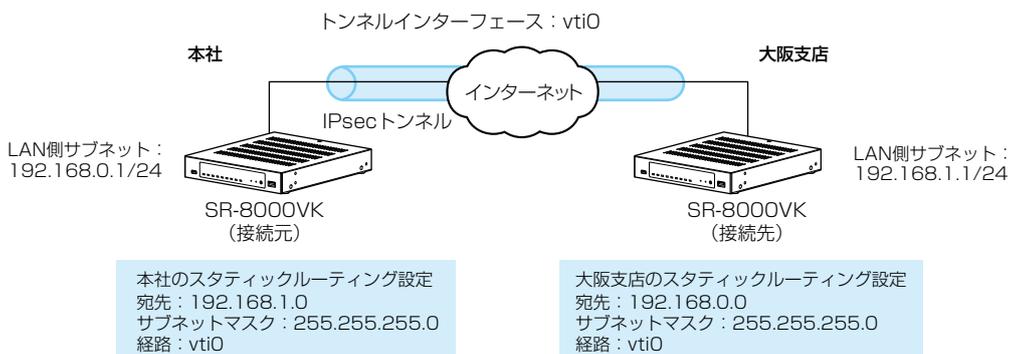
IPsec設定
IPsec: <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

IPsec..... 本製品のIPsec機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、IPsecトンネルを使用したVPN接続を利用できます。

ご参考

VPN機能を使用する場合は、本製品の[WAN]ポートにWAN回線を接続し、ルーター機能(回線種別)、スタティックルーティングの設定(P.3-9)が必要です。

スタティックルーティングの設定例



5 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定

IPsecによる仮想プライベートネットワーク(VPN)接続を使用するための設定です。

IPsecトンネル設定	
トンネルインターフェース:	① vti0
トンネル:	② <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
トンネル名:	③ _____
インターフェース:	④ eth0
認証鍵 (Pre-Shared Key):	⑤ _____
リモートアドレス:	⑥ _____
リモートID:	⑦ IPアドレス
ローカルID:	⑧ IPアドレス
	⑨ ⑩
	登録 取消

- ① **トンネルインターフェース** …… IPsecトンネルを登録するインターフェースを指定します。
選択できる範囲は「vti0～vti31」です。 (出荷時の設定：vti0)
- ② **トンネル** …… 登録するIPsecトンネルの使用について設定します。(出荷時の設定：有効)
登録しても使用しないときは、「無効」を選択します。
- ③ **トンネル名** …… IPsecトンネルを識別する名称を半角31(全角31)文字以内で入力します。
- ④ **インターフェース** …… 接続先と通信するインターフェースを選択します。(出荷時の設定：eth0)
◎eth0
「WAN接続先」画面(P.5-7)の回線種別を「固定IP」または「DHCPクライアント」に設定しているときに選択します。
◎ppp0(WAN1)～ppp7(WAN8)
「WAN接続先」画面(P.5-7)の回線種別を「PPPoE」に設定しているときに選択します。
- ⑤ **認証鍵 (Pre-Shared Key)** …… 接続先との認証に使用します。
接続先の機器と同じ文字列を半角128文字以内の英数字で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ⑥ **リモートアドレス** …… 接続先のWAN側IPアドレス、またはホスト名を入力します。
※接続先からのIPsec接続を待ち受ける場合は、[リモートアドレス]欄を空白のままにして登録します。
双方の機器に割り当てられたWAN側IPアドレスが動的の場合、どちらか一方がダイナミックDNSサービスに登録し、ホスト名を取得している必要があります。

5 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: ① vti0

トンネル: ② 無効 有効

トンネル名: ③

インターフェース: ④ eth0

認証鍵 (Pre-Shared Key): ⑤

リモートアドレス: ⑥

リモートID: ⑦ IPアドレス

ローカルID: ⑧ IPアドレス

⑨ 登録 ⑩ 取消

⑦ リモートID 接続先の機器を識別するIDを設定します。
IDは、「IPアドレス」、「KEYID」、「FQDN」、「USER-FQDN」からタイプを選択
します。 (出荷時の設定：IPアドレス)

IPアドレス : IPアドレス形式
KEYID : 半角256文字以内の英数字
FQDN : 半角253文字以内のドメイン名
USER-FQDN : 半角254文字以内のメールアドレス形式
入力例: user@xxxx.yyyy.zzzz



- ① 64文字以内
- ② 「xxxx」、「yyyy」、「zzzz」は、それぞれ63文字以内

⑧ ローカルID 接続先の機器を識別するIDを設定します。
IDは、「IPアドレス」、「KEYID」、「FQDN」、「USER-FQDN」からタイプを選択
します。 (出荷時の設定：IPアドレス)

IPアドレス : IPアドレス形式
KEYID : 半角256文字以内の英数字
FQDN : 半角253文字以内のドメイン名
USER-FQDN : 半角254文字以内のメールアドレス形式
入力例: user@xxxx.yyyy.zzzz



- ① 64文字以内
- ② 「xxxx」、「yyyy」、「zzzz」は、それぞれ63文字以内

⑨ <登録> [IPsecトンネル設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[IPsecトンネル設定一覧]項目に表示されます。

⑩ <取消> [IPsecトンネル設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボ
タンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定一覧

[IPsecトンネル設定] 項目で登録した内容が表示されます。

1 トンネルインターフェース	2 インターフェース	3 状態	4 リモートアドレス	5 リモートID	6 ローカルID	7 8
vti0 (営業)	ppp1 (WAN02)	接続試行中	●●●●●●●●	IPアドレス ●●●●●●●●	IPアドレス ●●●●●●●●	編集 削除

- 1 **トンネルインターフェース** …… インターフェース名(トンネル名)が表示されます。
- 2 **インターフェース** …………… トンネル送信元のインターフェース名が表示されます。
- 3 **状態** …………… IPsec接続の状態が表示されます。
◎**接続中**
IPsecトンネルが接続されている状態です。
◎**接続待機中**
トンネルの接続先からのIPsec接続試行を待っている状態です。
◎**接続試行中**
トンネルの接続先に対してIPsec接続試行を実行中です。
◎**IPsec無効**
IPsec設定のIPsecが無効化されている状態です。
◎**無効**
IPsecトンネルが無効化されている状態です。
- 4 **リモートアドレス** …………… 接続先に設定されている相手先IPアドレス、またはホスト名が表示されます。
設定されていない場合は「-」が表示されます。
接続中は相手先IPアドレスが表示されます。
- 5 **リモートID** …………… IPsec接続に使用するID(相手側)が表示されます。
- 6 **ローカルID** …………… IPsec接続に使用するID(自分側)が表示されます。
- 7 **〈編集〉** …………… ボタンの左側に表示されたIPsecトンネルを編集するボタンです。
〈編集〉をクリックすると、表示された内容を含むIPsecトンネルの設定が、
[IPsecトンネル設定] 項目の各欄に表示されます。
- 8 **〈削除〉** …………… ボタンの左側に表示されたIPsecトンネルを削除するボタンです。

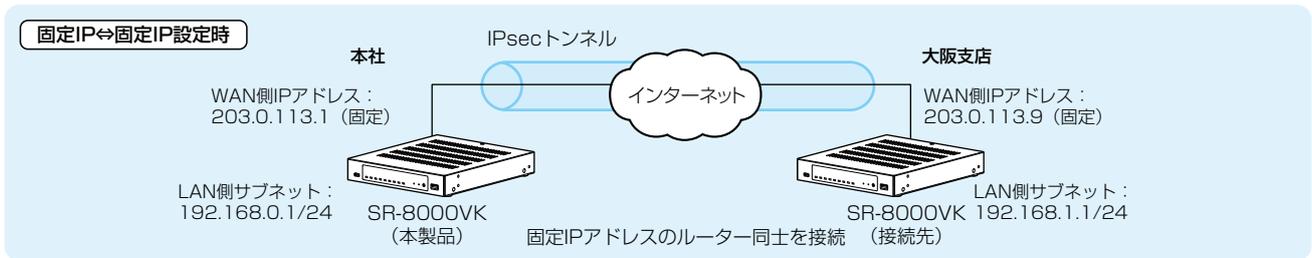
5 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定例(1)

本製品、接続先ともに、WAN側IPアドレスが固定で割り当てられ、回線種別がPPPoEの場合



※IPsecトンネルへの経路設定(スタティックルーティング)も必要です。(P.3-9、P.5-28)

本社側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

登録 取消

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 大阪支店

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key):

リモートアドレス: 203.0.113.9

リモートID: KEYID (dropdown: osaka)

ローカルID: KEYID (dropdown: honsha)

登録 取消

認証鍵 (Pre-Shared Key) は、接続する機器同士で同じ文字列を入力します。

リモートIDには、接続先(大阪支店)のローカルIDを入力します。

「WAN接続先」画面で設定した接続先(PPPoE)を選択します。

リモートアドレスには、接続先(大阪支店)のWAN側IPアドレスを入力します。

大阪支店側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

登録 取消

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 本社

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key):

リモートアドレス: 203.0.113.1

リモートID: KEYID (dropdown: honsha)

ローカルID: KEYID (dropdown: osaka)

登録 取消

リモートIDには、接続先(本社)のローカルIDを入力します。

リモートアドレスには、接続先(本社)のWAN側IPアドレスを入力します。

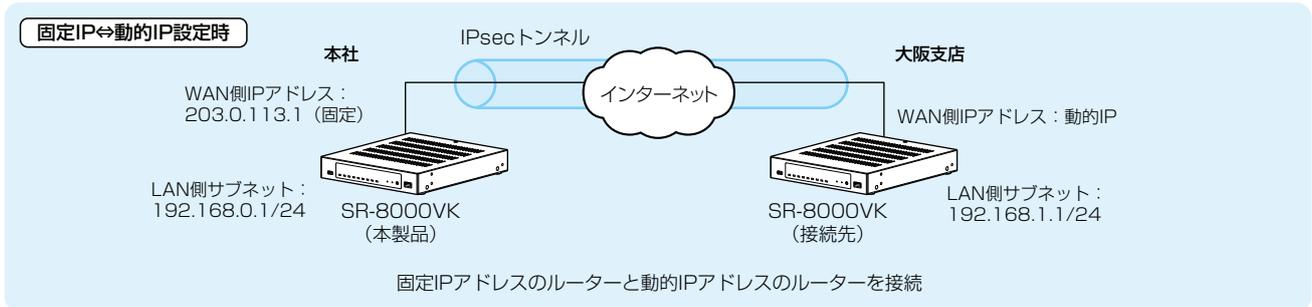
5 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定例(2)

本製品のWAN側IPアドレスが固定、接続先のWAN側IPアドレスが動的で割り当てられ、回線種別は本製品、接続先ともにPPPoEの場合



※IPsecトンネルへの経路設定(スタティックルーティング)も必要です。(P.3-9、P.5-28)

本社側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

登録 取消

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 大阪支店

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key):

リモートアドレス: 203.0.113.9

リモートID: KEYID osaka

ローカルID: KEYID honsha

登録 取消

「WAN接続先」画面で設定した接続先(PPPoE)を選択します。

接続先(大阪支店)のリモートアドレスを省略した場合、接続先からIPsec接続を開始する必要があります。※空欄にすると待機状態になり、自らIPsec接続を開始しません。

認証鍵 (Pre-Shared Key) は、接続する機器同士で同じ文字列を入力します。

リモートIDには、接続先(大阪支店)のローカルIDを入力します。

大阪支店側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

登録 取消

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 本社

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key):

リモートアドレス: 203.0.113.1

リモートID: KEYID honsha

ローカルID: KEYID osaka

登録 取消

接続先(本社)のWAN側IPアドレスを、リモートアドレスに入力します。

リモートIDには、接続先(本社)のローカルIDを入力します。

この章では、
「システム設定」メニューの設定について説明します。

「収容台数設定」画面	6-2
■ 収容台数設定	6-2

6 システム設定

「収容台数設定」画面

システム設定 > 収容台数設定

■ 収容台数設定

本製品に登録する無線機と内線電話機の台数を設定します。

収容台数設定	
無線機 : ①	150 ▼ 台
内線電話機 : ②	150 ▼ 台
③ 登録 ④ 取消	

- ① 無線機 本製品に登録する無線機の収容台数を設定します。(出荷時の設定: 150)
設定できる範囲は、「0」～「300」(10刻み)です。
※内線電話機(②)との合計が300台になるように調整されます。
- ② 内線電話機 本製品に登録する内線電話機の収容台数を設定します。(出荷時の設定: 150)
設定できる範囲は、「0」～「300」(10刻み)です。
※無線機(①)との合計が300台になるように調整されます。
- ③ <登録> [収容台数設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ <取消> [収容台数設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタン
です。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

この章では、
「電話回線設定」メニューの設定について説明します。

「IP回線」画面	7-2
■ SIPサーバー接続共通設定	7-2
■ SIPサーバー設定 [KDDI 光ダイレクト]/[KDDIHPフォン]	7-4
■ SIPサーバー設定 [サーバー接続]	7-6
■ SIPサーバー設定一覧 [KDDI 光ダイレクト]/[KDDIHPフォン]	7-8
■ SIPサーバー設定一覧(追加番号) [KDDI 光ダイレクト]/[KDDIHPフォン]	7-9
■ SIPサーバー設定一覧 [サーバー接続]	7-11
■ SIPサーバー一括設定 [サーバー接続]	7-13
「回線グループ」画面	7-14
■ 回線スライド設定	7-14
■ 回線グループ設定	7-15
■ 回線グループ設定一覧	7-15
「Peer to Peer」画面	7-16
■ Peer to Peer共通設定	7-16
■ Peer to Peer設定	7-17
■ Peer to Peer設定一覧	7-18
「VoIP電話帳」画面	7-19
■ VoIP電話帳の保存と書き込み	7-19
■ VoIP電話帳への登録	7-21
■ VoIP電話帳登録一覧	7-22

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー接続共通設定

本製品が接続するSIPサーバーについての設定です。

SIPサーバー接続共通設定

接続先の選択: ① KDDI 光ダイレクト

市外局番: ②

③ ④

登録 取消

① 接続先の選択

IP電話へ接続するために、ご契約のIP電話接続業者が指定するSIPサーバーを選択します。
(出荷時の設定：KDDI 光ダイレクト)

接続先を変更すると、WAN側回線(P.5-4)が切断され、[SIPサーバー設定]項目(P.7-4)で設定した内容が消去されます。

◎KDDI 光ダイレクト

KDDIのSIPサーバーに接続して、「KDDI 光ダイレクト」サービスを使用するときに設定します。

※「ルーター設定」メニュー→「WAN接続先」画面→「回線種別設定」項目で、指定された固定IPアドレスを設定します。

◎KDDI-IPフォン

KDDIのSIPサーバーに接続して、「KDDI-IPフォン」サービスを使用するときに設定します。

※ホームゲートウェイ、またはオフィスゲートウェイは必要ありません。

※「ルーター設定」メニュー→「WAN接続先」画面→「回線種別設定」項目で、指定された固定IPアドレスを設定します。

◎サーバー接続

簡易中継サーバー(親機)の子機として、簡易中継サーバーと接続するとき設定します。

※2024年10月現在、VE-AG1(アナログ回線)、VE-IG1(ISDN回線)を本製品と接続する場合にも、この設定を使用します。

※本製品のWANモード(P.5-2)が、「1セグメント」に固定されます。

◎使用しない

相手のSIP URI(相手先のIPアドレス)を登録して、Peer to Peer(SIPサーバーを経由しない1対1での通話)で使用するとき設定します。

※本製品のWANモード(P.5-2)が、「1セグメント」に固定されます。

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー接続共通設定

SIPサーバー接続共通設定

接続先の選択: ① KDDI 光ダイレクト

市外局番: ②

③ 登録 ④ 取消

- ② **市外局番** 本製品をお使いになる地域に割り当てられている一般加入電話回線の市外局番を入力します。 (出荷時の設定: 空白)
【KDDI 光ダイレクト】
【KDDI-IPフォン】
「0」からはじまる半角2～7桁の番号を半角数字で入力します。
電話機から電話番号(市内局番+加入者番号)だけをダイヤルすると、ここを入力した市外局番をダイヤルした電話番号(市内局番+加入者番号)の先頭に付加して発信します。
※「0」からはじまる番号をダイヤルした場合を除きます。
※SIPサーバーへの発信を介して、市内にある一般加入電話の相手に発信するとき、この市外局番が必要になります。
- ③ **〈登録〉** [SIPサーバー接続共通設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ **〈取消〉** [SIPサーバー接続共通設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定 [KDDI 光ダイレクト]/[KDDI-IPフォン]

KDDIが提供する「KDDI 光ダイレクト」、または「KDDI-IPフォン」サービスに接続するための設定です。

SIPサーバー設定

番号: ① 1

IP電話番号: ②

番号種別: ③ 契約者番号 追加番号

ダイヤルイン番号: ④

SIPサーバーアドレス: ⑤

SIPサービスドメイン: ⑥

SIP URI: ⑦ sip:

ユーザーID: ⑧

パスワード: ⑨

⑩ 登録 ⑪ 取消

- ① 番号 電話番号に対するSIPサーバーの設定を登録する番号を選択します。
最大300件まで登録できます。
- ② IP電話番号 ご契約の回線業者から付与された契約回線番号、または追加で使用する電話番号を半角で入力します。
- ③ 番号種別 [IP電話番号]欄で入力した電話番号が契約回線番号か追加番号かを指定します。
(出荷時の設定：契約者番号)
「追加番号」をクリックしたときは、下記の画面を表示します。
追加番号を使用する回線の契約者番号を[契約者番号]欄で選択します。

番号: 1

IP電話番号: _____

番号種別: 契約者番号 追加番号

ダイヤルイン番号: _____

契約者番号: _____

SIP URI: sip: _____

- ④ ダイヤルイン番号 ご契約の回線業者から付与されたダイヤルイン番号を半角で入力します。
※[SIPサーバー設定]項目で、「IP電話番号」の設定が必要です。

ダイヤルインを利用するには

「KDDI 光ダイレクト」、または「KDDI-IPフォン」サービスと、ダイヤルインのご契約が必要です。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定 [KDDI 光ダイレクト]/[KDDI-IPフォン]

SIPサーバー設定

番号: ① 1

IP電話番号: ②

番号種別: ③ 契約者番号 追加番号

ダイヤルイン番号: ④

SIPサーバーアドレス: ⑤

SIPサービスドメイン: ⑥

SIP URI: ⑦ sip:

ユーザーID: ⑧

パスワード: ⑨

⑩ 登録 ⑪ 取消

- ⑤ SIPサーバーアドレス …………… ご契約の回線接続業者から指定のIPアドレス、またはホスト名を入力します。入力は、半角英数字で63文字までです。
- ⑥ SIPサービスドメイン …………… ご契約の回線接続業者から指定のドメイン名を入力します。入力は、半角英数字で63文字までです。
- ⑦ SIP URI …………… ご契約の回線接続業者から指定のSIP URIを入力します。入力は、半角英数字で63文字までです。 (出荷時の設定：空白)
- ⑧ ユーザーID …………… SIPサーバーへの接続認証に使用するIDです。指定されたものを入力してください。入力は、半角英数字で63文字までです。
- ⑨ パスワード …………… SIPサーバーへの接続認証に使用するパスワードです。指定されたものを入力してください。入力は、半角英数字で31文字までです。 ※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ⑩ <登録> …………… [SIPサーバー設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑪ <取消> …………… [SIPサーバー設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定 [サーバー接続]

簡易中継サーバー(親機)の子機として、簡易中継サーバーと接続するとき設定します。

SIPサーバー設定

番号:	① 1	▼	一括設定画面へ移動
IP電話番号:	② _____		
SIPサーバーアドレス:	③ _____		
SIPサービスドメイン:	④ _____		
ユーザーID:	⑤ _____		
パスワード:	⑥ _____		
登録時間:	⑦ 600	秒	
再登録周期:	⑧	通常時: 50 %	異常時: 50 ⑨ 10 %
登録 取消			

- ① 番号 電話番号に対するSIPサーバーの設定を登録する番号を選択します。最大300件まで登録できます。
〈一括設定画面へ移動〉
一括して新規登録するとき、クリックします。
クリックすると、「SIPサーバー一括設定」画面(P.7-13)に切り替わります。
- ② IP電話番号 簡易中継サーバーの子機として使用するIP電話番号を半角で入力します。入力は、任意の半角数字31桁までです。
※簡易中継サーバー(親機)側に登録されているときだけ、IP電話を使用できます。
- ③ SIPサーバーアドレス 簡易中継サーバー(親機)側のIPアドレス、またはホスト名を入力します。入力は、半角英数字で63文字までです。
- ④ SIPサービスドメイン 簡易中継サーバー(親機)側に設定されている[内線ドメイン]を入力します。入力は、半角英数字で63文字までです。
※内線ドメインは、簡易中継サーバー(親機)側の「PBX拡張設定」メニュー→「拡張」画面→「SIP拡張設定」項目で確認できます。(P.10-2)

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定 [サーバー接続]

SIPサーバー設定

番号: ① 1 一括設定画面へ移動

IP電話番号: ② _____

SIPサーバーアドレス: ③ _____

SIPサービスドメイン: ④ _____

ユーザーID: ⑤ _____

パスワード: ⑥ _____ 👁

登録時間: ⑦ 600 秒

再登録周期: ⑧ 通常時: 50 % 異常時: 50 ⑨ 10 %

登録 取消

- ⑤ ユーザーID 簡易中継サーバー(親機)側への接続認証に使用するIDです。
指定されたものを入力してください。
入力は、半角英数字で63文字までです。
- ⑥ パスワード 簡易中継サーバー(親機)側への接続認証に使用するパスワードです。
指定されたものを入力してください。
入力は、半角英数字で31文字までです。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ⑦ 登録時間 本製品の接続情報をSIPサーバー(親機)側で保持する時間です。
設定できる範囲は、「0」、「60 ~ 28800」(秒)です。(出荷時の設定: 600)
- ⑧ 再登録周期 本製品の接続情報を簡易中継サーバー(親機)側に再登録する周期を設定します。
(出荷時の設定: 通常時: 50、異常時: 50)
周期は、通常(接続成功)時と異常(接続失敗)時について、設定した[登録時間]欄に対する比で指定します。
設定できる範囲は、「10 ~ 90」(%)です。
- ⑨ <登録> [SIPサーバー設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑩ <取消> [SIPサーバー設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定一覧 [KDDI 光ダイレクト]/[KDDI-IPフォン]

[SIPサーバー設定]項目(P.7-4)で登録した契約者(IP電話)番号で接続するSIPサーバー設定の一覧です。発番号通知の設定、または登録したSIPサーバー設定の編集と削除にも使用します。

番号 ①	IP電話番号 ②	ダイヤルイン番号 ③	接続状況 ④	発番号通知 ⑤	⑧	⑨
1			接続中...	通知する ▼	接続状況の更新 ⑥	再接続 ⑦
					編集 ⑧	削除 ⑨

- ① **番号** [SIPサーバー設定]項目で登録した番号が表示されます。
※この欄では番号の変更はできません。
- ② **IP電話番号** [SIPサーバー設定]項目で登録した契約者(IP電話)番号が表示されます。
※この欄では契約者(IP電話)番号の変更はできません。
- ③ **ダイヤルイン番号** [SIPサーバー設定]項目で登録したダイヤルイン番号が表示されます。
※この欄ではダイヤルイン番号の変更はできません。
- ④ **接続状況** SIPサーバーとの接続状況が「接続中...」/「接続成功」/「接続失敗」で表示されます。
SIPサーバー未設定時は、何も表示されません。
設定内容を登録後、〈接続状況の更新〉をクリックしても「接続成功」と表示されない場合は、設定内容を確認してください。
- ⑤ **発番号通知** IP電話使用時、契約者(IP電話)番号を相手に通知する機能です。
(出荷時の設定：通知する)
◎通知しない
発信先に契約者(IP電話)番号を通知しません。
※相手側の端末によっては、通知される場合があります。
◎通知する
[SIPサーバー設定]項目で設定された契約者(IP電話)番号を発信先に通知します。
- ⑥ **〈接続状況の更新〉** 現在の登録内容を更新するとき、クリックします。
※クリックしても[接続状況]欄に「接続成功」と表示されない場合は、登録した設定内容をご確認ください。
- ⑦ **〈再接続〉** 登録されているSIPサーバーに再接続するとき、クリックします。
- ⑧ **〈編集〉** ボタンの左欄に表示された内容を修正するとき、クリックします。
[SIPサーバー設定]項目で、その内容を確認できます。
※[SIPサーバー設定一覧]項目では、[番号]、[IP電話番号]、[ダイヤルイン番号]以外は確認できません。
- ⑨ **〈削除〉** ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定一覧(追加番号) [KDDI 光ダイレクト]/[KDDI-IPフォン]

[SIPサーバー設定]項目(P.7-4)で登録した追加(IP電話)番号で接続するSIPサーバー設定の一覧です。発番号通知の設定、または登録したSIPサーバー設定の編集と削除にも使用します。

番号 ①	IP電話番号 ②	ダイヤルイン番号 ③	契約者番号 ④	発番号通知 ⑤	⑥	⑦
2				通知する ▼	編集	削除

⑧ 登録
⑨ 取消
⑩ 全削除

- ① 番号 [SIPサーバー設定]項目で登録した番号が表示されます。
※この欄では番号の変更はできません。
- ② IP電話番号 [SIPサーバー設定]項目で登録した追加(IP電話)番号が表示されます。
※この欄では追加(IP電話)番号の変更はできません。
- ③ ダイヤルイン番号 [SIPサーバー設定]項目で登録したダイヤルイン番号が表示されます。
※この欄ではダイヤルイン番号の変更はできません。
- ④ 契約者番号 [SIPサーバー設定]項目で登録した契約者(IP電話)番号が表示されます。
※この欄では契約者(IP電話)番号の変更はできません。
- ⑤ 発番号通知 IP電話使用時、追加(IP電話)番号を相手に通知する機能です。
(出荷時の設定：通知する)
 - ◎通知しない
発信先に追加(IP電話)番号を通知しません。
※相手側の端末によっては、通知される場合があります。
 - ◎通知する
[SIPサーバー設定]項目で設定された追加(IP電話)番号を発信先に通知します。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定一覧(追加番号) [KDDI 光ダイレクト]/[KDDI-IPフォン]

番号 ①	IP電話番号 ②	ダイヤルイン番号 ③	契約者番号 ④	発番号通知 ⑤	⑥	⑦
2				通知する ▼	編集	削除

⑧ 登録 ⑨ 取消 ⑩ 全削除

- ⑥ <編集> ボタンの左欄に表示された内容を修正するとき、クリックします。
[SIPサーバー設定]項目で、その内容を確認できます。
※ [SIPサーバー設定一覧(追加番号)]項目では、[番号]、[IP電話番号]、
[ダイヤルイン番号]、[契約者番号]以外は確認できません。
- ⑦ <削除> ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
※登録した内容をすべて削除するときは、<全削除>をクリックします。
- ⑧ <登録> [SIPサーバー設定一覧]項目で変更した内容を有効にするボタンです。
- ⑨ <取消> [SIPサーバー設定一覧]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻す
ボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
- ⑩ <全削除> 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。
※ [SIPサーバー設定一覧(追加番号)]項目と[SIPサーバー設定一覧]項目の
内容がすべて削除されます。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定一覧 [サーバー接続]

[SIPサーバー設定]項目(P.7-4)で登録したIP電話番号で接続するSIPサーバー設定の一覧です。発番号通知の設定、または登録したSIPサーバー設定の編集と削除にも使用します。

SIPサーバー設定一覧					6 接続状況の更新		7 再接続	
番号 1	IP電話番号 2	ダイヤルイン番号 3	接続状況 4	発番号通知 5	8	9		
1			接続中...	通知する	編集	削除		
					10 登録	11 取消	12 全削除	

- ① 番号 [SIPサーバー設定]項目で登録した番号が表示されます。
※この欄では番号の変更はできません。
- ② IP電話番号 [SIPサーバー設定]項目で登録したIP電話番号が表示されます。
※この欄ではIP電話番号の変更はできません。
- ③ ダイヤルイン番号 [SIPサーバー設定]項目で登録したダイヤルイン番号が表示されます。
※この欄ではダイヤルイン番号の変更はできません。
- ④ 接続状況 SIPサーバーとの接続状況が「接続中...」/「接続成功」/「接続失敗」で表示されます。
SIPサーバー未設定時は、何も表示されません。
設定内容を登録後、〈接続状況の更新〉をクリックしても「接続成功」と表示されない場合は、設定内容を確認してください。
- ⑤ 発番号通知 IP電話使用時、IP電話番号を相手に通知する機能です。
(出荷時の設定：通知する)
- ◎通知しない
発信先にIP電話番号を通知しません。
※相手側の端末によっては、通知される場合があります。
- ◎通知する
[SIPサーバー設定]項目で設定されたIP電話番号を発信先に通知します。
- ⑥ 〈接続状況の更新〉 現在の登録内容を更新するとき、クリックします。
※クリックしても[接続状況]欄に「接続成功」と表示されない場合は、登録した設定内容をご確認ください。
- ⑦ 〈再接続〉 登録されているSIPサーバーに再接続するとき、クリックします。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー設定一覧 [サーバー接続]

SIPサーバー設定一覧					6	7	
番号 ①	IP電話番号 ②	ダイヤルイン番号 ③	接続状況 ④	発番号通知 ⑤	8	9	
1			接続中...	通知する ▼	編集	削除	
					10	11	12
					登録	取消	全削除

- ⑧〈編集〉 ボタンの左欄に表示された内容を修正するとき、クリックします。
[SIPサーバー設定]項目で、その内容を確認できます。
※[SIPサーバー設定一覧]項目では、[番号]、[IP電話番号]、[ダイヤルイン番号]以外は確認できません。
- ⑨〈削除〉 ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
※登録した内容をすべて削除するときは、〈全削除〉をクリックします。
- ⑩〈登録〉 [SIPサーバー設定一覧]項目で変更した内容を有効にするボタンです。
- ⑪〈取消〉 [SIPサーバー設定一覧]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
- ⑫〈全削除〉 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。

7 電話回線設定

「IP回線」画面

電話回線設定 > IP回線

■ SIPサーバー一括設定 [サーバー接続]

接続するSIPサーバーを一括して登録する設定です。

[SIPサーバー設定]項目の[番号]欄で〈一括設定画面へ移動〉をクリックしたときに表示される画面です。

番号	IP電話番号	ユーザーID	パスワード	発番号通知
1				通知する

- ① **開始番号** 各電話番号に対するSIPサーバーの設定を一括登録するために、開始番号を設定します。
- ② **追加個数** [個別設定項目]欄で登録するSIPサーバーの件数を設定します。
- ③ **SIPサーバー設定項目** 各電話番号に対するSIPサーバーについて、入力します。
※各設定欄の説明は、[SIPサーバー設定]項目をご覧ください。
- ④ **個別設定項目** SIPサーバーに登録されている簡易中継サーバー(子機)ごとに、「IP電話番号」、「ユーザーID」、「パスワード」を入力し、「発番号通知」で通知する/しないを設定します。
※各設定欄の説明は、[SIPサーバー設定一覧]項目をご覧ください。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- ⑤ **〈登録〉** [SIPサーバー一括設定]項目で変更した内容を有効にするボタンです。
- ⑥ **〈取消〉** [SIPサーバー一括設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

7 電話回線設定

「回線グループ」画面

電話回線設定 > 回線グループ

■ 回線スライド設定

スライド動作を許可するSIPサーバーからのレスポンスコードを設定します。

※「IP回線」画面で設定する接続先(P.7-2)により、初期値が異なります。

特に問題がある場合を除いては、初期値でお使いください。

回線スライド設定	
SIPレスポンス番号	① 500 503
スライド動作を許可するSIPのレスポンスコードを設定します。	
	② 登録 ③ 取消

- ① SIPレスポンス番号 …………… スライド発信を許可するSIPサーバーからのレスポンスコードを登録します。最大10件まで登録できます。(出荷時の設定：500、503)
- ② <登録> …………… [回線スライド設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ <取消> …………… [回線スライド設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

7 電話回線設定

「Peer to Peer」画面

電話回線設定 > Peer to Peer

■ Peer to Peer共通設定

WAN側回線からのPeer to Peer(SIPサーバーを経由しない1対1での通話)着信を禁止、または許可します。

Peer to Peer共通設定

WAN側からの着信: ① 拒否

② ③

登録 取消

- ① **WAN側からの着信** …………… WAN側回線からのPeer to Peer着信について設定します。
(出荷時の設定: 拒否)
「許可」に設定すると、WAN側回線からのPeer to Peer着信を許可します。
※WAN側からの着信には、相手先SIP URIがVoIP電話帳に登録されている必要があります。
- ② **〈登録〉** …………… [Peer to Peer共通設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** …………… [Peer to Peer共通設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

7 電話回線設定

「Peer to Peer」画面

電話回線設定 > Peer to Peer

■ Peer to Peer設定

Peer to Peer (SIPサーバーを経由しない1対1での通話)で通話するとき、自分のSIP URIを設定します。
※画面は、設定例です。

Peer to Peer設定

番号: ① 1

SIP URI: ② sip: SR8000VK@telephone.icom.co.jp
SIP URIの@以前にはa~z、A~Zの文字を1文字以上含むように設定してください。

③ 登録 ④ 取消

- ① **番号** 自分の[SIP URI]を登録する番号を選択します。
最大1000件まで登録できます。
- ② **SIP URI** 自分のSIP URIを半角英数字(63文字以内)で入力します。
次のどちらかの書式で入力できます。
◎sip: [SIPユーザー名]@[本製品のIPアドレス]
◎sip: [SIPユーザー名]@[ホスト名.ドメイン名]
[SIPユーザー名]部分の入力について
任意の英数字を入力します。
※[SIPユーザー名]部分は、数字だけの入力としないで、必ず英字1文字以上を含むように入力(例:SR8000VK)してください。
[ホスト名.ドメイン名]部分について
◎通話相手のVoIP電話帳に、本製品のIPアドレスで登録されている場合は、本製品のLAN側IPアドレスを入力します。
◎通話相手のVoIP電話帳に、本製品のホスト名がダイナミックDNSや固定IPアドレスで登録されている場合は、通話相手から指定されたホスト名(例:telephone).ドメイン名(例:icom.co.jp)を半角英数字で入力します。
- ③ **〈登録〉** [Peer to Peer設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ **〈取消〉** [Peer to Peer設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

Peer to Peer通話とは

IP電話サービスなどを含む上位SIPサーバーを経由せずに、複数の収容内線子機間で通話できます。

たとえば、SR-8000VK複数稼働でのIP-VPN経由で接続された事業所間の通話や、1つのLAN内に複数設置された異なる部署間での通話ができます。

WAN側経路を使用した通話もできますが、この場合は、WAN側回線からのPeer to Peerの着信を許可に設定し、VoIP電話帳に相手のSIP URIを登録する必要があります。

Peer to Peer通話では、経路となる回線全体の通信品質(帯域や遅延)が通話品質に影響しますので、安定した回線での利用をおすすめします。

7 電話回線設定

「Peer to Peer」画面

電話回線設定 > Peer to Peer

■ Peer to Peer設定一覧

[Peer to Peer設定]項目で登録した[SIP URI]の表示、および編集する[SIP URI]を選択します。
※画面は、設定例です。

Peer to Peer設定一覧			
番号	SIP URI	1	2
1	sip:SR8000VK@telephone.icom.co.jp	編集	削除
			3 全削除

- ①〈編集〉 ボタンの左欄に表示された内容を修正するとき、クリックします。
[Peer to Peer設定]項目で、その内容を確認できます。
- ②〈削除〉 ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
- ③〈全削除〉 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。
※ [Peer to Peer設定一覧]項目の内容がすべて削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

「VoIP電話帳」画面

電話回線設定 > VoIP電話帳

■ VoIP電話帳の保存と書き込み

登録したVoIP電話帳をファイルに保存したり、保存したファイルの本製品に書き込んだりします。

VoIP電話帳の保存と書き込み

保存したファイルを書き込む: ① ファイルが選択されていません

CSV形式のファイルが書き込みできます。
ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。

文字コード: ② UTF-8 ▼

ファイルに保存する: ③ voiptbl.csv で保存されます。

① 保存したファイルを書き込む …

[ファイルに保存する]欄の操作で保存した「電話帳登録ファイル」(拡張子: csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。

「電話帳登録ファイル」の保存先を指定するため、〈ファイルの選択...〉をクリックします。

表示された画面から目的の電話帳登録ファイル(例: voiptbl.csv)を選択して、〈開く(O)〉をクリックします。

選択した電話帳登録ファイルの参照先が表示されたことを確認できたら、〈書き込み〉をクリックすると、[VoIP電話帳登録一覧]項目にその内容が表示されます。

書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。

※「管理」メニューの「設定の保存/復元」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、VoIP電話帳の内容も、その設定ファイルに保存されているVoIP電話帳の内容に上書きされますのでご注意ください。

② 文字コード ……………

[ファイルに保存する]欄で保存するファイルの文字コードを[UTF-8]、[Shift_JIS]から選択します。 (出荷時の設定: UTF-8)

③ ファイルに保存する ……………

[VoIP電話帳登録一覧]項目の内容を電話帳登録ファイル(例: adrtbl.csv)として、パソコンに保存します。

〈保存〉をクリックして、表示された画面にしたがって操作すると、電話帳登録ファイルを保存できます。

※保存した電話帳登録ファイルは、表計算ソフトウェアなどで編集できます。

また、保存した電話帳登録ファイルは、本製品を使用する複数の相手に書き込みできます。

7 電話回線設定

「VoIP電話帳」画面

電話回線設定 > VoIP電話帳

■ VoIP電話帳の保存と書き込み

電話帳登録ファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.7-19)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

「電話帳登録ファイル」(拡張子: csv)の書式

	A	B	C	D	E	F	G
1	#文字コードの自動解析に使用しているため、コメント文は消さないでください。						
2	#	SR-8000VK	VoIP電話帳	設定保存ファイル			
3	#	Firm Ver.					
4	#	File Ver.					
5	#登録番号	名前	電話番号	SIP URI	—	—	—
6	1	telephone	tel:7000	sip:icom7000@telephone.voip.net	voip		
7	2	telephone1	tel:7100	sip:icom7100@telephone.voip.net	voip		
8							
9							

A列：登録番号(1～3000)、重複しない番号を入力

B列：名前(半角30(全角15)文字以内)

C列：電話番号(tel:任意の数字(半角31桁以内)と記号(#、*))、文字列認識用のため、tel:につづけて入力

D列：SIP URI(半角英数字63文字以内)

通話相手のSIP URIの書式に合わせて、下記のどちらかで入力できます。

sip：[SIPユーザー名]@[相手先のIPアドレス]

sip：[SIPユーザー名]@[ホスト名.ドメイン名]

E列：発信経路("voip" 固定)

ご注意

◎A列、C列には、コメント行(A列の#ではじまる行)を除き、重複しない番号を入力してください。

上記画面の例では、1行～5行がコメント行です。

◎一度、[ファイルに保存する]欄(P.7-19)の操作で、CSVファイルとして保存してから、そのCSVファイルを表計算ソフトウェアなどで編集してください。

◎CSVファイルに含まれる改行コードがエラーの原因となりますので、他機種からの電話帳を移行する場合は、テキストエディターなどで不要な改行コードを削除してください。

7 電話回線設定

「VoIP電話帳」画面

電話回線設定 > VoIP電話帳

■ VoIP電話帳への登録

Peer to Peer(SIPサーバーを介さない1対1での通話)でIP電話する相手の電話番号を登録します。
※画面は、設定例です。

VoIP電話帳への登録

番号:	① 1	▼
名前:	② telephone	
電話番号:	③ 7000	
SIP URI:	④ sip: icom7000@telephone.voip.net	⑤ ⑥

登録 取消

- ① 番号 相手先電話番号を登録する番号を選択します。
最大3000件まで登録できます。
- ② 名前 相手の名前を任意の半角31文字(全角15)以内で入力します。
- ③ 電話番号 電話機からダイヤルする電話番号を半角で入力します。
※「110」、「118」、「119」は、登録できません。
※相手とPeer to Peerで通話するときは、任意の数字と記号(#、*)を半角31桁以内で入力します。
- ④ SIP URI 相手の[SIP URI]を半角英数字(63文字以内)で入力します。
[電話番号]欄に設定した電話番号を電話機からダイヤルをすると、[SIP URI]欄に入力した宛先に電話をかけます。
通話相手のSIP URIの書式に合わせて、下記のどちらかで入力できます。
◎sip: [SIPユーザー名]@[相手先のIPアドレス]
◎sip: [SIPユーザー名]@[ホスト名.ドメイン名]
- ⑤ <登録> [VoIP電話帳への登録]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[VoIP電話帳への登録一覧]項目に表示されます。
- ⑥ <取消> [VoIP電話帳への登録]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

7 電話回線設定

「VoIP電話帳」画面

電話回線設定 > VoIP電話帳

■ VoIP電話帳登録一覧

[VoIP電話帳への登録]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

番号	名前	電話番号	SIP URI	①	②
1	telephone	7000	sip.icom7000@telephone.voip.net	編集	削除
2	telephone1	7100	sip.icom7100@telephone.voip.net	編集	削除

③
全削除

- ① <編集> ボタンの左欄に表示された内容を修正するとき、クリックします。
- ② <削除> ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
- ③ <全削除> 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。
※ [VoIP電話帳登録一覧]項目の内容がすべて削除されます。
※ 全削除すると、元に戻せません。

この章では、
「PBX設定」メニューの設定について説明します。

「基本」画面	8-2
■ 基本設定	8-2
「特番」画面	8-4
■ 特番設定	8-4
■ 無線機呼出プレフィクス設定	8-10
■ 外線発信特番設定	8-10
「内線個別」画面	8-11
■ 内線設定	8-11
■ 内線設定一覧	8-14
■ 内線一括設定	8-15
■ 内線設定コピー	8-16
■ 内線個別詳細	8-17
■ 電話機詳細設定(IP200H)	8-19
■ 電話機詳細設定(IP200APP)	8-38
■ 電話機詳細設定(IP200PG)	8-44
■ 電話機詳細設定(IP210H)	8-63
■ 電話機詳細設定(VP-2100)	8-81
「内線代表」画面	8-94
■ 内線代表設定	8-94
■ 内線代表設定一覧	8-97
「着信」画面	8-98
■ 着信設定	8-98
「電話帳」画面	8-99
■ 設定グループ選択	8-99
■ 電話帳の保存と書き込み	8-100
■ 電話帳への登録	8-102
■ 電話帳登録一覧	8-104

「基本」画面

PBX設定 > 基本

■ 基本設定

登録された内線子機(IP電話機)で共通に使用する基本設定です。

基本設定	
転送切り戻り時間 ①	20 秒
鳴動時間 ②	30 秒
パークリコール時間 ③	120 秒
保留音 ④	保留音 1 ▼
保留音の音量 ⑤	<input checked="" type="radio"/> 0 dB <input type="radio"/> +6 dB
留守番電話機能 ⑥	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
TELポートの通信中転送 ⑦	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
留守番電話の保存先 ⑧	<input checked="" type="radio"/> 内部メモリー <input type="radio"/> USBメモリー
営業時間外設定機能 ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	<input type="button" value="10 登録"/> <input type="button" value="11 取消"/>

- ① 転送切り戻り時間 …………… 内線子機から転送に失敗したとき、元の通話に戻すまでの時間です。設定時間内に転送先が応答できなかったときは、転送を元の通話に戻します。設定できる範囲は、「0～99」(秒)です。 (出荷時の設定：20)
※「0」を設定した場合は、元の通話に戻りません。
- ② 鳴動時間 …………… 転送を切り戻したときに鳴動時間が経過すると、通話を切断します。設定できる範囲は、「1～99」(秒)です。 (出荷時の設定：30)
- ③ パークリコール時間 …………… 通話をパーク保留したとき、転送元の内線子機をリコール(再呼び出し)するまでの時間です。
パークリコール設定時間内に誰もパーク応答しなかったとき、通話をパーク保留した子機にリコールを開始します。 (出荷時の設定：120)
設定できる範囲は、「0～600」(秒)です。
※「0」を設定した場合は、リコールしません。
- ④ 保留音 …………… 内線子機で通話を保留したときの保留音を設定します。
保留音は、以下の全5種類から選択できます。 (出荷時の設定：保留音1)
 保留音1：エリーゼのために
 保留音2：グリーンスリーブス
 保留音3：峠の我が家
 保留音4：カノン
 保留音5：メヌエット
 オリジナル保留音1
 オリジナル保留音2
 オリジナル保留音3
 ※オリジナル保留音(1～3)を使用する場合は、指定フォーマット形式で保存されたオーディオファイルを、あらかじめ本製品に読み込ませておく必要があります。(取扱説明書[導入編]参照)
- ⑤ 保留音の音量 …………… 内線子機で通話を保留したとき、設定した[保留音](④)の音量を、「0dB」(小)、「+6dB」(大)から設定します。 (出荷時の設定：0dB)

「基本」画面

PBX設定 > 基本

■ 基本設定

基本設定

転送切り戻り時間	①	20	秒
鳴動時間	②	30	秒
パークリコール時間	③	120	秒
保留音	④	保留音 1	▼
保留音の音量	⑤	<input checked="" type="radio"/> 0 dB <input type="radio"/> +6 dB	
留守番電話機能	⑥	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	
TELポートの通信中転送	⑦	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	
留守番電話の保存先	⑧	<input checked="" type="radio"/> 内部メモリー <input type="radio"/> USBメモリー	
営業時間外設定機能	⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	

10 登録
11 取消

- ⑥ 留守番電話機能** 本製品の留守番電話機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
 「有効」に設定すると、登録された内線子機から留守番電話を操作できます。
 留守番電話の応答やリモコン用の電話番号は、ユーザー用の設定画面で設定
 できます。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)
 ※この欄を変更して登録すると、電話機との接続が切断されます。
 通話中の場合は、通話が切断されます。
- ⑦ TELポートの通信中転送** 本製品の[TEL] (1～4)ポートに接続するアナログ電話機でのフッキングに
 より、通話保留した相手を転送する機能です。 (出荷時の設定：無効)
 「有効」に設定すると、保留中に第2発信ができます。
 ※「無効」に設定している場合は、フッキングによる保留/解除ができます。
- ⑧ 留守番電話の保存先** 留守番電話の保存先を「内部メモリー」、または「USBメモリー」に設定します。
 (出荷時の設定：内部メモリー)
 ※この欄を変更して登録すると、電話機との接続が切断されます。
 通話中の場合は、通話が切断されます。
 ※赤文字で「USBメモリーが確認できません。USB設定またはメモリーの
 接続を確認してください。」と表示されている場合は、「管理ツール」画面の
 [USBメモリー]欄(P.11-10)を「有効」に設定したあとに、本製品の[USB]
 ポートにUSBメモリーを接続し、[USB]ランプの緑点灯を確認してから、
 再度「登録」をクリックしてください。
- ⑨ 営業時間外設定機能** 外線着信時の時刻による切り替え動作を設定します。(出荷時の設定：無効)
 ◎無効：昼夜切替など日付を指定して、詳細な切り替え動作設定ができます。
 ◎有効：簡単に切り替えやスケジュールの動作設定ができます。
 ※「有効」に設定すると、ユーザー用の設定画面に「営業時間外設定」
 が表示されます。
 ※この場合、「外線サービスグループ設定」、「昼夜切替」、「夜間転送
 先」は変更できません。
- 10 <登録>** [基本設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- 11 <取消>** [基本設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお「登録」をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 特番設定

[TEL] (1～4)ポートに接続されたアナログ電話機など、フレキシブルボタンのない電話機などで操作したり、内部処理をしたりするために割り当てる特別番号について設定します。

※特に問題がある場合を除いては、出荷時の設定でお使いください。

※任意の半角数字と半角記号(#、*)を3桁以内で入力します。

※緊急通報(110、118、119)の番号は使用しないでください。

※「0」ではじまる番号は使用しないでください。

※内線番号や内線代表番号と重複した数字は設定できません。

また、内線番号や内線代表番号、他の特番の冒頭部と重複した数字や記号も設定できません。

※②、⑥、⑪、⑮の設定は、同じ設定グループ番号が割り当てられた内線子機に対して有効です。

特番設定	
コールピックアップ	① *81
グループピックアップ	② **
指定ピックアップ	③ *80
パーク保留	④ *90
パーク応答	⑤ *91
外線キー応答	⑥ *92
音声呼出	⑦ *83
不在転送	⑧ *94

- ① コールピックアップ この欄で設定した番号をダイヤルすると、ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できます。 (出荷時の設定：*81)
- ② グループピックアップ この欄で設定した番号をダイヤルすると、同じ設定グループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できます。 (出荷時の設定：**)

※この欄で設定した番号につづけてピックアップグループ番号(P.9-15)をダイヤルすると、指定した設定グループへの呼び出しに代理応答できます。
- ③ 指定ピックアップ この欄で設定した番号につづけて内線番号をダイヤルすると、ダイヤルした内線番号の内線子機への呼び出しに代理応答できます。 (出荷時の設定：*80)
- ④ パーク保留 この欄で設定した番号につづけてパーク番号、またはパーク機能を割り当てたフレキシブルボタンの番号(01～24)をダイヤルすると、通話をパーク保留できます。 (出荷時の設定：*90)
- ⑤ パーク応答 この欄で設定した番号につづけてパーク番号、またはパーク機能を割り当てたフレキシブルボタンの番号(01～24)をダイヤルすると、ほかの内線子機でパーク保留した呼び出しに応答できます。 (出荷時の設定：*91)

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 特番設定

特番設定	
コールピックアップ :	① *81
グループピックアップ :	② **
指定ピックアップ :	③ *80
パーク保留 :	④ *90
パーク応答 :	⑤ *91
外線キー応答 :	⑥ *92
音声呼出 :	⑦ *83
不在転送 :	⑧ *94

⑥ 外線キー応答

同じ設定グループに所属する内線子機から、外線着信や外線保留に回答するときに使用する特番です。 (出荷時の設定：*92)

※着信している番号に、〈外線状態通知キー〉(P.9-129)を割り当てていない場合は、外線キー応答ができません。

※KX-HDVシリーズの着信に、ほかの内線子機から回答するときは、フレキシブルボタンがない内線子機でも使用できます。

◎KX-HDV230Nに着信した電話を、ほかの内線子機から回答する場合

同じ設定グループに所属する内線子機から、この欄で設定した番号(例：*92)につづけて、外線着信中、または外線保留中の〈外線状態通知キー〉のキー番号(01～24)をダイヤルすると、外線着信や外線保留に回答できます。

例：03番のキー番号に回答するには、「*9203」とダイヤルします。

◎フレキシブルボタンがない内線子機に着信した電話の場合

着信した内線子機に、フレキシブルボタンがないときは、KX-HDV230Nに着信したときのように、電話機本体で〈外線状態通知キー〉のキー番号(01～24)を識別できませんので、「*81」(コールピックアップ)で回答することをおすすめします。

⑦ 音声呼出

この欄で設定した番号につづけて内線番号をダイヤルすると、ダイヤルした内線番号の内線子機を音声で呼び出します。 (出荷時の設定：*83)

※KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100以外の電話機には、音声呼び出しできません。

⑧ 不在転送★

この欄で設定した番号をダイヤルすると、あらかじめ指定した内線子機ごとの転送先に着信が転送されます。 (出荷時の設定：*94)

※「*94」につづけて転送先の電話番号をダイヤルすると、指定した転送先に着信が転送されます。

※不在転送機能を解除するときは、「*94」だけをダイヤルします。

★「内線個別詳細」画面(P.8-17)、またはユーザー用の「内線個別詳細」画面で、内線子機ごとの転送先を設定できます。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 特番設定

特番設定	
不応答転送	9 *95
話中転送	10 *96
外線着信転送の切替	11 *97
昼夜切替	12 *98
留守電の開始と停止	13 *99
留守電の再生	14 *84

9 不応答転送* この欄で設定した番号をダイヤルすると、設定時間内に応答できない場合、あらかじめ指定した転送先に着信が転送されます。（出荷時の設定：*95）
 ※[*95]につづけて転送先の電話番号をダイヤルすると、指定した転送先に着信が転送されます。
 ※不応答転送機能を解除するときは、「*95」をダイヤルします。

10 話中転送* この欄で設定した番号をダイヤルすると、内線通話中に、ほかの内線から着信した場合、あらかじめ指定した転送先に着信が転送されます。（出荷時の設定：*96）
 ※[*96]につづけて転送先の電話番号をダイヤルすると、指定した転送先に着信が転送されます。
 ※話中転送機能を解除するときは、「*96」だけをダイヤルします。

11 外線着信転送の切替 指定した外線着信転送の「有効」/「無効」を切り替えます。（出荷時の設定：*97）
 ※この機能を使用する場合、フレキシブルボタンに外線着信転送切替の割り当てが必要です。
 ※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で回線（電話番号）ごとの転送先を設定できます。（「ユーザー設定画面マニュアル」参照）

KX-HDV230Nと同じ設定グループに所属する内線子機は、「*97」につづけて、外線着信転送切替(P.9-136)を割り当てたKX-HDV230Nのフレキシブルボタン番号(01～24)をダイヤルします。（例：*9724）

★「内線個別詳細」画面(P.8-17)、またはユーザー用の「内線個別詳細」画面で、内線子機ごとの転送先を設定できます。（「ユーザー設定画面マニュアル」参照）

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 特番設定

特番設定	
不応答転送	9 *95
話中転送	10 *96
外線着信転送の切替	11 *97
昼夜切替	12 *98
留守電の開始と停止	13 *99
留守電の再生	14 *84

- 12 昼夜切替** …………… 外線からの着信先を、昼間と夜間で切り替えます。（出荷時の設定：*98）
 「*98」につづけて外線サービスグループ番号(01～12)(P.10-18)をダイヤルすると、指定の外線サービスグループ番号に対する着信動作の設定を昼間から夜間、または夜間から昼間に変更できます。
 ※「*98」をダイヤルすると、すべての外線サービスグループに対する着信動作の設定(昼間から夜間、または夜間から昼間)を一括して変更できます。
 ※回線ごとの夜間転送先は、「夜間転送先」画面(P.10-21)で設定できます。
 ※切替状況は、ユーザー用の「昼夜切替設定」画面で確認できます。（「ユーザー設定画面マニュアル」参照）
- 13 留守電の開始と停止** …………… この欄で設定した番号につづけて留守電ボックス番号(01～10)をダイヤルすると、ダイヤルした番号の留守電ボックスの留守番電話機能を開始、または停止できます。（操作例：*9901）（出荷時の設定：*99）
- 14 留守電の再生** …………… この欄で設定した番号につづけて、留守電ボックス番号(01～10)をダイヤルすると、ダイヤルした番号の留守電ボックスの留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインできます。（操作例：*8401）（出荷時の設定：*84）
 ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。
 ※留守番電話操作メニュー(メインメニュー)の詳細については、「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 特番設定

特番設定	
回線閉塞の開始と停止	15 *87
着信おまたせの開始と停止	16 *86
システム特番	17 *82 *93 *85 *88 *89 *76 *77

15 回線閉塞の開始と停止 ……………

回線閉塞機能を開始、または停止するときに使用する特番です。

(出荷時の設定：*87)

回線閉塞機能とは、通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。

同じ設定グループに所属する電話機から、この欄で設定した番号につづけて、外線状態通知キーを割り当てたフレキシブルボタンの番号(01～24)をダイヤルすると、選択した回線について回線閉塞機能を開始、または停止できます。

回線閉塞機能が動作しているあいだは、選択した回線の〈外線状態通知キー〉が赤色に点灯して、外線からの着信を拒否します。

※この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、フレキシブルボタンに〈外線状態通知キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-129)

回線閉塞機能を設定したときは

ほかの機能と回線閉塞機能の設定が重複した場合は、下記のような条件で動作します。

回線閉塞機能が優先される機能は

完全に回線が閉塞された状態では、話中になるため、下記の機能は同時に利用できません。

- ◎着信キューイング機能
- ◎着信おまたせ機能
- ◎着信転送機能

回線閉塞機能より優先される機能は

- ◎迷惑電話お断り機能
- ◎非通知着信拒否機能
- ◎留守番電話機能(ただし、該当する留守電ボックスが開始状態で、外線着信転送機能がOFFの場合)

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 特番設定

特番設定	
回線閉塞の開始と停止	15 *87
着信おまたせの開始と停止	16 *86
システム特番	17 *82 *93 *85 *88 *89 *76 *77

16 着信おまたせの開始と停止 ……

この欄で設定した番号をダイヤルすると、通話中など登録した内線子機が設定した時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待っていただく着信おまたせ機能を開始、または停止できます。（出荷時の設定：*86）
※ユーザー用の「着信おまたせ設定」画面で、回線ごとに使用するパターンを設定します。

※KX-HDV230Nで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、フレキシブルボタンに〈外線状態通知キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。（P.9-129）

※着信おまたせ機能で、オリジナルおまたせメッセージをご利用になる場合は、USBメモリーからオーディオファイルを本製品に読み込ませる必要があります。ファイル形式や操作方法など、詳しくは取扱説明書[導入編]をご覧ください。

17 システム特番 ……………

本製品のシステム内部で使用する特番です。

（出荷時の設定：*82 *93 *85 *88 *89 *76 *77）

これらの番号をほかの特番や内線番号として使用したい場合には、重複しない番号に変更してください。

※システム特番は、登録した内線子機からダイヤルする番号ではありません。

「特番」画面

PBX設定 > 特番

■ 無線機呼出プレフィクス設定

内線子機からのダイヤル操作やDID(Direct Inward Dialing)機能を使用して、無線機を呼び出す場合に使用するプレフィクスを設定します。

「プレフィクス+無線機の自局番号(個別番号)」をダイヤルすると、無線機を個別呼び出し、「プレフィクス+無線機のグループ番号」をダイヤルすると、無線機をグループ呼び出し、「プレフィクス(全体呼出)」をダイヤルすると、無線機を全体呼び出しできます。

無線機呼出プレフィクス設定

個別呼出 : * _____
グループ呼出 : # _____
全体呼出 : ** _____

PBX設定 > 特番

■ 外線発信特番設定

「内線個別」画面(P.8-11)で登録した回線捕捉と異なる回線を使用して外線へ発信するための番号です。

外線発信特番設定

外線電話番号	回線	プレフィクス
03-1234-5678	IP回線	_____

プレフィクス……………

回線(電話番号)ごとに、任意の半角数字と半角記号(#、*)を7桁以内で入力します。

[プレフィクス]を付けて発信すると、選択した回線に切り替えて発信できます。

※ほかの特番や内線番号などと重複しないように設定してください。

回線グループ機能について

上記の例で、「回線グループ1」に設定した[プレフィクス]を付けて発信すると、その回線グループ(P.7-15)に登録した複数の回線(電話番号)から、空いている回線を自動的に捕捉できます。

※[外線発信特番設定]項目に表示されるのは、回線グループ番号と回線だけです。

※登録されている回線グループは、「電話回線設定」メニューの「回線グループ」画面(P.7-15)で確認できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線設定

内線子機を新規登録するとき、または設定内容を編集するときを使用します。

※内線番号と内線代表番号は重複して登録できません。

登録されている内線代表番号は、「内線代表」画面の「内線代表設定一覧」項目(P.8-97)で確認できます。

内線設定

種別: ① KX-HDVシリーズ ▼

番号: ② 6 ▼

名前: ③ _____

内線番号: ④ _____

パスワード: ⑤ _____ ●

※複雑なパスワードを推奨します。

- ① 種別** 本製品に接続している機器(IP200H、IP200APP、IP200PG、IP210H、VP-2100、KX-UTシリーズ、KX-HDVシリーズ、標準SIPフォン、標準SIPフォン(WLAN)、TEL1、TEL2、TEL3、TEL4、無線機コントローラー電話接続)を選択します。

※「TEL1」～「TEL4」は、アナログ電話機のことです。

アナログ電話機を本製品の「TEL」(1～4)ポートに接続したとき、「TEL1」～「TEL4」を指定します。

※機種を指定して登録する場合は、パナソニック社製IP電話機は「KX-UTシリーズ」、「KX-HDVシリーズ」、IP200Hは「IP200H」、IP200APPは「IP200APP」、IP200PGは「IP200PG」、IP210Hは「IP210H」、VP-2100は「VP-2100」、無線IP携帯は「標準SIPフォン(WLAN)」を選択します。
- ② 番号** 内線子機を登録するために、「1」～「150」*の番号を選択します。

※「種別」欄で「TEL1」～「TEL4」、「無線機コントローラー電話接続」を選択したときは表示されません。

★登録できる台数は「システム設定」メニューで変更できます。
- ③ 名前** 登録する内線子機の名前を、任意の半角31(全角15)文字以内で入力します。

※「種別」欄で「TEL1」～「TEL4」を選択したときは表示されません。
- ④ 内線番号** 登録する内線子機の内線番号を、半角数字2桁～7桁で入力します。
- ⑤ パスワード** 登録した内線子機が、本製品に接続するとき使用するパスワードを、半角英数字31文字以内で入力します。

※ご使用になるIP電話機側のパスワードと一致しない場合は、本製品の内線子機として使用できませんのでご注意ください。

※「種別」欄で「TEL1」～「TEL4」、「無線機コントローラー電話接続」を選択したときは表示されません。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線設定

※上図は、[ユーザー画面の個別詳細設定]欄を「有効」に設定したときに表示される画面です。

- 6 ユーザー画面の個別詳細設定** … ユーザー用の設定画面でも、内線個別詳細(P.8-17)の設定を変更できるようにする設定です。 (出荷時の設定：無効)
 ※「有効」にすると、個別詳細設定のパスワード(7、8)が表示されます。
 ※[種別]欄(P.8-11)で「無線機コントローラー電話接続」を選択したときは表示されません。
- 7 個別詳細設定のパスワード** …… 登録した内線子機が、ユーザー用の設定画面(内線個別詳細)にアクセスするときに使用するパスワードを、半角英数字31文字以内で入力します。
- 8 個別詳細設定のパスワード変更** ユーザー用の設定画面で、個別詳細設定のパスワードを変更できるようにする設定です。 (出荷時の設定：無効)
- 9 SIP外線へ内線番号表示** …… SIPサーバーへ発信時、発信先に内線番号を通知する機能です。 (出荷時の設定：しない)
 ◎**しない**：「IP回線」画面→「SIPサーバー設定一覧」項目で設定された発信番号通知にしたいがいます。
「通知しない」の場合
 発信先にIP電話番号を通知しません。
 ※相手側の端末によっては通知される場合があります。
「通知する」の場合
 「SIPサーバー設定」項目で設定されたIP電話番号を接続先に通知します。
 ◎**する**：「内線設定」項目で設定された内線番号を発信先に通知します。
- 10 IP回線** …… プリセット発信時に使用するIP回線の電話番号、または回線グループ(P.7-15)を選択します。 (出荷時の設定：捕捉しない)
- 11 Peer to Peer** …… Peer to Peer発信時に使用するSIPユーザー名を選択します。 (出荷時の設定：捕捉しない)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線設定

※上図は、[ユーザー画面の個別詳細設定]欄を「有効」に設定したときに表示される画面です。

- 12 留守電ボックス** …………… 登録する内線子機が使用する留守電ボックスを、「使用しない」、「ボックス1」～「ボックス30」から選択します。（出荷時の設定：ボックス1）
KXシリーズの電話機にある<メッセージ>を押したときに選択されるボックス番号です。
※[種別]欄(P.8-11)で「IP200PG」を選択したときは表示されません。
- 13 WAN側からの接続**…………… WAN側回線からの接続について設定します。（出荷時の設定：禁止）
「許可」に設定すると、WAN側回線からの接続を許可します。
※「許可」に設定した場合、特に[パスワード]欄に入力するパスワードは、長く複雑なものに設定することをおすすめします。
※[種別]欄(P.8-11)で「TEL1」～「TEL4」、「無線機コントローラー電話接続」を選択したときは表示されません。
- 14 MACアドレス**…………… ご使用になるパナソニック社製IP電話機(KXシリーズ)のMACアドレスを入力します。
※[種別]欄(P.8-11)で「KX-UTシリーズ」、「KX-HDVシリーズ」以外を選択していると、MACアドレスを入力できません。
※MACアドレスの入力を間違えると、電話機を利用できません。
MACアドレスの確認方法については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。
- 15 <登録>**…………… [内線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[内線設定一覧]項目に表示されます。
- 16 <取消>**…………… [内線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線設定一覧

[内線設定]項目(P.8-11)で登録した内線子機(IP電話機)の内線番号と機種などが表示されます。
 ※登録されている内線代表番号は、「内線代表」画面の[内線代表設定一覧]項目(P.8-97)で確認できます。
 ※画面は、設定例です。

内線設定一覧										
1 <input type="checkbox"/> すべて	番号	名前	内線番号	種別	設定グループ	共通項目の設定	詳細設定			
<input type="checkbox"/>	1	受付1	31	標準SIPフォン	設定グループ1 ▼	-	内線個別詳細			編集 削除
<input type="checkbox"/>	2	受付2	32	標準SIPフォン	設定グループ1 ▼	-	内線個別詳細			編集 削除
<input type="checkbox"/>	6	受付6	36	IP200H	設定グループ1 ▼	本製品の設定 ▼	内線個別詳細	電話機詳細	編集	削除

- 1 子機選択ボックス** …………… 複数の内線子機を削除するとき、または複数の内線子機に設定をコピーするとき、ボックスにチェックマークを入れます。
 ※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 設定グループ** …………… 本製品に登録された内線子機に対して、設定グループを設定します。
 設定できる範囲は、「設定グループ1～設定グループ30」までです。
 (出荷時の設定：設定グループ1)
 設定グループごとに、プログラマブルキーの機能割り当てを使用できます。
 ※プログラマブルキーに割り当てた機能を、ほかの内線子機から、特番+ボタン番号指定操作で利用する場合(例：外線キー保留への応答はパーク応答)は、設定グループを同じ設定にしてください。
- 3 共通項目の設定** …………… 共通項目の設定について選択します。 (出荷時の設定：本製品の設定)
 「他製品の設定」を選択した場合は、WLAN無線機、IP電話機と共通する項目は「電話機詳細設定」画面(P.8-19)で非表示になります。
 設定を変更すると、WLAN無線機、IP電話機を含む、すべての設定を再取得します。
- 4 <内線個別詳細>** …………… クリックすると[内線個別詳細]項目が表示されます。(P.8-17)
- 5 <電話機詳細>** …………… クリックすると[電話機詳細]項目が表示されます。(P.8-19)
- 6 <編集>** …………… クリックすると、ボタンの左欄に表示された内線番号(内線子機)の内容を[内線設定]項目で編集できます。
- 7 <削除>** …………… クリックすると、ボタンの左欄に表示された内線番号に対する登録を削除します。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線一括設定

連番で内線番号を一括登録できます。

内線一括設定

種別: ① IP200H

一括登録: ② _____ ~ _____

指定した範囲の連番を内線番号として登録を行います。

追加

① 種別 一括設定する種別を選択します。 (出荷時の設定：IP200H)

② 一括登録 連番で一括に登録したい内線番号の範囲を入力します。
〈追加〉
クリックすると、入力した範囲(例：41～45)の内線番号が[内線設定一覧]項目に登録されます。
※入力した範囲で、すでに登録された内線番号がある場合は、「内線番号：設定が重複しています」が表示されます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線設定コピー

設定内容をほかの内線番号に一括コピーできます。
※画面は、設定例です。

内線設定コピー

設定コピー: ① コピー元: 302 (IP200H) ▼ コピー

コピー先

すべて 31 (標準SIPフォン) 32 (標準SIPフォン) 33 (標準SIPフォン)

34 (標準SIPフォン) 301 (KX-HDVシリーズ) 302 (IP200H)

コピーする設定項目

種別

SIP外線へ内線番号表示

IP回線

Peer to Peer

留守電ボックス

WAN側からの接続

電話機詳細設定

※種別もコピーされます。

① 設定コピー

登録した内線子機の設定内容をほかの内線子機にコピーできます。
※コピー元を「IP200H」、「IP200APP」、「IP200PG」、「IP210H」、または「VP-2100」に設定すると、「電話機詳細設定」が表示されます。

【コピーのしかた】

1. [内線設定]項目で、コピー元の子機(例: 31)について設定します。
2. [設定コピー]欄で、コピー先の内線子機(例: 41～45)のチェックボックスをクリックします。
3. [設定コピー]欄で、コピー元の内線子機(例: 31)を選択し、コピーする設定項目のチェックボックスをクリックします。
4. [設定コピー]欄の<コピー>をクリックします。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線個別詳細

内線子機の着信転送を設定します。

[内線設定一覧]項目の[詳細設定]欄(P.8-14)で<内線個別詳細>をクリックしたときに表示される画面です。

※「内線個別」画面→[内線設定]項目の[ユーザー画面の個別詳細設定]欄を「有効」に設定すると、ユーザー画面でも設定できます。

※画面は、設定例です。

内線個別詳細

種別：標準SIPフォン
 番号：1
 名前：受付1
 内線番号：31

不在転送

転送設定：① 転送しない 指定
 転送先番号：② _____

不応答転送

転送設定：③ 転送しない 指定
 転送先番号：④ _____
 呼び出し時間：⑤ 5 ▼ 秒

話中転送

未レジスト時の即時転送：⑥ 無効 有効

転送設定：⑦ 転送しない 指定
 転送先番号：⑧ _____

内線代表着信時の転送

転送設定：⑨ 転送しない 転送する

10 登録
11 取消

不在転送

① 転送設定 登録した内線子機が圏外などで着信できないとき、または離席などで電話に出られないときの転送を設定します。 (出荷時の設定：転送しない)

② 転送先番号 登録した内線子機の転送先になる電話番号(ほかの内線番号や携帯電話の番号など)を、半角数字31桁以内で入力します。 (出荷時の設定：空白)

不応答転送

③ 転送設定 登録した内線子機が設定した呼び出し時間内に応答できないときの転送を設定します。 (出荷時の設定：転送しない)

④ 転送先番号 登録した内線子機の転送先になる電話番号(ほかの内線番号や携帯電話の番号など)を、半角数字31桁以内で入力します。 (出荷時の設定：空白)

⑤ 呼び出し時間 転送が開始されるまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：5)
 設定できる時間は、「5」～「60」(5秒刻み)です。

⑥ 未レジスト時の即時転送 登録した内線子機が未レジスト状態のとき、不応答転送先に即時転送するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 内線個別詳細

内線個別詳細

種別: 標準SIPフォン
 番号: 1
 名前: 受付1
 内線番号: 31

不在転送
 転送設定: ① 転送しない 指定
 転送先番号: ② _____

不応答転送
 転送設定: ③ 転送しない 指定
 転送先番号: ④ _____
 呼び出し時間: ⑤ 5 秒

話中転送
 未レジスト時の即時転送: ⑥ 無効 有効
 転送設定: ⑦ 転送しない 指定
 転送先番号: ⑧ _____

内線代表着信時の転送
 転送設定: ⑨ 転送しない 転送する

話中転送

⑦ 転送設定 登録した内線子機が通話中に、ほかの内線子機から着信したときの転送を設定します。
 (出荷時の設定：転送しない)
 ※通話中の外線着信では動作しません。

⑧ 転送先番号 登録した内線子機の転送先になる電話番号(ほかの内線番号や携帯電話の番号など)を、半角数字31桁以内で入力します。
 (出荷時の設定：空白)

内線代表着信時の転送

⑨ 転送設定 内線代表番号に着信した場合の転送を設定します。
 (出荷時の設定：転送しない)
 ※種別が「IP200APP」の場合は、表示されない項目です。

⑩ <登録> [内線個別詳細]項目で設定した内容を有効にするボタンです。

⑪ <取消> [内線個別詳細]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

登録されたIP200Hごとに、画面表示やキー操作音などを設定します。
 ※設定変更後は、IP200Hの再起動が必要です。
 ※画面は、設定例です。

電話機詳細設定

内線番号: ① 35
 種別: IP200H

表示部

表示項目: ② 日付 名前
 バックライト: ③ 操作時点灯
 バックライト輝度: ④ 暗い 明るい
 電話着信: ⑤ 無効 有効
 コントラスト: ⑥ 8

不在着信表示

不在着信のディスプレイ表示: ⑦ 無効 有効

機能設定

Bluetooth: ⑧ 無効 有効
 Bluetooth 自動接続: ⑨ 無効 有効

- ① 内線番号/種別 [内線設定一覧]項目で選択した内線子機の内線番号と種別が表示されます。

- 表示部**
- ② 表示項目 IP200Hの待受画面に日付を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。 (出荷時の設定：日付)
 ★「内線個別」画面で、名前が登録されていない場合は、空白になります。
- ③ バックライト IP200H使用時のバックライト機能を設定します。 (出荷時の設定：操作時点灯)
 ◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
 ◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
 ◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。
- ④ バックライト輝度 IP200Hの表示部と、各キーのバックライトの明るさを「暗い」、「明るい」から設定します。 (出荷時の設定：明るい)
- ⑤ 電話着信 着信時、IP200Hのバックライトを青点滅させて通知する機能です。 (出荷時の設定：無効)
- ⑥ コントラスト IP200Hの画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定：8)
 設定できる範囲は、1(薄い)～16(濃い)です。

- 機能設定**
- ⑦ 不在着信のディスプレイ表示 ... 「不在着信」を待受画面に表示するかどうかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

内線番号: ① 35
種別: IP200H

表示部

表示項目: ② 日付 名前
バックライト: ③ 操作時点灯
バックライト輝度: ④ 暗い 明るい
電話着信: ⑤ 無効 有効
コントラスト: ⑥ 8

不在着信表示

不在着信のディスプレイ表示: ⑦ 無効 有効

機能設定

Bluetooth: ⑧ 無効 有効
Bluetooth自動接続: ⑨ 無効 有効

※ [Bluetooth] 欄を「無効」にした場合、Bluetooth機能関連の設定は表示されません。

機能設定

- ⑧ Bluetooth IP200HとBluetooth機能対応機器を接続するときに設定します。
(出荷時の設定: 無効)
- ⑨ Bluetooth自動接続 Bluetooth機能有効時(⑧)、ペアリング済みの機器と自動接続するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

キーロック設定

解除時のパスワード入力: ⑩ 無効 有効
 解除用パスワード: 0000
 パスワード入力失敗回数: 制限なし
 オートキーロック: ⑪ 無効
 起動時のキーロック: ⑫ 無効 有効

キー操作音

キー操作音: ⑬ 無効 有効
 キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: ⑭ 0 dB

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: ⑮ 無効 有効
 側音: ⑯ 無効 有効
 エコーキャンセラー: ⑰ 無効 有効

※[解除時のパスワード入力]欄を「無効」にした場合、キーロック関連の欄は表示されません。

キーロック設定

⑩ 解除時のパスワード入力/解除用パスワード

パスワード入力失敗回数 …………… IP200Hのキーロックを解除するときに、パスワードを使用するかどうかの設定です。 (出荷時の設定：無効)
 解除用パスワードを設定するときは、任意の半角数字と半角記号(#、*)を10桁以内で入力します。
 ※初期設定では、パスワード入力失敗回数は制限していませんが、必要に応じて、回数制限(5回/10回)を設定してください。ただし、指定した回数を超えた場合、パスワード入力ができなくなります。

【パスワード入力制限時の解除方法】

解除用パスワードを変更、またはパスワード入力失敗回数を「制限なし」に変更してください。
 ※解除パスワードを変更した場合は、パスワードの入力失敗回数がリセットされます。

⑪ オートキーロック ……………

一定時間、IP200Hの操作がない場合、自動的にキーロックする機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
 キーロックされるまでの時間は、「15秒、30秒、1分、3分、5分、10分」の範囲で設定します。

⑫ 起動時のキーロック ……………

IP200H起動時、キーロック状態にするかどうかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

キーロック設定

解除時のパスワード入力: ⑩ 無効 有効
 解除用パスワード: 0000
 パスワード入力失敗回数: 制限なし
 オートキーロック: ⑪ 無効
 起動時のキーロック: ⑫ 無効 有効

キー操作音

キー操作音: ⑬ 無効 有効
 キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: ⑭ 0 dB

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: ⑮ 無効 有効
 側音: ⑯ 無効 有効
 エコーキャンセラー: ⑰ 無効 有効

キー操作音

⑬ キー操作音/キー操作音量 …………… IP200Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
 (出荷時の設定: 有効)

◎無効: 確認音が鳴りません。
 ◎有効: 確認音が鳴ります。
 「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「16」の範囲で設定します。
 (出荷時の設定: 10)
 ※「0」を設定した場合は、IP200H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

⑭ マイクゲイン …………… マイクロホンの感度を設定します。
 (出荷時の設定: 0)
 設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
 ※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
 また、周囲の雑音が小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

キーロック設定

解除時のパスワード入力: 無効 有効
 解除用パスワード: 0000
 パスワード入力失敗回数: 制限なし
 オートキーロック: 無効 有効
 起動時のキーロック: 無効 有効

キー操作音

キー操作音: 無効 有効
 キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: 0 0 dB

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: 無効 有効
 側音: 無効 有効
 エコーキャンセラー: 無効 有効

ヘッドセット

15 ノイズキャンセラー ノイズキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 ◎無効: ノイズキャンセラー機能が動作しません。
 ◎有効: ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が減り、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
 ※本体/イヤホンマイク/ヘッドセット共通設定です。

16 側音 イヤホンマイク(別売品)接続時の側音機能を設定します。 (出荷時の設定: 無効)
 「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声が聞こえるようになり、話しやすくなります。

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: 無効 有効
 側音: 無効 有効
 側音音量: 10

側音機能を使用するときの音量は、「0」(最小)~「16」(最大)の範囲で設定します。 (出荷時の設定: 10)
 ※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

17 エコーキャンセラー エコーキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
 ※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
 ※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動: 18 無効 有効

マイク経路スイッチ: 19 自動 ▼

AF出力: 20 ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断: 21 無効 有効

オプション制御: 22 電話操作 ▼

マイクレベルオフセット: 23 10 ▼

AFレベルオフセット: 24 15 ▼

エコーキャンセラー: 25 無効 有効

エコーキャンセラー 入力ゲイン: 26 0 ▼ dB

エコーキャンセラー 音声遅延: 27 35 ミリ秒

ノイズキャンセラー: 28 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用): 29 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-20)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク

- 18 本体ボリューム連動** …………… Bluetooth接続時に使用するボリューム連動機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、Bluetooth接続しているIP200Hの[音量]でも音量を調整できます。
- 19 マイク経路スイッチ** …………… Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、使用するマイクロホンの設定をします。
(出荷時の設定：自動)
- ◎**自動**
通話時、Bluetooth機器 > 別売品マイクロホン(外部マイク) > 無線機本体の優先度でマイクを使用します。
- ◎**無線機マイク**
通話時、無線機本体のマイクを使用します。
別売品マイクロホン(外部マイク)が接続されている場合は、外部マイクを使用します。
※PTT付き別売品マイクロホンの場合は、発信時にPTT操作が必要です。
- ◎**Bluetoothマイク**
通話時、Bluetooth機器のマイクを使用します。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動: 18 無効 有効

マイク経路スイッチ: 19 自動

AF出力: 20 ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断: 21 無効 有効

オプション制御: 22 電話操作

マイクレベルオフセット: 23 10

AFレベルオフセット: 24 15

エコーキャンセラー: 25 無効 有効

エコーキャンセラー 入力ゲイン: 26 0 dB

エコーキャンセラー 音声遅延: 27 35 ミリ秒

ノイズキャンセラー: 28 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用): 29 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-20)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

20 AF出力

Bluetooth機器を接続している場合の、無線機本体からの音声出力を設定します。(出荷時の設定：ヘッドセットのみ)

◎ヘッドセットのみ：

無線機本体のスピーカーをOFFにし、Bluetooth機器からだけ音声を出力します。

◎ヘッドセット+スピーカー：

無線機本体のスピーカーをONにし、Bluetooth機器と無線機から音声を出力します。

21 自動切断

BluetoothヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンク★を自動で切断する機能を設定します。(出荷時の設定：無効)

「有効」に設定すると、Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が一定時間つづいたとき、ヘッドセットとのSCOリンクを自動で切断します。

自動切断時間は、「0～10」秒の範囲で設定します。

※SCOリンクを切断中に音声を送受信したり、ビープ音が鳴ったりしたときは、自動でSCOリンクを接続します。

※「有効」に設定するとSCOリンクが自動で切断されるため、VOX機能は使用できません。特に必要がない場合は、「無効」に設定して使用されることをおすすめします。

★音声通信用のBluetoothリンク

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動: 18 無効 有効

マイク経路スイッチ: 19 自動

AF出力: 20 ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断: 21 無効 有効

オプション制御: 22 電話操作

マイクレベルオフセット: 23 10

AFレベルオフセット: 24 15

エコーキャンセラー: 25 無効 有効

エコーキャンセラー 入力ゲイン: 26 0 dB

エコーキャンセラー 音声遅延: 27 35 ミリ秒

ノイズキャンセラー: 28 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用): 29 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-20)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

22 オプション制御

BluetoothヘッドセットでPTTに相当するボタンを押した場合の動作を選択します。
(出荷時の設定：電話操作)

※この機能を使用できる機器については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

◎自動

使用する無線機の状態により、PTT操作の動作が異なりますが、基本的には無線送信、電話着信時は応答、電話通話時は切断になります。

◎電話操作

常に電話操作(待ち受け時は電話発信画面に移行、電話着信時は応答、電話通話時は切断)になります。

◎無線送信

常に無線送信になります。

23 マイクレベルオフセット

IP200H本体やIP200Hに接続したマイクロホンに対して、Bluetoothマイクロホンの感度が高すぎたり低すぎたりするときに、Bluetoothマイクロホンの感度を調整します。
(出荷時の設定：10)
設定できる範囲は、「0～20」です。

24 AFレベルオフセット

IP200H本体やIP200Hに接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに、Bluetooth機器の音量を調整します。
(出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0～22」です。

25 エコーキャンセラー

Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動: 18 無効 有効

マイク経路スイッチ: 19 自動

AF出力: 20 ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断: 21 無効 有効

オプション制御: 22 電話操作

マイクレベルオフセット: 23 10

AFレベルオフセット: 24 15

エコーキャンセラー: 25 無効 有効

エコーキャンセラー 入力ゲイン: 26 0 dB

エコーキャンセラー 音声遅延: 27 35 ミリ秒

ノイズキャンセラー: 28 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用): 29 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-20)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

26 エコーキャンセラー

入力ゲイン Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。設定できる範囲は、「-40~40」(dB)です。 (出荷時の設定: 0)

27 エコーキャンセラー

音声遅延 Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延を設定します。設定できる範囲は、「0~160」(ミリ秒)です。 (出荷時の設定: 35)

28 ノイズキャンセラー

Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。「有効」に設定すると、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。 (出荷時の設定: 有効)

29 パワーセーブ

(アイコムオプション用) Bluetooth接続時に使用するパワーセーブ機能を設定します。「有効」に設定すると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。 (出荷時の設定: 無効)
 ※着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音が出力されます。
 ※送信するときは、IP200Hの[PTT]を押してはなすと、「プツ」と音がしてパワーセーブが解除されます。
 パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 TOS メディア (RTP) 優先度：34 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：35 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 Diffserv メディア (RTP) DSCP：36 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：37 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定

- 30 音声Codec 通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726-32kbps (G.721)」から選択します。 (出荷時の設定：G.726-32kbps (G.721))
 ※「G.711u」は音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ない特長があります。
- 31 ジッターバッファ種別 パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
 (出荷時の設定：ダイナミック)
 - ◎スタティック
 音声を受信したとき、[ジッターバッファ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
 - ◎ダイナミック
 音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- 32 ジッターバッファサイズ IP200Hが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。
 設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
 (出荷時の設定：40)
 設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 TOS メディア (RTP) 優先度：34 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：35 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 Diffserv メディア (RTP) DSCP：36 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：37 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 33 TOS種別 IP200HのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：Diffserv)
- ◎使用しない
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC 1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 TOS メディア (RTP) 優先度：34 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：35 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 Diffserv メディア (RTP) DSCP：36 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：37 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

34 **メディア (RTP)**
 (TOS種別：TOS)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)
 優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 TOS メディア (RTP) 優先度：34 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：35 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 Diffserv メディア (RTP) DSCP：36 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：37 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

35 呼制御 (SIP)

TOS種別：TOS

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。

(出荷時の設定：6)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。

(出荷時の設定：0)

TOS設定時の16進数表記

TOS設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、優先度(110)、サービスタイプ(0000)、未使用フィールド(0)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 TOS メディア (RTP) 優先度：34 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：35 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：30 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：31 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：32 40 ミリ秒 TOS種別：33 Diffserv メディア (RTP) DSCP：36 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：37 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

36 **メディア (RTP)**
 (TOS種別：Diffserv)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

37 **呼制御 (SIP)**
 (TOS種別：Diffserv)

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：48)

Diffserv設定時の16進数表記

Diffserv設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、DSCP(110000)、未使用フィールド(00)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 38 他製品の設定

保守設定
 保守サーバー: 39
 保守サーバー以外からの再起動: 40 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 41 有効 (自動再起動無し) 無効
 ファームアップサーバー: 42
 SYSLOGホストアドレス: 43
 SYSLOG送信レベル: 44 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
 アクセスパスワード: 45

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 46 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
 RESET: 47 基本モード 詳細モード

48 登録 49 取消

IPアドレス設定

38 設定方法

IP200HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定：他製品の設定)

◎他製品の設定

導入時は、CS-IP200Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 38 他製品の設定

保守設定
 保守サーバー: 39
 保守サーバー以外からの再起動: 40 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 41 有効 (自動再起動無し)
 ファームアップサーバー: 42
 SYSLOGホストアドレス: 43
 SYSLOG送信レベル: 44 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
 アクセスパスワード: 45

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 46 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
 RESET: 47 基本モード 詳細モード

48 49
 登録 取消

IPアドレス設定

38 設定方法(つづき)

◎固定IP

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	_____
サブネットマスク:	_____
デフォルトゲートウェイ:	_____
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
設定方法: 38 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 39
保守サーバー以外からの再起動: 40 無効 有効
起動時のファームウェア自動更新: 41 有効(自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 42
SYSLOGホストアドレス: 43
SYSLOG送信レベル: 44 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 45

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 46 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 47 基本モード 詳細モード

48 登録 49 取消

保守設定

- 39 保守サーバー** IP200Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 40 保守サーバー以外からの再起動** [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、IP200Hを再起動させるかどうかを設定します。
 (出荷時の設定：無効)
 ※2024年10月現在、対応機種はVE-PG4、SR-7100VN、SR-8000V、SR-8000VKです。
- 41 起動時のファームウェア自動更新** 本製品からIP200Hのファームウェアを自動更新するための設定です。
 (出荷時の設定：有効(自動再起動無し))
- ◎無効
 本製品によるIP200Hのファームウェア自動更新を無効にします。
 - ◎有効(自動再起動無し)
 IP200Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200Hはファームウェアを取得します。
 IP200Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。
 - ◎有効(自動再起動有り)
 IP200Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200Hはファームウェアの更新を開始します。
 更新が完了すると、自動的にIP200Hが再起動します。
 ※本製品に内蔵しているIP200Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 38 他製品の設定

保守設定
 保守サーバー: 39
 保守サーバー以外からの再起動: 40 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 41 有効 (自動再起動無し)
 ファームアップサーバー: 42
 SYSLOGホストアドレス: 43
 SYSLOG送信レベル: 44 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
 アクセスパスワード: 45

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 46 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
 RESET: 47 基本モード 詳細モード

48 49
 登録 取消

保守設定(つづき)

42 ファームアップサーバー …………… IP200Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
 ※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

43 SYSLOGホストアドレス …………… IP200HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
 ※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

44 SYSLOG送信レベル …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
 ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

45 アクセスパスワード …………… CS-IP200H★から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
 ★CS-IP200Hは、IP200Hの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
設定方法: 38 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 39
保守サーバー以外からの再起動: 40 無効 有効
起動時のファームウェア自動更新: 41 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 42
SYSLOGホストアドレス: 43
SYSLOG送信レベル: 44 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 45

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 46 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 47 基本モード 詳細モード

48 登録 49 取消

プロビジョニング設定

- 46 プロビジョニング時の初期化 … プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定: 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット)

メニュー設定

- 47 RESET … IP200Hのメニュー画面(メニュー⇒設定)に「リセット」(初期値に戻す)を表示させるかどうかを選択します。
(出荷時の設定: 基本モード 詳細モード)
※基本モードは、「非表示」固定です。

- 48 <登録> … [電話機詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

- 49 <取消> … [電話機詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200APP)

登録されたIP200APPごとに、画面表示やキー操作音などを設定します。
 ※設定変更後は、IP200APPの再起動が必要です。
 ※画面は、設定例です。

電話機詳細設定	
	内線番号 ① 170 種別: IP200APP
表示部	ログアウト表示 ② <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
機能設定	受付モード ③ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
VoIP設定	音声Codec ④ G.726-32kbps (G.721)
	ジッターバッファ種別 ⑤ <input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック

① 内線番号/種別 [内線設定一覧]項目で選択した内線子機の内線番号と機種が表示されます。

表示部

② ログアウト表示 IP200APPのメニュー画面に「ログアウト」を表示させるかどうかを選択します。
 (出荷時の設定：無効)

機能設定

③ 受付モード IP200APPを受付モードにするかどうかを選択します。
 (出荷時の設定：無効)
 ※「有効」にすると、IP200APPが電話発信専用の受付モードになり、来訪者が訪問先の内線番号を知らなくても、画面に表示された宛先ボタンをタップすると、訪問先に直通で内線電話ができます。

VoIP設定

④ 音声Codec 通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726-32kbps (G.721)」から選択します。
 (出荷時の設定：G.726-32kbps (G.721))
 ※「G.711u」は音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ない特徴があります。

⑤ ジッターバッファ種別 パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
 (出荷時の設定：ダイナミック)

◎スタティック

音声を受信したとき、[ジッターバッファ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。

◎ダイナミック

音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200APP)

電話機詳細設定

TOS種別：使用しない

音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721)

ジッターバッファ種別：5 スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒

TOS種別：7 使用しない

TOS種別：TOS

音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721)

ジッターバッファ種別：5 スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒

TOS種別：7 TOS

メディア (RTP) 優先度：8 7

メディア (RTP) サービスタイプ：0

メディア (RTP) 16進表示：E0

呼制御 (SIP) 優先度：9 6

呼制御 (SIP) サービスタイプ：0

呼制御 (SIP) 16進表示：C0

TOS種別：Diffserv

音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721)

ジッターバッファ種別：5 スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒

TOS種別：7 Diffserv

メディア (RTP) DSCP：10 56

メディア (RTP) 16進表示：E0

呼制御 (SIP) DSCP：11 48

呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、「ジッターバッファ種別」欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 6 **ジッターバッファサイズ** …… IP200APPが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。 (出荷時の設定：40)
設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声途切れやすくなります。

- 7 **TOS種別** …………… IP200APPのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：Diffserv)
 - ◎**使用しない**
TOS機能を使用しません。
 - ◎**TOS**
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎**Diffserv**
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200APP)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 TOS メディア (RTP) 優先度：8 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：9 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 Diffserv メディア (RTP) DSCP：10 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：11 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

8 メディア(RTP)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)
 優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200APP)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 TOS メディア (RTP) 優先度：8 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：9 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 Diffserv メディア (RTP) DSCP：10 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：11 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 9 呼制御 (SIP)** TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。
 - ◎優先度**
 TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：6)
 優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。
 - ◎サービスタイプ**
 TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS設定時の16進数表記

TOS設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、優先度(110)、サービスタイプ(0000)、未使用フィールド(0)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200APP)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 TOS メディア (RTP) 優先度：8 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：9 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：4 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：5 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：6 40 ミリ秒 TOS種別：7 Diffserv メディア (RTP) DSCP：10 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：11 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 10 **メディア (RTP)** TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)
- 11 **呼制御 (SIP)** TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：48)

Diffserv設定時の16進数表記

Diffserv設定時、初期設定の呼制御 (SIP) の設定値を2進数で表示すると、DSCP(110000)、未使用フィールド(00)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200APP)

電話機詳細設定

呼制御 (SIP) USCP :
呼制御 (SIP) 16進表示 : C0

保守設定

保守サーバー : 12

登録 取消

保守設定

- 12 保守サーバー IP200APPの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 13 <登録> [電話機詳細設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。
- 14 <取消> [電話機詳細設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

登録されたIP200PGごとに、画面表示やキー操作音などを設定します。

※設定変更後は、IP200PGの再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

電話機詳細設定

内線番号: ① 37
 種別: IP200PG

表示部

状態表示ランプ消灯モード: ② 有効

状態表示ランプ消灯モード移行時間: ③ 30 秒

呼出先指定

発信先番号: ④

キー操作音

キー操作音: ⑤ 無効 有効

キー操作音量: 10

※上図は、[状態表示ランプ消灯モード]欄を「有効」に設定したときに表示される画面です。

- ① 内線番号/種別 [内線設定一覧]項目で選択した内線子機の内線番号と機種が表示されます。

- 表示部**
- ② 状態表示ランプ消灯モード IP200PG起動後やキー操作/通話終了後、IP200PGの状態表示ランプを消灯させるときに設定します。 (出荷時の設定：無効)

 - ◎無効：
状態表示ランプ消灯モードを使用しないとき
 - ◎有効：
状態表示ランプ消灯モードを使用して、電源ランプを減灯するとき [状態表示ランプ消灯モード移行時間]欄に設定した時間(出荷時の設定：30秒)が経過すると、電源ランプの明るさが暗くなります。同時に、電源以外のランプは、IP200PGを使用中でも消灯状態になります。
 - ◎有効(完全消灯)：
状態表示ランプ消灯モードを使用して、すべてのランプを消灯するとき [状態表示ランプ消灯モード移行時間]欄に設定した時間(出荷時の設定：30秒)が経過すると、すべてのランプが消灯状態になります。

- ③ 状態表示ランプ消灯モード
 移行時間 [状態表示ランプ消灯モード]欄を「有効」、「有効(完全消灯)」に設定したとき、状態表示ランプ消灯モードになるまでの時間を設定します。
 設定できる範囲は、「0～3600」(秒)です。 (出荷時の設定：30秒)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
内線番号	① 37
種別	IP200PG
表示部	
状態表示ランプ消灯モード	② 有効
状態表示ランプ消灯モード移行時間	③ 30 秒
呼出先指定	
発信先番号	④
キー操作音	
キー操作音	⑤ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量	10

呼出先指定

- ④ 発信先番号 発信先の電話番号を半角で入力します。
※任意の半角数字と半角記号(#、*)を31桁以内で入力します。

キー操作音

- ⑤ キー操作音/キー操作音量 IP200PGのキーを操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
- ◎無効：確認音が鳴りません。
◎有効：確認音が鳴ります。
「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP200PG側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定

マイク

マイクゲイン: ▼ dB

エコーキャンセラー: 無効 有効

エコーキャンセラー 入力ゲイン: ▼ dB

エコーキャンセラー 音声遅延: ▼ ミリ秒

ノイズキャンセラー: 無効 有効

同時通話音量制限: ▼

マイク

- 6** **マイクゲイン** マイクロホンの感度を設定します。 (出荷時の設定: 0)

設定できる範囲は、「-12(低)」~「12(高)」(3dB刻み)です。

※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

また、周囲の雑音が小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

- 7** **エコーキャンセラー** エコーキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)

「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。

※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

- 8** **エコーキャンセラー**
入力ゲイン エコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。 (出荷時の設定: 12)

設定できる範囲は、「-40~40」(dB)です。

- 9** **エコーキャンセラー**
音声遅延 エコーキャンセラーの音声遅延を設定します。設定できる範囲は、「0~160」(ミリ秒)です。 (出荷時の設定: 0)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
マイク	
マイクゲイン	6 0 ▼ dB
エコーキャンセラー	7 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン	8 12 ▼ dB
エコーキャンセラー 音声遅延	9 0 ▼ ミリ秒
ノイズキャンセラー	10 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
同時通話音量制限	11 16 ▼

マイク(つづき)

- ⑩ **ノイズキャンセラー** …………… ノイズキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、周囲の雑音が低減され、通話相手はこちらの音声を聞きやすくなります。
- ⑪ **同時通話音量制限** …………… 同時通話時の最大音量を設定します。 (出荷時の設定：16)
設定できる範囲は、「0」～「16」です。
IP200PG本体の音量が、この設定値以上になっている場合、[通話]を押すと、設定した音量に制限されます。
※「0」を設定した場合は、IP200PG側の音量設定に関わらず、音は鳴りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
放送設定	
ページング機能	12 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
応答待機時間	13 1.5秒
前置音	14 単音1
後置音	15 なし
マイク動作	16 キー操作後有効
自動切断タイマー	
着信中	17 120秒
発信中	18 120秒
通話中	19 120秒

放送設定

- 12 ページング機能** IP200PGのページング機能を使用するときに設定します。
 (出荷時の設定：有効)
 電話機から着信すると、音声出力先の設定(P.8-24)にしたがい、IP200PG本体のスピーカーやIP200PGに接続した放送システムから音声が出力されます。
 ※マイク動作有効時(16)、電話機からの呼び出しに応答できます。
 ※「無効」を設定した場合は、通常の電話着信になります。
- 13 応答待機時間** IP200PGに着信してから前置音を鳴らすまでの時間を、「1.0秒」、「1.5秒」、「2.0秒」、「3.0秒」から選択します。
 (出荷時の設定：1.5秒)
 外部出力端子を放送アンプの電源制御に使用している場合など、これらの端子の動作から音声が出力されるまで、間隔が必要な場合に利用します。
- 14 前置音** 放送開始前の効果音を、「なし」、「4音(アップ)」、「単音1」、「単音2」から選択します。
 (出荷時の設定：単音1)
- 15 後置音** 放送終了後の効果音を、「なし」、「4音(ダウン)」、「単音1」、「単音2」から選択します。
 (出荷時の設定：なし)
- 16 マイク動作** ページング着信後のマイク動作について設定します。
 (出荷時の設定：キー操作後有効)
- ◎常時有効 : マイクが常時有効になります。
 - ◎キー操作後有効 : [通話]を押すと、マイクが有効になります。
 - ◎無効 : マイクが常時無効になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
放送設定	
ページング機能	12 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
応答待機時間	13 1.5秒
前置音	14 単音1
後置音	15 なし
マイク動作	16 キー操作後有効
自動切断タイマー	
着信中	17 120秒
発信中	18 120秒
通話中	19 120秒

自動切断タイマー

- 17 着信中** IP200PGへ着信が一定時間つづいたとき、自動的に切断する時間を設定します。
 (出荷時の設定：120秒)
 設定できる範囲は、「なし」、「30秒」、「60秒」、「120秒」です。
 ※「なし」を設定すると、自動的に切断しません。
- 18 発信中** 相手先が応答しないなど、IP200PGから発信が一定時間つづいたとき、自動的に切断する時間を設定します。
 (出荷時の設定：120秒)
 設定できる範囲は、「なし」、「30秒」、「60秒」、「120秒」です。
 ※「なし」を設定すると、自動的に切断しません。
- 19 通話中** 離席など、IP200PGでの無通話が一定時間つづいたとき、自動的に切断する時間を設定します。
 (出荷時の設定：120秒)
 設定できる範囲は、「なし」、「30秒」、「60秒」、「120秒」、「300秒」、「600秒」です。
 ※「なし」を設定すると、自動的に切断しません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 20 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 21 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 22 無効
外部端子 音声出力 (3ピン)	音量 23 8
外部端子 音声入力 (6ピン)	入力感度切替 24 <input type="radio"/> -40dBs (マイク入力) <input checked="" type="radio"/> -10dBs (ライン入力)
	入力オフセットゲイン 25 0 dB
	エコーキャンセラー 26 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

外部端子 電源出力 (1ピン)

20 電源出力

電源が必要なマイクロホンなどIP200PGに接続した外部機器への12V電源供給について設定します。 (出荷時の設定：無効)

- ◎常時有効 : 常時、50mAまで電源を供給します。
- ◎連動 : 動作条件有効時に、電源を供給にします。

電源出力:	連動
電話着信時:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
電話発信時:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ページング着信時:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

◎他製品の設定 : 弊社製コントローラーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた設定で動作します。

※「無効」を設定した場合は、外部機器へ電源を供給しません。

※1ピン(DC 12V)を使用する場合は、2ピン(DET)を「Lレベル」(GNDに接続)にし、外部機器の接続検出状態にする必要があります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 20 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 21 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 22 無効
外部端子 音声出力 (3ピン)	音量 23 8
外部端子 音声入力 (6ピン)	入力感度切替 24 <input type="radio"/> -40dBs (マイク入力) <input checked="" type="radio"/> -10dBs (ライン入力)
	入力オフセットゲイン 25 0 dB
	エコーキャンセラー 26 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

外部端子 制御出力 (8ピン)

21 制御出力

IP200PGに接続した外部機器のON/OFF制御について設定します。

(出荷時の設定：無効)

「常時有効」、「連動」を設定すると、外部機器へ制御信号を出力します。オープンコレクター出力(12V 50mA以下)で使用ください。

- ◎常時有効 : 常時、外部機器へ制御信号を出力します。
- ◎連動 : 動作条件有効時に、外部機器へ制御信号を出力します。

制御出力:	連動
電話着信時:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
電話発信時:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ページング着信時:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

◎他製品の設定 : 弊社製コントローラーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

※「無効」を設定した場合は、外部機器へ制御信号を出力しません。

※8ピン(BUSY)を使用する場合は、2ピン(DET)を「LLレベル」(GNDに接続)にし、外部機器の接続検出状態にする必要があります。

外部端子 制御入力 (4ピン)

22 機能

IP200PGに接続した外部機器の[PTT]を押したときの動作を設定します。

(出荷時の設定：無効)

- ◎通話キー : 指定した相手先(発信先番号)へ発信します。(P.8-45)
- ◎他製品の設定 : 弊社製コントローラーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた設定で動作します。
- ※「無効」を設定した場合は、外部機器の[PTT]を押しても動作しません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 20 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 21 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 22 無効
外部端子 音声出力 (3ピン)	音量 23 8
外部端子 音声入力 (6ピン)	入力感度切替 24 <input type="radio"/> -40dBs (マイク入力) <input checked="" type="radio"/> -10dBs (ライン入力)
	入力オフセットゲイン 25 0 dB
	エコーキャンセラー 26 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

外部端子 音声出力 (3ピン)

23 音量

IP200PGに接続した外部機器の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「16」です。 (出荷時の設定：8)
※「0」を設定した場合は、外部機器側の音量設定に関わらず、音は鳴りません。

外部端子 音声入力 (6ピン)

24 入力感度切替

IP200PGに接続した外部機器の音声入力感度を、「-40dBs (マイク入力)」、「-10dBs (ライン入力)」(0dBs=0.775Vrms)から選択します。
(出荷時の設定：-10dBs (ライン入力))
※設定値は、接続する外部機器のオーディオ出力の信号レベルによりますが、目安として、マイクロホンを接続するときは「-40dBs (マイク入力)」、外部機器のライン出力を接続するときは「-10dBs (ライン入力)」を選択します。
※「-40dBs (マイク入力)」を選択した場合は、同時にマイク用電源が供給されます。

25 入力オフセットゲイン

IP200PGに接続した外部機器から入力された信号の増幅度を設定します。設定できる範囲は、「-77～+12」です。 (出荷時の設定：0)

26 エコーキャンセラー

外部機器接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、IP200PGに接続した外部機器で同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
エコーキャンセラー 入力ゲイン	27 0 ▼ dB
エコーキャンセラー 音声遅延	28 0 ▼ ミリ秒
ノイズキャンセラー	29 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
同時通話音量制限	30 16 ▼
通話キー	
通話キー	31 無効 ▼
音声出力先	
音声出力先	32 内蔵スピーカー ▼

※上図は、[エコーキャンセラー]欄(P.8-52)を「有効」に設定したときに表示される画面です。

外部端子 音声入力 (6ピン)(つづき)

27 エコーキャンセラー

入力ゲイン 外部機器接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。設定できる範囲は、「-40～40」(dB)です。 (出荷時の設定：0)

28 エコーキャンセラー

音声遅延 外部機器接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延を設定します。設定できる範囲は、「0～160」(ミリ秒)です。 (出荷時の設定：0)

29 ノイズキャンセラー

外部機器接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。「有効」に設定すると、周囲の雑音が減り、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。 (出荷時の設定：無効)

30 同時通話音量制限

同時通話時の最大音量を設定します。 (出荷時の設定：16)
設定できる範囲は、「0」～「16」です。
外部機器の音量が、この設定値以上になっている場合、「通話」を押すと、設定した音量に制限されます。
※「0」を設定した場合は、外部機器側の音量設定に関わらず、音は鳴りません。

通話キー

31 通話キー

IP200PGの「通話」を押したときの動作を設定します。 (出荷時の設定：無効)

- ◎電話発信 : 呼出先指定で設定した番号に発信します。(P.8-45)
- ◎他製品の設定 : 弊社製コントローラーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた設定で動作します。

※「無効」を設定した場合は、IP200PGの「通話」を押しても動作しません。

音声出力先

32 音声出力先

IP200PGの音声出力先を、「内蔵スピーカー」、「外部端子」、「両方」から設定します。 (出荷時の設定：内蔵スピーカー)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 TOS メディア (RTP) 優先度：37 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 優先度：38 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 Diffserv メディア (RTP) DSCP：39 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：40 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定

- 33 音声Codec 通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726-32kbps (G.721)」から選択します。 (出荷時の設定：G.726-32kbps (G.721))
 ※「G.711u」は音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ない特長があります。

- 34 ジッターバッファ種別 パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
 (出荷時の設定：ダイナミック)
 - ◎スタティック
 音声を受信したとき、[ジッターバッファ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
 - ◎ダイナミック
 音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

- 35 ジッターバッファサイズ IP200PGが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。
 設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
 (出荷時の設定：40)
 設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 TOS メディア (RTP) 優先度：37 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 優先度：38 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 Diffserv メディア (RTP) DSCP：39 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：40 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 36 TOS種別 IP200PGのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：Diffserv)
- ◎使用しない
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 TOS メディア (RTP) 優先度：37 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：38 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 Diffserv メディア (RTP) DSCP：39 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：40 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

37 **メディア(RTP)**
 (TOS種別：TOS)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)
 優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 TOS メディア (RTP) 優先度：37 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 優先度：38 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 Diffserv メディア (RTP) DSCP：39 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：40 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

38 呼制御 (SIP)

TOS種別：TOS

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：6)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS設定時の16進数表記

TOS設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、優先度(110)、サービスタイプ(0000)、未使用フィールド(0)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 TOS メディア (RTP) 優先度：37 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 優先度：38 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：33 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：34 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：35 40 ミリ秒 TOS種別：36 Diffserv メディア (RTP) DSCP：39 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：40 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

39 **メディア (RTP)**
 (TOS種別：Diffserv)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

40 **呼制御 (SIP)**
 (TOS種別：Diffserv)

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：48)

Diffserv設定時の16進数表記

Diffserv設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、DSCP(110000)、未使用フィールド(00)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法 41 他製品の設定

保守設定
 保守サーバー 42 _____
 保守サーバー以外からの再起動 43 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新 44 有効 (自動再起動無し)

ファームアップサーバー 45 _____
 SYSLOGホストアドレス 46 _____
 SYSLOG送信レベル 47 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
 アクセスパスワード 48 _____

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化 49 設定

50 登録
51 取消

IPアドレス設定

41 設定方法

IP200PGのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定：他製品の設定)

◎他製品の設定

導入時は、CS-IP200PGで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

◎固定IP

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	_____
サブネットマスク:	_____
デフォルトゲートウェイ:	_____
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定	
IPアドレス設定	設定方法 41 他製品の設定
保守設定	
保守サーバー	42
保守サーバー以外からの再起動	43 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
起動時のファームウェア自動更新	44 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー	45
SYSLOGホストアドレス	46
SYSLOG送信レベル	47 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	
アクセスパスワード	48
プロビジョニング設定	
プロビジョニング時の初期化	49 <input type="checkbox"/> 設定
	50 51 登録 取消

保守設定

- 42 保守サーバー IP200PGの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 43 保守サーバー以外からの再起動 [保守サーバー] 欄で指定した機器以外から、IP200PGを再起動させるかどうかを設定します。
 (出荷時の設定：無効)
 ※2024年10月現在、対応機種はVE-PG4、SR-7100VN、SR-8000V、SR-8000VKです。
- 44 起動時のファームウェア自動更新 本製品からIP200PGのファームウェアを自動更新するための設定です。
 (出荷時の設定：有効(自動再起動無し))
- ◎無効
 本製品によるIP200PGのファームウェア自動更新を無効にします。
- ◎有効(自動再起動無し)
 IP200PGの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200PGはファームウェアを取得します。
 IP200PGの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。
- ◎有効(自動再起動有り)
 IP200PGの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200PGはファームウェアの更新を開始します。
 更新が完了すると、自動的にIP200PGが再起動します。
 ※本製品に内蔵しているIP200PGのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法 41 他製品の設定 ▼

保守設定

保守サーバー : 42 _____

保守サーバー以外からの再起動 : 43 無効 有効

起動時のファームウェア自動更新 : 44 有効 (自動再起動無し) ▼

ファームアップサーバー : 45 _____

SYSLOGホストアドレス : 46 _____

SYSLOG送信レベル : 47 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定

アクセスパスワード : 48 _____

プロビジョニング設定

プロビジョニング時の初期化 : 49 設定

50 51

保守設定(つづき)

45 **ファームアップサーバー** …………… IP200PGのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
 ※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

46 **SYSLOGホストアドレス** …………… IP200PGのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
 ※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

47 **SYSLOG送信レベル** …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定 : DEBUG INFO NOTICE)
 ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

48 **アクセスパスワード** …………… CS-IP200PG*から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
 ★CS-IP200PGは、IP200PGの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP200PG)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法 41 他製品の設定 ▼

保守設定

保守サーバー 42 _____

保守サーバー以外からの再起動 43 無効 有効

起動時のファームウェア自動更新 44 有効 (自動再起動無し) ▼

ファームアップサーバー 45 _____

SYSLOGホストアドレス 46 _____

SYSLOG送信レベル 47 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定

アクセスパスワード 48 _____

プロビジョニング設定

プロビジョニング時の初期化 49 設定

50
登録
51
取消

プロビジョニング設定

- 49 **プロビジョニング時の初期化** ……
 プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定： 設定)
- 50 **〈登録〉** ……………
 [電話機詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- 51 **〈取消〉** ……………
 [電話機詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

登録されたIP210Hごとに、画面表示やキー操作音などを設定します。

※設定変更後は、IP210Hの再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

電話機詳細設定

内線番号: ① 36
種別: IP210H

表示部

表示項目: ② 日付 名前
 バックライト: ③ 操作時点灯
 バックライト輝度: ④ 暗い 明るい
 電話着信: ⑤ 無効 有効
 コントラスト: ⑥ 8

不在着信表示

不在着信のディスプレイ表示: ⑦ 無効 有効

機能設定

Bluetooth: ⑧ 無効 有効
 Bluetooth 自動接続: ⑨ 無効 有効

- ① 内線番号/種別 [内線設定一覧]項目で選択した内線子機の内線番号と種別が表示されます。
- 表示部**
- ② 表示項目 IP210Hの待受画面に日付を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。 (出荷時の設定: 日付)
★「内線個別」画面で、名前が登録されていない場合は、空白になります。
- ③ バックライト IP210H使用時のバックライト機能を設定します。 (出荷時の設定: 操作時点灯)
 - ◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
 - ◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
 - ◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。
- ④ バックライト輝度 IP210Hの表示部と、各キーのバックライトの明るさを「暗い」、「明るい」から設定します。 (出荷時の設定: 明るい)
- ⑤ 電話着信 着信時、IP210Hのバックライトを青点滅させて通知する機能です。 (出荷時の設定: 無効)
- ⑥ コントラスト IP210Hの画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定: 8)
設定できる範囲は、1(薄い)~16(濃い)です。
- 不在着信表示**
- ⑦ 不在着信のディスプレイ表示 ... 「不在着信」を待受画面に表示するかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 無効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

内線番号: ① 36
種別: IP210H

表示部

表示項目: ② 日付 名前
バックライト: ③ 操作時点灯
バックライト輝度: ④ 暗い 明るい
電話着信: ⑤ 無効 有効
コントラスト: ⑥ 8

不在着信表示

不在着信のディスプレイ表示: ⑦ 無効 有効

機能設定

Bluetooth: ⑧ 無効 有効
Bluetooth 自動接続: ⑨ 無効 有効

※ [Bluetooth] 欄を「無効」にした場合、Bluetooth機能関連の設定は表示されません。

機能設定

- ⑧ Bluetooth IP210HとBluetooth機能対応機器を接続するときに設定します。
(出荷時の設定: 無効)
- ⑨ Bluetooth自動接続 Bluetooth機能有効時、ペアリング済みの機器と自動接続するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

キーロック設定

解除時のパスワード入力: ⑩ 無効 有効
 解除用パスワード: 0000
 パスワード入力失敗回数: 制限なし
 オートキーロック: ⑪ 無効
 起動時のキーロック: ⑫ 無効 有効

キー操作音

キー操作音: ⑬ 無効 有効
 キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: ⑭ 0 dB

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: ⑮ 無効 有効
 側音: ⑯ 無効 有効
 エコーキャンセラー: ⑰ 無効 有効

※ [解除時のパスワード入力] 欄を「無効」にした場合、キーロック関連の欄は表示されません。

キーロック設定

⑩ 解除時のパスワード入力/解除用パスワード

パスワード入力失敗回数 …………… IP210Hのキーロックを解除するとき、パスワードを使用するかどうかの設定です。
 (出荷時の設定: 無効)
 解除用パスワードを設定するときは、任意の半角数字と半角記号(#、*)を10桁以内で入力します。
 ※初期設定では、パスワード入力失敗回数は制限していませんが、必要に応じて、回数制限(5回/10回)を設定してください。ただし、指定した回数を超えた場合、パスワード入力ができなくなります。

【パスワード入力制限時の解除方法】

解除用パスワードを変更、またはパスワード入力失敗回数を「制限なし」に変更してください。
 ※解除パスワードを変更した場合は、パスワードの入力失敗回数がリセットされます。

⑪ オートキーロック ……………

一定時間、IP210Hの操作がない場合、自動的にキーロックする機能を設定します。
 (出荷時の設定: 無効)
 キーロックされるまでの時間は、「15秒、30秒、1分、3分、5分、10分」の範囲で設定します。

⑫ 起動時のキーロック ……………

IP210H起動時、キーロック状態にするかどうかを設定します。
 (出荷時の設定: 無効)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

キーロック設定

解除時のパスワード入力: ⑩ 無効 有効
 解除用パスワード: 0000
 パスワード入力失敗回数: 制限なし
 オートキーロック: ⑪ 無効
 起動時のキーロック: ⑫ 無効 有効

キー操作音

キー操作音: ⑬ 無効 有効
 キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: ⑭ 0 dB

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: ⑮ 無効 有効
 側音: ⑯ 無効 有効
 エコーキャンセラー: ⑰ 無効 有効

キー操作音

⑬ キー操作音/キー操作音量 …………… IP210Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
 (出荷時の設定：有効)

◎無効：確認音が鳴りません。
 ◎有効：確認音が鳴ります。
 「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。
 (出荷時の設定：10)
 ※「0」を設定した場合は、IP210H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

⑭ マイクゲイン …………… マイクロホンの感度を設定します。
 (出荷時の設定：0)

設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
 ※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
 また、周囲の雑音小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

キーロック設定

解除時のパスワード入力: 無効 有効
 解除用パスワード: 0000
 パスワード入力失敗回数: 制限なし
 オートキーロック: 無効 有効
 起動時のキーロック: 無効 有効

キー操作音

キー操作音: 無効 有効
 キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: 0 dB

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: 無効 有効
 側音: 無効 有効
 エコーキャンセラー: 無効 有効

ヘッドセット

15 ノイズキャンセラー ノイズキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 ◎無効: ノイズキャンセラー機能が動作しません。
 ◎有効: ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が減り、通話相手はこちらの音声を聞きやすくなります。
 ※本体/イヤホンマイク/ヘッドセット共通設定です。

16 側音 イヤホンマイク(別売品)接続時の側音機能を設定します。 (出荷時の設定: 無効)
 「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声が聞こえるようになり、話しやすくなります。

ヘッドセット

ノイズキャンセラー: 無効 有効
 側音: 無効 有効
 側音音量: 10

側音機能を使用するときの音量は、「0」(最小)~「32」(最大)の範囲で設定します。 (出荷時の設定: 10)
 ※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

17 エコーキャンセラー エコーキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
 ※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
 ※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動 **18** 無効 有効

マイク経路スイッチ **19** 自動 ▼

AF出力 **20** ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断 **21** 無効 有効

オプション制御 **22** 電話操作 ▼

マイクレベルオフセット **23** 10 ▼

AFレベルオフセット **24** 15 ▼

エコーキャンセラー **25** 無効 有効

ノイズキャンセラー **26** 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用) **27** 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-64)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク

- 18 本体ボリューム連動** Bluetooth接続時に使用するボリューム連動機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、Bluetooth接続しているIP210Hの[音量]でも音量を調整できます。
- 19 マイク経路スイッチ** Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、使用するマイクロホンの設定をします。
(出荷時の設定：自動)
- ◎自動
通話時、Bluetooth機器 > 別売品マイクロホン(外部マイク) > 無線機本体の優先度でマイクを使用します。
- ◎無線機マイク
通話時、無線機本体のマイクを使用します。
別売品マイクロホン(外部マイク)が接続されている場合は、外部マイクを使用します。
※PTT付き別売品マイクロホンの場合は、発信時にPTT操作が必要です。
- ◎Bluetoothマイク
通話時、Bluetooth機器のマイクを使用します。
- 20 AF出力** Bluetooth機器を接続している場合の、無線機本体からの音声出力を設定します。
(出荷時の設定：ヘッドセットのみ)
- ◎ヘッドセットのみ：
無線機本体のスピーカーをOFFにし、Bluetooth機器からだけ音声を出力します。
- ◎ヘッドセット+スピーカー：
無線機本体のスピーカーをONにし、Bluetooth機器と無線機から音声を出力します。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動 **18** 無効 有効

マイク経路スイッチ **19** 自動 ▼

AF出力 **20** ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断 **21** 無効 有効

オプション制御 **22** 電話操作 ▼

マイクレベルオフセット **23** 10 ▼

AFレベルオフセット **24** 15 ▼

エコーキャンセラー **25** 無効 有効

ノイズキャンセラー **26** 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用) **27** 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-64)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

21 自動切断

BluetoothヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンク★を自動で切断する機能を設定します。(出荷時の設定：無効)
 「有効」に設定すると、Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が一定時間つづいたとき、ヘッドセットとのSCOリンクを自動で切断します。
 自動切断時間は、「0～10」秒の範囲で設定します。
 ※SCOリンクを切断中に音声を送受信したり、ビープ音が鳴ったりしたときは、自動でSCOリンクを接続します。
 ※「有効」に設定するとSCOリンクが自動で切断されるため、VOX機能は使用できません。特に必要がない場合は、「無効」に設定して使用されることをおすすめします。
 ★音声通信用のBluetoothリンク

22 オプション制御

BluetoothヘッドセットでPTTに相当するボタンを押した場合の動作を選択します。(出荷時の設定：電話操作)
 ※この機能を使用できる機器については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

- ◎自動
 使用する無線機の状態により、PTT操作の動作が異なりますが、基本的には無線送信、電話着信時は応答、電話通話時は切断になります。
- ◎電話操作
 常に電話操作(待ち受け時は電話発信画面に移行、電話着信時は応答、電話通話時は切断)になります。
- ◎無線送信
 常に無線送信になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動 18 無効 有効

マイク経路スイッチ 19 自動 ▼

AF出力 20 ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断 21 無効 有効

オプション制御 22 電話操作 ▼

マイクレベルオフセット 23 10 ▼

AFレベルオフセット 24 15 ▼

エコーキャンセラー 25 無効 有効

ノイズキャンセラー 26 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用) 27 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.8-64)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

- 23 マイクレベルオフセット** …………… IP210H本体やIP210Hに接続したマイクロホンに対して、Bluetoothマイクホンの感度が高すぎたり低すぎたりするときに、Bluetoothマイクロホンの感度を調整します。
(出荷時の設定：10)
設定できる範囲は、「0～20」です。
- 24 AFレベルオフセット** …………… IP210H本体やIP210Hに接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに、Bluetooth機器の音量を調整します。
(出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0～22」です。
- 25 エコーキャンセラー** …………… Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
- 26 ノイズキャンセラー** …………… Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。
「有効」に設定すると、周囲の雑音が高減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
(出荷時の設定：有効)
- 27 パワーセーブ
(アイコムオプション用)** …………… Bluetooth接続時に使用するパワーセーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。
(出荷時の設定：無効)
※着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音が出力されます。
※送信するときは、IP210Hの[PTT]を押してはなすと、「ブツ」と音がしてパワーセーブが解除されます。
パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 TOS メディア (RTP) 優先度：32 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：33 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 Diffserv メディア (RTP) DSCP：34 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：35 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定

- 28 音声Codec 通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726-32kbps (G.721)」から選択します。
(出荷時の設定：G.726-32kbps (G.721))
※「G.711u」は音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ない特長があります。
- 29 ジッターバッファ種別 パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
 - ◎スタティック
音声を受信したとき、[ジッターバッファ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
 - ◎ダイナミック
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- 30 ジッターバッファサイズ IP210Hが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。
設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
(出荷時の設定：40)
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 TOS メディア (RTP) 優先度：32 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：33 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 Diffserv メディア (RTP) DSCP：34 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：35 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 31 TOS種別 IP210HのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：Diffserv)
- ◎使用しない
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 TOS メディア (RTP) 優先度：32 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：33 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 Diffserv メディア (RTP) DSCP：34 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：35 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

32 **メディア(RTP)**
 (TOS種別：TOS)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)
 優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 TOS メディア (RTP) 優先度：32 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：33 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 Diffserv メディア (RTP) DSCP：34 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：35 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

33 呼制御 (SIP)
 (TOS種別：TOS)

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：6)
 優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS設定時の16進数表記

TOS設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、優先度(110)、サービスタイプ(0000)、未使用フィールド(0)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 TOS メディア (RTP) 優先度：32 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：33 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：28 G.726-32kbps (G.721) ジッターバッファ種別：29 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：30 40 ミリ秒 TOS種別：31 Diffserv メディア (RTP) DSCP：34 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：35 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

34 **メディア (RTP)**
 (TOS種別：Diffserv)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

35 **呼制御 (SIP)**
 (TOS種別：Diffserv)

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：48)

Diffserv設定時の16進数表記

Diffserv設定時、初期設定の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、DSCP(110000)、未使用フィールド(00)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 36 他製品の設定

保守設定
 保守サーバー: 37
 保守サーバー以外からの再起動: 38 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 39 有効 (自動再起動無し)
 ファームアップサーバー: 40
 SYSLOGホストアドレス: 41
 SYSLOG送信レベル: 42 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
 アクセスパスワード: 43

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 44 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
 RESET: 45 基本モード 詳細モード

46 登録 47 取消

IPアドレス設定

36 設定方法

IP210HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定：他製品の設定)

◎他製品の設定

導入時は、CS-IP210Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 36 他製品の設定

保守設定
 保守サーバー: 37
 保守サーバー以外からの再起動: 38 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 39 有効 (自動再起動無し)
 ファームアップサーバー: 40
 SYSLOGホストアドレス: 41
 SYSLOG送信レベル: 42 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
 アクセスパスワード: 43

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 44 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
 RESET: 45 基本モード 詳細モード

46 47
 登録 取消

IPアドレス設定

36 設定方法(つづき)

◎固定IP

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	_____
サブネットマスク:	_____
デフォルトゲートウェイ:	_____
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
設定方法: 36 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 37
保守サーバー以外からの再起動: 38 無効 有効
起動時のファームウェア自動更新: 39 有効(自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 40
SYSLOGホストアドレス: 41
SYSLOG送信レベル: 42 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 43

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 44 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 45 基本モード 詳細モード

46 登録 47 取消

保守設定

- 37 保守サーバー** IP210Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 38 保守サーバー以外からの再起動** [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、IP210Hを再起動させるかどうかを設定します。
 (出荷時の設定：無効)
 ※2024年10月現在、対応機種はVE-PG4、SR-7100VN、SR-8000V、SR-8000VKです。
- 39 起動時のファームウェア自動更新** 本製品からIP210Hのファームウェアを自動更新するための設定です。
 (出荷時の設定：有効(自動再起動無し))
- ◎無効
 本製品によるIP210Hのファームウェア自動更新を無効にします。
 - ◎有効(自動再起動無し)
 IP210Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP210Hはファームウェアを取得します。
 IP210Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。
 - ◎有効(自動再起動有り)
 IP210Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP210Hはファームウェアの更新を開始します。
 更新が完了すると、自動的にIP210Hが再起動します。
 ※本製品に内蔵しているIP210Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
設定方法: 36 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 37
保守サーバー以外からの再起動: 38 無効 有効
起動時のファームウェア自動更新: 39 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 40
SYSLOGホストアドレス: 41
SYSLOG送信レベル: 42 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 43

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 44 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 45 基本モード 詳細モード

46 47
登録 取消

保守設定(つづき)

- 40 **ファームアップサーバー** …………… IP210Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
 ※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

- 41 **SYSLOGホストアドレス** …………… IP210HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
 ※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

- 42 **SYSLOG送信レベル** …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
 ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

- セキュリティ設定**
- 43 **アクセスパスワード** …………… CS-IP210H★から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
 ★CS-IP210Hは、IP210Hの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(IP210H)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
設定方法: 36 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 37
保守サーバー以外からの再起動: 38 無効 有効
起動時のファームウェア自動更新: 39 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 40
SYSLOGホストアドレス: 41
SYSLOG送信レベル: 42 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 43

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 44 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 45 基本モード 詳細モード

46 登録 47 取消

プロビジョニング設定

- 44 **プロビジョニング時の初期化** ... プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定: 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット)

メニュー設定

- 45 **RESET** IP210Hのメニュー画面(メニュー⇒設定)に「リセット」(初期値に戻す)を表示させるかどうかを選択します。
(出荷時の設定: 基本モード 詳細モード)
※基本モードは、「非表示」固定です。

- 46 **〈登録〉** [電話機詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

- 47 **〈取消〉** [電話機詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

登録されたVP-2100ごとに、画面表示やキー操作音などを設定します。

※設定変更後は、VP-2100の再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

電話機詳細設定

内線番号: ① 2100
 種別: VP-2100

表示部

表示項目: ② 日付 名前

バックライト: ③ 操作時点灯

消灯輝度: ④ 4

点灯輝度: ⑤ 14

コントラスト: ⑥ 8

- ① 内線番号/種別 [内線設定一覧]項目で選択した内線子機の内線番号と種別が表示されます。

- 表示部
- ② 表示項目 VP-2100の待受画面に日付を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。 (出荷時の設定: 日付)
 ★「内線個別」画面で、名前が登録されていない場合は、空白になります。

- ③ バックライト VP-2100使用時のバックライト機能を設定します。 (出荷時の設定: 操作時点灯)
 - ◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
 - ◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
 - ◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。

- ④ 消灯輝度 VP-2100のバックライト消灯時の明るさを設定します。(出荷時の設定: 4)
 設定できる範囲は、0(暗い)~16(明るい)です。

- ⑤ 点灯輝度 VP-2100のバックライト点灯時の明るさを設定します。
 設定できる範囲は、0(暗い)~16(明るい)です。 (出荷時の設定: 14)

- ⑥ コントラスト VP-2100の画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定: 8)
 設定できる範囲は、1(薄い)~16(濃い)です。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

不在着信表示
不在着信のディスプレイ表示: 無効 有効

キー操作音
キー操作音: 無効 有効
キー操作音量: 10

マイク
マイクゲイン: 0 dB
ノイズキャンセラー: 無効 有効
エコーキャンセラー: 無効 有効

ハンドセット
側音: 無効 有効
側音音量: 12

ヘッドセット
側音: 無効 有効
側音音量: 12

不在着信表示

7 不在着信のディスプレイ表示 … 「不在着信」を待受画面に表示するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)

キー操作音

8 キー操作音/キー操作音量 …… VP-2100のキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定：有効)

無効：確認音が鳴りません。

有効：確認音が鳴ります。

「有効」にして使用するときには、キー操作音量を、「0」～「16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：10)

※「0」を設定した場合は、VP-2100側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

9 マイクゲイン …… マイクロホンの感度を設定します。
(出荷時の設定：0)

設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。

※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

また、周囲の雑音小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

※本体/ハンドセット/ヘッドセット共通設定です。

10 ノイズキャンセラー …… ノイズキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：有効)

「有効」に設定すると、周囲の雑音が低減され、通話相手はこちらの音声を聞きやすくなります。

※本体/ハンドセット/ヘッドセット共通設定です。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

不在着信表示
不在着信のディスプレイ表示: ⑦ 無効 有効

キー操作音
キー操作音: ⑧ 無効 有効
キー操作音量: 10

マイク
マイクゲイン: ⑨ 0 dB
ノイズキャンセラー: ⑩ 無効 有効
エコーキャンセラー: ⑪ 無効 有効

ハンドセット
側音: ⑫ 無効 有効
側音音量: ⑬ 12

ヘッドセット
側音: ⑭ 無効 有効
側音音量: ⑮ 12

マイク(つづき)

- ⑪ **エコーキャンセラー** エコーキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
 ※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
 ※本体/ハンドセット/ヘッドセット共通設定です。

ハンドセット

- ⑫ **側音** ハンドセット(受話器)使用時の側音機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 「有効」に設定すると、受話器から自分の音声がかえりやすくなり、話しやすくなります。

- ⑬ **側音音量** 受話器で側音機能を使用するときの音量を設定します。(出荷時の設定: 12)
 設定できる範囲は、「0」(最小)~「15」(最大)です。

ヘッドセット

- ⑭ **側音** ヘッドセット接続時の側音機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声がかえりやすくなり、話しやすくなります。

- ⑮ **側音音量** ヘッドセットで側音機能を使用するときの音量を設定します。
 設定できる範囲は、「0」(最小)~「15」(最大)です。 (出荷時の設定: 12)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 TOS メディア (RTP) 優先度：20 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：21 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 Diffserv メディア (RTP) DSCP：22 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：23 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定

- 16 音声Codec 通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726-32kbps (G.721)」から選択します。
(出荷時の設定：G.711u)
※「G.711u」は音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ない特長があります。
- 17 ジッターバッファ種別 パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
 - ◎スタティック
音声を受信したとき、[ジッターバッファ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
 - ◎ダイナミック
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- 18 ジッターバッファサイズ VP-2100が音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。
設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
(出荷時の設定：40)
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 TOS メディア (RTP) 優先度：20 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：21 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 Diffserv メディア (RTP) DSCP：22 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：23 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

- 19 TOS種別 VP-2100のTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：Diffserv)
- ◎使用しない
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 TOS メディア (RTP) 優先度：20 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) 優先度：21 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：C0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：16 G.711u ジッターバッファ種別：17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：18 40 ミリ秒 TOS種別：19 Diffserv メディア (RTP) DSCP：22 56 メディア (RTP) 16進表示：E0 呼制御 (SIP) DSCP：23 48 呼制御 (SIP) 16進表示：C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

20 **メディア(RTP)**
 TOS種別：TOS

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)
 優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定	
TOS種別: 使用しない	音声Codec: 16 G.711u ジッターバッファ種別: 17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: 18 40 ミリ秒 TOS種別: 19 使用しない
TOS種別: TOS	音声Codec: 16 G.711u ジッターバッファ種別: 17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: 18 40 ミリ秒 TOS種別: 19 TOS メディア (RTP) 優先度: 20 7 メディア (RTP) サービスタイプ: 0 メディア (RTP) 16進表示: E0 呼制御 (SIP) 優先度: 21 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ: 0 呼制御 (SIP) 16進表示: C0
TOS種別: Diffserv	音声Codec: 16 G.711u ジッターバッファ種別: 17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: 18 40 ミリ秒 TOS種別: 19 Diffserv メディア (RTP) DSCP: 22 56 メディア (RTP) 16進表示: E0 呼制御 (SIP) DSCP: 23 48 呼制御 (SIP) 16進表示: C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

④ 呼制御 (SIP)
 TOS種別: TOS

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定: 6)
 優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定: 0)

TOS設定時の16進数表記

TOS設定時、出荷時の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、優先度(110)、サービスタイプ(0000)、未使用フィールド(0)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定	
TOS種別: 使用しない	音声Codec: 16 G.711u ジッターバッファ種別: 17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: 18 40 ミリ秒 TOS種別: 19 使用しない
TOS種別: TOS	音声Codec: 16 G.711u ジッターバッファ種別: 17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: 18 40 ミリ秒 TOS種別: 19 TOS メディア (RTP) 優先度: 20 7 メディア (RTP) サービスタイプ: 0 メディア (RTP) 16進表示: E0 呼制御 (SIP) 優先度: 21 6 呼制御 (SIP) サービスタイプ: 0 呼制御 (SIP) 16進表示: C0
TOS種別: Diffserv	音声Codec: 16 G.711u ジッターバッファ種別: 17 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: 18 40 ミリ秒 TOS種別: 19 Diffserv メディア (RTP) DSCP: 22 56 メディア (RTP) 16進表示: E0 呼制御 (SIP) DSCP: 23 48 呼制御 (SIP) 16進表示: C0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

VoIP設定(つづき)

22 **メディア(RTP)**
 (TOS種別: Diffserv)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0~63」(10進数)です。 (出荷時の設定: 56)

23 **呼制御(SIP)**
 (TOS種別: Diffserv)

TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0~63」(10進数)です。 (出荷時の設定: 48)

Diffserv設定時の16進数表記

Diffserv設定時、出荷時の呼制御(SIP)の設定値を2進数で表示すると、DSCP(110000)、未使用フィールド(00)なので、「11000000」の16進数表記は、「C0」になります。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

IPアドレス設定

設定方法: 24 他製品の設定

保守設定

管理者設定パスワード: 25 0000

保守サーバー: 26

保守サーバー以外からの再起動: 27 無効 有効

起動時のファームウェア自動更新: 28 有効 (自動再起動無し)

ファームアップサーバー: 29

SYSLOGホストアドレス: 30

SYSLOG送信レベル: 31 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定

プロビジョニング時の初期化: 32 設定 履歴

33 登録 34 取消

IPアドレス設定

24 設定方法

VP-2100のIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定：他製品の設定)

◎他製品の設定

導入時は、VP-2100本体の設定内容を使用しますが、弊社製SIPサーバーで変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

IPアドレス設定

設定方法 : 24 他製品の設定

保守設定

管理者設定パスワード : 25 0000

保守サーバー : 26

保守サーバー以外からの再起動 : 27 無効 有効

起動時のファームウェア自動更新 : 28 有効 (自動再起動無し)

ファームアップサーバー : 29

SYSLOGホストアドレス : 30

SYSLOG送信レベル : 31 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定

プロビジョニング時の初期化 : 32 設定 履歴

IPアドレス設定

24 設定方法(つづき)

◎固定IP

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法 :	固定IP
IPアドレス :	<input type="text"/>
サブネットマスク :	<input type="text"/>
デフォルトゲートウェイ :	<input type="text"/>
プライマリーDNSサーバー :	<input type="text"/>
セカンダリーDNSサーバー :	<input type="text"/>

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
設定方法: 24 他製品の設定

保守設定

管理者設定パスワード: 25 0000

保守サーバー: 26

保守サーバー以外からの再起動: 27 無効 有効

起動時のファームウェア自動更新: 28 有効(自動再起動無し)

ファームアップサーバー: 29

SYSLOGホストアドレス: 30

SYSLOG送信レベル: 31 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定

プロビジョニング時の初期化: 32 設定 履歴

33 登録 34 取消

保守設定

- 25 管理者設定パスワード VP-2100本体の「管理者設定」で、保守サーバーなどを設定するときに入力するパスワードを、半角数字15文字以内で設定します。
(出荷時の設定：0000)

- 26 保守サーバー VP-2100の保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

- 27 保守サーバー以外からの再起動 [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、VP-2100を再起動させるかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※2024年10月現在、対応機種はSR-8000V、SR-8000VK、SR-7100#31です。

- 28 起動時のファームウェア自動更新 本製品からVP-2100のファームウェアを自動更新するための設定です。
(出荷時の設定：有効(自動再起動無し))
 - 無効
本製品によるVP-2100のファームウェア自動更新を無効にします。
 - 有効(自動再起動無し)
VP-2100の電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、VP-2100はファームウェアを取得します。
VP-2100の電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。
 - 有効(自動再起動有り)
VP-2100の電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、VP-2100はファームウェアの更新を開始します。
更新が完了すると、自動的にVP-2100が再起動します。
※本製品に内蔵しているVP-2100のファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 24 他製品の設定

保守設定
 管理者設定パスワード: 25 0000
 保守サーバー: 26
 保守サーバー以外からの再起動: 27 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 28 有効 (自動再起動無し)
 ファームアップサーバー: 29
 SYSLOGホストアドレス: 30
 SYSLOG送信レベル: 31 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 32 設定 履歴

33 登録 34 取消

保守設定(つづき)

- 29 **ファームアップサーバー** …………… VP-2100のファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
 ※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

- 30 **SYSLOGホストアドレス** …………… VP-2100のSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
 ※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

- 31 **SYSLOG送信レベル** …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。 (出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
 ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

「内線個別」画面

PBX設定 > 内線個別

■ 電話機詳細設定(VP-2100)

電話機詳細設定

IPアドレス設定
 設定方法: 24 他製品の設定

保守設定
 管理者設定パスワード: 25 0000
 保守サーバー: 26
 保守サーバー以外からの再起動: 27 無効 有効
 起動時のファームウェア自動更新: 28 有効 (自動再起動無し)
 ファームアップサーバー: 29
 SYSLOGホストアドレス: 30
 SYSLOG送信レベル: 31 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定
 プロビジョニング時の初期化: 32 設定 履歴

33 登録 34 取消

プロビジョニング設定

- 32 プロビジョニング時の初期化 … プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定： 設定 履歴)
- 33 <登録> … [電話機詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- 34 <取消> … [電話機詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線代表」画面

PBX設定 > 内線代表

複数の内線番号を内線代表番号という1つのグループにまとめ、最大150件まで登録できます。

- ◎**一斉着信**：設定したグループ内で、選択したすべての内線子機をすべて呼び出します。
一斉着信では、一定時間、応答できない状態がつづく、着信させる内線子機を変更できます。
※着信させる内線子機の設定は、1次着信から3次着信まで設定できます。
- ◎**順次着信**：設定したグループ内で、選択した内線子機を1台ずつ順番に呼び出します。
順次着信では「001」～「154」★のテキストボックスに登録された順番に着信します。(P.8-95)
※通話中の場合は、次の番号に登録された内線子機に着信します。
★登録できる台数は「システム設定」メニューで変更できます。

■ 内線代表設定

内線代表で使用する内線代表番号を新規登録するときに使用します。

※内線番号と内線代表番号は重複して登録できません。

登録されている内線子機の内線番号と機種は、「内線個別」画面(P.8-11)で確認できます。

内線代表設定

内線代表番号: ① _____

内線代表名: ② _____

動作: ③ 一斉 ▼

1次着信: ④ すべて 31 32 33
34 35 36

2次着信 起動開始時間: ⑤ 10秒後 ▼

2次着信: すべて 31 32 33
34 35 36

3次着信 起動開始時間: なし

⑥ ⑦ ▼

登録 取消

- ① **内線代表番号** [内線代表名]欄に対する内線代表番号を、半角数字2桁～7桁で入力します。
設定された内線代表番号をダイヤルすると、この項目で設定された内容にしたがって着信します。
外線から内線代表番号に着信させるときは、「着信」画面の[着信設定]項目にある[着信内線番号]欄(P.8-98)で設定できます。
※緊急通報(110、118、119)の番号は、使用しないでください。
※「0」ではじまる番号は、使用しないでください。
- ② **内線代表名** 登録する内線代表の名称を、任意の半角31(全角15)文字以内で入力します。
- ③ **動作** 内線代表番号で着信したときの動作を選択します。(出荷時の設定：一斉)
◎**一斉**：[1次着信]欄(P.8-95)で、着信させる内線子機のチェックボックスをクリックします。
※一定時間、応答できない状態がつづいたとき、着信させる内線子機を変更する場合は、[起動開始時間]欄(P.8-95)を設定します。
◎**順次**：「001」～「154」★のテキストボックスで、着信させる内線子機の順番を指定できます。(P.8-96)
★登録できる台数は「システム設定」メニューで変更できます。

「内線代表」画面

PBX設定 > 内線代表

■ 内線代表設定

内線代表設定

内線代表番号: ① _____

内線代表名: ② _____

動作: ③ 一斉 ▼

1次着信: ④ すべて 31 32 33
 34 35 36

2次着信 起動開始時間: ⑤ 10秒後 ▼

2次着信: すべて 31 32 33
 34 35 36

3次着信 起動開始時間: なし

⑥ ⑦ ▼

登録 取消

※上図は、[2次着信 起動開始時間]欄を「10秒後」に設定したときに表示される画面です。

- ④ 1次着信 内線代表番号で着信したとき鳴動させる内線子機の内線番号を選択します。
 ※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
 ※[動作]欄(P.8-94)で「一斉」を選択したときは、[起動開始時間]欄を設定すると、3次着信まで動作を設定できます。
 ※[動作]欄(P.8-94)で「順次」を選択したときは、表示されません。

- ⑤ 起動開始時間 次の着信動作に切り替わるまでの鳴動時間を設定します。
 (出荷時の設定：なし)
 設定できる範囲は、「なし」、「10秒後」～「60秒後」(5秒刻み)です。
 ※[動作]欄(P.8-94)で「順次」を選択したときは、表示されません。

- ⑥ <登録> [内線代表設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

- ⑦ <取消> 「内線代表設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「内線代表」画面

PBX設定 > 内線代表

■ 内線代表設定

登録された内線代表番号に対する設定内容を編集するときに使用します。

※編集するときは、[内線代表設定一覧]項目(P.8-97)に表示された内線代表番号の〈編集〉をクリックします。

※登録された内線番号は、「内線個別」画面の[内線設定]項目(P.8-11)で編集できます。

※[動作] (3) 欄で「順次」を選択したときの画面を使用しています。

※「一斉」を選択したときの説明については、8-94ページをご覧ください。

内線代表設定

内線代表番号: ① _____

内線代表名: ② _____

動作: ③ 順次

内線番号: ④	001	▼	078	▼
	002	▼	079	▼
	003	▼	080	▼
	075	▼	152	▼
	076	▼	153	▼
	077	▼	154	▼

- ① 内線代表番号 内線代表名(②)に対する内線代表番号を、半角数字2桁～7桁で入力します。設定された内線代表番号をダイヤルすると、この項目で設定された内容にしたがって着信します。外線から内線代表番号に着信させるときは、「着信」画面の[着信設定]項目にある[着信内線番号]欄(P.8-98)で設定できます。※緊急通報(110、118、119)の番号は、使用しないでください。※「0」ではじまる番号は、使用しないでください。
- ② 内線代表名 登録する内線代表の名称を、任意の半角31(全角15)文字以内で入力します。
- ③ 動作 内線代表番号で着信したときの動作を選択します。(出荷時の設定: 一斉)

 - ◎一斉: 設定したグループ内で、着信させる内線子機の順番を指定できます。
 - ※一定時間、応答できない状態がつづいたとき、着信させる内線子機を変更できます。
 - 着信させる内線子機の実数は、1次着信から3次着信まで設定できます。(P.8-94)
 - ◎順次: 設定したグループ内で、着信させる内線子機の順番を指定できます。
- ④ 内線番号 内線代表番号で着信したとき、鳴動させる内線子機の内線番号を選択します。

 - ※「01」のテキストボックスに登録された内線子機が通話中の場合は、次の番号に登録された内線子機に着信します。
 - ※KX-HDVシリーズなど多重着信に対応した多機能電話機では、順次着信が正しく動作しないことがあります。

「内線代表」画面

PBX設定 > 内線代表

■ 内線代表設定一覧

[内線代表設定]項目(P.8-94)で登録した内線代表番号に設定された着信動作が表示されます。
※画面は、設定例です。

内線代表設定一覧				
内線代表番号	内線代表名	動作	内線番号	1 2
200	営業部	一斉	<1次着信> 31 <2次着信> 10秒後 32 <3次着信> なし	編集 削除
300	購買部	順次	33 34	編集 削除
				3 全削除

- ① <編集> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内線代表番号の設定内容を [内線代表設定]項目で編集できます。
- ② <削除> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内線代表番号に対する登録を削除します。
- ③ <全削除> クリックすると、内線代表番号として登録されたすべての番号を削除します。

「着信」画面

PBX設定 > 着信

■ 着信設定

登録した外線番号やPeer to Peerへの着信時の鳴動子機を設定します。
※画面は、設定例です。

着信設定				
外線電話番号	回線	着信内線番号 ①	鳴り分け判別 ②	着信キューイング ③
03-XXXX-XXXX	IP回線	指定 3000*101	外線音A	使用しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	なし	外線音A	使用しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	なし	外線音A	使用しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	なし	外線音A	使用しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	なし	外線音A	使用しない

登録
取消

- ① 着信内線番号** …………… 登録した外線電話番号(回線)に電話がかかってきたとき、着信させる内線子機の内線番号(ダイヤルイン)を設定します。(出荷時の設定：なし)
着信内線番号には内線番号、または内線代表番号を設定できます。
※「指定」を選択すると、上図のように、着信させる無線機の個別番号を入力できます。
※DID機能を設定するときは、「PBX拡張設定」メニューの「DIDボックス」画面で、使用するDIDボックスを設定してください。
- ② 鳴り分け判別** …………… 登録した外線電話番号ごとに、着信時の音(パターン)*を設定します。
(出荷時の設定：外線音A(IP回線時)、内線音A(Peer to Peer時))
※KXシリーズ、IP200H、IP200APP、IP200PG、IP210H、VP-2100を本製品に接続している場合に、下記から選択できます。
○外線音A～外線音C : 外線着信時に使用される音(パターン)です。
○内線音A～内線音C : 内線着信時に使用される音(パターン)です。
○通知番号で判別 : 「通知番号の先頭が0」、「番号非通知」、「番号桁数が8桁以上」のいずれかの場合は、着信時の音に「外線音A」を使用し、それ以外の場合は、「内線音A」を使用します。
★KXシリーズの電話機では、着信音ではなく、着信音の鳴るパターン(リズム)になります。「電話機」画面の[着信音パターン割り当て]項目で割り当てたパターン(リズム)で鳴ります。
- ③ 着信キューイング** …………… 着信中、または通話中に、新たに外線からの着信があっても話中にならないようにする機能です。(出荷時の設定：使用しない)
※「使用する」に設定すると、[着信内線番号]欄で選択した内線子機に着信できない状態で、新たに外線からの着信があっても話中にならず、電話をかけた相手には登録した電話機が着信できる状態になるまで呼び出し音が聞かれます。
- ④ <登録>** …………… 「着信設定」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ <取消>** …………… 「着信設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「電話帳」画面

PBX設定 > 電話帳

■ 設定グループ選択

IP電話機用の共通電話帳や設定グループごとに登録できる電話帳を編集するときに選択します。

設定グループの選択

共通 0件	設定グループ 1 0件	設定グループ 2 0件	設定グループ 3 0件	設定グループ 4 0件	設定グループ 5 0件
設定グループ 6 0件	設定グループ 7 0件	設定グループ 8 0件	設定グループ 9 0件	設定グループ10 0件	
設定グループ11 0件	設定グループ12 0件	設定グループ13 0件	設定グループ14 0件	設定グループ15 0件	
設定グループ16 0件	設定グループ17 0件	設定グループ18 0件	設定グループ19 0件	設定グループ20 0件	
設定グループ21 0件	設定グループ22 0件	設定グループ23 0件	設定グループ24 0件	設定グループ25 0件	
設定グループ26 0件	設定グループ27 0件	設定グループ28 0件	設定グループ29 0件	設定グループ30 0件	

共通電話帳はすべての多機能電話機に登録されます。
KX-UTシリーズ、KX-HDVシリーズは共通電話帳の番号1から300までの300件が登録されます。
設定グループ1~30は各内線子機の多機能電話設定グループに対応して登録されます。

電話帳の選択.....

編集するIP電話機用の電話帳を、〈共通〉、〈設定グループ1〉～〈設定グループ30〉から選択します。

クリックすると、選択した電話帳の登録内容を[電話帳登録一覧]項目で確認、または編集できます。(P.8-104)

※[電話帳の保存と書き込み]項目では、選択した電話帳ごとに、電話帳の保存やファイルを書き込みできます。

※登録した件数は、それぞれのボタンの下に表示されます。

※設定グループは、IP電話機を設定する画面の[内線個別]項目で登録できません。

「電話帳」画面

PBX設定 > 電話帳

■ 電話帳の保存と書き込み

選択した電話帳ごとに、ファイルに保存したり、保存したファイルの本製品に書き込んだりします。

電話帳の保存と書き込み

保存したファイルを書き込む： ① ファイルの選択 ファイルが選択されていません

書き込み CSV形式のファイルが書き込みできます。
 ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。

文字コード： ② UTF-8 ▼

ファイルに保存する： ③ 保存 phonebook.csv で保存されます。

① 保存したファイルを書き込む …

[ファイルに保存する] 欄の操作で保存した「電話帳登録ファイル」(拡張子：csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。

電話帳登録ファイルの保存先を指定するため、〈ファイルの選択〉をクリックします。

表示された画面で目的の電話帳登録ファイルを選択して、〈開く(O)〉をクリックします。

テキストボックスに保存先を指定後、〈書き込み〉をクリックすると、[電話帳登録一覧]項目にその内容を書き込みます。

書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。

※「管理」メニューの「設定の保存/復元」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、あとから書き込んだ設定ファイルの内容に上書きしますのでご注意ください。

※ユーザー用の設定画面で電話帳が書き込まれると、管理者用の「電話帳設定」画面の内容が上書きされます。

※下記ファイル以外のインポートは、保証対象外になります。

- ◎[ファイルに保存する]欄の操作で保存した状態のファイル
- ◎8-101ページの書式で保存した状態のファイル
- ◎ユーザー用の「電話帳の編集」画面で保存したファイル

② 文字コード ……………

[ファイルに保存する] 欄で保存するファイルの文字コードを「UTF-8」、「Shift_JIS」から選択します。 (出荷時の設定：UTF-8)

③ ファイルに保存する ……………

[電話帳登録一覧]項目に表示された内容を電話帳登録ファイルとして、パソコンに保存します。

〈保存〉をクリックして、表示された画面の〈保存(S)〉をクリックすると、電話帳登録ファイル(拡張子：csv)として保存できます。

※ファイル名は、[設定グループの選択]項目(P.8-99)でクリックしたボタンに応じて変わります。

たとえば、設定グループ1をクリックしたときの電話帳登録ファイル名は、phonebook01.csvになります。

「電話帳」画面

PBX設定 > 電話帳

電話帳の保存と書き込み

電話帳登録ファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.8-100)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

「電話帳登録ファイル」(拡張子: csv)の書式

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	#	#文字コードの自動解析に使用しているため、コメント文は消さないでください。									
2	#	SR-8000VK	多機能電話電話帳			設定保存ファイル					
3	#	Firm Ver.									
4	#	File Ver.									
5	#番号	名前	電話番号	--	--	ヨミガナ	短縮番号	表示種別(0=電話番号、1=短縮番号)	回線種別(0=外線、1=内線)	電話帳グループ	
6	1	ICOM1	tel:05012345678			アイコム1	tel:201	0	0	1	
7	2	ICOM2	tel:05012345679			アイコム2	tel:202	0	0	1	
8	3	営業所1	tel:0612345678			エイゴウショ1	tel:	0	0	1	
9											

A列: 登録番号(共通電話帳: 1~900、グループ電話帳: 1~100)、重複しない番号を入力

B列: 名前(半角30(全角15)文字以内)

C列: 電話番号(tel:半角数字22桁以内)、文字列認識用のため、tel:につづけて入力

D列: 文字の入力はしないこと(入力すると、内容は無効になる)、列は削除しないこと

E列: 文字の入力はしないこと(入力すると、内容は無効になる)、列は削除しないこと

F列: ヨミガナ(任意の半角30文字以内)

G列: 短縮番号(tel:半角数字7桁以内)、文字列認識用のため、tel:につづけて入力

※短縮番号を使用しない場合は、空白にすること

H列: 表示種別(電話番号: 0、短縮番号: 1)

I列: 回線種別(外線: 0、内線: 1)

※設定を変更しないでください。

J列: 電話帳グループ(1~10)

※設定を変更しないでください。

ご注意

◎A列、C列、G列には、コメント行(A列の#ではじまる行)を除き、重複しない番号を入力してください。

上記画面の例では、1行~5行がコメント行です。

◎一度、[ファイルに保存する]欄(P.8-100)の操作で、CSVファイルとして保存してから、そのCSVファイルを表計算ソフトウェアなどで編集してください。

◎CSVファイルに含まれる改行コードがエラーの原因となりますので、他機種からの電話帳を移行する場合は、テキストエディターなどで不要な改行コードを削除してください。

◎JIS第2水準、旧字体などの一部で、正しく表示されない文字があります。

「電話帳」画面

PBX設定 > 電話帳

■ 電話帳への登録

よく利用する電話番号を電話帳に登録します。

※電話帳を利用した発信など電話機ごとの操作については、本書4-270ページ～4-270ページも併せてご覧ください。

電話帳への登録

番号: ① 1 ▼

名前: ② _____

ヨミガナ: ③ _____

電話番号: ④ _____

短縮番号: ⑤ _____

表示種別: ⑥ 電話番号 ▼

回線種別: ⑦ 外線 ⑧ ⑨ ▼

- ① 番号 相手先電話番号に登録する番号を設定します。
 ◎共通電話帳の場合 : 「1」～「900」の番号を選択します。
 ◎グループ電話帳の場合 : 「1」～「100」の番号を選択します。
- ② 名前* 相手の名前を、任意の半角30文字(全角15)以内で入力します。
- ③ ヨミガナ* 相手のヨミガナを、任意の半角30文字以内で入力します。
 ※半角カタカナ、半角英数字が使用できます。
 ※全角カナは、半角カタカナに変換されます。
- ④ 電話番号* 電話機からダイヤルする電話番号を、半角数字22桁以内で入力します。
 ※「電話番号ルーティング設定」画面で設定した宛先電話番号、プレフィクスを付加した電話番号でも登録できます。

- ⑤ 短縮番号 必要に応じて、短縮番号を、半角数字7桁以内で入力します。
 外線(IP回線)へ発信する、またはPeer to Peer(SIPサーバーを経由しない1対1での通話)で発信する場合に使用できます。
 ※特番やプレフィクスと短縮番号を組み合わせでダイヤルできません。
 ※KX-HDV230Nに割り当てられた<外線発信キー>と短縮番号を組み合わせでダイヤルできません。
 ※短縮番号が使用できるのは、内線個別設定で割り当てた回線捕捉番号だけです。
 ※短縮番号は、KX-HDVシリーズ以外の電話機からも利用できます。

短縮ダイヤル機能について

[短縮番号]欄に、緊急通報(110、118、119)、時報(117)や天気予報(177)など、「1」ではじまる3桁の番号を設定して、その番号をダイヤルすると、短縮番号発信が優先されるため、該当するサービスへ発信できないことがあります。

短縮ダイヤル機能は、特別な理由がない限り、「1」ではじまる3桁の番号を避けてご利用していただくことをおすすめします。

★空白(何も設定していない)の場合、電話帳に登録できません。

「電話帳」画面

PBX設定 > 電話帳

■ 電話帳への登録

電話帳への登録

番号: ① 1

名前: ②

ヨミカナ: ③

電話番号: ④

短縮番号: ⑤

表示種別: ⑥ 電話番号

回線種別: ⑦ 外線

⑧ 登録 ⑨ 取消

⑥ 表示種別 発信者の名前を表示させるとき、発信した相手の「短縮番号」、または「電話番号」のどちらを名前表示の識別に使用するかを選択します。
(出荷時の設定：電話番号)

⑦ 回線種別 発信時に捕捉する回線の種類を、「外線」、「内線」から選択します。
(出荷時の設定：外線)
※「外線」をIP200HやIP200APP、IP210H、VP-2100の電話帳に登録している場合は、外線自動捕捉をしてから発信します。
「内線」を登録している場合は、自動捕捉をせず発信します。
なお、「内線」を登録している場合でも、デフォルト発信経路が割り当てられていたり、発信ルールで外線経路が割り当てられていたりすれば、その経路が優先されます。
※回線種別を間違えて登録すると、発信できないことがありますのでご注意ください。
※KXシリーズの電話機では、使用できない機能です。

⑧ <登録> [電話帳への登録]項目で設定した内容を登録するボタンです。

⑨ <取消> [電話帳への登録]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「電話帳」画面

PBX設定 > 電話帳

■ 電話帳登録一覧

[電話帳への登録]項目(P.8-102)で登録した内容が表示されます。

電話帳登録一覧

短縮番号に緊急番号（110、118、119）等を設定するとその番号に発信できなくなりますのでご注意ください。
詳細は取扱説明書を参照してください。

番号	名前	ヨミガナ	電話番号	短縮番号	表示種別	回線種別	①	②
1	ICOM1	アイコム1	03-1234-5678	201	電話番号	外線	編集	削除
2	ICOM2	アイコム2	03-1234-5678	202	電話番号	外線	編集	削除
3	営業所1	イセイショウ1	03-1234-5678		電話番号	外線	編集	削除

③ 全削除

- ① <編集> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内容を[電話帳への登録]項目で編集できます。
- ② <削除> ボタンの左欄に表示された登録内容を削除するとき、クリックします。
- ③ <全削除> 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。

この章では、
「PBX内線詳細設定」メニューの設定について説明します。

「電話機管理」画面	9-4
■ 電話機管理	9-4
「IP200H」画面	9-6
■ 電話機設定	9-6
■ 内線発信音 [共通設定]	9-7
■ 外線発信音 [共通設定]	9-8
■ 第2発信音 [共通設定]	9-9
■ 話中音 [共通設定]	9-10
■ 規制音 [共通設定]	9-11
■ 呼出音 [共通設定]	9-12
■ 保留アラーム音 [共通設定]	9-13
■ 通話中着信表示音 [共通設定]	9-14
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-15
■ 機種個別設定(IP200H) [設定グループ]	9-16
■ 着信音 [設定グループ]	9-27
■ 着信音パターン [設定グループ]	9-28
■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]	9-29
「IP200APP」画面	9-30
■ 電話機設定	9-30
■ 内線発信音 [共通設定]	9-31
■ 外線発信音 [共通設定]	9-32
■ 第2発信音 [共通設定]	9-33
■ 話中音 [共通設定]	9-34
■ 規制音 [共通設定]	9-35
■ 呼出音 [共通設定]	9-36
■ 保留アラーム音 [共通設定]	9-37
■ 通話中着信表示音 [共通設定]	9-38
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-39
■ 機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]	9-40
■ 着信音 [設定グループ]	9-51
■ 着信音パターン [設定グループ]	9-52
■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]	9-53
「IP200PG」画面	9-54
■ 電話機設定	9-54
■ 話中音 [共通設定]	9-55
■ 規制音 [共通設定]	9-56
■ 呼出音 [共通設定]	9-57
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-58
■ 機種個別設定(IP200PG) [設定グループ]	9-59
■ 着信音 [設定グループ]	9-60
■ 着信音パターン [設定グループ]	9-61
■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]	9-62

9 PBX内線詳細設定

下記は、前ページからの「つづき」です。

[IP210H]画面	9-63
■ 電話機設定	9-63
■ 内線発信音 [共通設定]	9-64
■ 外線発信音 [共通設定]	9-65
■ 第2発信音 [共通設定]	9-66
■ 話中音 [共通設定]	9-67
■ 規制音 [共通設定]	9-68
■ 呼出音 [共通設定]	9-69
■ 保留アラーム音 [共通設定]	9-70
■ 通話中着信表示音 [共通設定]	9-71
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-72
■ 機種個別設定(IP210H) [設定グループ]	9-73
■ 着信音 [設定グループ]	9-86
■ 着信音パターン [設定グループ]	9-87
■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]	9-88
[VP-2100]画面	9-89
■ 電話機設定	9-89
■ 内線発信音 [共通設定]	9-90
■ 外線発信音 [共通設定]	9-91
■ 第2発信音 [共通設定]	9-92
■ 話中音 [共通設定]	9-93
■ 規制音 [共通設定]	9-94
■ 呼出音 [共通設定]	9-95
■ 保留アラーム音 [共通設定]	9-96
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-97
■ 機種個別設定(VP-2100) [設定グループ]	9-98
■ 着信音 [設定グループ]	9-114
■ 着信音パターン [設定グループ]	9-115
■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]	9-116
[KX-UTシリーズ]画面	9-117
■ 電話機設定	9-117
■ 機種個別設定	9-117
■ 発信音 [共通設定]	9-118
■ 話中音 [共通設定]	9-119
■ 規制音 [共通設定]	9-120
■ 呼出音 [共通設定]	9-121
■ 保留アラーム音 [共通設定]	9-122
■ 着信音パターン [共通設定]	9-123
■ 着信音パターン割り当て [共通設定]	9-124
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-125
■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]	9-126

9 PBX内線詳細設定

下記は、前ページからの「つづき」です。

「KX-HDVシリーズ」画面	9-138
■ 電話機設定	9-138
■ 発信音 [共通設定]	9-139
■ 話中音 [共通設定]	9-140
■ 規制音 [共通設定]	9-141
■ 呼出音 [共通設定]	9-142
■ 保留アラーム音 [共通設定]	9-143
■ 着信音パターン [共通設定]	9-144
■ 着信音パターン割り当て [共通設定]	9-145
■ 機種共通設定 [設定グループ]	9-146
■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]	9-147
「増設ユニット(KX-HDV230)」画面	9-159
■ 電話機設定	9-159
■ 機種個別設定(KX-HDV230)	9-160
「TEL」画面	9-161
■ TEL設定	9-161
「無線機コントローラー電話接続」画面	9-163
■ 無線機コントローラー電話接続設定	9-163
■ 通信設定	9-164
■ 制御設定	9-165
■ 音声送信制御設定	9-169
■ 音声受信制御設定	9-170
■ V/RoIP制御設定	9-171
■ 自動切断タイマー設定	9-172

「電話機管理」画面

PBX内線詳細設定 > 電話機管理

■ 電話機管理

本製品に登録した内線子機の情報が表示されます。
※画面は、設定例です。

<input type="checkbox"/> すべて ①	名前 ②	内線番号 ③	種別 ④	バージョン ⑤	IPアドレス ⑥	プレゼンス ⑦
<input type="checkbox"/>	受付1	31	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付2	32	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付3	33	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付4	34	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付5	35	IP200H	v1.14	192.168.0.201	オンライン
<input type="checkbox"/>	受付6	36	IP200H	v1.14	192.168.0.200	オンライン

選択電話機再起動

ファームウェアの強制更新: ⑧ 無効 有効

電話機再起動: ⑨

- ① 子機選択ボックス 再起動させたい電話機を複数選択するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※種別がTELや無線機コントローラー電話接続、もしくは「オンライン」と表示されていない電話機は選択できません。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② 名前 「PBX設定」メニュー→「内線個別」画面の「内線個別設定」項目に登録された名前を表示します。
- ③ 内線番号 「PBX設定」メニュー→「内線個別」画面の「内線個別設定」項目に登録された内線番号を表示します。
- ④ 種別 「PBX設定」メニュー→「内線個別」画面の「内線個別設定」項目に登録された機種を表示します。
- ⑤ バージョン 本製品に登録した内線子機のファームウェア情報を表示します。
※内線子機(KXシリーズ、IP200H、IP200APP、IP200PG、IP210H、VP-2100)を本製品に接続していない(電源が入っていない)場合は、空欄になります。
- ⑥ IPアドレス 本製品に登録した内線子機が使用しているIPアドレスを表示します。
※内線子機を本製品に接続していない(電源が入っていない)場合は、空欄になります。

9 PBX内線詳細設定

「電話機管理」画面

PBX内線詳細設定 > 電話機管理

■ 電話機管理

電話機管理						
<input type="checkbox"/> すべて ①	名前 ②	内線番号 ③	種別 ④	バージョン ⑤	IPアドレス ⑥	プレゼンス ⑦
<input type="checkbox"/>	受付1	31	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付2	32	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付3	33	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付4	34	標準SIPフォン			オフライン
<input type="checkbox"/>	受付5	35	IP200H	v1.14	192.168.0.201	オンライン
<input type="checkbox"/>	受付6	36	IP200H	v1.14	192.168.0.200	オンライン

選択電話機再起動

ファームウェアの強制更新: ⑧ 無効 有効

電話機再起動: ⑨

- ⑦ プレゼンス 本製品に登録した内線子機の使用状況を表示します。
オフライン : 電話機未登録
オンライン★ : 電話機登録成功
電話中★ : 通話中(保留中)
離席★ : 不在転送設定中(無線系端末を除く)
★は登録成功時
- ⑧ ファームウェアの強制更新 IP電話機のファームウェアを強制的に更新するときは、「有効」を選択して、本製品から[電話機再起動]を実行します。
IP電話機の表示部で「F」表示が点滅し、更新の準備が完了すると、自動的に再起動して、ファームウェアの更新が実行されます。
- ⑨ 電話機再起動 <実行>をクリックすると、[子機選択ボックス]欄(P.9-4)で指定したIP電話機が一斉に再起動します。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択:	① 設定グループ1 <small>※変更すると、表示する設定グループが変更されます。</small>
名前:	② _____

- ① 設定グループの選択 …………… 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの変更〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎共通設定
本製品に登録したIP200Hで使用する共通の設定
・ [電話機音設定]項目 (P.9-7～P.9-29)
- ◎設定グループ1～設定グループ30 (P.9-15)
[電話機管理]項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種個別設定 (IP200H)]項目 (キー設定など)
- ② 名前 …………… 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ]欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 内線発信音 [共通設定]

内線発信時の音を設定します。

内線発信音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2: ②	0 Hz																
音量: ③	0 dB																
繰り返し: ④	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ⑤	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	250	250						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
250	250																

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 発信音の音量を設定します。
(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。
(出荷時の設定：有効)
○無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
○有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
○連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
(出荷時の設定：250、250)
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、250ミリ秒間鳴り、250ミリ秒間停止を繰り返します。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 外線発信音 [共通設定]

外線発信時の音を設定します。

外線発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
0							

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：連続)
 - ◎無効：パターン最後の到達すると、発信音を停止します。
 - ◎有効：パターン最後の到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 - ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、連続的に発信音を鳴らします。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 第2発信音 [共通設定]

第2発信(転送)時の音を設定します。

第2発信音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
125	125						

- ① 周波数1/周波数2** 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定: 400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200~2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量** 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定: 0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)~「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 ◎無効: パターンの最後に到達すると、発信音を停止します。
 ◎有効: パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 ◎連続: 連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定: 125、125)
 設定できる範囲は、「50~16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、125ミリ秒間鳴り、125ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2: ②	0 Hz																
音量: ③	0 dB																
繰り返し: ④	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ⑤	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 話中音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後に到達すると、話中音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、話中音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、話中音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2:	0 Hz																
音量: ②	0 dB																
繰り返し: ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ④	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 規制音の音量を設定します。
(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。
(出荷時の設定：有効)
◎無効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、規制音を停止します。
◎有効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、パターンの最初(上図：500)に戻り、規制音を繰り返します。
◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、規制音のパターン(ON/OFF)を設定します。
(出荷時の設定：500、500)
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング: ON OFF ON OFF ON OFF ON OFF

- 1 周波数1/周波数2** 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- 2 音量** 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、呼出音を停止します。
 有効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、パターンの最初(上図：1000)に戻り、呼出音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、呼出音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：1000、2000)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 保留アラーム音 [共通設定]

保留アラーム音(自己保留が長時間になった場合に流れる音)を設定します。

保留アラーム音

周波数1: ① 600 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
120	120						

- ① 周波数1/周波数2 保留アラーム音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：600(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 保留アラーム音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターンの最後に到達すると、保留アラーム音を停止します。
 有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、保留アラーム音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を設定します。 (出荷時の設定：120、120)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、120ミリ秒間鳴り、120ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 通話中着信表示音 [共通設定]

通話中着信表示音(通話中に別の端末からの着信を通知する音)を設定します。

通話中着信表示音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	50	450	50	3450				

- 1 周波数1/周波数2** 通話中着信表示音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- 2 音量** 通話中着信表示音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した通話中着信表示音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後に到達すると、通話中着信表示音を停止します。
 有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、通話中着信表示音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、通話中着信表示音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：50、450、50、3450)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、50ミリ秒間鳴り、450ミリ秒間停止、50ミリ秒間鳴り、3450ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。
- 5 <登録>** 「IP200H」画面(共通設定)で設定した内容を登録するボタンです。
- 6 <取消>** 「IP200H」画面(共通設定)の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 機種共通設定 [設定グループ]

選択した内線子機の設定グループごとに、キー操作や機能の割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号	① 01
コールピックアップ対象	② 内線のみ
グループピックアップ対象	③ 外線/内線
指定ピックアップ対象	④ 外線/内線
発信規制	⑤ 無効

- ① ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するときに使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定：01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定：**)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：内線のみ)
- ③ グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ④ 指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ⑤ 発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。(出荷時の設定：無効)

 - ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間	① 5 秒
アイドル時外線発信キー押下	② <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線発信キー	③ 0
外線捕捉範囲	④ 1 - 4
オフフック回線捕捉	⑤ <input checked="" type="radio"/> 内線 <input type="radio"/> 外線
オフフック外線応答	⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信優先順位	⑦ <input checked="" type="radio"/> 内線優先 <input type="radio"/> 外線優先
外線通話中の内線着信	⑧ <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間	⑨ 180 秒
保留キー動作	⑩ <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
通話中着信表示音	⑪ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳(共通)の利用	⑫ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ① **ダイヤル待ち時間** ……………

ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「15」(秒)です。 (出荷時の設定：5)
※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎても操作がないときは、発信を開始しますのでご注意ください。
- ② **アイドル時外線発信キー押下** ……

待受画面の状態、[外線発信キー]欄で設定した番号を押したときの動作を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、[外線発信キー]欄で設定した番号を押したときに、外線捕捉をします。
- ③ **外線発信キー** ……………

空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるための番号を「0」～「9」、「*」、「#」から選択します。 (出荷時の設定：0)
- ④ **外線捕捉範囲** ……………

空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるため、IP200Hのプログラマブルキーに割り当てる〈外線キー〉の設定範囲を、「1」～「4」から選択します。 (出荷時の設定：1 - 4)
- ⑤ **オフフック回線捕捉** ……………

[発信/応答]を操作してダイヤルするときの発信先(内線/外線)を設定します。 (出荷時の設定：内線)
 内線：[発信/応答]を押したときに内線発信音(ツーツー)が聞こえ、ダイヤルした内線番号の内線子機を呼び出します。
 外線：[発信/応答]を押したとき、[外線捕捉範囲]欄で設定した空いている回線を自動的に捕捉します。
- ⑥ **オフフック外線応答** ……………

「有効」を設定すると、外線から電話がかかってきたときに[発信/応答]を押すだけで応答できます。 (出荷時の設定：有効)
 ※「無効」を設定すると、外線着信より発信操作を優先したり、〈外線キー〉を押して応答する同時着信中の外線を選択したりできます。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間	① 5 秒
アイドル時外線発信キー押下	② <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線発信キー	③ 0
外線捕捉範囲	④ 1 - 4
オフフック回線捕捉	⑤ <input checked="" type="radio"/> 内線 <input type="radio"/> 外線
オフフック外線応答	⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信優先順位	⑦ <input checked="" type="radio"/> 内線優先 <input type="radio"/> 外線優先
外線通話中の内線着信	⑧ <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間	⑨ 180 秒
保留キー動作	⑩ <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
通話中着信表示音	⑪ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳[共通]の利用	⑫ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ⑦ 着信優先順位 「外線優先」を設定すると、外線からの電話を優先して内線子機に着信させます。
(出荷時の設定：内線優先)
※外線からの電話は、ディスプレイに「着信中(キー番号)」を表示して、使用している回線を確認できます。

- ⑧ 外線通話中の内線着信 外線通話中の内線着信(Peer to Peer着信を含む)に対する動作を設定します。
(出荷時の設定：拒否)
「拒否」を設定すると、外線通話時に内線着信を拒否(話中応答)します。

- ⑨ 長時間保留の監視時間 設定した時間を超えて自己保留をすると、警告音を鳴らします。
設定できる範囲は、「30～240」(秒)です。 (出荷時の設定：180)

- ⑩ 保留キー動作 [クリア/保留] を操作して保留するときの動作(自己保留/保留)を設定します。
(出荷時の設定：自己保留)
「保留」を設定すると、パークキー([P1]～[P4])と同様に、[クリア/保留]で通話をパーク保留できます。

- ⑪ 通話中着信表示音 IP200Hで通話中、別の端末からの着信があった場合に通知音で知らせるかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

- ⑫ 電話帳[共通]の利用 IP200Hの電話機が起動したときに、本製品の共通電話帳(最大900件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

電話帳からの発信: 13 無効 有効

通話中のPTT押下: 14 無効 電話切断

レジストサーバー: 15 _____

通信圏外通知音: 16 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

側音停止: 17 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

履歴表示: 18 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

プログラマブルキー設定			
P1	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

- 13 電話帳からの発信 IP200Hのメニュー画面(メニュー⇒アドレス帳)内の「電話帳」(共通/個別)を操作できるかどうかを選択します。(出荷時の設定: 有効)
- 14 通話中のPTT押下 電話通話中にIP200Hの[PTT]を押して、電話を切りたいときに設定します。(出荷時の設定: 無効)
- 15 レジストサーバー IP200Hのレジストサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品を使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※下記は、[電話機管理]項目の[共通項目の設定]欄(P.8-14)が「本製品の設定」の場合に有効です。

- 16 通信圏外通知音 IP200Hが通信圏外になったことをお知らせする通知音を設定します。(出荷時の設定: 無効)
- 17 側音停止 側音を停止して、圏外などで通信できなくなったことをお知らせする機能を設定します。(出荷時の設定: 無効)
 無効: 圏外時でも、ヘッドセットから自分の音声が聞こえます。
 有効: 圏外になると、ヘッドセットから自分の音声が聞こえなくなります。
- 18 履歴表示 履歴の表示を設定します。(出荷時の設定: 有効)
 無効: 履歴を表示しません。
 有効: 履歴を表示できるように設定します。
※IP200Hのメニュー画面やキー操作で履歴を確認できます。

9 PBX内線詳細設定

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

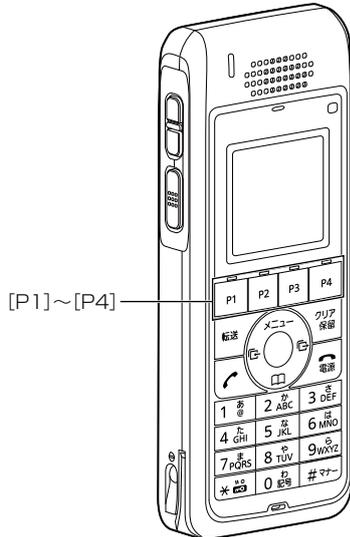
他製品の設定	線着信： <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
ワンタッチ	見時間：180
外線キー	一動作： <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
パーク	表示音： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電開始/停止	の利用： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信おまたせ開始/停止	の発信： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在転送切替	押し下： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 電話切断
応答転送切替	バー： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
話中転送切替	通知音： ※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
昼夜切替	音停止： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	表示： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電の再生	
コールピックアップ	
グループピックアップ	
内線キー	
回線閉塞	
音声メモ	
音声呼出	
未使用	
未使用	

19	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4]

IP200Hの[P1]～[P4] (プログラマブルキー)ごとに機能を割り当てます。
(出荷時の設定：未使用)



◎他製品の設定

弊社製コントローラーやCS-IP200Hなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎ワンタッチ

よく利用する内線番号や外線番号、および本製品で設定した特番などを、あらかじめ登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。

※外線発信先を登録する場合、外線発信特番設定のプレフィクスを前置すると、指定回線(発信番号)での発信もできます。

指定しない場合、内線個別設定の回線捕捉設定にしたがいます。

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

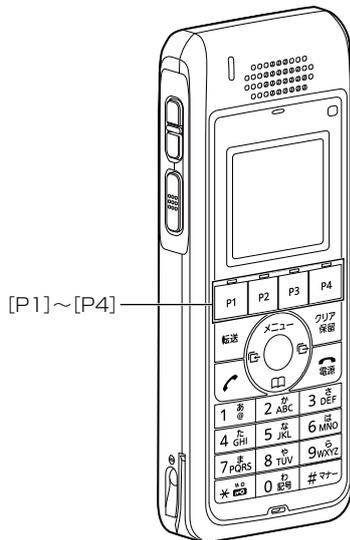
他製品の設定
 フタタッチ
 外線キー
 パーク
 留守電開始/停止
 着信おまかせ開始/停止
 不在転送切替
 不応答転送切替
 話中転送切替
 昼夜切替
 外線着信転送切替
 留守電の再生
 コールピックアップ
 グループピックアップ
 内線キー
 回線閉塞
 音声メモ
 音声呼出

録着信: 拒否 許可
 見時間: 180
 一動作: 自己保留 保留
 表示音: 無効 有効
 の利用: 無効 有効
 の発信: 無効 有効
 T押下: 無効 電話切断
 ーバー: _____
 通知音: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 音停止: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

19	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎留守電開始/停止

内線子機が使用するボックスについて、留守番電話機能の開始、停止を操作できます。
 留守番電話機能が動作しているときは、キーが黄色に点灯します。
 ※留守番電話機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。
 ※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎着信おまかせ開始/停止

着信おまかせ機能を設定すると、通話中など登録した内線子機が設定した時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待っていただけます。
 着信おまかせ機能が動作しているときは、キーが黄色に点灯します。
 ※着信おまかせ機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。
 ※着信おまかせ機能で、留守番電話に接続する場合は、「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定しておく必要があります。
 ※IP200Hで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、プログラマブルキーに〈外線キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-20)
 ※ユーザー用の「着信おまかせ設定」画面で、回線ごとに使用するパターンを選択していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

9 PBX内線詳細設定

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

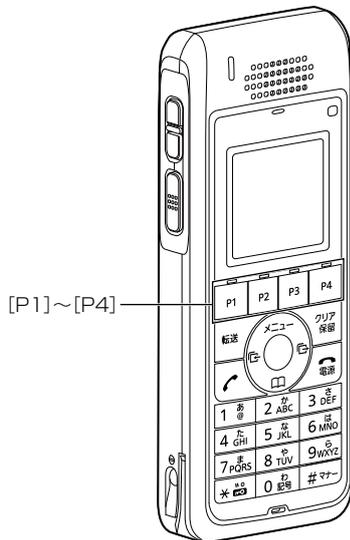
機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

他製品の設定	線着信： <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
フタタッチ	見時間：180
外線キー	一動作： <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
パーク	表示音： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電開始/停止	の利用： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信おませ開始/停止	の発信： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在転送切替	押し下： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 電話切断
不応答転送切替	バー： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
話中転送切替	通知音： ※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
昼夜切替	音停止： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	表示： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電の再生	
コールピックアップ	
グループピックアップ	
内線キー	
回線閉塞	
音声メモ	
音声呼出	
未使用	19
未使用	P2
未使用	P3
未使用	P4

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4](つづき) ……………



◎不在転送切替

不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。不在転送機能が動作しているときは、キーが黄色に点灯します。※不在転送機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不在転送]欄(P.8-5)で設定した特番(出荷時の設定：*94)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー)に設定されます。

◎不応答転送切替

電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。不応答転送機能が動作しているときは、キーが黄色に点灯します。※不応答転送機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不応答転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*95)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー)に設定されます。

9 PBX内線詳細設定

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

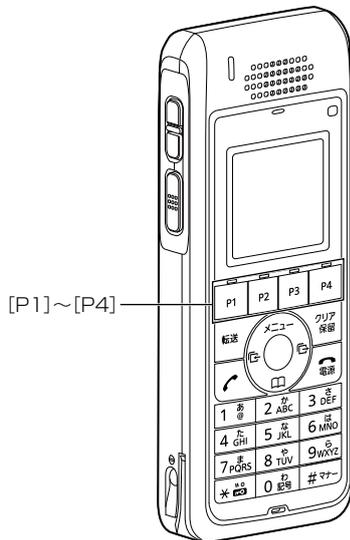
機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

他製品の設定	線着信： <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
フタタッチ	見時間：180
外線キー	一動作： <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
パーク	表示音： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電開始/停止	の利用： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信おまたせ開始/停止	の発信： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在転送切替	押し下： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 電話切断
応答転送切替	バー： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
話中転送切替	通知音： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
昼夜切替	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
外線着信転送切替	音停止： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
留守電の再生	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
コールピックアップ	表示： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
内線キー	
回線閉塞	
音声メモ	
音声呼出	
未使用	19
未使用	P2
未使用	P3
未使用	P4

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎外線着信転送切替

回線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。

外線着信転送機能が動作しているときは、キーが黄色に点灯します。

※外線着信転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「夜間転送先設定」画面で「外線」に設定されているときは、夜間転送に切り替わると、この設定に関わらず、夜間転送先設定が優先されます。

※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

9 PBX内線詳細設定

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

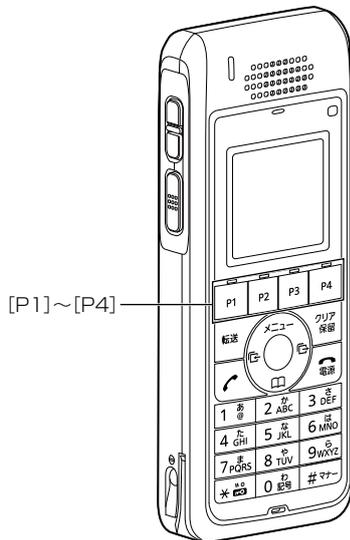
機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

他製品の設定	録着信： <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
フタタッチ	見時間：180
外線キー	一動作： <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
パーク	表示音： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電開始/停止	の利用： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信おませ開始/停止	の発信： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在転送切替	押し下： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 電話切断
応答転送切替	バー： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
話中転送切替	通知音： ※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
昼夜切替	音停止： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
留守電の再生	表示： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
コールピックアップ	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
グループピックアップ	
内線キー	
回線閉塞	
音声メモ	
音声呼出	
未使用	19
未使用	P2
未使用	P3
未使用	P4

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4](つづき) ……………



◎留守電の再生

内線子機が使用するボックスに録音されたメッセージを確認するときに使用するキーです。

キーを押すと、留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインできます。ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。

※留守番電話操作メニュー(メインメニュー)の詳細については、「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎コールピックアップ

ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できるキーです。

◎グループピックアップ

同じ設定グループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できる番号キーです。

※指定した設定グループへの呼び出しに代理応答する場合は、特番+ピックアップグループ番号を押します。(例：**01)

9 PBX内線詳細設定

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

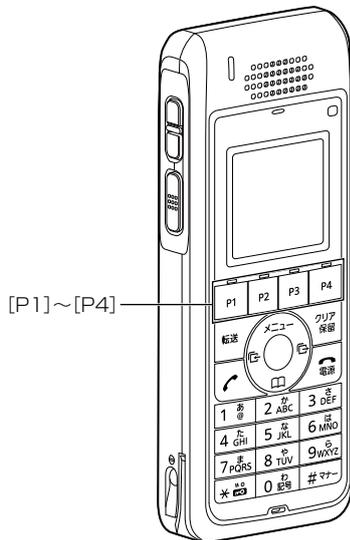
機種個別設定(IP200H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

他製品の設定	線着信： <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
フタタッチ	見時間：180
外線キー	一動作： <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
パーク	表示音： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
留守電開始/停止	の利用： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信おませ開始/停止	の発信： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在転送切替	T押下： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 電話切断
応答転送切替	バー： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
話中転送切替	通知音： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
昼夜切替	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
外線着信転送切替	音停止： <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
留守電の再生	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
コールピックアップ	表示： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
内線キー	
回線閉塞	
音声メモ	
音声呼出	
未使用	19
未使用	P2
未使用	P3
未使用	P4

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4](つづき) ……………



◎内線キー

内線発信時に使用するキーです。〈内線キー〉を押してから、内線番号をダイヤルします。

◎回線閉塞

回線閉塞機能を開始、または停止するときに使用するキーです。通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。

※IP200Hで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、プログラマブルキーに〈外線キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-20)

◎音声メモ

電話通話中の録音を開始、または停止するときに使用するキーです。

※無線通話は対象外になります。

※IP200H側が「IP電話機」を含む動作モードのときに設定できます。

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎未使用

機能を割り当てません。

9 PBX内線詳細設定

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 着信音 [設定グループ]

着信音を設定します。

着信音 (設定グループ1)	
着信音色:	着信音1 ▼

着信音色…………… 本製品に登録したIP200Hで使用する着信音を、「着信音1」～「着信音5」から選択します。
(出荷時の設定：着信音1)

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 着信音パターン [設定グループ]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン (設定グループ1)								
※着信音パターンはミリ秒となります。								
着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				
着信音パターン6:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	250	250	250	250	2250
着信音パターン7:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	150	300	600	300	150	300	600	300

パターン1～パターン7 ……………

最大7個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250

パターン6 250、250、250、250、250、250、250、2250

パターン7 150、300、600、300、150、300、600、300)

設定できる範囲は、「50～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※IP200Hの着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-29)

「IP200H」画面

PBX内線詳細設定 > IP200H

■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン6
内線C:	着信音パターン7
デフォルト内線:	着信音パターン5

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「着信音なし」、「パターン1」～「パターン7」から選択します。
たとえば、[鳴り分け判別]欄で「外線音A」に設定されている場合、IP200Hに着信したとき「パターン1」が鳴ります。
※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。
※[鳴り分け判別]欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。
※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択:	① 設定グループ1 <small>※変更すると、表示する設定グループが変更されます。</small>
名前:	② _____

- ① 設定グループの選択 ……………
- 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの変更〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎共通設定
本製品に登録したIP200APPで使用する共通の設定
・ [電話機音設定] 項目 (P.9-7～P.9-29)
- ◎設定グループ1～設定グループ30 (P.9-15)
[電話機管理] 項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種個別設定 (IP200APP)] 項目 (キー設定など)
- ② 名前 ……………
- 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ] 欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 内線発信音 [共通設定]

内線発信時の音を設定します。

内線発信音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2: ②	0 Hz																
音量: ③	0 dB																
繰り返し: ④	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ⑤	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	250	250						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
250	250																

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 発信音の音量を設定します。(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。(出荷時の設定：有効)
 - 無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 - 有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 - 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
(出荷時の設定：250、250)
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、250ミリ秒間鳴り、250ミリ秒間停止を繰り返します。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 外線発信音 [共通設定]

外線発信時の音を設定します。

外線発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
0							

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 発信音の音量を設定します。(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。(出荷時の設定：連続)
 - ◎無効：パターン最後の到達すると、発信音を停止します。
 - ◎有効：パターン最後の到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 - ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、連続的に発信音を鳴らします。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 第2発信音 [共通設定]

第2発信(転送)時の音を設定します。

第2発信音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
125	125						

- ① 周波数1/周波数2** 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量** 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 ◎有効：パターン最後に到達すると、パターン最初に戻り、発信音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：125、125)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、125ミリ秒間鳴り、125ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
500	500						

- ① 周波数1/周波数2** 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量** 話中音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後に到達すると、話中音を停止します。
 ◎有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、話中音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大8個の値を使用して、話中音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2:	0 Hz																
音量: ②	0 dB																
繰り返し: ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ④	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 規制音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、規制音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、パターンの最初(上図：500)に戻り、規制音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、規制音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング: ON OFF ON OFF ON OFF ON OFF

- 1 周波数1/周波数2** 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- 2 音量** 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、呼出音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、パターンの最初(上図：1000)に戻り、呼出音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、呼出音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：1000、2000)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 保留アラーム音 [共通設定]

保留アラーム音(自己保留が長時間になった場合に流れる音)を設定します。

保留アラーム音

周波数1: ① 600 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
120	120						

- ① 周波数1/周波数2 保留アラーム音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：600(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 保留アラーム音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターンの最後に到達すると、保留アラーム音を停止します。
 有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、保留アラーム音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を設定します。 (出荷時の設定：120、120)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、120ミリ秒間鳴り、120ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 通話中着信表示音 [共通設定]

通話中着信表示音(通話中に別の端末からの着信を通知する音)を設定します。

通話中着信表示音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	50	450	50	3450				

- 1 周波数1/周波数2** 通話中着信表示音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- 2 音量** 通話中着信表示音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した通話中着信表示音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターンの最後に到達すると、通話中着信表示音を停止します。
 有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、通話中着信表示音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、通話中着信表示音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：50、450、50、3450)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、50ミリ秒間鳴り、450ミリ秒間停止、50ミリ秒間鳴り、3450ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。
- 5 <登録>** 「IP200APP」画面(共通設定)で設定した内容を登録するボタンです。
- 6 <取消>** 「IP200APP」画面(共通設定)の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 機種共通設定 [設定グループ]

選択した内線子機の設定グループごとに、キー操作や機能の割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号	① 01
コールピックアップ対象	② 内線のみ ▼
グループピックアップ対象	③ 外線/内線 ▼
指定ピックアップ対象	④ 外線/内線 ▼
発信規制	⑤ 無効 ▼

- ① ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するとき使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定：01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定：**)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：内線のみ)
- ③ グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ④ 指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ⑤ 発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。(出荷時の設定：無効)

 - ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間	① 5 秒
アイドル時外線発信キー押下	② <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線発信キー	③ 0
外線捕捉範囲	④ 1 - 4
オフフック回線捕捉	⑤ <input checked="" type="radio"/> 内線 <input type="radio"/> 外線
オフフック外線応答	⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信優先順位	⑦ <input checked="" type="radio"/> 内線優先 <input type="radio"/> 外線優先
外線通話中の内線着信	⑧ <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間	⑨ 180 秒
保留キー動作	⑩ <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
通話中着信表示音	⑪ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳(共通)の利用	⑫ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ① **ダイヤル待ち時間** ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「15」(秒)です。 (出荷時の設定：5)
※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎても操作がないときは、発信を開始しますのでご注意ください。

- ② **アイドル時外線発信キー押下** ... 待受画面の状態で、「外線発信キー」欄で設定した番号を押したときの動作を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、「外線発信キー」欄で設定した番号を押したときに、外線捕捉をします。

- ③ **外線発信キー** 空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるための番号を「0」～「9」、「*」、「#」から選択します。 (出荷時の設定：0)

- ④ **外線捕捉範囲** 空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるため、IP200APPのプログラマブルキーに割り当てる(外線キー)の設定範囲を、「1」～「4」から選択します。 (出荷時の設定：1 - 4)

- ⑤ **オフフック回線捕捉** [発信/応答] を操作してダイヤルするときの発信先(内線/外線)を設定します。
(出荷時の設定：内線)
 - ◎**内線**：[発信/応答] を押したときに内線発信音(ツーツー)が聞こえ、ダイヤルした内線番号の内線子機を呼び出します。
 - ◎**外線**：[発信/応答] を押したとき、「外線捕捉範囲」欄で設定した空いている回線を自動的に捕捉します。

- ⑥ **オフフック外線応答** 「有効」を設定すると、外線から電話がかかってきたときに[発信/応答] を押すだけで応答できます。 (出荷時の設定：有効)
※「無効」を設定すると、外線着信より発信操作を優先したり、(外線キー) を押して応答する同時着信中の外線を選択したりできます。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間	① 5 秒
アイドル時外線発信キー押下	② <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線発信キー	③ 0
外線捕捉範囲	④ 1 - 4
オフフック回線捕捉	⑤ <input checked="" type="radio"/> 内線 <input type="radio"/> 外線
オフフック外線応答	⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信優先順位	⑦ <input checked="" type="radio"/> 内線優先 <input type="radio"/> 外線優先
外線通話中の内線着信	⑧ <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間	⑨ 180 秒
保留キー動作	⑩ <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
通話中着信表示音	⑪ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳[共通]の利用	⑫ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ⑦ 着信優先順位 「外線優先」を設定すると、外線からの電話を優先して内線子機に着信させます。
(出荷時の設定：内線優先)
※外線からの電話は、ディスプレイに「着信中(キー番号)」を表示して、使用している回線を確認できます。

- ⑧ 外線通話中の内線着信 外線通話中の内線着信(Peer to Peer着信を含む)に対する動作を設定します。
(出荷時の設定：拒否)
「拒否」を設定すると、外線通話時に内線着信を拒否(話中応答)します。

- ⑨ 長時間保留の監視時間 設定した時間を超えて自己保留をすると、警告音を鳴らします。
設定できる範囲は、「30～240」(秒)です。 (出荷時の設定：180)

- ⑩ 保留キー動作 [保留] を操作して保留するときの動作(自己保留/保留)を設定します。
(出荷時の設定：自己保留)
[保留]を設定すると、パークキー([P1]～[P4])と同様に、[保留]で通話をパーク保留できます。

- ⑪ 通話中着信表示音 IP200APPで通話中、別の端末からの着信があった場合に通知音で知らせるかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

- ⑫ 電話帳[共通]の利用 IP200APPの電話機が起動したときに、本製品の共通電話帳(最大900件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

電話帳からの発信 : 13 無効 有効

通話中のPTT押下 : 14 無効 電話切断

レジストサーバー : 15

プッシュ着信通知 : 16 無効 有効

プログラマブルキー設定			
P1	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

- 13 電話帳からの発信** IP200APPのホーム画面で「アドレス帳」を操作できるかどうかを選択します。
(出荷時の設定：有効)
- 14 通話中のPTT押下** 電話通話中にIP200APPの[PTT]を押して、電話を切りたいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
- 15 レジストサーバー** IP200APPのレジストサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品を使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 16 プッシュ着信通知** P200APPバックグラウンド時のプッシュ通知機能について設定します。
(出荷時の設定：有効)

◎無効：サーバー側でプッシュ通知機能を「無効」にします。

◎有効：サーバー側でプッシュ通知機能を「有効」にすると、着信時にプッシュ通知されます。

※インターネットに接続できないオフライン環境の場合は、プッシュ通知ができません。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ワンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可
着信おまたせ開始/停止	見時間:	180 秒	
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留
応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	DT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断
留守電の再生	バー:	_____	
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ			
内線キー			
回線閉塞			
音声メモ			
音声呼出			
未使用			
未使用	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

⑩ [P1]～[P4]

IP200APPの[P1]～[P4] (プログラマブルキー) ごとに機能を割り当てます。
(出荷時の設定：未使用)

◎ワンタッチ

よく利用する内線番号や外線番号、および本製品で設定した特番などを、あらかじめ登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。

※外線発信先を登録する場合、外線発信特番設定のプレフィクスを前置きすると、指定回線(発信番号)での発信もできます。

指定しない場合、内線個別設定の回線捕捉設定にしたがいます。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可
着信おまたせ開始/停止	見時間:	180 秒	
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留
応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	DT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断
留守電の再生	パー:		
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ			
内線キー			
回線閉塞			
音声メモ			
音声呼出			
未使用			
未使用	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

⑩ [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎外線キー

外線発信時に使用する回線の電話番号、または回線グループ*を選択できる機能です。

※〈外線キー〉に割り当てた回線の使用状況は、ランプ表示で確認できます。

回線を選択するには

キーを押すと、緑色に点灯します。ダイヤルすると、選択した回線で発信します。履歴からでも回線を選択して発信できます。

★回線グループを〈外線キー〉に割り当てた場合は、その回線グループに登録した複数の電話番号から、空いているIP回線(電話番号)を自動的に捕捉して発信できます。

※登録されている回線グループは、「電話回線設定」メニューの「回線グループ設定」画面で(P.7-15)で確認できます。

※回線グループに登録した電話番号は、単独で〈外線キー〉に割り当てられません。

回線の使用状況を確認するには

回線が使用中で発信できないときは、赤色に点灯します。着信すると、赤色に高速点滅します。保留中は緑色に低速点滅します。

※ほかの子機で保留したときは、赤色に低速点滅します。

◎パーク

通話をパーク保留して、どの内線子機からでも応答できる機能です。

※パークを設定していない場合は、パーク保留特番(出荷時の設定：*90)やパーク応答特番(出荷時の設定：*91)につづけてパーク番号(1～24)をダイヤルすると機能します。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線												
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先												
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可												
着信おまたせ開始/停止	見時間:	180 秒													
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留												
応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
昼夜切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
外線着信転送切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
留守電の再生	DTMF押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断												
コールピックアップ	バー:	_____													
グループピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
内線キー	<table border="1"> <tr> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未使用</td> <td>P2</td> <td>P3</td> <td>P4</td> </tr> <tr> <td>未使用</td> <td>未使用</td> <td>未使用</td> <td>未使用</td> </tr> </table>			17				未使用	P2	P3	P4	未使用	未使用	未使用	未使用
17															
未使用	P2	P3	P4												
未使用	未使用	未使用	未使用												

プログラブルキー設定

17 [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎留守電開始/停止

内線子機が使用するボックスについて、留守番電話機能の開始、停止を操作できます。

※留守番電話機能を解除するときは、再度キーを押してください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎着信おまたせ開始/停止

着信おまたせ機能を設定すると、通話中など登録した内線子機が設定した時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待っていただけます。

※着信おまたせ機能を解除するときは、再度キーを押してください。

※着信おまたせ機能で、留守番電話に接続する場合は、「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定しておく必要があります。

※IP200APPで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、プログラブルキーに〈外線キー〉の割り当てが契約チャネル数分必要です。(P.9-20)

※ユーザー用の「着信おまたせ設定」画面で、回線ごとに使用するパターンを選択していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可
着信おまたせ開始/停止	見時間:	180 秒	
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留
不応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	DT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断
留守電の再生	バー:	_____	
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ			
内線キー			
回線閉塞			
音声メモ			
音声呼出			
未使用			
未使用	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

⑩ [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎不在転送切替

不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

※不在転送機能を解除するときは、再度キーを押してください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不在転送]欄(P.8-5)で設定した特番(出荷時の設定：*94)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎不応答転送切替

電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

※不応答転送機能を解除するときは、再度キーを押してください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不応答転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*95)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線												
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先												
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可												
着信おまたせ開始/停止	見時間:	180 秒													
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留												
応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
外線着信転送切替	T押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断												
留守電の再生	バー:	_____													
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効												
グループピックアップ		<table border="1"> <tr> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未使用</td> <td>P2</td> <td>P3</td> <td>P4</td> </tr> <tr> <td>未使用</td> <td>未使用</td> <td>未使用</td> <td>未使用</td> </tr> </table>		17				未使用	P2	P3	P4	未使用	未使用	未使用	未使用
17															
未使用	P2	P3	P4												
未使用	未使用	未使用	未使用												
内線キー															
回線閉塞															
音声メモ															
音声呼出															

プログラマブルキー設定

17 [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎話中転送切替

内線通話中にほかの内線がかかってきたときに、登録した電話番号に着信を転送する機能です。

※話中転送機能を解除するときは、再度ボタンを押してください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[話中転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*96)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎昼夜切替

あらかじめ登録した外線サービスグループ(P.10-18)ごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。

※夜間転送を解除するときは再度キーを押す、またはユーザー用の「昼夜切替設定」画面のボタンをクリックしてください。

※夜間転送を一括解除するときは、「特番」画面の[昼夜切替]欄(P.8-7)で設定した昼夜切替特番(出荷時の設定：*98)をダイヤルして、消灯をご確認ください。

※「PBX拡張設定」メニューの「夜間転送先」画面(P.10-21)で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可
着信おまかせ開始/停止	見時間:	180 秒	
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留
応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	DT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断
留守電の再生	バー:	_____	
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ			
内線キー			
回線閉塞			
音声メモ			
音声呼出			
未使用			
未使用	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

⑰ [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎外線着信転送切替

回線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。

※外線着信転送機能を解除するときは、再度ボタンを押してください。

※「夜間転送先設定」画面で「外線」に設定されているときは、夜間転送に切り替わると、この設定に関わらず、夜間転送先設定が優先されます。

※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可
着信おまたせ開始/停止	見時間:	180 秒	
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留
不応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	T押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断
留守電の再生	バー:	_____	
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ			
内線キー			
回線閉塞			
音声メモ			
音声呼出			
未使用			
未使用	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

⑩ [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎留守電の再生

内線子機が使用するボックスに録音されたメッセージを確認するとき使用するキーです。

キーを押すと、留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインできます。ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。

※留守番電話操作メニュー(メインメニュー)の詳細については、「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

※「基本」画面の「留守番電話機能」欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎コールピックアップ

ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できるキーです。

◎グループピックアップ

同じ設定グループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できる番号キーです。

※指定した設定グループへの呼び出しに代理応答する場合は、特番+ピックアップグループ番号を押します。(例：**01)

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

機種個別設定(IP200APP) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

フンタッチ	線捕捉:	<input checked="" type="radio"/> 内線	<input type="radio"/> 外線
外線キー	線応答:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パーク	先順位:	<input checked="" type="radio"/> 内線優先	<input type="radio"/> 外線優先
留守電開始/停止	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可
着信おまかせ開始/停止	見時間:	180 秒	
不在転送切替	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留
応答転送切替	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
話中転送切替	のり利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
昼夜切替	のり発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
外線着信転送切替	DT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断
留守電の再生	バー:	_____	
コールピックアップ	音通知:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
グループピックアップ			
内線キー			
回線閉塞			
音声メモ			
音声呼出			
未使用			
未使用	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

⑩ [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎内線キー

内線発信時に使用するキーです。〈内線キー〉を押してから、内線番号をダイヤルします。

◎回線閉塞

回線閉塞機能を開始、または停止するときに使用するキーです。通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。

※IP200APPで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、プログラブルキーに〈外線キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-20)

◎音声メモ

電話通話中の録音を開始、または停止するときに使用するキーです。※無線通話は対象外になります。

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎未使用

機能を割り当てません。

9 PBX内線詳細設定

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 着信音【設定グループ】

着信音を設定します。

着信音 (設定グループ1)	
着信音色:	着信音1 ▼

着信音色…………… 本製品に登録したIP200APPで使用する着信音を、「着信音1」～「着信音5」から選択します。
(出荷時の設定：着信音1)

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 着信音パターン [設定グループ]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン (設定グループ1)								
※着信音パターンはミリ秒となります。								
着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				
着信音パターン6:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	250	250	250	250	2250
着信音パターン7:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	150	300	600	300	150	300	600	300

パターン1～パターン7 ……………

最大7個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250

パターン6 250、250、250、250、250、250、250、2250

パターン7 150、300、600、300、150、300、600、300)

設定できる範囲は、「50～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※IP200APPの着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-29)

「IP200APP」画面

PBX内線詳細設定 > IP200APP

■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン6
内線C:	着信音パターン7
デフォルト内線:	着信音パターン5

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「着信音なし」、「パターン1」～「パターン7」から選択します。

たとえば、「鳴り分け判別」欄で「外線音A」に設定されている場合、IP200APPに着信したとき「パターン1」が鳴ります。

※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。

※「鳴り分け判別」欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。

※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択: ①	設定グループ1 <input type="button" value="▼"/>
※変更すると、表示する設定グループが変更されます。	
名前: ②	<input type="text"/>

- ① 設定グループの選択 ……………
- 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの変更〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎共通設定
本製品に登録したIP200PGで使用する共通の設定
・ [電話機音設定] 項目 (P.9-55～P.9-57)
- ◎設定グループ1～設定グループ30 (P.9-58)
[電話機管理] 項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種個別設定 (IP200PG)] 項目 (通信圏外通知音など)
- ② 名前 ……………
- 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ] 欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2:	0 Hz																
音量: ②	0 dB																
繰り返し: ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ④	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 話中音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後に到達すると、話中音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、話中音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、話中音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音								
周波数1:	①	400						Hz
周波数2:		0						Hz
音量:	②	0						▼ dB
繰り返し:	③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続						
タイミング:	④	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
		500	500					

- ① 周波数1/周波数2 …………… 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 …………… 規制音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し …………… [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後(上図：500)に到達すると、規制音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後(上図：500)に到達すると、パターンの最初(上図：500)に戻り、規制音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング …………… 最大8個の値を使用して、規制音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音									
周波数1:	<input type="text" value="400"/>								Hz
周波数2:	<input type="text" value="440"/>								Hz
音量:	<input type="text" value="0"/>								dB
繰り返し:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続								
タイミング:	<input type="text" value="1000"/>	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text"/>						
	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	

- 1 周波数1/周波数2** 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- 2 音量** 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターンの最後(上図：2000)に到達すると、呼出音を停止します。
 有効：パターンの最後(上図：2000)に到達すると、パターンの最初(上図：1000)に戻り、呼出音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、呼出音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：1000、2000)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 機種共通設定 [設定グループ]

選択した内線子機の設定グループごとに、キー操作や機能の割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号: ①	01
コールピックアップ対象: ②	内線のみ
グループピックアップ対象: ③	外線/内線
指定ピックアップ対象: ④	外線/内線
発信規制: ⑤	無効

- ① ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するとき使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定: 01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定: **)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定: 内線のみ)
- ③ グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定: 外線/内線)
- ④ 指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定: 外線/内線)
- ⑤ 発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。(出荷時の設定: 無効)

 - ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 機種個別設定 (IP200PG) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
レジストサーバー ①	_____
通信圏外通知音 ②	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。	

- ① レジストサーバー IP200PGのレジストサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品を使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- ② 通信圏外通知音 IP200PGが通信圏外になったことをお知らせする通知音を設定します。
(出荷時の設定：無効)

9 PBX内線詳細設定

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 着信音 [設定グループ]

着信音を設定します。

着信音 (設定グループ1)	
着信音色:	着信音1 ▼

着信音色..... 本製品に登録したIP200PGで使用する着信音を、「着信音1」～「着信音5」から選択します。
(出荷時の設定：着信音1)

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 着信音パターン [設定グループ]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン (設定グループ1)

※着信音パターンはミリ秒となります。

着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				
着信音パターン6:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	250	250	250	250	2250
着信音パターン7:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	150	300	600	300	150	300	600	300

パターン1～パターン7 ……………

最大7個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250

パターン6 250、250、250、250、250、250、250、2250

パターン7 150、300、600、300、150、300、600、300)

設定できる範囲は、「50～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※IP200PGの着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-62)

「IP200PG」画面

PBX内線詳細設定 > IP200PG

■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン6
内線C:	着信音パターン7
デフォルト内線:	着信音パターン5

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「着信音なし」、「パターン1」～「パターン7」から選択します。
たとえば、「鳴り分け判別」欄で「外線音A」に設定されている場合、IP200PGに着信したとき「パターン1」が鳴ります。
※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。
※「鳴り分け判別」欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。
※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択: ①	設定グループ1 <input type="text"/>
※変更すると、表示する設定グループが変更されます。	
名前: ②	<input type="text"/>

- ① 設定グループの選択 ……………
- 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの変更〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎共通設定
本製品に登録したIP210Hで使用する共通の設定
・ [電話機音設定]項目 (P.9-64～P.9-88)
- ◎設定グループ1～設定グループ30 (P.9-72)
[電話機管理]項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種個別設定 (IP210H)]項目 (キー設定など)
- ② 名前 ……………
- 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ]欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 内線発信音 [共通設定]

内線発信時の音を設定します。

内線発信音								
周波数1:	①	400		Hz				
周波数2:		0		Hz				
音量:	②	0						dB
繰り返し:	③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続						
タイミング:	④	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
		250	250					

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 ◎有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：250、250)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、250ミリ秒間鳴り、250ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 外線発信音 [共通設定]

外線発信時の音を設定します。

外線発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
0							

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：連続)
 - ◎無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 - ◎有効：パターン最後に到達すると、パターン最初に戻り、発信音を繰り返します。
 - ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、連続的に発信音を鳴らします。
※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 第2発信音 [共通設定]

第2発信(転送)時の音を設定します。

第2発信音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
125	125						

- ① 周波数1/周波数2** 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量** 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：125、125)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、125ミリ秒間鳴り、125ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2:	0 Hz																
音量: ②	0 dB																
繰り返し: ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ④	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 話中音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後に到達すると、話中音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、話中音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、話中音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2:	0 Hz																
音量: ②	0 dB																
繰り返し: ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ④	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 規制音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、規制音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、パターンの最初(上図：500)に戻り、規制音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、規制音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

- ① 周波数1/周波数2** 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量** 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、呼出音を停止します。
 有効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、パターンの最初(上図：1000)に戻り、呼出音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大8個の値を使用して、呼出音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：1000、2000)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 保留アラーム音 [共通設定]

保留アラーム音(自己保留が長時間になった場合に流れる音)を設定します。

保留アラーム音

周波数1: ① 600 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
120	120						

- ① 周波数1/周波数2 保留アラーム音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：600(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 保留アラーム音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターンの最後に到達すると、保留アラーム音を停止します。
 有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、保留アラーム音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を設定します。 (出荷時の設定：120、120)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、120ミリ秒間鳴り、120ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 通話中着信表示音 [共通設定]

通話中着信表示音(通話中に別の端末からの着信を通知する音)を設定します。

通話中着信表示音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	50	450	50	3450				

- 1 周波数1/周波数2** 通話中着信表示音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- 2 音量** 通話中着信表示音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した通話中着信表示音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後に到達すると、通話中着信表示音を停止します。
 有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、通話中着信表示音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、通話中着信表示音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：50、450、50、3450)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、50ミリ秒間鳴り、450ミリ秒間停止、50ミリ秒間鳴り、3450ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。
- 5 <登録>** 「IP210H」画面(共通設定)で設定した内容を登録するボタンです。
- 6 <取消>** 「IP210H」画面(共通設定)の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 機種共通設定 [設定グループ]

選択した内線子機の設定グループごとに、キー操作や機能の割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号	① 01
コールピックアップ対象	② 内線のみ ▼
グループピックアップ対象	③ 外線/内線 ▼
指定ピックアップ対象	④ 外線/内線 ▼
発信規制	⑤ 無効 ▼

- ① ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するとき使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定：01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定：**)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：内線のみ)
- ③ グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ④ 指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ⑤ 発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。(出荷時の設定：無効)

 - ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間 ① 5 ▼ 秒

アイドル時外線発信キー押下 ② 無効 有効

外線発信キー ③ 0 ▼

外線捕捉範囲 ④ 1 ▼ - 4 ▼

オフフック回線捕捉 ⑤ 内線 外線

オフフック外線応答 ⑥ 無効 有効

着信優先順位 ⑦ 内線優先 外線優先

外線通話中の内線着信 ⑧ 拒否 許可

長時間保留の監視時間 ⑨ 180 秒

保留キー動作 ⑩ 自己保留 保留

通話中着信表示音 ⑪ 無効 有効

電話帳(共通)の利用 ⑫ 無効 有効

- ① **ダイヤル待ち時間** ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「15」(秒)です。 (出荷時の設定：5)
※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎても操作がないときは、発信を開始しますのでご注意ください。

- ② **アイドル時外線発信キー押下** ... 待受画面の状態で、「外線発信キー」欄で設定した番号を押したときの動作を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、「外線発信キー」欄で設定した番号を押したときに、外線捕捉をします。

- ③ **外線発信キー** 空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるための番号を「0」～「9」、「*」、「#」から選択します。 (出荷時の設定：0)

- ④ **外線捕捉範囲** 空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるため、IP210Hのプログラブルキーに割り当てる「外線キー」の設定範囲を、「1」～「4」から選択します。 (出荷時の設定：1 - 4)

- ⑤ **オフフック回線捕捉** [発信/応答] を操作してダイヤルするときの発信先(内線/外線)を設定します。 (出荷時の設定：内線)
 - ◎**内線**：[発信/応答] を押したときに内線発信音(ツーツー)が聞こえ、ダイヤルした内線番号の内線子機を呼び出します。
 - ◎**外線**：[発信/応答] を押したとき、「外線捕捉範囲」欄で設定した空いている回線を自動的に捕捉します。

- ⑥ **オフフック外線応答** 「有効」を設定すると、外線から電話がかかってきたときに[発信/応答] を押すだけで応答できます。 (出荷時の設定：有効)
 - ※「無効」を設定すると、外線着信より発信操作を優先したり、「外線キー」を押して応答する同時着信中の外線を選択したりできます。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間	① 5 秒
アイドル時外線発信キー押下	② <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線発信キー	③ 0
外線捕捉範囲	④ 1 - 4
オフフック回線捕捉	⑤ <input checked="" type="radio"/> 内線 <input type="radio"/> 外線
オフフック外線応答	⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信優先順位	⑦ <input checked="" type="radio"/> 内線優先 <input type="radio"/> 外線優先
外線通話中の内線着信	⑧ <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間	⑨ 180 秒
保留キー動作	⑩ <input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留
通話中着信表示音	⑪ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳[共通]の利用	⑫ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ⑦ 着信優先順位 「外線優先」を設定すると、外線からの電話を優先して内線子機に着信させます。
(出荷時の設定：内線優先)
※外線からの電話は、ディスプレイに「着信中(キー番号)」を表示して、使用している回線を確認できます。

- ⑧ 外線通話中の内線着信 外線通話中の内線着信(Peer to Peer着信を含む)に対する動作を設定します。
(出荷時の設定：拒否)
「拒否」を設定すると、外線通話時に内線着信を拒否(話中応答)します。

- ⑨ 長時間保留の監視時間 設定した時間を超えて自己保留をすると、警告音を鳴らします。
設定できる範囲は、「30～240」(秒)です。 (出荷時の設定：180)

- ⑩ 保留キー動作 [クリア/保留] を操作して保留するときの動作(自己保留/保留)を設定します。
(出荷時の設定：自己保留)
「保留」を設定すると、パークキー([P1]～[P4])と同様に、[クリア/保留]で通話をパーク保留できます。

- ⑪ 通話中着信表示音 IP210Hで通話中、別の端末からの着信があった場合に通知音で知らせるかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

- ⑫ 電話帳[共通]の利用 IP210Hの電話機が起動したときに、本製品の共通電話帳(最大900件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

電話帳からの発信: 13 無効 有効

通話中のPTT押下: 14 無効 電話切断

レジストサーバー: 15 _____

通信圏外通知音: 16 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

側音停止: 17 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

履歴表示: 18 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

プログラマブルキー設定			
P1	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

- 13 電話帳からの発信 IP210Hのメニュー画面(メニュー⇒アドレス帳)内の「電話帳」(共通/個別)を操作できるかどうかを選択します。(出荷時の設定: 有効)
- 14 通話中のPTT押下 電話通話中にIP210Hの[PTT]を押して、電話を切りたいときに設定します。(出荷時の設定: 無効)
- 15 レジストサーバー IP210Hのレジストサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品を使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※下記は、[電話機管理]項目の[共通項目の設定]欄(P.8-14)が「本製品の設定」の場合に有効です。

- 16 通信圏外通知音 IP210Hが通信圏外になったことをお知らせする通知音を設定します。(出荷時の設定: 無効)
- 17 側音停止 側音を停止して、圏外などで通信できなくなったことをお知らせする機能を設定します。(出荷時の設定: 無効)
 無効: 圏外時でも、ヘッドセットから自分の音声聞こえます。
 有効: 圏外になると、ヘッドセットから自分の音声聞こえなくなります。
- 18 履歴表示 履歴の表示を設定します。(出荷時の設定: 有効)
 無効: 履歴を表示しません。
 有効: 履歴を表示できるように設定します。
※IP210Hのメニュー画面やキー操作で履歴を確認できます。

9 PBX内線詳細設定

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

外線優先順位: 外線優先 外線優先

他製品の設定
ワンタッチ
外線キー
パーク
留守電開始/停止
着信おまたせ開始/停止
不在転送切替
応答転送切替
話中転送切替
昼夜切替
外線着信転送切替
留守電の再生
コールピックアップ
グループピックアップ
内線キー
回線閉塞
音声メモ
音声呼出
未使用

線着信: 拒否 許可
待機時間: 180 秒
一動作: 自己保留 保留
表示音: 無効 有効
の利用: 無効 有効
の発信: 無効 有効
TT押下: 無効 電話切断
バー: _____
通知音: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
音停止: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
歴表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

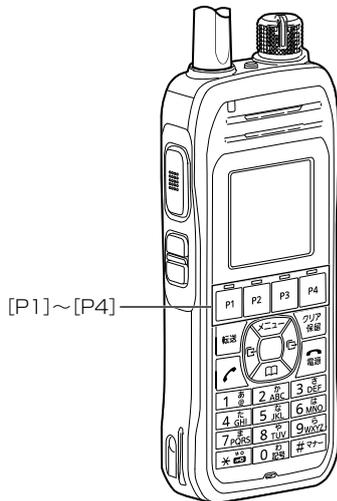
19

P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

19 [P1]～[P4]

IP210Hの[P1]～[P4](プログラブルキー)ごとに機能を割り当てます。
(出荷時の設定: 未使用)



◎他製品の設定

弊社製コントローラーやCS-IP210Hなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎ワンタッチ

よく利用する内線番号や外線番号、および本製品で設定した特番などを、あらかじめ登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。

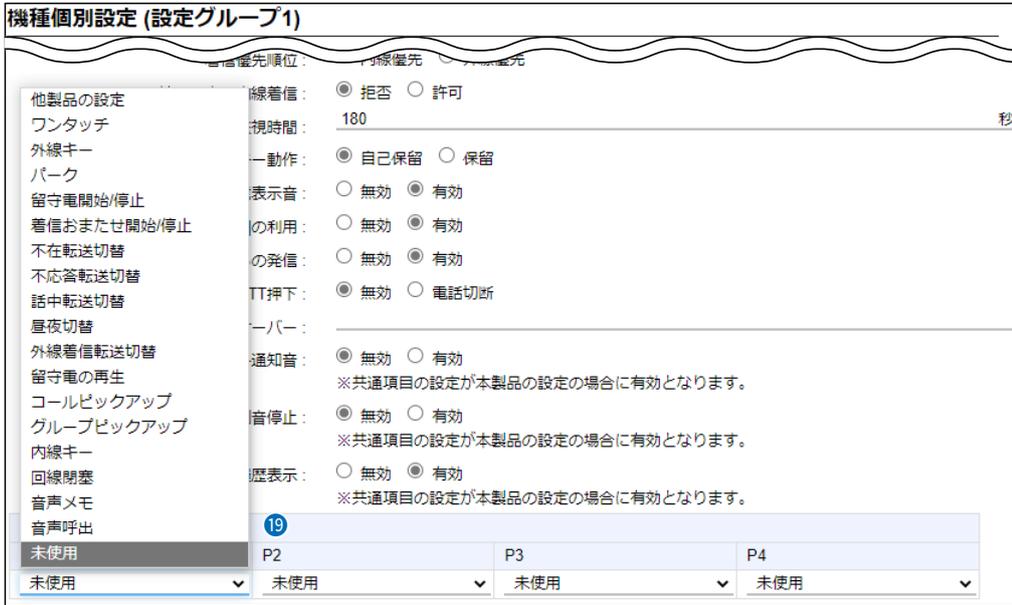
※外線発信先を登録する場合、外線発信特番設定のプレフィクスを前置すると、指定回線(発信番号)での発信もできます。

指定しない場合、内線個別設定の回線捕捉設定にしたがいます。

「IP210H」画面

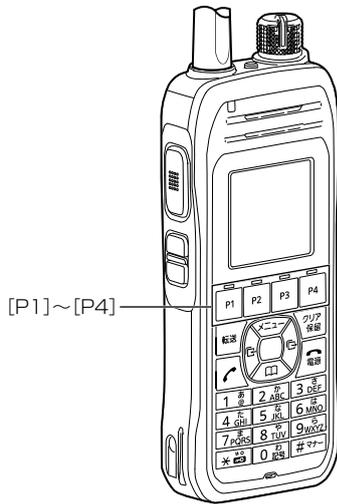
PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]



プログラブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎外線キー

外線発信時に使用する回線の電話番号、または回線グループ★を選択できる機能です。

※〈外線キー〉に割り当てた回線の使用状況は、ランプ表示で確認できます。

※IP210H側が「IP電話機」を含む動作モードのときに設定できます。

回線を選択するには

キーを押すと、緑色に点灯します。ダイヤルすると、選択した回線で発信します。履歴からでも回線を選択して発信できます。

★回線グループを〈外線キー〉に割り当てた場合は、その回線グループに登録した複数の電話番号から、空いているIP回線(電話番号)を自動的に捕捉して発信できます。

※登録されている回線グループは、「電話回線設定」メニューの「回線グループ設定」画面で(P.7-15)で確認できます。

※回線グループに登録した電話番号は、単独で〈外線キー〉に割り当てられません。

回線の使用状況を確認するには

回線が使用中で発信できないときは、赤色に点灯します。着信すると、赤色に高速点滅します。保留中は緑色に低速点滅します。

※ほかの子機で保留したときは、赤色に低速点滅します。

◎パーク

通話をパーク保留して、どの内線子機からでも応答できる機能です。

※パークを設定していない場合は、パーク保留特番(出荷時の設定：*90)やパーク応答特番(出荷時の設定：*91)につづけてパーク番号(1～24)をダイヤルすると機能します。

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

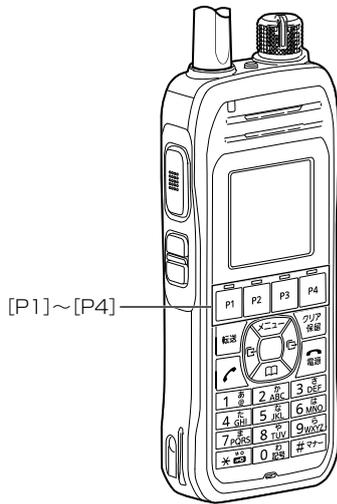
他製品の設定
 フォンタッチ
 外線キー
 パーク
 留守電開始/停止
 着信おまたせ開始/停止
 不在転送切替
 不応答転送切替
 話中転送切替
 昼夜切替
 外線着信転送切替
 留守電の再生
 コールピックアップ
 グループピックアップ
 内線キー
 回線閉塞
 音声メモ
 音声呼出
 未使用

外線着信: 拒否 許可
 待機時間: 180 秒
 一動作: 自己保留 保留
 表示音: 無効 有効
 の利用: 無効 有効
 の発信: 無効 有効
 TT押下: 無効 電話切断
 一バー: _____
 通知音: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 音停止: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 履歴表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

19	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎不在転送切替

不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。不在転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。
 ※不在転送機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。
 ※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不在転送]欄(P.8-5)で設定した特番(出荷時の設定：*94)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。
 ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎不応答転送切替

電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。不応答転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。
 ※不応答転送機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。
 ※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不応答転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*95)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。
 ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

「IP210H」画面

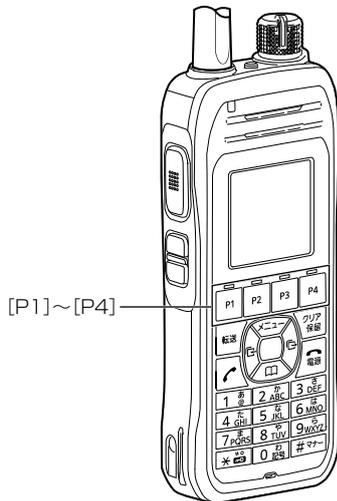
PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)				
他製品の設定	着信優先順位:	外線優先	内線優先	
フンタッチ	外線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可		
外線キー	待機時間:	180		秒
パーク	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留 <input type="radio"/> 保留		
留守電開始/停止	表示音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効		
着信おまたせ開始/停止	の利用:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効		
不在転送切替	の発信:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効		
不応答転送切替	TT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 電話切断		
話中転送切替	キー:			
昼夜切替	通知音:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効		
外線着信転送切替		※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。		
留守電の再生	音停止:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効		
コールピックアップ		※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。		
グループピックアップ	履歴表示:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効		
内線キー		※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。		
回線閉塞				
音声メモ				
音声呼出				
未使用	19			
未使用	P2	P3	P4	
未使用	未使用	未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎話中転送切替

内線通話中にほかの内線がかかってきたときに、登録した電話番号に着信を転送する機能です。

話中転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※話中転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[話中転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*96)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎昼夜切替

あらかじめ登録した外線サービスグループ(P.10-18)ごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。

指定の外線サービスグループが夜間の場合は、キーが橙色に点灯します。

※夜間転送を解除するときは再度キーを押す、またはユーザー用の「昼夜切替設定」画面のボタンをクリックして消灯をご確認ください。

※夜間転送を一括解除するときは、「特番」画面の[昼夜切替]欄(P.8-7)で設定した昼夜切替特番(出荷時の設定：*98)をダイヤルして、消灯をご確認ください。

※「PBX拡張設定」メニューの「夜間転送先」画面(P.10-21)で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。

9 PBX内線詳細設定

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

外線優先順位: 外線優先 外線優先

外線着信: 拒否 許可

待機時間: 180 秒

一動作: 自己保留 保留

表示音: 無効 有効

の発信: 無効 有効

の発信: 無効 有効

TT押下: 無効 電話切断

バー: _____

通知音: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

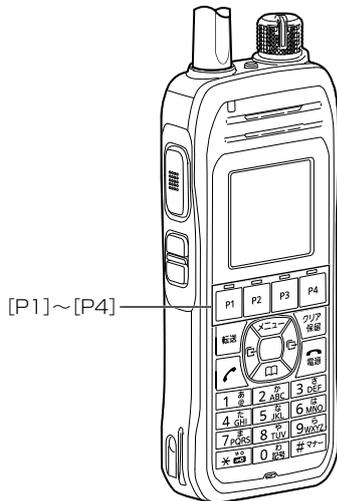
音停止: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

歴表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

19	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎外線着信転送切替

外線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。

外線着信転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※外線着信転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「夜間転送先設定」画面で「外線」に設定されているときは、夜間転送に切り替わると、この設定に関わらず、夜間転送先設定が優先されます。

※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

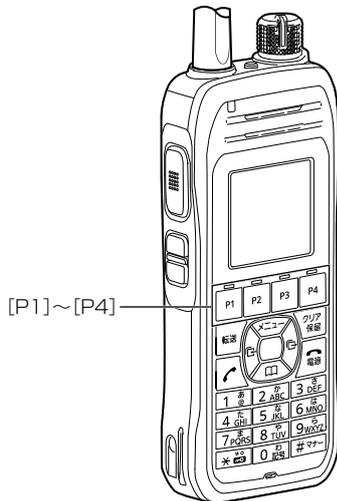
他製品の設定
 フォンタッチ
 外線キー
 パーク
 留守電開始/停止
 着信おまたせ開始/停止
 不在転送切替
 不在着転送切替
 話中転送切替
 昼夜切替
 外線着信転送切替
 留守電の再生
 コールピックアップ
 グループピックアップ
 内線キー
 回線閉塞
 音声メモ
 音声呼出
 未使用

線着信: 拒否 許可
 待機時間: 180 秒
 一動作: 自己保留 保留
 表示音: 無効 有効
 の利用: 無効 有効
 の発信: 無効 有効
 TT押下: 無効 電話切断
 ーバー: _____
 通知音: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 音停止: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 歴表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

19	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎留守電の再生

内線子機が使用するボックスに録音されたメッセージを確認するときに使用するキーです。

キーを押すと、留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインできます。ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。

※留守番電話操作メニュー(メインメニュー)の詳細については「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

※「基本」画面の「留守番電話機能」欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎コールピックアップ

ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できるキーです。

◎グループピックアップ

同じ設定グループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できる番号キーです。

※指定した設定グループへの呼び出しに代理応答する場合は、特番+ピックアップグループ番号を押します。(例: **01)

9 PBX内線詳細設定

「IP210H」画面

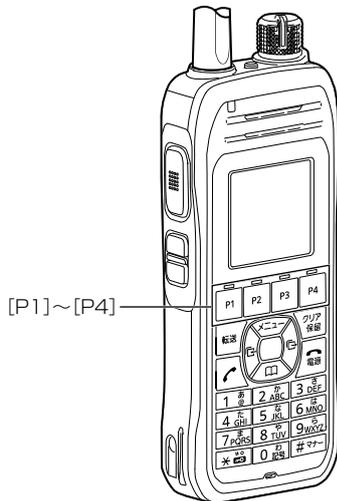
PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)				
他製品の設定	着信優先順位:	外線優先	内線優先	
フンタッチ	線着信:	<input checked="" type="radio"/> 拒否	<input type="radio"/> 許可	
外線キー	視時間:	180	秒	
パーク	一動作:	<input checked="" type="radio"/> 自己保留	<input type="radio"/> 保留	
留守電開始/停止	表示音:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	
着信おまたせ開始/停止	の利用:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	
不在転送切替	の発信:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	
応答転送切替	TT押下:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 電話切断	
話中転送切替	バー:			
昼夜切替	通知音:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
外線着信転送切替	音停止:	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
留守電の再生	歴表示:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
コールピックアップ				
グループピックアップ				
内線キー				
回線閉塞				
音声メモ				
音声呼出				
未使用	19			
未使用	P2	P3	P4	
未使用	未使用	未使用	未使用	

プログラマブルキー設定

19 [P1]～[P4] (つづき) ……………



◎内線キー

内線発信時に使用するキーです。〈内線キー〉を押してから、内線番号をダイヤルします。

◎回線閉塞

回線閉塞機能を開始、または停止するとき使用するキーです。通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。

※IP210Hで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、プログラマブルキーに〈外線キー〉の割り当てが契約チャネル数分必要です。(P.9-77)

◎音声メモ

電話通話中の録音を開始、または停止するとき使用するキーです。

※無線通話は対象外になります。

※IP210H側が「IP電話機」を含む動作モードのときに設定できます。

9 PBX内線詳細設定

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

他製品の設定
 フォンタッチ
 外線キー
 パーク
 留守電開始/停止
 着信おませ開始/停止
 不在転送切替
 応答転送切替
 話中転送切替
 昼夜切替
 外線着信転送切替
 留守電の再生
 コールピックアップ
 グループピックアップ
 内線キー
 回線閉塞
 音声メモ
 音声呼出
 未使用

線着信: 拒否 許可
 視時間: 180 秒
 一動作: 自己保留 保留
 表示音: 無効 有効
 の利用: 無効 有効
 の発信: 無効 有効
 TT押下: 無効 電話切断
 ーバー: _____
 通知音: 無効 有効
 ※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 音停止: 無効 有効
 ※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。
 歴表示: 無効 有効
 ※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

19

P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用

プログラブルキー設定

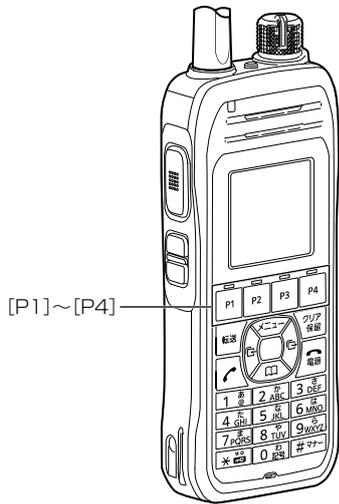
19 [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎未使用

機能を割り当てません。



9 PBX内線詳細設定

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

機種個別設定(IP210H) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

通信圏外通知音: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

側音停止: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

履歴表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

プログラマブルキー設定

P1	P2	P3	P4
未使用	未使用	未使用	未使用

サイドキー設定 20

サイド1	サイド2
未使用	未使用

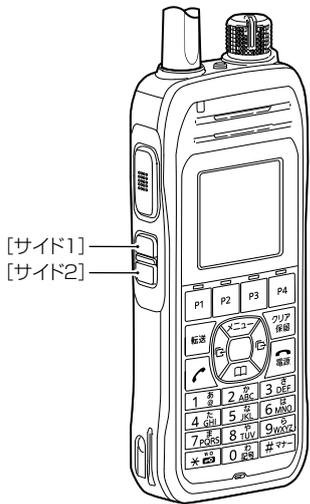
他製品の設定

- 音量アップ
- 音量ダウン
- 未使用

サイドキー設定

20 [サイド1]/[サイド2] ……………

IP210Hの[サイド1]/[サイド2](サイドキー)ごとに機能を割り当てます。
(出荷時の設定: 未使用)



◎他製品の設定

弊社製コントローラーやCS-IP210Hなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎音量アップ

音量を上げるときに使用するキー★です。

◎音量ダウン

音量を下げるときに使用するキー★です。

◎未使用

機能を割り当てません。

★ 音量ツマミで音量調整ができる場合は動作しません。

9 PBX内線詳細設定

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 着信音 [設定グループ]

着信音を設定します。

着信音 (設定グループ1)	
着信音色:	着信音1 ▼

着信音色…………… 本製品に登録したIP210Hで使用する着信音を、「着信音1」～「着信音5」から選択します。
(出荷時の設定：着信音1)

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 着信音パターン [設定グループ]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン (設定グループ1)								
※着信音パターンはミリ秒となります。								
着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				
着信音パターン6:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	250	250	250	250	2250
着信音パターン7:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	150	300	600	300	150	300	600	300

パターン1～パターン7 ……………

最大7個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250

パターン6 250、250、250、250、250、250、250、2250

パターン7 150、300、600、300、150、300、600、300)

設定できる範囲は、「50～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※IP210Hの着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-88)

「IP210H」画面

PBX内線詳細設定 > IP210H

■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン6
内線C:	着信音パターン7
デフォルト内線:	着信音パターン5

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「着信音なし」、「パターン1」～「パターン7」から選択します。
たとえば、[鳴り分け判別]欄で「外線音A」に設定されている場合、IP210Hに着信したとき「パターン1」が鳴ります。
※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。
※[鳴り分け判別]欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。
※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択:	① 設定グループ1 ▼
	<small>※変更すると、表示する設定グループが変更されます。</small>
名前:	② _____

- ① 設定グループの選択 ……………
- 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの変更〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎共通設定
本製品に登録したVP-2100で使用する共通の設定
・ [電話機音設定]項目 (P.9-90～P.9-116)
- ◎設定グループ1～設定グループ30 (P.9-97)
[電話機管理]項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種個別設定 (VP-2100)]項目 (キー設定など)
- ② 名前 ……………
- 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ]欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 内線発信音 [共通設定]

内線発信時の音を設定します。

内線発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
250	250						

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 発信音の音量を設定します。(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。(出荷時の設定：有効)
 - ◎無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 - ◎有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 - ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
(出荷時の設定：250、250)
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
出荷時の設定では、250ミリ秒間鳴り、250ミリ秒間停止を繰り返します。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 外線発信音 [共通設定]

外線発信時の音を設定します。

外線発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
0							

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 発信音の音量を設定します。(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。(出荷時の設定：連続)
 - ◎無効：パターン最後に到達すると、発信音を停止します。
 - ◎有効：パターン最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 - ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
出荷時の設定では、連続的に発信音を鳴らします。
※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 第2発信音 [共通設定]

第2発信(転送)時の音を設定します。

第2発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
125	125						

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後に到達すると、発信音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、発信音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、発信音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：125、125)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 出荷時の設定では、125ミリ秒間鳴り、125ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング: ON OFF ON OFF ON OFF ON OFF

- 1 周波数1/周波数2** 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- 2 音量** 話中音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後に到達すると、話中音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、話中音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大8個の値を使用して、話中音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 出荷時の設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音																	
周波数1: ①	400 Hz																
周波数2:	0 Hz																
音量: ②	0 dB																
繰り返し: ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続																
タイミング: ④	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	500	500						
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
500	500																

- ① 周波数1/周波数2 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 規制音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、規制音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：500)に到達すると、パターンの最初(上図：500)に戻り、規制音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、規制音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：500、500)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 出荷時の設定では、500ミリ秒間鳴り、500ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
1000	2000						

- ① 周波数1/周波数2** 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量** 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、呼出音を停止します。
 有効：パターン最後の(上図：2000)に到達すると、パターンの最初(上図：1000)に戻り、呼出音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大8個の値を使用して、呼出音のパターン(ON/OFF)を設定します。
 (出荷時の設定：1000、2000)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 出荷時の設定では、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 保留アラーム音 [共通設定]

保留アラーム音(自己保留が長時間になった場合に流れる音)を設定します。

保留アラーム音

周波数1: ① 600 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
120	120						

- ① 周波数1/周波数2 保留アラーム音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：600(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 保留アラーム音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターンの最後に到達すると、保留アラーム音を停止します。
 有効：パターンの最後に到達すると、パターンの最初に戻り、保留アラーム音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大8個の値を使用して、保留アラーム音のパターン(ON/OFF)を設定します。 (出荷時の設定：120、120)
 設定できる範囲は、「50～16000」(ミリ秒)です。
 出荷時の設定では、120ミリ秒間鳴り、120ミリ秒間停止を繰り返します。
 ※パターンの最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 機種共通設定 [設定グループ]

選択した内線子機の設定グループごとに、キー操作や機能の割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号	① 01
コールピックアップ対象	② 内線のみ ▼
グループピックアップ対象	③ 外線/内線 ▼
指定ピックアップ対象	④ 外線/内線 ▼
発信規制	⑤ 無効 ▼

- ① ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するとき使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定：01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定：**)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：内線のみ)
- ③ グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ④ 指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ⑤ 発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。(出荷時の設定：無効)

 - ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: ① 5 ▼ 秒

アイドル時外線発信キー押下: ② 無効 有効

外線発信キー: ③ 0 ▼

外線捕捉範囲: ④ 1 ▼ - 24 ▼

オフフック回線捕捉: ⑤ 内線 外線

オフフック外線応答: ⑥ 無効 有効

着信優先順位: ⑦ 内線優先 外線優先

外線通話中の内線着信: ⑧ 拒否 許可

長時間保留の監視時間: ⑨ 180 秒

電話帳[共通]の利用: ⑩ 無効 有効

- ① **ダイヤル待ち時間** ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「15」(秒)です。 (出荷時の設定：5)
※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎても操作がないときは、発信を開始しますのでご注意ください。

- ② **アイドル時外線発信キー押下** ... 待受画面の状態で、「外線発信キー」欄で設定した番号を押したときの動作を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、「外線発信キー」欄で設定した番号を押したときに、外線捕捉をします。

- ③ **外線発信キー** 空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるための番号を「0」～「9」、「*」、「#」から選択します。 (出荷時の設定：0)

- ④ **外線捕捉範囲** 空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるため、VP-2100のプログラマブルキーに割り当てる〈外線キー〉の設定範囲を、「1」～「24」から選択します。 (出荷時の設定：1 - 24)

- ⑤ **オフフック回線捕捉** [発信/応答]を操作してダイヤルするときの発信先(内線/外線)を設定します。 (出荷時の設定：内線)
 - ◎**内線**：[発信/応答]を押したときに内線発信音(ツーツー)が聞こえ、ダイヤルした内線番号の内線子機を呼び出します。
 - ◎**外線**：[発信/応答]を押したとき、「外線捕捉範囲」欄で設定した空いている回線を自動的に捕捉します。

- ⑥ **オフフック外線応答** 「有効」を設定すると、外線から電話がかかってきたときに[発信/応答]を押すだけで応答できます。 (出荷時の設定：有効)
 - ※「無効」を設定すると、外線着信より発信操作を優先したり、〈外線キー〉を押して応答する同時着信中の外線を選択したりできます。

8 PBX内線詳細設定

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間: ①	5 秒
アイドル時外線発信キー押下: ②	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
外線発信キー: ③	0
外線捕捉範囲: ④	1 - 24
オフフック回線捕捉: ⑤	<input checked="" type="radio"/> 内線 <input type="radio"/> 外線
オフフック外線応答: ⑥	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
着信優先順位: ⑦	<input checked="" type="radio"/> 内線優先 <input type="radio"/> 外線優先
外線通話中の内線着信: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間: ⑨	180 秒
電話帳[共通]の利用: ⑩	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ⑦ 着信優先順位 「外線優先」を設定すると、外線からの電話を優先して内線子機に着信させます。
(出荷時の設定：内線優先)
※外線からの電話は、ディスプレイに「着信中(キー番号)」を表示して、使用している回線を確認できます。
- ⑧ 外線通話中の内線着信 外線通話中の内線着信(Peer to Peer着信を含む)に対する動作を設定します。
(出荷時の設定：拒否)
「拒否」を設定すると、外線通話時に内線着信を拒否(話中応答)します。
- ⑨ 長時間保留の監視時間 設定した時間を超えて自己保留をすると、警告音を鳴らします。
設定できる範囲は、「30～240」(秒)です。 (出荷時の設定：180)
- ⑩ 電話帳[共通]の利用 VP-2100の電話機が起動したときに、本製品の共通電話帳(最大900件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

電話帳からの発信: ⑪ 無効 有効

通話中のPTT押下: ⑫ 無効 有効
※有効時ハイブリッド受信が無効の時は電話切断となります。

ハイブリッド受信: ⑬ 無効 有効

レジストサーバー: ⑭ _____

履歴表示: ⑮ 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

ソフトキー設定			
P1	P2	P3	P4
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼

- ⑪ 電話帳からの発信 VP-2100で電話帳(共通/個別)を使用するかどうかの設定です。
(出荷時の設定: 有効)
「有効」を設定すると、VP-2100で[電話帳]を押したときに、電話帳が表示されます。

- ⑫ 通話中のPTT押下 電話通話中にVP-2100の[MIC/PTT]を押して、電話を切りたいときに設定します。
(出荷時の設定: 無効)
※[ハイブリッド受信](⑬)が有効な場合は、この設定に関わらず、[MIC/PTT]を押すとリモートコミュニケーターモードで送信します。

- ⑬ ハイブリッド受信 VP-2100の動作モードが「IP電話+リモートコミュニケーター」のときに、ハイブリッド受信機能を使用するかどうかの設定です。
(出荷時の設定: 無効)
「有効」を設定すると、通話中に着信、または受信したときは、同時受信中の画面に切り替わります。

- ⑭ レジストサーバー VP-2100のレジストサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品を使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

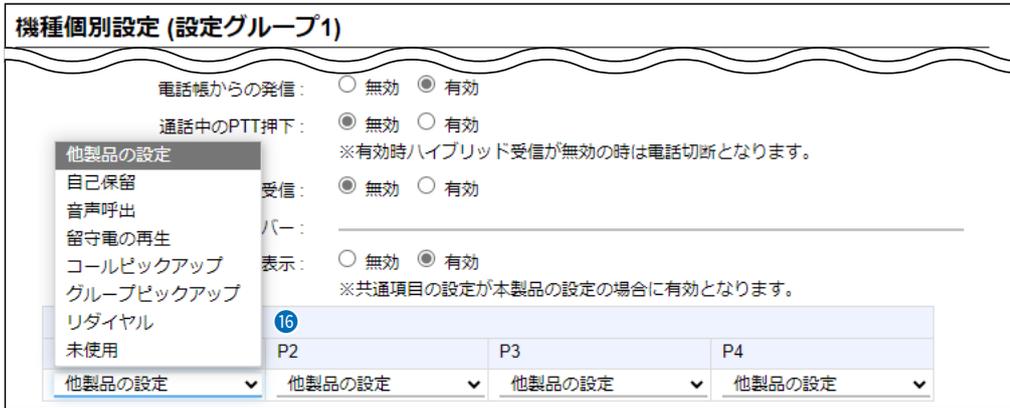
※下記は、[電話機管理]項目の[共通項目の設定]欄(P.8-14)が「本製品の設定」の場合に有効です。

- ⑮ 履歴表示 履歴の表示を設定します。
(出荷時の設定: 有効)
 無効 : 履歴を表示しません。
 有効 : 履歴を表示できるように設定します。
※VP-2100のメニュー画面やキー操作で履歴を確認できます。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

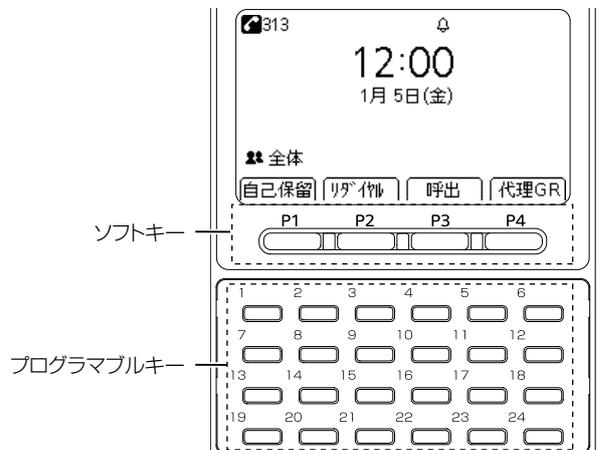


ソフトキー設定

⑩ [P1]～[P4]

VP-2100のソフトキー(P1～P4)に、IP電話モードでの機能を割り当てます。
(出荷時の設定：他製品の設定)

※ソフトキーに割り当てた機能は、下記のようにVP-2100本体のディスプレイで確認できます。



「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

電話帳からの発信: 無効 有効

通話中のPTT押下: 無効 有効
※有効時ハイブリッド受信が無効の時は電話切断となります。

受信: 無効 有効

バー: _____

表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

16	P2	P3	P4
他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定

ソフトキー設定

16 [P1]～[P4](つづき) ……………

◎他製品の設定

弊社製SIPサーバーなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎自己保留

通話中の相手にしばらく待ってもらう機能です。

※自己保留した通話は、ほかのIP電話機から応答できません。

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎留守電の再生

内線子機が使用するボックスに録音されたメッセージを確認するときに使用するキーです。

キーを押すと、留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインできます。ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。

※留守番電話操作メニュー(メインメニュー)の詳細については「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

電話帳からの発信: 無効 有効

通話中のPTT押下: 無効 有効
※有効時ハイブリッド受信が無効の時は電話切断となります。

受信: 無効 有効

バー: _____

表示: 無効 有効
※共通項目の設定が本製品の設定の場合に有効となります。

16	P2	P3	P4
他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定

ソフトキー設定

16 [P1]～[P4] (つづき) ……………

◎コールピックアップ

ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できるキーです。

◎グループピックアップ

同じ設定グループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できる番号キーです。

※指定した設定グループへの呼び出しに代理応答する場合は、特番+ピックアップグループ番号を押します。(例: **01)

◎リダイヤル

直前にかけた電話番号にかけなおすときに使用するキーです。

◎未使用

機能を割り当てません。

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼
他製品の設定	他製品の設定 ▼	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
ワンタッチ	他製品の設定 ▼				
外線キー	他製品の設定 ▼	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定 ▼				
留守電開始/停止	他製品の設定 ▼	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定 ▼				
不在転送切替					
不応答転送切替					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
留守電の再生					
コールピックアップ					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音色: 着信音1 ▼

グループ1)

オン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						

オン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24] ……………

VP-2100のプログラマブルキー(1～24)に、IP電話モードでの機能を割り当てます。
(出荷時の設定：他製品の設定)

◎他製品の設定

弊社製SIPサーバーなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎ワンタッチ

よく利用する内線番号や外線番号、および本製品で設定した特番などを、あらかじめ登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。

※外線発信先を登録する場合、外線発信特番設定のプレフィクスを前置きすると、指定回線(発信番号)での発信もできます。

指定しない場合、内線個別設定の回線捕捉設定にしたがいます。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
ファンタッチ	他製品の設定 ▼				
外線キー	他製品の設定 ▼	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定 ▼				
留守電開始/停止	他製品の設定 ▼				
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定 ▼	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
不在転送切替	他製品の設定 ▼				
不着信切替	他製品の設定 ▼				
着信	他製品の設定 ▼				
着信	他製品の設定 ▼				
※着信	他製品の設定 ▼				

着信音色: 着信音1 ▼

グループ1)

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
1000	2000						

グループ2)

ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24](つづき)

◎外線キー

外線発信時に使用する回線の電話番号、または回線グループ*を選択できる機能です。

※〈外線キー〉に割り当てた回線の使用状況は、ランプ表示で確認できます。

回線を選択するには

キーを押すと、緑色に点灯します。ダイヤルすると、選択した回線で発信します。履歴からでも回線を選択して発信できます。

★回線グループを〈外線キー〉に割り当てた場合は、その回線グループに登録した複数の電話番号から、空いているIP回線(電話番号)を自動的に捕捉して発信できます。

※登録されている回線グループは、「電話回線設定」メニューの「回線グループ設定」画面で(P.7-15)で確認できます。

※回線グループに登録した電話番号は、単独で〈外線キー〉に割り当てられません。

回線の使用状況を確認するには

回線が使用中で発信できないときは、赤色に点灯します。着信すると、赤色に高速点滅します。保留中は緑色に低速点滅します。

※ほかの子機で保留したときは、赤色に低速点滅します。

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
他製品の設定	他製品の設定	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
フンタッチ	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
外線キー	他製品の設定	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
留守電開始/停止	他製品の設定	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
不在転送切替					
不応答転送切替					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
留守電の再生					
コールピックアップ					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音色: 着信音1

グループ1)

オン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						

オン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24] (つづき)

◎パーク

通話をパーク保留して、どの内線子機からでも応答できる機能です。

※パークを設定していない場合は、パーク保留特番(出荷時の設定：*90)やパーク応答特番(出荷時の設定：*91)につづけてパーク番号(1～24)をダイヤルすると機能します。

◎留守電開始/停止

内線子機が使用するボックスについて、留守番電話機能の開始、停止を操作できます。

留守番電話機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※留守番電話機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定(VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
ファンタッチ	他製品の設定 ▼				
外線キー	他製品の設定 ▼	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定 ▼				
留守電開始/停止	他製品の設定 ▼				
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定 ▼	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
不在転送切替	他製品の設定 ▼				
不着信	他製品の設定 ▼				
不着信	他製品の設定 ▼				
着信	他製品の設定 ▼				
着信	他製品の設定 ▼				
※着信	他製品の設定 ▼				

着信音色: 着信音1 ▼

グループ1)

グループ1)	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
ライン1:	1000	2000						
ライン2:	800	400	800	2000				

プログラブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24] (つづき)

◎不在転送切替

不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

不在転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※不在転送機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不在転送]欄(P.8-5)で設定した特番(出荷時の設定：*94)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎不応答転送切替

電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

不応答転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※不応答転送機能を解除するときは、再度キーを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不応答転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*95)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
他製品の設定	他製品の設定	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
フンタッチ	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
外線キー	他製品の設定	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
留守電開始/停止	他製品の設定	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
不在転送切替					
不応答転送切替					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
留守電の再生					
コールピックアップ					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音色: 着信音1

グループ1

ライン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						

ライン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24](つづき)

◎話中転送切替

内線通話中にほかの内線がかかってきたときに、登録した電話番号に着信を転送する機能です。

話中転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※話中転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[話中転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*96)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
ファンタッチ	他製品の設定 ▼				
外線キー	他製品の設定 ▼	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定 ▼				
留守電開始/停止	他製品の設定 ▼	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定 ▼				
不在転送切替					
不応答転送切替					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
留守電の再生					
コールピックアップ					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音声: 着信音1 ▼

グループ1)

グループ1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						

グループ2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				

プログラブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24] (つづき)

◎昼夜切替

あらかじめ登録した外線サービスグループ(P.10-18)ごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。

指定の外線サービスグループが夜間の場合は、キーが橙色に点灯します。

※夜間転送を解除するときは再度キーを押す、またはユーザー用の「昼夜切替設定」画面のボタンをクリックして消灯をご確認ください。

※夜間転送を一括解除するときは、「特番」画面の「昼夜切替」欄(P.8-7)で設定した昼夜切替特番(出荷時の設定：*98)をダイヤルして、消灯をご確認ください。

※「PBX拡張設定」メニューの「夜間転送先」画面(P.10-21)で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。

◎外線着信転送切替

回線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。

外線着信転送機能が動作しているときは、キーが橙色に点灯します。

※外線着信転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「夜間転送先設定」画面で「外線」に設定されているときは、夜間転送に切り替わると、この設定に関わらず、夜間転送先設定が優先されます。

※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
他製品の設定	他製品の設定	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
ファンタッチ	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
外線キー	他製品の設定	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
留守電開始/停止	他製品の設定	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
不在転送切替					
不応答転送切替					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
留守電の再生					
コールピックアップ					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音音色: 着信音1

グループ1)

オン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						

オン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24](つづき)

◎留守電の再生

内線子機が使用するボックスに録音されたメッセージを確認するときに使用するキーです。

キーを押すと、留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインできます。ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。

※留守番電話操作メニュー(メインメニュー)の詳細については「ユーザー設定画面マニュアル」(留守番電話操作一覧)をご覧ください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎コールピックアップ

ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できるキーです。

◎グループピックアップ

同じ設定グループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できる番号キーです。

※指定した設定グループへの呼び出しに代理応答する場合は、特番+ピックアップグループ番号を押します。(例: **01)

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
他製品の設定	他製品の設定	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
フンタッチ	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
外線キー	他製品の設定	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
留守電開始/停止	他製品の設定	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定	他製品の設定
不在転送切替					
不応答転送切替					
着信					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
着信					
留守電の再生					
コールピックアップ					
※着信					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音色: 着信音1

グループ1)

キー	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
ライン1:	1000	2000						
ライン2:	800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24](つづき)

◎着信拒否

着信を拒否するときに使用するキーです。

◎回線閉塞

回線閉塞機能を開始、または停止するときに使用するキーです。
通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。

※VP-2100で、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、プログラマブルキーに〈外線キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-102)

◎ヘッドセット

受話器の代わりに、市販のヘッドセット(電話機用RJ9コネクター)で通話するときに使用するキーです。

※キーを押すごとに、ヘッドセット機能をON/OFFできます。

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

機種個別設定 (VP-2100) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

プログラマブルキー設定 ⑰

キー 1	キー 2	キー 3	キー 4	キー 5	キー 6
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼
他製品の設定 ▼	他製品の設定 ▼	キー 9	キー 10	キー 11	キー 12
ファンタッチ	他製品の設定 ▼				
外線キー	他製品の設定 ▼	キー 15	キー 16	キー 17	キー 18
パーク	他製品の設定 ▼				
留守電開始/停止	他製品の設定 ▼	キー 21	キー 22	キー 23	キー 24
着信おまたせ開始/停止	他製品の設定 ▼				
不在転送切替					
不着信切替					
話中転送切替					
昼夜切替					
外線着信転送切替					
留守電の再生					
コールピックアップ					
グループピックアップ					
着信拒否					
回線閉塞					
ヘッドセット					
音声呼出					
自己保留					
未使用					

着信音音色: 着信音1 ▼

グループ1)

グループ1)	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
ライン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
ライン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				

プログラマブルキー設定

⑰ [キー 1]～[キー 24](つづき)

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎自己保留

通話中の相手にしばらく待ってもらう機能です。
※自己保留した通話は、ほかのIP電話機から応答できません。

◎未使用

機能を割り当てません。

8 PBX内線詳細設定

[VP-2100]画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 着信音 [設定グループ]

着信音を設定します。

着信音 (設定グループ1)	
着信音色:	着信音1 ▼

着信音色..... 本製品に登録したVP-2100で使用する着信音を、「着信音1」～「着信音5」から選択します。
(出荷時の設定：着信音1)

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 着信音パターン [設定グループ]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン (設定グループ1)								
※着信音パターンはミリ秒となります。								
着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				
着信音パターン6:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	250	250	250	250	2250
着信音パターン7:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	150	300	600	300	150	300	600	300

パターン1～パターン7 ……………

最大7個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250

パターン6 250、250、250、250、250、250、250、2250

パターン7 150、300、600、300、150、300、600、300)

設定できる範囲は、「50～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※VP-2100の着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-116)

8 PBX内線詳細設定

「VP-2100」画面

PBX内線詳細設定 > VP-2100

■ 着信音パターン割り当て [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン6
内線C:	着信音パターン7
デフォルト内線:	着信音パターン5

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「着信音なし」、「パターン1」～「パターン7」から選択します。
たとえば、「鳴り分け判別」欄で「外線音A」に設定されている場合、VP-2100に着信したとき「パターン1」が鳴ります。
※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。
※「鳴り分け判別」欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。
※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機(IP電話機)の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択 ①	設定グループ1 ※変更すると、表示する設定グループが変更されます。
名前 ②	

- ① 設定グループの選択 …………… 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
<設定グループの編集>をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎ 共通設定
本製品に登録したKX-UTシリーズで使用する共通の設定
・ [電話機音設定]項目(P.9-118～P.9-124)
 - ◎ 設定グループ1～設定グループ30(P.9-125)
[電話機のメンテナンス]項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種共通設定]項目
・ [機種個別設定(KX-UTシリーズ)]項目(ボタン割当など)
- ② 名前 …………… 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ]欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定

本製品に登録した内線子機(IP電話機)の設定グループを変更します。

機種個別設定	
受話音量 ①	0 dB
送話音量 ②	0 dB
エコーキャンセラー ③	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ① 受話音量 …………… KX-UTシリーズの受話音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-6」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ② 送話音量 …………… KX-UTシリーズの送話音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-6」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ エコーキャンセラー …………… KX-UTシリーズのエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、通話するときにかかるエコー(反響)を低減します。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 発信音 [共通設定]

発信音(発信時に受話器を上げたときの音)を設定します。

発信音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: ② 0 Hz

音量: ③ 0 dB

繰り返し: ④ 無効 有効 連続

タイミング: ⑤

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	250	190						

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 - 無効：パターンの最後(上図：190)に到達すると、発信音を停止します。
 - 有効：パターンの最後(上図：190)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、発信音を繰り返します。
 - 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大9個の値を使用して、発信音のパターン(OFF/ON)を設定します。
(出荷時の設定：60、250、190)
最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、60ミリ秒間停止、250ミリ秒間鳴り、190ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	500	440						

- ① 周波数1/周波数2 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 話中音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：440)に到達すると、話中音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：440)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、話中音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大9個の値を使用して、話中音のパターン(OFF/ON)を設定します。
 (出荷時の設定：60、500、440)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、60ミリ秒間停止、500ミリ秒間鳴り、440ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	500	440						

- ① 周波数1/周波数2** 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量** 規制音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：440)に到達すると、規制音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：440)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、規制音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大9個の値を使用して、規制音のパターン(OFF/ON)を設定します。
 (出荷時の設定：60、500、440)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、60ミリ秒間停止、500ミリ秒間鳴り、440ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	1000	1940						

- 1 周波数1/周波数2** 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- 2 音量** 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- 3 繰り返し** [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後の(上図：1940)に到達すると、呼出音を停止します。
 有効：パターン最後の(上図：1940)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、呼出音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- 4 タイミング** 最大9個の値を使用して、呼出音のパターン(OFF/ON)を設定します。
 (出荷時の設定：60、1000、1940)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、60ミリ秒間停止、1000ミリ秒間鳴り、1940ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 保留アラーム音 [共通設定]

保留アラーム音(保留後の第2通話が長時間になった場合に流れる音)を設定します。

保留アラーム音

周波数1: ① 425 Hz

周波数2: ② 0 Hz

音量: ③ 0 dB

繰り返し: ④ 無効 有効 連続

タイミング: ④	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	120	14880						

- ① 周波数1/周波数2 保留アラーム音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定: 425(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200~2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせせた音が鳴ります。
- ② 音量 保留アラーム音の音量を設定します。 (出荷時の設定: 0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)~「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した保留アラーム音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定: 有効)
 ◎無効: パターンの最後(上図: 14880)に到達すると、保留アラーム音を停止します。
 ◎有効: パターンの最後(上図: 14880)に到達すると、パターンの最初(上図: 120)に戻り、保留アラーム音を繰り返します。
 ◎連続: 連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大9個の値を使用して、保留アラーム音のパターン(OFF/ON)を設定します。 (出荷時の設定: 120、14880)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60~16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51~16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、120ミリ秒間鳴り、14880ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 着信音パターン [共通設定]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン								
※着信音パターンはミリ秒となります。								
着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				

着信音パターン1～

着信音パターン5

最大8個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250)

設定できる範囲は、「51～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※KX-UTシリーズの着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-124)

※電話帳に一致した場合の着信音(音色)は、所属する設定グループごとに設定できます。(P.9-126)

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 着信音パターン割り当て [共通設定]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン2
内線C:	着信音パターン3
デフォルト内線:	着信音パターン5
リコール:	着信音パターン4

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「パターン1」～「パターン5」から選択します。

たとえば、「鳴り分け判別」欄で「外線音A」に設定されている場合、KX-UTシリーズに着信したとき「パターン1」が鳴ります。

※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。

※「鳴り分け判別」欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。

※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

※パーク保留した電話機にリコール(再呼出)する場合は、「リコール」に設定した着信音が鳴ります。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種共通設定 [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号	① 01
コールピックアップ対象	② 内線のみ
グループピックアップ対象	③ 外線/内線
指定ピックアップ対象	④ 外線/内線
発信規制	⑤ 無効

- ① **ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するとき使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定：01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定：**)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② **コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：内線のみ)
- ③ **グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ④ **指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ⑤ **発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

本製品に登録したKX-UTシリーズについて設定します。

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: ① 秒

外線通話中の内線着信: ② 拒否 許可

ボタン割当が無い外線着信: ③ 拒否 許可

外線状態通知キーの保留: ④ 拒否 許可

長時間保留の監視時間: ⑤ 秒

電話帳の利用: ⑥ 無効 有効

電話帳[共通]の利用: ⑦ 無効 有効

電話帳の着信音: ⑧ ▼

キー操作音: ⑨ 無効 有効

不在着信のディスプレイ表示: ⑩ 無効 有効

- ① **ダイヤル待ち時間** …………… ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。
 設定できる範囲は、「1」～「15」(秒)です。 (出荷時の設定：5)
 ※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎても操作がないときは、発信を開始
 しますのでご注意ください。
- ② **外線通話中の内線着信** …………… 外線通話中の内線着信(Peer to Peer着信を含む)に対する動作を設定しま
 ず。 (出荷時の設定：拒否)
 「拒否」を設定すると、外線通話時に内線着信を拒否(話中応答)します。
- ③ **ボタン割当が無い外線着信** …… [ボタン割当]欄で、〈外線状態通知キー〉(P.9-129)を割り当てていないとき
 や、〈外線状態通知キー〉がすべて使用中の場合に、〈外線着信キー〉、または
 〈DNキー〉への着信動作を設定します。 (出荷時の設定：許可)
 ◎許可：〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉に割り当てたフレキシブルボタ
 ンが空いているとき、そのボタンに着信します。
 たとえば、〈外線状態通知キー〉を2つ割り当て、それがすべて使用
 中の場合、3本目以降は、〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉に着信
 します。
 ただし、〈外線状態通知キー〉での確認や応答はできません。
 ◎拒否：〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉に割り当てたフレキシブルボタ
 ンが空いていても、そのボタンへの着信を拒否します。
 たとえば、〈外線状態通知キー〉を2つ割り当て、それがすべて使用
 中の場合、3本目以降の着信が拒否されます。
- ④ **外線状態通知キーの保留** …………… 「許可」を設定すると、外線通話時に〈外線状態通知キー〉を操作して、外線保留
 できます。 (出荷時の設定：拒否)
- ⑤ **長時間保留の監視時間** …………… 設定した時間を超えて自己保留をすると、警告音を鳴らします。
 設定できる範囲は、「30～240」(秒)です。 (出荷時の設定：180)

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間	① 5 ▼ 秒
外線通話中の内線着信	② <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
ボタン割当が無い外線着信	③ <input type="radio"/> 拒否 <input checked="" type="radio"/> 許可
外線状態通知キーの保留	④ <input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間	⑤ 180 秒
電話帳の利用	⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳[共通]の利用	⑦ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳の着信音	⑧ 着信音1 ▼
キー操作音	⑨ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在着信のディスプレイ表示	⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ⑥ 電話帳の利用** KX-UTシリーズの電話機が起動したときに、本製品の電話帳(共通最大300件/設定グループ最大100件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)
 ※「無効」に設定すると、電話機が起動しても、電話機本体の電話帳に反映されません。
- ⑦ 電話帳[共通]の利用** KX-UTシリーズの電話機が起動したときに、本製品の共通電話帳(最大300件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定：有効)
 ※「電話帳の利用」欄で「無効」を選択したときは、表示されない項目です。
- ⑧ 電話帳の着信音** KX-UTシリーズの電話機に登録した相手先から着信したときの音を、「着信音1」～「着信音32」から設定します。
(出荷時の設定：着信音1)
- ⑨ キー操作音** KX-UTシリーズの電話機でキー操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
 「無効」を設定すると、キー操作したときの確認音が鳴りません。
- ⑩ 不在着信のディスプレイ表示** ... 「不在着信」を待受画面に表示するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)

9 PBX内線詳細設定

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	

① ボタン割当(1～24) …………… KX-UT136Nのフレキシブルボタンごとに機能を割り当てます。
(出荷時の設定：DNキー)

◎ワンタッチ

よく利用する内線番号や外線番号、および本製品で設定した特番などを、あらかじめ登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。

※外線発信先を登録する場合、外線発信特番設定のプレフィックスを前置きすると、指定回線(発信番号)での発信もできます。

指定しない場合、内線個別設定の回線捕捉設定にしたがいます。

ボタン24
ワンタッチ
3000*101

例：ボタン24に〈ワンタッチ〉(特番3000*101)を割り当てた場合

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
フンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎DNキー(Directory Number)

着信時、自己保留時など、状況を確認して応答できる機能です。

高速点滅(緑) : 内線着信中/外線着信中

低速点滅(緑) : 自己保留中(自端末)

点灯(緑) : 通話中

※フレキシブルボタン番号(01～24)の点滅(緑)は、小さい番号順です。

※<DNキー>の割り当ては、最低2つ以上必要です。

※<DNキー>と<外線着信キー>の合計数が使用できる最大通話数です。

ただし、「通話数制限」画面で通話数が制限されている場合は、そちらを優先します。

◎外線状態通知キー

割り当てた回線(IP回線)の使用状況を確認して、着信に回答、外線保留/回答できる機能です。

赤点滅 : 外線着信中/外線保留中

赤点灯 : 外線使用中

※<外線状態通知キー>の割り当ては、契約チャネル数分必要です。

DNキーについてのご注意

◎DNキーは、内線/外線の通話や着信中に1つ、さらに保留など通話呼を保持するときに1つ使用します。

◎DNキーが不足すると通話呼を保留できない、新たな着信を受けられないような事象が発生します。

◎フレキシブルボタンがないKX-UT123Nでは、DNキーは本体内部に2つ固定割り当てされ、追加設定はできません。

外線通話中に新たな外線着信を受けると、先の通話を保留したり転送したりできません。(DNキー不足状態のため)このような場合は、先の通話を終了するか、ほかの電話機であとの着信に回答する必要があります。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎外線発信キー

外線発信時に使用する回線(IP回線)の電話番号、または回線グループ★を選択できる機能です。

ボタン11
外線発信キー
電話番号 (IP)

例：ボタン11に〈外線発信キー〉(IP回線)を割り当てた場合
ボタンを押すと、電話機のディスプレイに該当する(設定した)発信プレフィクスが表示され、これにつづけて電話番号をダイヤルすると、選択した回線(IP回線)で発信します。

- ※〈外線発信キー〉と〈ワンタッチ〉を組み合わせて発信できません。
- ※電話帳から発信する場合、〈外線発信キー〉による回線捕捉ができません。
- ※〈外線発信キー〉と電話帳の短縮番号を組み合わせてダイヤルできません。
- ※割り当てた回線の使用状況は、〈外線状態通知キー〉で確認できます。

★回線グループについて

回線グループを〈外線発信キー〉に割り当てた場合は、その回線グループに登録した複数の電話番号から、空いているIP回線(電話番号)を自動的に捕捉して発信できます。

- ※登録されている回線グループは、「電話回線設定」メニューの「回線グループ」画面で(P.7-15)で確認できます。
- ※回線グループに登録した電話番号は、単独では割り当てられません。

9 PBX内線詳細設定

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎外線着信キー

割り当てた回線(IP回線)の電話番号への着信に応答できる機能です。

ボタン23
外線着信キー
XXXXXXXXXX (IP)

※割り当てた回線の使用状況は、〈外線状態通知キー〉で確認や応答ができません。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
フンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

ボタン番号



ボタン1
パーク
パーク1



パーク番号

例：ボタン1にパーク1を
割り当てた場合

◎パーク

通話をパーク保留して、どの内線子機からでも応答できる機能です。

最低必要な(DNキー)の割り当て(2つ)以外に、最大22件まで、パーク保留・応答として設定できます。

※フレキシブルボタンがないKX-UT123Nだけの場合でも、パーク機能の割り当てが必要です。(左図参照)

ボタン1にパーク機能が割り当てられていない場合は、「*90」「01」(ボタン番号)をダイヤルしても、パーク保留できません。

※特番につづけてダイヤルする番号の桁数により動作が異なりますのでご注意ください。

1桁：パーク番号(1～9)

2桁：ボタン番号(01～24)

フレキシブルボタンの番号とパーク番号が一致するようにしてください。

設定が異なると、パーク保留できないことがあります。(下表参照)

ボタン番号とパーク番号 設定例	ダイヤル操作例				
	「*90」「1」(パーク番号)	「*90」「01」(ボタン番号)			
番号が一致している場合 <table border="1"> <tr><td>ボタン1</td></tr> <tr><td>パーク</td></tr> <tr><td>パーク1</td></tr> </table>	ボタン1	パーク	パーク1	パーク1が割り当てられたボタン1にパーク保留されます。	ボタン1にパーク保留されます。
ボタン1					
パーク					
パーク1					
番号が一致していない場合 <table border="1"> <tr><td>ボタン9</td></tr> <tr><td>パーク</td></tr> <tr><td>パーク1</td></tr> </table>	ボタン9	パーク	パーク1	パーク1が割り当てられたボタン9にパーク保留されます。	ボタン9にパーク保留されません。
ボタン9					
パーク					
パーク1					

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまたせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎留守電開始/停止

内線子機が使用するボックスについて、留守番電話機能の開始、停止を操作できます。

留守番電話機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※留守番電話機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎着信おまたせ開始/停止

着信おまたせ機能を設定すると、通話中など登録した内線子機が設定した時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待っていただけます。

着信おまたせ機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※着信おまたせ機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※着信おまたせ機能で、留守番電話に接続する場合は、「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定しておく必要があります。

※KX-UTシリーズで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、フレキシブルボタンに〈外線状態通知キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-129)

※ユーザー用の「着信おまたせ設定」画面で、回線ごとに使用するパターンを選択していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎不在転送切替

不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

不在転送機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※不在転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不在転送]欄(P.8-5)で設定した特番(出荷時の設定：*94)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー)に設定されます。

◎不応答転送切替

電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

不応答転送機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※不応答転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不応答転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*95)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー)に設定されます。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎話中転送切替

内線通話中にほかの内線がかかってきたときに、登録した電話番号に着信を転送する機能です。

話中転送機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※話中転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[話中転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*96)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎昼夜切替

あらかじめ登録した外線サービスグループ(P.10-18)ごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。

※夜間転送を解除するときは再度ボタンを押す、またはユーザー用の「昼夜切替設定」画面でボタンをクリックして消灯をご確認ください。

※夜間転送を一括解除するときは、「特番」画面の[昼夜切替]欄(P.8-7)で設定した昼夜切替特番(出荷時の設定：*98)をダイヤルして、消灯をご確認ください。

※「PBX拡張設定」メニューの「夜間転送先」画面(P.10-21)で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	
ボタン4	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎外線着信転送切替

回線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。

※外線着信転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「夜間転送先設定」画面で「外線」に設定されているときは、夜間転送に切り替わると、この設定に関わらず、夜間転送先設定が優先されます。

※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

9 PBX内線詳細設定

「KX-UTシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-UTシリーズ

■ 機種個別設定(KX-UTシリーズ) [設定グループ]

ボタン12 ①	ボタン24
DNキー	DNキー
ワンタッチ	ボタン23
DNキー	DNキー
外線状態通知キー	ボタン22
外線発信キー	DNキー
外線着信キー	ボタン21
パーク	DNキー
留守電開始/停止	ボタン20
着信おまかせ開始/停止	DNキー
不在転送切替	ボタン19
不応答転送切替	DNキー
話中転送切替	ボタン18
昼夜切替	DNキー
外線着信転送切替	ボタン17
ヘッドセット	DNキー
音声呼出	ボタン16
未使用	

① ボタン割当(1～24) ……………

◎ヘッドセット

KX-UT136Nにヘッドセットを接続して通話するときに使用するボタンです。

ヘッドセット機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。

ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎未使用

機能を割り当てません。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機(IP電話機)の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択 ①	設定グループ1 ▼ ※変更すると、表示する設定グループが変更されます。
名前 ②	_____

- ① 設定グループの選択 ……………
- 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの編集〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎共通設定
本製品に登録したKX-HDVシリーズで使用する共通の設定
・ [電話機音設定]項目 (P.9-118～P.9-124)
 - ◎設定グループ1～設定グループ30 (P.9-125)
[電話機のメンテナンス]項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種共通設定]項目
・ [機種個別設定(KX-HDVシリーズ)]項目 (ボタン割当など)
- ② 名前 ……………
- 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ] 欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 発信音 [共通設定]

発信音(発信時に受話器を上げたときの音)を設定します。

発信音										
周波数1:	①	400								Hz
周波数2:		0								Hz
音量:	②	0								▼ dB
繰り返し:	③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 連続								
タイミング:	④	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	
		60	250	190						

- ① 周波数1/周波数2 発信音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 発信音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した発信音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターンの最後(上図：190)に到達すると、発信音を停止します。
 ◎有効：パターンの最後(上図：190)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、発信音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大9個の値を使用して、発信音のパターン(OFF/ON)を設定します。
 (出荷時の設定：60、250、190)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、60ミリ秒間停止、250ミリ秒間鳴り、190ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 話中音 [共通設定]

話中音を設定します。

話中音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: 0 Hz

音量: ② 0 dB

繰り返し: ③ 無効 有効 連続

タイミング: ④

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	500	440						

- ① 周波数1/周波数2 話中音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。

- ② 音量 話中音の音量を設定します。(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した話中音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。(出荷時の設定：有効)
 - 無効：パターンの最後(上図：440)に到達すると、話中音を停止します。
 - 有効：パターンの最後(上図：440)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、話中音を繰り返します。
 - 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。

- ④ タイミング 最大9個の値を使用して、話中音のパターン(OFF/ON)を設定します。
(出荷時の設定：60、500、440)
最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
初期設定では、60ミリ秒間停止、500ミリ秒間鳴り、440ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 規制音 [共通設定]

規制音を設定します。

規制音

周波数1: Hz

周波数2: Hz

音量: dB

繰り返し: 無効 有効 連続

タイミング:

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	500	440						

- ① 周波数1/周波数2** 規制音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/0(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量** 規制音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し** [タイミング]欄で作成した規制音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 ◎無効：パターン最後の(上図：440)に到達すると、規制音を停止します。
 ◎有効：パターン最後の(上図：440)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、規制音を繰り返します。
 ◎連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング** 最大9個の値を使用して、規制音のパターン(OFF/ON)を設定します。
 (出荷時の設定：60、500、440)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、60ミリ秒間停止、500ミリ秒間鳴り、440ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 呼出音 [共通設定]

呼出音(相手先を呼び出し中に使用する音)を設定します。

呼出音

周波数1: ① 400 Hz

周波数2: ② 440 Hz

音量: ③ 0 dB

繰り返し: ④ 無効 有効 連続

タイミング: ⑤

OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
60	1000	1940						

- ① 周波数1/周波数2 呼出音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
 (出荷時の設定：400(周波数1)/440(周波数2))
 設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
 たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- ② 音量 呼出音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ③ 繰り返し [タイミング]欄で作成した呼出音のパターン(OFF/ON)を、繰り返し鳴らすかどうか設定します。 (出荷時の設定：有効)
 無効：パターン最後の(上図：1940)に到達すると、呼出音を停止します。
 有効：パターン最後の(上図：1940)に到達すると、パターンの最初(上図：60)に戻り、呼出音を繰り返します。
 連続：連続的に[周波数1]/[周波数2]欄で設定した音を鳴らします。
- ④ タイミング 最大9個の値を使用して、呼出音のパターン(OFF/ON)を設定します。
 (出荷時の設定：60、1000、1940)
 最初のOFFに設定できる範囲は、「60～16000」(ミリ秒)です。
 それ以外に設定できる範囲は、「51～16000」(ミリ秒)です。
 初期設定では、60ミリ秒間停止、1000ミリ秒間鳴り、1940ミリ秒間停止を繰り返します。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 保留アラーム音 [共通設定]

保留アラーム音(保留後の第2通話が長時間になった場合に流れる音)を設定します。

保留アラーム音		
周波数1:	<input type="text" value="425"/>	Hz
周波数2:	<input type="text" value="0"/>	Hz
音量:	<input type="text" value="0"/>	▼ dB

- 1 周波数1/周波数2** 保留アラーム音の周波数を、2個の値(Hz)を使用して設定します。
(出荷時の設定：425(周波数1)/0(周波数2))
設定できる範囲は、「0(無音)、200～2000」(Hz)です。
たとえば、「350」、「440」を設定すると、350Hzと440Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
- 2 音量** 保留アラーム音の音量を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-24」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 着信音パターン [共通設定]

着信音パターンを設定します。

着信音パターン								
※着信音パターンはミリ秒となります。								
着信音パターン1:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	1000	2000						
着信音パターン2:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	800	400	800	2000				
着信音パターン3:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	400	200	400	200	800	2000		
着信音パターン4:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	300	200	300	200	300	1000		
着信音パターン5:	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	250	250	250	2250				

着信音パターン1～

着信音パターン5

最大8個の値を使用して、着信音のパターン(ON/OFF)を設定します。

(出荷時の設定：パターン1 1000、2000

パターン2 800、400、800、2000

パターン3 400、200、400、200、800、2000

パターン4 300、200、300、200、300、1000

パターン5 250、250、250、2250)

設定できる範囲は、「51～5000」(ミリ秒)です。

たとえば、「1000(ON)、2000(OFF)」と指定した場合、1000ミリ秒間鳴り、2000ミリ秒間停止のパターンとなります。

※パターン最後はONで終了できませんので、ON/OFFをセットにして登録してください。

※KX-HDVシリーズの着信音(パターン)は、パターンを割り当て電話機ごとの鳴り分け判別で使用します。(P.9-124)

※電話帳に一致した場合の着信音(音色)は、所属する設定グループごとに設定できます。(P.9-126)

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 着信音パターン割り当て [共通設定]

着信音パターン割り当てを設定します。

着信音パターン割り当て	
外線A:	着信音パターン1
外線B:	着信音パターン2
外線C:	着信音パターン3
内線A:	着信音パターン5
内線B:	着信音パターン2
内線C:	着信音パターン3
デフォルト内線:	着信音パターン5
リコール:	着信音パターン4

「着信」画面(P.8-98)で設定した鳴り分け判別を、「パターン1」～「パターン5」から選択します。

たとえば、「鳴り分け判別」欄で「外線音A」に設定されている場合、KX-HDVシリーズに着信したとき「パターン1」が鳴ります。

※通知番号で「外線」と判別されると「外線A」、「内線」と判別されると「内線A」に設定した着信音が鳴ります。

※「鳴り分け判別」欄で内線(内線A～内線C)に設定している回線(IP回線)からの着信は、内線として扱われます。

※ほかの内線子機から内線で着信した場合、「デフォルト内線」に設定した着信音が鳴ります。

※パーク保留した電話機にリコール(再呼出)する場合は、「リコール」に設定した着信音が鳴ります。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種共通設定 [設定グループ]

着信音パターン割り当てを設定します。

機種共通設定 (設定グループ1)	
ピックアップグループ番号	① 01
コールピックアップ対象	② 内線のみ ▼
グループピックアップ対象	③ 外線/内線 ▼
指定ピックアップ対象	④ 外線/内線 ▼
発信規制	⑤ 無効 ▼

- ① **ピックアップグループ番号** …… 設定グループへの着信を代理応答するとき使用するピックアップグループ番号を半角数字7桁以内で入力します。
(出荷時の設定：01(設定グループ1の場合))
※グループピックアップ特番(出荷時の設定：**)につづけて、この欄で設定した番号をダイヤルすると、指定した設定グループへの着信に代理応答できます。
- ② **コールピックアップ対象** …… ほかの内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：内線のみ)
- ③ **グループピックアップ対象** …… 同じ設定グループのほかの子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ④ **指定ピックアップ対象** …… 指定の内線子機への着信について、応答できる対象を、「外線/内線」、「外線のみ」、「内線のみ」から設定します。
(出荷時の設定：外線/内線)
- ⑤ **発信規制** …… 設定グループごとに、外線への発信規制を設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ◎無効 : 発信を規制しません。
 - ◎発信規制ルール1～16 : 「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - ◎外線発信規制 : 外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

本製品に登録したKX-HDVシリーズについて設定します。

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間: ①	5 秒
外線通話中の内線着信: ②	<input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
ボタン割当が無い外線着信: ③	<input type="radio"/> 拒否 <input checked="" type="radio"/> 許可
外線状態通知キーの保留: ④	<input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間: ⑤	180 秒
電話帳の利用: ⑥	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳[共通]の利用: ⑦	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在着信のディスプレイ表示: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ① **ダイヤル待ち時間** …………… ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。設定できる範囲は、「1」～「15」(秒)です。 (出荷時の設定：5)
 ※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎても操作がないときは、発信を開始しますのでご注意ください。
- ② **外線通話中の内線着信** …………… 外線通話中の内線着信(Peer to Peer着信を含む)に対する動作を設定します。 (出荷時の設定：拒否)
 「拒否」を設定すると、外線通話時に内線着信を拒否(話中応答)します。
- ③ **ボタン割当が無い外線着信** …… [ボタン割当]欄で、〈外線状態通知キー〉(P.9-129)を割り当てていないときや、〈外線状態通知キー〉がすべて使用中の場合に、〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉への着信動作を設定します。 (出荷時の設定：許可)
 ◎許可：〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉に割り当てたフレキシブルボタンが空いているとき、そのボタンに着信します。
 たとえば、〈外線状態通知キー〉を2つ割り当て、それがすべて使用中の場合、3本目以降は、〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉に着信します。
 ただし、〈外線状態通知キー〉での確認や応答はできません。
 ◎拒否：〈外線着信キー〉、または〈DNキー〉に割り当てたフレキシブルボタンが空いていても、そのボタンへの着信を拒否します。
 たとえば、〈外線状態通知キー〉を2つ割り当て、それがすべて使用中の場合、3本目以降の着信が拒否されます。
- ④ **外線状態通知キーの保留** …………… 「許可」を設定すると、外線通話時に〈外線状態通知キー〉を操作して、外線保留できます。 (出荷時の設定：拒否)
- ⑤ **長時間保留の監視時間** …………… 設定した時間を超えて自己保留をすると、警告音を鳴らします。設定できる範囲は、「30～240」(秒)です。 (出荷時の設定：180)

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)	
ダイヤル待ち時間: ①	5 秒
外線通話中の内線着信: ②	<input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
ボタン割当が無い外線着信: ③	<input type="radio"/> 拒否 <input checked="" type="radio"/> 許可
外線状態通知キーの保留: ④	<input checked="" type="radio"/> 拒否 <input type="radio"/> 許可
長時間保留の監視時間: ⑤	180 秒
電話帳の利用: ⑥	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
電話帳[共通]の利用: ⑦	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
不在着信のディスプレイ表示: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ⑥ 電話帳の利用** KX-HDVシリーズの電話機が起動したときに、本製品の電話帳(共通最大300件/設定グループ最大100件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定: 有効)
※「無効」に設定すると、電話機が起動しても、電話機本体の電話帳に反映されません。
- ⑦ 電話帳[共通]の利用** KX-HDVシリーズの電話機が起動したときに、本製品の共通電話帳(最大300件)の内容を電話機本体の電話帳に反映するかどうかの設定です。
(出荷時の設定: 有効)
※ [電話帳の利用] 欄で「無効」を選択したときは、表示されない項目です。
- ⑧ 不在着信のディスプレイ表示** ... 「不在着信」を待受画面に表示するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効)

9 PBX内線詳細設定

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
番号		ボタン情報	ボタンラベル
24	会議通話		DNキー
23	音声呼出		DNキー
	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン情報	ボタンラベル
24		DNキー
23		DNキー

9 ボタン割当(1～24) …………… KX-HDV230Nのフレキシブルボタンごとに機能を割り当てます。
(出荷時の設定：DNキー)

◎ワンタッチ

よく利用する内線番号や外線番号、および本製品で設定した特番などを、あらかじめ登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。
※外線発信先を登録する場合、外線発信特番設定のプレフィクスを前置すると、指定回線(発信番号)での発信もできます。
指定しない場合、内線個別設定の回線捕捉設定にしたがいます。

24	ワンタッチ	▼	3000*101	ワンタッチ
----	-------	---	----------	-------

例：ボタン24に〈ワンタッチ〉(特番3000*101)を割り当てた場合

KX-HDV130Nについて

- ◎機能を ライン1/P1、 ライン2/P2 の2つに割り当てできます。
- ◎この画面の「ボタン1」、「ボタン2」に割り当てられたものが ライン1/P1、 ライン2/P2 に反映されます。
- ◎「未使用」、「通話転送」、「会議通話」、「ブラインド転送」を割り当てた場合、DNキーとして動作します。
- ◎ボタンラベルは表示されません。

9 PBX内線詳細設定

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	不応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
24	会議通話		DNキー
23	音声呼出		DNキー
	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン情報	ボタンラベル
		DNキー
		DNキー

9 ボタン割当(1～24) ……………

◎DNキー (Directory Number)

着信時、自己保留時など、状況を確認して応答できる機能です。

高速点滅(青) : 内線着信中/外線着信中

低速点滅(青) : 自己保留中(自端末)

点灯(青) : 通話中

※フレキシブルボタン番号(01～24)の点滅(青)は、小さい番号順です。

※<DNキー>の割り当ては、最低2つ以上必要です。

※<DNキー>と<外線着信キー>の合計数が使用できる最大通話数です。

ただし、「通話数制限」画面で通話数が制限されている場合は、そちらを優先します。

◎外線状態通知キー

割り当てた回線(IP回線)の使用状況を確認して、着信に応答、外線保留/応答できる機能です。

12	外線状態通知キー	100 (IP)	外線状態通知キー
----	----------	----------	----------

例：ボタン12に<外線状態通知キー>(IP回線)を割り当てた場合

赤点滅：外線着信中/外線保留中

赤点灯：外線使用中

※<外線状態通知キー>の割り当ては、契約チャンネル数分必要です。

DNキーについてのご注意

◎DNキーは、内線/外線の通話や着信中に1つ、さらに保留など通話呼を保持するときに1つ使用します。

◎DNキーが不足すると通話呼を保留できない、新たな着信を受けられないような事象が発生します。

◎KX-HDV130Nでは、、 にDNキー以外を割り当てた場合、内部にDNキーが2つ動作します。

また上記とは別に、内部にDNキー(保留/転送用)が1つ動作します。

※ 、 にDNキーを割り当てても、DNキーは2つしか動作しません。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
	会議通話		DNキー
24	音声呼出		DNキー
23	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン情報	ボタンラベル
		DNキー
		DNキー

9 ボタン割当(1～24) ……………

◎外線発信キー

外線発信時に使用する回線(IP回線)の電話番号、または回線グループ★を選択できる機能です。

11	外線発信キー	100 (IP)	外線発信キー
----	--------	----------	--------

例：ボタン11に〈外線発信キー〉(IP回線)を割り当てた場合
ボタンを押すと、電話機のディスプレイに該当する(設定した)発信プレフィクスが表示され、これにつづけて電話番号をダイヤルすると、選択した回線(IP回線)で発信します。

※〈外線発信キー〉と〈ワンタッチ〉を組み合わせると発信できません。

※電話帳から発信する場合、〈外線発信キー〉による回線捕捉ができません。

※〈外線発信キー〉と電話帳の短縮番号を組み合わせるとダイヤルできません。

※割り当てた回線の使用状況は、〈外線状態通知キー〉で確認できます。

★回線グループについて

回線グループを〈外線発信キー〉に割り当てた場合は、その回線グループに登録した複数の電話番号から、空いているIP回線(電話番号)を自動的に捕捉して発信できます。

※登録されている回線グループは、「電話回線設定」メニューの「回線グループ」画面で(P.7-15)で確認できます。

※回線グループに登録した電話番号は、単独では割り当てられません。

9 PBX内線詳細設定

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	不応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
	会議通話		DNキー
24	音声呼出		DNキー
23	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
			DNキー
			DNキー

9 ボタン割当(1～24) ……………

◎外線着信キー

割り当てた回線(IP回線)の電話番号への着信に応答できる機能です。

23	外線着信キー	100 (IP)	外線着信キー
----	--------	----------	--------

※割り当てた回線の使用状況は、〈外線状態通知キー〉で確認や応答ができます。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	フタタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	不応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		
	ブラインド転送		
番号		ボタン情報	ボタンラベル
24	会議通話		DNキー
23	音声呼出		DNキー
	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン情報	ボタンラベル
		DNキー
		DNキー

9 ボタン割当(1～24)

◎パーク

通話をパーク保留して、どの内線子機からでも応答できる機能です。最低必要な(DNキー)の割り当て(2つ)以外に、最大22件まで、パーク保留・応答として設定できます。

※フレキシブルボタンがないKX-HDV130Nだけの場合でも、パーク機能の割り当てが必要です。(左図参照)

ボタン1にパーク機能が割り当てられていない場合は、「*90」「01」(ボタン番号)をダイヤルしても、パーク保留できません。

※特番につけてダイヤルする番号の桁数により動作が異なりますのでご注意ください。

1桁：パーク番号(1～9)

2桁：ボタン番号(01～24)

フレキシブルボタンの番号とパーク番号が一致するようにしてください。

設定が異なると、パーク保留できないことがあります。(下表参照)

1 パーク 1 パーク1



ボタン番号



パーク番号

例：ボタン1にパーク1を割り当てた場合

ボタン番号とパーク番号 設定例	ダイヤル操作例	
	「*90」「1」(パーク番号)	「*90」「01」(ボタン番号)
番号が一致している場合 1 パーク 1 パーク1	パーク1が割り当てられたボタン1にパーク保留されます。	ボタン1にパーク保留されます。
番号が一致していない場合 9 パーク 1 パーク1	パーク1が割り当てられたボタン9にパーク保留されます。	ボタン9にパーク保留されません。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
番号		ボタン情報	ボタンラベル
24	会議通話		DNキー
23	音声呼出		DNキー
	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

9 ボタン割当(1～24) ……………

◎留守電開始/停止

内線子機が使用するボックスについて、留守番電話機能の開始、停止を操作できます。

留守番電話機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※留守番電話機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定していない場合は、無効な機能です。

◎着信おまたせ開始/停止

着信おまたせ機能を設定すると、通話中など登録した内線子機が設定した時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待っていただけます。

着信おまたせ機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※着信おまたせ機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※着信おまたせ機能で、留守番電話に接続する場合は、「基本」画面の[留守番電話機能]欄を「有効」に設定しておく必要があります。

※KX-HDVシリーズで、この機能を使用する場合は、回線の使用状況を確認するために、フレキシブルボタンに〈外線状態通知キー〉の割り当てが契約チャンネル数分必要です。(P.9-129)

※ユーザー用の「着信おまたせ設定」画面で、回線ごとに使用するパターンを選択していない場合は、無効な機能です。(弊社ホームページに掲載の「ユーザー設定画面マニュアル」)

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	不応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
番号		ボタン情報	ボタンラベル
24	会議通話		DNキー
23	音声呼出		DNキー
	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

9 ボタン割当(1～24)

◎不在転送切替

不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

不在転送機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※不在転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不在転送]欄(P.8-5)で設定した特番(出荷時の設定：*94)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎不応答転送切替

電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。

不応答転送機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※不応答転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[不応答転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*95)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	不応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		
	通話転送		
	ブラインド転送		
	会議通話		
24	音声呼出		DNキー
23	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン情報	ボタンラベル
		DNキー
		DNキー

9 ボタン割当(1～24) ……………

◎話中転送切替

内線通話中にほかの内線がかかってきたときに、登録した電話番号に着信を転送する機能です。

話中転送機能が動作しているときは、ボタンが赤色に点灯します。

※話中転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※転送先を設定していない場合は、「特番」画面の[話中転送]欄(P.8-6)で設定した特番(出荷時の設定：*96)につづけて転送先電話番号をダイヤルすると機能します。

ダイヤルした転送先電話番号は、「内線個別詳細」画面(管理者/ユーザー用)に設定されます。

◎昼夜切替

あらかじめ登録した外線サービスグループ(P.10-18)ごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。

※夜間転送を解除するときは再度ボタンを押す、またはユーザー用の「昼夜切替設定」画面でボタンをクリックして消灯をご確認ください。

※夜間転送を一括解除するときは、「特番」画面の[昼夜切替]欄(P.8-7)で設定した昼夜切替特番(出荷時の設定：*98)をダイヤルして、消灯をご確認ください。

※「PBX拡張設定」メニューの「夜間転送先」画面(P.10-21)で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)

ダイヤル待ち時間: 5 秒

ボタン割当(ページ1) 9

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
	会議通話		DNキー
24	音声呼出		DNキー
23	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)

番号	ボタン情報	ボタンラベル
		DNキー
		DNキー

9 ボタン割当(1～24) ……………

◎外線着信転送切替

外線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。

※外線着信転送機能を解除するときは、再度ボタンを押して消灯をご確認ください。

※「夜間転送先設定」画面で「外線」に設定されているときは、夜間転送に切り替わると、この設定に関わらず、夜間転送先設定が優先されます。

※ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で転送先を設定していない場合は、無効な機能です。

(弊社ホームページに掲載の「ユーザー設定画面マニュアル」)

9 PBX内線詳細設定

「KX-HDVシリーズ」画面

PBX内線詳細設定 > KX-HDVシリーズ

■ 機種個別設定(KX-HDVシリーズ) [設定グループ]

機種個別設定 (設定グループ1)			
ダイヤル待ち時間: 5 秒			
ボタン割当(ページ1) 9			
番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
12	DNキー		DNキー
11	ワンタッチ		DNキー
10	DNキー		DNキー
9	外線状態通知キー		DNキー
8	外線発信キー		DNキー
7	外線着信キー		DNキー
6	パーク		DNキー
5	留守電開始/停止		DNキー
4	着信おまたせ開始/停止		DNキー
3	不在転送切替		DNキー
2	応答転送切替		DNキー
1	話中転送切替		DNキー
	昼夜切替		DNキー
	外線着信転送切替		DNキー
	通話転送		DNキー
	ブラインド転送		DNキー
	会議通話		DNキー
24	音声呼出		DNキー
23	未使用		DNキー

ボタン割当(ページ2)			
番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
			DNキー
			DNキー

9 ボタン割当(1～24)

◎通話転送

通話を保留して、登録した電話番号に転送する機能です。
転送先と通話後に「実行」を押す、または受話器を置くと転送完了です。

◎ブラインド転送

通話を保留して、登録した電話番号に転送する機能です。
ブラインド転送が割り当てられたボタンを押すと、転送先と通話せずに、一方的に転送します。

◎会議通話

通話を保留して、登録した電話番号に会議発信をする機能です。
転送先と通話中、「」を押すと、転送先を含めた3者での会議通話ができます。

◎音声呼出

ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。
ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100)のスピーカー機能が有効になります。

◎未使用

機能を割り当てません。

「増設ユニット(KX-HDV230)」画面

PBX内線詳細設定 > 増設ユニット(KX-HDV230) > 増設ユニット(1～5)

■ 電話機設定

本製品に登録した内線子機(IP電話機)の設定グループを変更します。

電話機設定	
設定グループの選択	① 設定グループ1 ▼ ※変更すると、表示する設定グループが変更されます。
名前	② _____

- ① 設定グループの選択 …………… 本製品に登録した内線子機について設定する項目を、「共通設定」、「設定グループ1」～「設定グループ30」から選択します。
〈設定グループの編集〉をクリックすると、選択した項目ごとに表示される内容が切り替わります。
- ◎ 共通設定
本製品に登録したKX-HDVシリーズで使用する共通の設定
・ [電話機音設定] 項目 (P.9-118～P.9-124)
 - ◎ 設定グループ1～設定グループ30 (P.9-125)
[電話機のメンテナンス] 項目で登録した設定グループごとの設定
・ [機種共通設定] 項目
・ [機種個別設定 (KX-HDVシリーズ)] 項目 (ボタン割当など)
- ② 名前 …………… 登録する設定グループの名前を、任意の31文字以内で入力します。
※ [設定グループ] 欄で「共通設定」を選択したときは表示されません。

「増設ユニット(KX-HDV230)」画面

PBX内線詳細設定 > 増設ユニット(KX-HDV230) > 増設ユニット(1～5)

■ 機種個別設定(KX-HDV230)

本製品に登録した増設ユニットのフレキシブルボタンについて設定します。

ボタン割当(ページ1)			
番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタンラベル
10	DNキー		DNキー
9	ワンタッチ		DNキー
8	DNキー		DNキー
7	外線状態通知キー		DNキー
6	外線発信キー		DNキー
5	外線着信キー		DNキー
4	パーク		DNキー
3	留守電開始/停止		DNキー
2	着信おまたせ開始/停止		DNキー
1	不在転送切替		DNキー
	不応答転送切替		DNキー
	話中転送切替		
20	昼夜切替		DNキー
19	外線着信転送切替		DNキー
18	通話転送		DNキー
17	ブラインド転送		DNキー
16	会議通話		DNキー
15	音声呼出		DNキー
14	未使用		DNキー

- ボタン割当.....
- 増設ユニット1(1～40)
- 増設ユニット2(41～80)
- 増設ユニット3(81～120)
- 増設ユニット4(121～160)
- 増設ユニット5(161～200)

増設ユニットのフレキシブルボタンごとに機能を割り当てます。
各機能の説明は、9-128ページ～9-137ページをご覧ください。

- ◎ワンタッチ★
- ◎DNキー(Directory Number)
- ◎外線状態通知キー
- ◎外線発信キー★
- ◎外線着信キー
- ◎パーク
- ◎留守電開始/停止
- ◎着信おまたせ開始/停止
- ◎不在転送切替
- ◎不応答転送切替
- ◎話中転送切替
- ◎昼夜切替
- ◎外線着信転送切替
- ◎通話転送★
- ◎ブラインド転送★
- ◎会議通話★
- ◎音声呼出★
- ◎未使用★

※増設ユニット2～5に割り当てられるのは、★印のものだけです。

「TEL」画面

PBX内線詳細設定 > TEL > TEL1/TEL2/TEL3/TEL4

■ TEL設定

本製品の[TEL](1～4)ポートに接続する電話機の基本設定です。

TEL設定	
ナンバーディスプレイ: ①	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
FAXの接続: ②	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受話音量: ③	0 ▼
送話音量: ④	0 ▼
電話機のダイヤル方式: ⑤	全方式に対応 ▼
桁間タイマー: ⑥	5 秒

- ① ナンバーディスプレイ** …………… [TEL](1～4)ポートに接続するアナログ電話機で使用するナンバーディスプレイ機能について設定します。 (出荷時の設定: 無効)
 ※ナンバーディスプレイ機能を「有効」に設定する場合、アナログ電話機がナンバーディスプレイ機能に対応していることをご確認ください。
- ② FAXの接続** …………… [TEL](1～4)ポートにアナログ電話回線用のFAXを接続するときの設定です。 (出荷時の設定: 有効)
 ※「無効」に設定すると、FAXを接続しても動作しません。
- ③ 受話音量** …………… アナログ電話機使用時、自分の受話器に聞こえる音量を設定します。 (出荷時の設定: 0)
 設定できる範囲は、「-12」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ④ 送話音量** …………… アナログ電話機使用時、相手の受話器に聞こえる音量を設定します。 (出荷時の設定: 0)
 設定できる範囲は、「-12」(最小音量)～「+6」(最大音量)(dB)です。
- ⑤ 電話機のダイヤル方式** …………… 本製品の[TEL](1～4)ポートに接続するアナログ電話機のダイヤル信号の種類を設定します。 (出荷時の設定: 全方式に対応)
 ◎全方式に対応 : 電話機のダイヤル方式を自動認識させるとき
 ◎PB : 電話機のダイヤル方式がPB(トーン信号)のとき
 ◎DP : 電話機のダイヤル方式がDP(パルス信号)のとき
- ⑥ 桁間タイマー** …………… ダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。 (出荷時の設定: 5)
 設定できる範囲は、「1～99」(秒)です。
 ※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎて操作がないと発信を開始しますのでご注意ください。

9 PBX内線詳細設定

「TEL」画面

PBX内線詳細設定 > TEL > TEL1/TEL2/TEL3/TEL4

■ TEL設定

TEL設定

エコーキャンセラー: ⑦ 無効 有効

エコーサプレッション: ⑧ 無効 有効

エコーサプレッションレベル: ⑨ -30

CNG: ⑩ 無効 有効

CNGレベル: ⑪ -55

⑫ 登録 ⑬ 取消

- ⑦ **エコーキャンセラー** …………… 本製品の[TEL](1～4)ポートで使用するエコーキャンセラー機能について設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※「有効」に設定すると、通話するときに起こるエコー(反響)を低減します。
(通話する相手に返るエコー抑止に効果があります)
- ⑧ **エコーサプレッション** …………… 本製品のエコーサプレッション機能について設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※「有効」に設定すると、送話音量を検知し、それに応じた受話音量を下げて、エコー量を抑止します。
- ⑨ **エコーサプレッションレベル** …… エコーサプレッション機能使用時のエコー抑止レベルを設定します。
(出荷時の設定: -30)
設定できる範囲は、「-65」(最小)～「0」(最大)(dB)です。
ダブルトーク時、途切れ感がある場合にレベルを下げます。
※レベルを下げすぎると、エコー量が増加しますのでご注意ください。
- ⑩ **CNG** …………… 本製品のCNG(コンフォートノイズ生成)機能について設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※「有効」に設定すると、相手の受話器に聞こえる受話音に少しノイズ(サー)を付加して無通話時の違和感を軽減します。
- ⑪ **CNGレベル** …………… CNG機能を使用時、相手の受話器に聞こえるノイズ(サー)の音量を設定します。
(出荷時の設定: -55)
設定できる範囲は、「-65」(最小音量)～「-30」(最大音量)(dB)です。
- ⑫ **〈登録〉** …………… [TEL設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑬ **〈取消〉** …………… [TEL設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 無線機コントローラー電話接続設定

本製品に収容した無線機★とIP電話機が通話するための設定です。

★WLAN無線機モードで動作しているIP200H、IP210H、またリモートコミュニケーターモードで動作しているVP-2100は、対象外です。

無線機コントローラー電話接続設定
内線番号： 3000

内線番号…………… 「内線個別」画面の「内線設定」で設定した、「無線機コントローラー電話接続」の内線番号が表示されます。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 通信設定

本製品に収容した無線機とIP電話機が通話するための設定です。

通信設定	
呼出先指定	
呼出種別 : ①	グループ
相手局番号 : ②	00001

呼出先指定

- ① 呼出種別 電話機から本製品に収容した無線機を呼び出す形態を「個別」/「グループ」/「全体」から選択します。
(出荷時の設定：グループ)
- ② 相手局番号 相手先の機器に設定された自局番号(個別番号)、またはグループ番号を設定します。
(出荷時の設定：00001)
設定できる範囲は、「00001～60000」です。
※ [呼出種別] 欄で、「全体」を選択しているときは、表示されません。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 制御設定

本製品に収容した無線機とIP電話機の制御について設定します。

制御設定	
PTT発信キャンセル: ①	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認: ②	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認タイミング: ③	<input checked="" type="radio"/> 通話応答後 <input type="radio"/> 通話応答前
無線機への通知音	
着信通知: ④	なし ▼
呼出開始通知: ⑤	通知音2 ▼
通話開始通知: ⑥	通知音2 ▼
切断通知: ⑦	通知音3 ▼
発信失敗通知: ⑧	通知音3 ▼
通知音量: ⑨	0 ▼ dB

① PTT発信キャンセル …………… 本製品に収容した無線機からIP電話機を呼び出し中、その無線機から再度呼び出しがあった場合、現在の呼び出しを中止します。（出荷時の設定：無効）

② 接続確認 …………… 本製品に収容したIP電話機から無線機を呼び出したとき、接続確認をするための設定です。（出荷時の設定：有効）
 「有効」に設定すると、接続確認に失敗した場合、通話を切断します。
 ※接続確認が失敗となるのは、無線機が通話中、または応答なし(タイムアウト5秒)の場合です。

③ 接続確認タイミング …………… 本製品に収容したIP電話機から無線機を呼び出したとき、接続確認をするタイミングを設定します。（出荷時の設定：通話応答後）
 ◎**通話応答後**：通話確立後に接続確認をします。
 ◎**通話応答前**：通話確立前に接続確認をします。

無線機への通知音

④ 着信通知 …………… 本製品に収容しているIP電話機からの着信を無線機に音で通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。（出荷時の設定：なし）

※「なし」を設定時、無線機は自動応答になります。
 ※「通知音1」～「通知音3」を設定時、着信音が繰り返し鳴ります。
 この時、無線機が、着信音と着信音のあいだ(無音)のタイミングで送信(送話)することで応答できます。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 制御設定

制御設定	
PTT発信キャンセル: ①	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認: ②	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認タイミング: ③	<input checked="" type="radio"/> 通話応答後 <input type="radio"/> 通話応答前
無線機への通知音	
着信通知: ④	なし ▼
呼出開始通知: ⑤	通知音2 ▼
通話開始通知: ⑥	通知音2 ▼
切断通知: ⑦	通知音3 ▼
発信失敗通知: ⑧	通知音3 ▼
通知音量: ⑨	0 ▼ dB

無線機への通知音(つづき)

- ⑤ 呼出開始通知 無線機からIP電話機を呼び出し中、その状態を無線機に音で通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。
(出荷時の設定：通知音2)

- ⑥ 通話開始通知 通話相手(IP電話機)が受話器を上げたとき、その状態を無線機に音で通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。
(出荷時の設定：通知音2)

- ⑦ 切断通知 通話相手(IP電話機)が受話器を置いたとき、無線機に音で切断を通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。
(出荷時の設定：通知音3)

- ⑧ 発信失敗通知 無線機から通話相手(IP電話機)に呼び出しができないとき、その状態を無線機に音で通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。
(出荷時の設定：通知音3)

- ⑨ 通知音量 通知音(④～⑧)設定時の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「+6」～「-12」(dB)です。 (出荷時の設定：0)

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 制御設定

電話機からのPTT制御方式	
グループ/全体呼出：⑩	DTMF
無線LANトランシーバーへの個別呼出：⑪	VOX
PTT-ON指示トーン：⑫	0
PTT-OFF指示トーン：⑬	0
電話機への発信方式	
発信方式：⑭	RTP

※ [グループ/全体呼出] (⑩) 欄や [無線LANトランシーバーへの個別呼出] (⑪) 欄のいずれかを「DTMF」に設定したときだけ、[PTT-ON指示トーン] (⑫) 欄、[PTT-OFF指示トーン] (⑬) 欄が表示されます。

電話機からのPTT制御方式

⑩ グループ/全体呼出 ……………

電話機側の送話や受話の切り替えに使用する入力信号の種類を、「VOX」(音声信号)、「DTMF」(トーン信号)、「通話中常時送信」から選択します。

(出荷時の設定：VOX)

- ◎VOX : IP電話機から発声すると、音声信号を検知して、本製品に収容した無線機が送信状態になります。
- ◎DTMF : IP電話機からのトーン信号を検知して、本製品に収容した無線機が送信状態になります。
- ◎通話中常時送信 : 通話を開始した時点から、本製品に収容した無線機が送信状態になります。

※通話中常時送信時、ブリッジ接続先からの受信(VOXやRTP)だけで、「無通話切断タイマー」(P.9-172)を判定します。本製品に収容した無線機から受信応答がない場合、無通話切断タイマーが動作することがあります。

⑪ 無線LANトランシーバーへの個別呼出 ……………

電話機側の送話や受話の切り替えに使用する入力信号の種類を、「VOX」(音声信号)、「DTMF」(トーン信号)、「通話中常時送信」から選択します。

(出荷時の設定：VOX)

- ◎VOX : IP電話機から発声すると、音声信号を検知して、WLAN無線機が受信状態になります。
- ◎DTMF : IP電話機からのトーン信号を検知して、WLAN無線機が受信状態になります。
- ◎通話中常時送信 : 通話を開始した時点から、無線LANトランシーバーが受信状態になります。

※通話中常時送信時、無線LANトランシーバーからの受信(VOXやRTP)だけで、「無通話切断タイマー」(P.9-172)を判定します。WLAN無線機から受信応答がない場合、無通話切断タイマーが動作することがあります。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 制御設定

電話機からのPTT制御方式	
グループ/全体呼出：⑩	DTMF
無線LANトランシーバーへの個別呼出：⑪	VOX
PTT-ON指示トーン：⑫	0
PTT-OFF指示トーン：⑬	0
電話機への発信方式	
発信方式：⑭	RTP

※ [グループ/全体呼出] (⑩) 欄や [無線LANトランシーバーへの個別呼出] (⑪) 欄のいずれかを「DTMF」に設定したときだけ、[PTT-ON指示トーン] (⑫) 欄、[PTT-OFF指示トーン] (⑬) 欄が表示されます。

⑫ PTT-ON指示トーン …………… [グループ/全体呼出] (⑩) 欄や [無線LANトランシーバーへの個別呼出] (⑪) 欄のいずれかで「DTMF」を選択したとき、IP電話機から無線機を送信状態にするトーン信号(DTMF)を、「0～9」、「*」、「#」から選択します。

(出荷時の設定：0)

※相手の内線番号をダイヤルし、ここで設定した番号のボタンをIP電話機から押すと、トーン信号の入力を検知して、本製品と接続された無線機が送信状態になります。

※ [PTT-OFF指示トーン] (⑬) 欄の設定と同じ値を設定したときは、ここで設定した番号のボタンを押すごとに送信の開始と停止を操作できます。

⑬ PTT-OFF指示トーン …………… [グループ/全体呼出] (⑩) 欄や [無線LANトランシーバーへの個別呼出] (⑪) 欄のいずれかで「DTMF」を選択したとき、無線機の送信を停止するトーン信号(DTMF)を、「0～9」、「*」、「#」から選択します。

(出荷時の設定：0)

※通話中、ここで設定した番号のボタンをIP電話機から押すと、トーン信号の入力を検知して、本製品と接続された無線機の送信を停止します。

※ [PTT-ON指示トーン] (⑫) 欄の設定と同じ値を設定したときは、ここで設定した番号のボタンを押すごとに送信の開始と停止を操作できます。

電話機への発信方式

⑭ 発信方式 …………… 無線機コントローラーからIP電話システムへの発信トリガーを設定します。
(出荷時の設定：RTP)

◎VOX：ブリッジインターフェースから受けたRTP(音声データパケット)に含まれる音声の有無をVOXで判定し、発信を開始します。

◎RTP：音声データの有無に関係なく、RTP(音声データパケット)受信をアタックタイム時間以上で判定し発信を開始します。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 音声送信制御設定

本製品に収容したIP電話機からの音声入力信号の有無により、無線機コントローラーへの送話を制御するための設定をします。

音声送信制御設定		
※アタックタイム、リリースタイム、音声遅延の設定値は5ミリ秒の整数倍となります。		
アタックタイム: ①	50	ミリ秒
リリースタイム: ②	500	ミリ秒
音声遅延: ③	200	ミリ秒
音声スレッシュ: ④	40	%

- ① **アタックタイム** IP電話機から音声信号が入力されたことを検知するまでの時間を設定します。ここで設定した時間、連続して音声信号が検知されると、音声が入力されたと判断します。
(出荷時の設定：50)
設定できる範囲は、「5～500(5ミリ秒刻み)」(ミリ秒)です。
- ② **リリースタイム** IP電話機から音声信号が途絶えたことを検知する時間を設定します。ここで設定した時間、音声信号が途絶えると、音声入力がなくなったと判断します。
(出荷時の設定：500)
設定できる範囲は、「5～2000(5ミリ秒刻み)」(ミリ秒)です。
- ③ **音声遅延** 音声信号を蓄積し、遅延再生する時間を設定します。(出荷時の設定：200)
IP電話機と無線機などで通話中、IP電話機からの音声入力を検出後、送話音を設定された時間だけ遅らせて、無線機に送出します。
無線機側で、通話頭切れなどの問題がある場合、設定値を大きくすることで改善できることがあります。
設定できる範囲は、「0～1500(5ミリ秒刻み)」(ミリ秒)です。
- ④ **音声スレッシュ** IP電話機からの音声入力レベルのしきい値を設定します。
(出荷時の設定：40)
設定できる範囲は、「0～100」(%)です。
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 音声受信制御設定

無線機コントローラーからの音声入力信号の有無により、本製品に収容したIP電話機への送話を制御する設定をします。

音声受信制御設定

※アタックタイム、リリースタイム、音声遅延の設定値は5ミリ秒の整数倍となります。

アタックタイム: ①	1000	ミリ秒
リリースタイム: ②	200	ミリ秒
音声遅延: ③	5	ミリ秒
音声スレッシュ: ④	70	%

- ① **アタックタイム** …………… 無線機コントローラーから音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。
ここで設定した時間、連続して音声信号が検知されると、音声が入力されたと判断します。 (出荷時の設定: 1000)
設定できる範囲は、「5～2000(5ミリ秒刻み)」(ミリ秒)です。
- ② **リリースタイム** …………… 無線機コントローラーから音声信号が途絶えたことを検知する時間を設定します。
ここで設定した時間、音声信号が途絶えると、音声入力が無くなったと判断します。 (出荷時の設定: 200)
設定できる範囲は、「5～2000(5ミリ秒刻み)」(ミリ秒)です。
- ③ **音声遅延** …………… 音声信号を蓄積し、遅延再生する時間を設定します。 (出荷時の設定: 5)
IP電話機と無線機などで通話中、無線機からの音声受信を検出後、音声を設定された時間だけ遅らせてIP電話機に送出します。
IP電話機側で通話頭切れなどの問題がある場合、設定値を大きくすることで改善できる場合があります。
設定できる範囲は、「0～500(5ミリ秒刻み)」(ミリ秒)です。
- ④ **音声スレッシュ** …………… 無線機コントローラーからの音声入力レベルのしきい値を設定します。
設定できる範囲は、「0～100」(%)です。 (出荷時の設定: 70)
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ V/RoIP制御設定

本製品に収容したIP電話機から無線機コントローラーへ着信したときの詳細設定です。

V/RoIP制御設定	
電話機への通話開始通知 : ①	通知音1 ▼
電話機への送受信切替通知 : ②	なし ▼
通知音量 : ③	0 ▼ dB

- ① 電話機への通信開始通知 …………… 通話相手のIP電話機に対して送信(発話)開始タイミングを音で通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。
(出荷時の設定：通知音1)
- ② 電話機への送受信切替通知 …… IP電話機に対して送受信の切り替えタイミングを音で通知するかしないかを、「なし」、「通知音1」～「通知音3」から選択します。(出荷時の設定：なし)
- ③ 通知音量 …………… [電話機への通話開始通知] 欄と [電話機への送受信切替通知] 欄で設定した通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「+6」～「-12」(dB)です。 (出荷時の設定：0)

「無線機コントローラー電話接続」画面

PBX内線詳細設定 > 無線機コントローラー電話接続

■ 自動切断タイマー設定

通話、同報着信、強制切断など、各種タイマーの設定です。

自動切断タイマー設定	
発信呼出停止タイマー : ①	15 秒
無通話切断タイマー : ②	15 秒
強制切断 強制通話切断タイマー : ③	10 分

- ① 発信呼出停止タイマー …………… 無線機から発信したとき、ここで設定した時間、相手が応答しない場合は、発信を中止します。 (出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0(OFF)、5～60」(秒)です。
- ② 無通話切断タイマー …………… 無線機がIP電話機と通話中、ここで指定した時間、互いに無通話となった場合は通話を切断します。 (出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0(OFF)、5～600」(秒)です。
- 強制切断
- ③ 強制通話切断タイマー …………… ここで指定した時間、IP電話機と無線機が通話した場合、強制的に通話を切断します。 (出荷時の設定：10)
設定できる範囲は、「0(OFF)、1～120」(分)です。

この章では、
「PBX拡張設定」メニューの設定について説明します。

「拡張」画面	10-2
■ SIP拡張設定	10-2
■ VoIP設定	10-4
「番号計画」画面	10-11
■ 電話番号ルーティング設定	10-11
■ 電話番号ルーティング設定一覧	10-12
■ 番号計画例外ルール	10-13
■ 発信先番号変換ルール設定	10-14
■ 発信先番号変換ルール一覧	10-15
■ 発信規制ルール設定	10-16
■ 発信規制ルール一覧	10-17
「外線サービスグループ」画面	10-18
■ 外線サービスグループ設定	10-18
「昼夜切替」画面	10-19
■ 昼夜切替曜日設定	10-19
■ 昼夜切替日付設定	10-20
「夜間転送先」画面	10-21
■ 夜間転送先	10-21
「通話数制限」画面	10-22
■ 通話数制限設定(システム全体)	10-22
■ 通話数制限設定	10-23
「ゲートウェイ接続」画面	10-24
■ ゲートウェイ接続設定	10-24
■ ゲートウェイ接続設定一覧	10-25
「番号表示変換」画面	10-26
■ 発信元回線設定	10-26
■ 番号表示変換ルール設定	10-27
■ 番号表示変換ルール一覧	10-28
「DIDボックス」画面	10-29
■ 使用するボックス	10-29
■ DIDボックス設定	10-30
■ DIDボックス設定一覧	10-31

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ SIP拡張設定

本製品に登録された端末で共通に使用する拡張設定です。

SIP拡張設定

内線ドメイン: ① LAN IPアドレス 指定
内線ドメイン指定:

SIP 183対応: ② 無効 有効

SIP レスポンス中継: ③ 無効 有効

内線レスポンス中継: ④ 無効 有効

呼出中転送方式: ⑤ 被転送番号を中継しない 被転送番号を中継する

SIP URI競合時の優先: ⑥ IP回線 Peer to Peer

電話番号での英字の使用: ⑦ 禁止 許可

- ① 内線ドメイン 簡易中継サーバーとその子機間が共通で使用するSIPサービスドメイン名を任意に設定できます。(出荷時の設定: LAN IPアドレス)
入力は、半角英数字で63文字までです。
※ここで設定した値を子機側の[SIPサービスドメイン]欄に入力します。
- ② SIP183対応 発信時、上位SIPサーバーから受信したSDP付き183 Session Progressの中継方法についての設定です。(出荷時の設定: 有効)
◎**有効**: 電話機に音声情報を伴う呼出(SDP付き183)もそのまま伝えます。それによって、呼出中、通話中の状態遷移を区別して伝えられますが、一部の端末で、呼出中状態ではDTMF信号が送出できないことがあります。
◎**無効**: 相手への音声情報を伴う呼出(SDP付き183)を受信すると、子機に通話中に変換して伝え、上記の現象を回避できる場合があります。
※特に問題がある場合を除いては、出荷時の設定でお使いください。
- ③ SIPレスポンス中継 発信時、上位SIPサーバーから受信したエラーメッセージの中継方法についての設定です。(出荷時の設定: 有効)
◎**有効**: 発信時、SIPサーバーからのエラーレスポンス(4xx~6xx)を受信すると、レスポンスコードをそのまま中継します。
◎**無効**: 発信時、SIPサーバーからのエラーレスポンス(4xx~6xx)を受信すると、486レスポンスに変換して中継します。
※この設定は、スライド発信をするために必要です。
※ほかのSIPサーバーを簡易中継サーバーの子機として、本製品に接続するような構成で、スライド発信をご利用の場合は、[SIP レスポンス中継]欄を「有効」に設定してください。

ご注意

IP電話ネットワーク内で、同じ内線ドメインは使用できません。

ほかのSIPサーバー(簡易中継サーバー)、VE-IG1やVE-AG1などのゲートウェイ装置を増設する場合、それぞれ異なる内線ドメインを設定してください。

[内線ドメイン]欄(①)を初期設定(LAN IPアドレス)でお使いいただくと、内線ドメイン名の競合を回避できます。

本製品に設定した内線ドメインと、本製品の「電話回線設定」メニューの「IP回線」画面にあるSIPサービスドメインが一致するような構成はできません。

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ SIP拡張設定

SIP拡張設定

内線ドメイン: LAN IPアドレス 指定
内線ドメイン指定:

SIP 183対応: 無効 有効
SIP レスポンス中継: 無効 有効
内線レスポンス中継: 無効 有効
呼出中転送方式: 被転送番号を中継しない 被転送番号を中継する
SIP URI競合時の優先: IP回線 Peer to Peer
電話番号での英字の使用: 禁止 許可

- ④ 内線レスポンス中継 …………… 着信時、内線子機から受信したエラーメッセージの中継方法についての設定です。 (出荷時の設定：無効)
◎**有効**：着信時、内線子機からのエラーレスポンス(4xx～6xx)を受信すると、レスポンスコードをそのまま中継します。
◎**無効**：着信時、内線子機からのエラーレスポンス(4xx～6xx)を受信すると、486レスポンスに変換して中継します。

- ⑤ 呼出中転送方式 …………… 「被転送番号を中継する」に設定すると、転送先呼出中に受話器を置いて転送する(呼出中転送)とき、転送先に被転送の電話番号が表示されます。 (出荷時の設定：被転送番号を中継する)

操作例

AからBにかかってきた電話を、BがCに転送するとき、Cの電話機にAの電話番号が表示されます。
「被転送番号を中継しない」に設定されている場合は、Cの電話機には、Bの電話番号が表示されます。

- ⑥ SIP URI競合時の優先 …………… 上位のSIPサーバー(簡易中継サーバー)からの着信で、IP回線とPeer to Peer(SIPサーバーを経由しない1対1での通話)のSIP URIが競合したとき、どちらとみなして動作するかを設定します。 (出荷時の設定：IP回線)
- ⑦ 電話番号での英字の使用 …………… 電話番号に英字を使用する場合に設定します。 (出荷時の設定：禁止)

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

IP電話での音質について設定します。

※下記のように、TOS種別の設定ごとに[VoIP設定]項目の内容が変更になります。

TOS種別: 使用しない	VoIP設定 ジッターバッファ種別: ① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: ② 40 ミリ秒 TOS種別: ③ 使用しない ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別: TOS	VoIP設定 ジッターバッファ種別: ① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: ② 40 ミリ秒 TOS種別: ③ TOS メディア (RTP) 優先度: ④ 5 メディア (RTP) サービスタイプ: 0 メディア (RTP) 16進表示: A0 呼制御 (SIP) 優先度: ⑤ 5 呼制御 (SIP) サービスタイプ: 0 呼制御 (SIP) 16進表示: A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別: Diffserv	VoIP設定 ジッターバッファ種別: ① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ: ② 40 ミリ秒 TOS種別: ③ Diffserv メディア (RTP) DSCP: ⑥ 40 メディア (RTP) 16進表示: A0 呼制御 (SIP) DSCP: ⑦ 40 呼制御 (SIP) 16進表示: A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ① **ジッターバッファ種別** …………… パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定: ダイナミック)
- ◎**スタティック**
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎**ダイナミック**
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

TOS種別：使用しない	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ 使用しない ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別：TOS	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ TOS メディア (RTP) 優先度：④ 5 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) 優先度：⑤ 5 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別：Diffserv	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ Diffserv メディア (RTP) DSCP：⑥ 40 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) DSCP：⑦ 40 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消

※上図は、「ジッターバッファ種別」欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ② **ジッターバッファサイズ** …… 音声を受信したとき、音声データを蓄える時間を設定します。
(出荷時の設定：40)
設定できる範囲は、「20」～「1000」(20ミリ秒刻み)です。
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。
※「ジッターバッファ種別」欄で「ダイナミック」を選択したときは、表示されない項目です。

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

TOS種別：使用しない	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ 使用しない ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別：TOS	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ TOS メディア (RTP) 優先度：④ 5 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) 優先度：⑤ 5 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別：Diffserv	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ Diffserv メディア (RTP) DSCP：⑥ 40 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) DSCP：⑦ 40 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ③ TOS種別 本製品のTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：Diffserv)
- ◎使用しない
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

TOS種別：使用しない	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ 使用しない 登録 取消
TOS種別：TOS	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ TOS メディア (RTP) 優先度：④ 5 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) 優先度：⑤ 5 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 登録 取消
TOS種別：Diffserv	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ Diffserv メディア (RTP) DSCP：⑥ 40 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) DSCP：⑦ 40 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 登録 取消

※上図は、「ジッターバッファ種別」欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ④ **メディア (RTP)** TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。
(TOS種別：TOS)
- ◎**優先度**
TOSの優先度フィールドの値を設定します。
設定できる範囲は、「0 ~ 7」(10進数)です。 (出荷時の設定：5)
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎**サービスタイプ**
TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
設定できる範囲は、「0 ~ 15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

TOS種別：使用しない	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ 使用しない ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別：TOS	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ TOS メディア (RTP) 優先度：④ 5 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) 優先度：⑤ 5 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消
TOS種別：Diffserv	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ Diffserv メディア (RTP) DSCP：⑥ 40 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) DSCP：⑦ 40 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ 登録 ⑨ 取消

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ⑤ 呼制御 (SIP) TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。
(TOS種別：TOS)
- ※「IP回線」画面の[接続先の選択]欄を設定すると、回線仕様に合わせた値になりますので、変更された値のままご使用ください。
- ◎優先度
TOSの優先度フィールドの値を設定します。
設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：5)
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
- ◎サービスタイプ
TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

TOS種別：使用しない	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ 使用しない 登録 取消
TOS種別：TOS	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ TOS メディア (RTP) 優先度：④ 5 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) 優先度：⑤ 5 呼制御 (SIP) サービスタイプ：0 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 登録 取消
TOS種別：Diffserv	VoIP設定 ジッターバッファ種別：① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：② 40 ミリ秒 TOS種別：③ Diffserv メディア (RTP) DSCP：⑥ 40 メディア (RTP) 16進表示：A0 呼制御 (SIP) DSCP：⑦ 40 呼制御 (SIP) 16進表示：A0 登録 取消

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ⑥ **メディア (RTP)** TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。
(TOS種別：Diffserv)
◎DSCP
DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：40)
- ⑦ **呼制御 (SIP)** TOSフィールド内に出力された呼制御(電話の発着制御)パケットを優先制御する基準についての設定項目です。
(TOS種別：Diffserv)
※「IP回線」画面の[接続先の選択]欄を設定すると、回線仕様に合わせた値になりますので、変更された値のままご使用ください。
◎DSCP
DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：40)

10 PBX拡張設定

「拡張」画面

PBX拡張設定 > 拡張

■ VoIP設定

TOS種別：使用しない

VoIP設定

ジッターバッファ種別：① スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ：② 40 ▼ ミリ秒

TOS種別：③ 使用しない ⑧ ⑨ ▼

TOS種別：TOS

VoIP設定

ジッターバッファ種別：① スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ：② 40 ▼ ミリ秒

TOS種別：③ TOS ▼

メディア (RTP) 優先度：④ 5

メディア (RTP) サービスタイプ：0

メディア (RTP) 16進表示：A0

呼制御 (SIP) 優先度：⑤ 5

呼制御 (SIP) サービスタイプ：0

呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ ⑨ ▼

TOS種別：Diffserv

VoIP設定

ジッターバッファ種別：① スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ：② 40 ▼ ミリ秒

TOS種別：③ Diffserv ▼

メディア (RTP) DSCP：⑥ 40

メディア (RTP) 16進表示：A0

呼制御 (SIP) DSCP：⑦ 40

呼制御 (SIP) 16進表示：A0 ⑧ ⑨ ▼

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ⑧ <登録> [VoIP拡張設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑨ <取消> [VoIP拡張設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 電話番号ルーティング設定

相手先の電話番号、外線発信に使用する回線など、ルーティングの対象となる条件を設定します。

番号 ①	プレフィクス ②	宛先電話番号 ③	発信回線指定 ④	⑤
1 ▼			▼	追加

- ① 番号 各宛先電話番号に対して使用する回線を登録する番号を選択します。
最大400件まで登録できます。
- ② プレフィクス 半角数字7桁以内で、プレフィクスを入力します。
入力したプレフィクスを相手先の電話番号に付けて発信すると、プレフィクスを取り除いた電話番号で、指定した回線(④)に発信します。
※ [外線発信特番設定] 項目(P.8-10)でもプレフィクスを登録できます。
- ③ 宛先電話番号 対象となる番号を、半角数字30桁以内で入力します。
入力した電話番号が、外線へ発信するときの番号に含まれている場合(先頭からの部分一致)に、指定した回線(④)に発信します。
- ④ 発信回線指定 [IP回線]画面で登録した回線を使用して発信します。
- ⑤ <追加> [電話番号ルーティング設定] 項目で設定した内容を [電話番号ルーティング設定一覧] 項目に登録するボタンです。

10 PBX拡張設定

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 電話番号ルーティング設定一覧

[電話番号ルーティング設定]項目で登録した設定内容が表示されます。

番号	プレフィクス	宛先電話番号	発信回線指定	①	②
1		090	発信回線指定	編集	削除

③
全削除

- ① <編集> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内容を[電話番号ルーティング設定]項目で編集できます。
- ② <削除> クリックすると、ボタンの左欄に表示された設定内容を削除します。
- ③ <全削除> クリックすると、表示された設定内容をすべて削除します。

10 PBX拡張設定

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 番号計画例外ルール

外線発信時、番号変換ルール/発信規制ルールの対象にしない特番について設定します。

番号計画例外ルール	
184/186自動判定:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
例外番号:	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>	

- ① 184/186自動判定 …………… 「184」や「186」につづけてダイヤルした宛先電話番号に対して、番号変換ルール/発信規制ルールを適用するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：有効)
- ② 例外番号 …………… 番号変換ルール/発信規制ルールを適用しない特番(例外番号)を、最大5件まで登録できます。
外線発信時、ここに登録した特番以降の宛先電話番号が、番号変換ルール/発信規制ルールの対象になります。
- ③ <登録> …………… 「番号計画例外ルール」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ <取消> …………… 「番号計画例外ルール」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

10 PBX拡張設定

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 発信先番号変換ルール設定

番号変換ルールの対象/例外となる発信先番号とグループを設定します。

発信先番号変換ルール設定					
番号 ①	種別 ②	宛先電話番号 ③	削除桁数 ④	付加番号 ⑤	⑥
1	変換		削除しない		追加

- ① 番号 登録された番号変換ルールを比較する順位を指定します。
設定できる範囲は、「1」～「100」です。
- ② 種別 対象となる番号の変換条件を設定します。 (出荷時の設定：変換)
◎**変換**：番号変換ルールに一致した場合、番号を変換します。
◎**例外**：番号変換ルールに一致した場合、番号を変換しません。
- ③ 宛先電話番号 対象となる番号を半角数字15桁以内で入力します。 (出荷時の設定：空白)
ここで指定した番号が、外線へ発信するときの番号に含まれている場合(先頭からの部分一致)に、番号変換ルールが適用されます。
- ④ 削除桁数 [宛先電話番号]欄で入力した番号を変換する場合に、その先頭から削除する番号の桁数を設定します。 (出荷時の設定：削除しない)
設定できる範囲は、「削除しない」、「1」～「15」です。
- ⑤ 付加番号 先頭に付加する番号を半角数字15桁以内で入力します。
(出荷時の設定：空白)
- ⑥ <追加> [発信先番号変換ルール設定]項目で設定した内容を[発信先番号変換ルール一覧]項目に登録するボタンです。

変更ルール設定時の動作例について

下記は、上記画面で設定した変換ルールに対する動作例です。

◎例1

[宛先電話番号] (③) 欄: 98765432

[削除桁数] (④) 欄 : 削除しない

[付加番号] (⑤) 欄 : 080

この場合、「98765432」をダイヤルすると、「08098765432」に変換されて発信します。

◎例2

[宛先電話番号] (③) 欄: 00065432

[削除桁数] (④) 欄 : 3

[付加番号] (⑤) 欄 : 080987

この場合、「00065432」をダイヤルすると、「08098765432」に変換されて発信します。

番号変換ルールの対象となる番号について

内線子機からダイヤルした電話番号のうち、プレフィクスや特番以降の電話番号が番号変換ルールの対象になります。

10 PBX拡張設定

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 発信先番号変換ルール一覧

[発信先番号変換ルール設定]項目で登録した内容が表示されます。

番号	種別	宛先電話番号	削除桁数	付加番号	1	2
1	変換	080	削除しない	1234	編集	削除
2	変換	090	削除しない	1234	編集	削除
3	例外	0800			編集	削除
4	変換	5678	4	1234	編集	削除

3
全削除

- ① <編集> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内容を、[発信先番号変換ルール設定]項目で編集できます。
- ② <削除> ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
- ③ <全削除> 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。

設定例について

上記画面の登録例では、発信時、下記のルールにしたがって、発信者番号を変換して発信します。

- ◎「080」ではじまる番号に対して「1234」を付加し、「0800」ではじまる番号だけをそのままにするルール
「08012345678」をダイヤルしたときは、「123408012345678」に変換されて発信されます。
「08001234567」をダイヤルしたときは、番号3(上記画面)の行に設定された「例外」に一致するため、変換されずに「08001234567」をそのまま発信します。
- ◎「090」ではじまる番号に対して「1234」を付加するルール
「09012345678」をダイヤルしたときは、「123409012345678」に変換されて発信されます。
- ◎「5678」ではじまる番号に対して「5678」の4桁を削除して、「1234」を付加するルール
「5678123456」をダイヤルしたときは、「1234123456」に変換されて発信されます。
- ◎「0667935301」をダイヤルしたときは、番号1～番号4(上記画面)のどの行にも一致しないため、変換されずに「0667935301」をそのまま発信します。

番号表示変換ルール適用時について

- ◎内線子機から外線へ発信するときだけ、番号変換ルールが適用されます。
ルールの適用については、登録した回線(電話番号)ごとに「外線サービスグループ」画面で設定できます。
 - ◎変換種別は、例外設定が優先されます。
 - ◎番号変換ルールを複数設定しているときは、番号の小さい順に比較を開始します。
条件に一致した時点で、それ以降の識別番号のルールは比較しません。
- ※削除により番号を付加する前の有効桁数が0以下になる場合、番号変換後の桁数が32桁以上になる場合は番号変換ルールが適用されません。

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 発信規制ルール設定

発信規制ルールのグループと対象/例外となる宛先電話番号を設定します。

発信規制ルール設定

発信規制ルール番号: ① 共通 ▼

発信規制リスト: ② 宛先電話番号

宛先電話番号	宛先電話番号	宛先電話番号	宛先電話番号

発信許可リスト: ③ 宛先電話番号

宛先電話番号	宛先電話番号	宛先電話番号	宛先電話番号

- ① 発信規制ルール番号 …………… 対象となる発信規制ルールのグループを選択します。(出荷時の設定: 共通)
選択できる範囲は、「共通」、または「1」～「16」です。
発信規制ルールの適用については、内線子機の設定グループごとに「電話機設定」画面で設定できます。
※「共通」に設定した内容は、すべてのグループ(1～16)に適用されます。
〈追加〉
[発信規制ルール設定]項目で設定した内容を、[発信規制ルール一覧]項目に登録するボタンです。
- ② 発信規制リスト …………… 発信規制ルールに一致した場合、外線への発信を規制する番号を、半角数字15桁以内で入力します。(出荷時の設定: 空白)
ここで指定した番号が、外線へ発信するときの番号に含まれている場合(先頭からの部分一致)に、発信規制ルールが適用されます。
[発信規制ルール番号]欄で選択したルール番号ごとに、最大20件まで登録できます。
- ③ 発信許可リスト …………… 発信規制ルールに一致した場合、外線への発信を許可する番号を、半角数字15桁以内で入力します。(出荷時の設定: 空白)
ここで指定した番号が、外線へ発信するときの番号に含まれている場合(先頭からの部分一致)に、発信規制ルールが適用されます。
[発信規制ルール番号]欄で選択したルール番号ごとに、最大20件まで登録できます。

10 PBX拡張設定

「番号計画」画面

PBX拡張設定 > 番号計画

■ 発信規制ルール一覧

[発信規制ルール設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

発信規制ルール一覧				
発信規制ルール番号	宛先電話番号			
	規制リスト	許可リスト	1	2
共通	0	01	編集	削除
1	0990		編集	削除
2	0880		編集	削除

全削除

- ① <編集> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内容を、[発信規制ルール設定]項目で編集できます。
- ② <削除> ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
- ③ <全削除> 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。

発信規制ルールの順番について

「電話機」画面や「外線サービスグループ」画面で設定した発信規制は、内線子機(設定グループ)、選択した回線(電話番号)の順に適用され、外線発信を規制します。

※海外への発信を許可しない、または特定の拠点への発信だけを許可するなど、外線発信を規制できます。

発信規制ルールの対象となる番号について

◎各電話機の設定画面(設定グループ)にある[機種共通設定]項目で発信規制ルールを設定した場合

内線子機からダイヤルした電話番号のうち、プレフィクスや特番以降の宛先電話番号が発信規制ルールの対象になります。

◎「外線サービスグループ」画面で発信規制グループを設定した場合

選択した回線(電話番号)から発信するときの電話番号*が発信規制ルールの対象になります。

★内線子機からダイヤルした電話番号は、「番号計画」画面の番号変換ルールにしたがって、変更されます。

「外線サービスグループ」画面

PBX拡張設定 > 外線サービスグループ

■ 外線サービスグループ設定

本製品に登録した回線(電話番号)について、グループを設定します。

※画面は、設定例です。

外線サービスグループ設定				
外線電話番号	回線	外線サービスグループ ①	発信規制 ②	番号変換 ③
05012345678	IP回線	外線サービスグループ1	無効	無効

④ 登録 ⑤ 取消

- ① **外線サービスグループ** …………… 設定できるグループは、「外線サービスグループ1」～「外線サービスグループ30」までです。
(出荷時の設定：外線サービスグループ1)
「有効」に設定すると、「番号計画」画面で設定した番号変換ルールにしたがって変換された番号で外線へ発信します。
- ② **発信規制** …………… 登録した回線(電話番号)ごとに、外線への発信規制を設定します。
(出荷時の設定：無効)
- 無効 ……………：発信を規制しません。
 - 発信規制ルール1～16** ……………：「番号計画」画面で設定した発信規制ルールにしたがって、特定の番号への発信を規制します。
※発信規制ルール「共通」の内容も適用されます。
 - 外線発信規制** ……………：外線への発信はできません。
※内線(Peer to Peerを含む)への発信は規制されません。
- ③ **番号変換** …………… 登録した回線(電話番号)ごとに、外線発信時の番号変換ルールを設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、「番号計画」画面で設定した番号変換ルールにしたがって変換された番号で外線へ発信します。
- ④ **〈登録〉** …………… [外線サービスグループ設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ **〈取消〉** …………… [外線サービスグループ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「昼夜切替」画面

PBX拡張設定 > 昼夜切替

■ 昼夜切替曜日設定

設定した曜日と時間に仕掛けて、すべての外線サービスグループの昼夜(昼間から夜間、または夜間から昼間)切り替えを一括して、自動で切り替えるための設定です。

※最大10件まで設定できます。

※ユーザー用の「昼夜切替設定」画面では、外線サービスグループごとに昼夜切り替えできます。(「ユーザー設定画面マニュアル」参照)

※画面は、設定例です。

昼夜切替		切替時刻	有効曜日						
			日	月	火	水	木	金	土
夜間に切替	▼	18 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
昼間に切替	▼	08 : 00	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
無効	▼	00 : 00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

切替時刻・有効曜日……………

[昼夜切替]欄で、「昼間に切替」、または「夜間に切替」を選択し、切り替え開始時間を24時間制で入力します。

指定する曜日のチェックボックスをクリックして、チェックマークを入れます。

設定後は、[昼夜切替曜日設定]項目の<登録>をクリックします。

※本製品の自動時計設定機能(P.11-4)と併せてご使用になることをおすすめします。

※[昼夜切替日付設定]項目(P.10-20)の設定と重複する場合は、[昼夜切替日付設定]項目の設定が優先されます。

※昼間から夜間に着信動作が切り替わったあとに、本製品が再起動されたときは、次回設定した曜日と時間になるまで、昼間の着信となります。

「営業時間外設定機能」が有効のときは

ユーザー用の「営業時間設定」画面で登録した内容が、自動的にこの画面に反映されます。

この画面では、設定を変更できません。

10 PBX拡張設定

「昼夜切替」画面

PBX拡張設定 > 昼夜切替

■ 昼夜切替日付設定

設定した日時と時間にしたがって、すべての外線サービスグループの昼夜(昼間から夜間、または夜間から昼間)切り替えを一括して、自動で切り替えるための設定です。

※最大30件まで設定できます。

※「営業時間外設定機能」が有効のときは、この画面は設定できません。

※画面は、設定例です。

昼夜切替	切替日時
夜間に切替	7 月 1 日 18 : 00
昼間に切替	7 月 2 日 08 : 00
無効	月 日 00 : 00
無効	月 日 00 : 00
無効	月 日 00 : 00
無効	月 日 00 : 00
無効	月 日 00 : 00

切替日時.....

[昼夜切替]欄で、「昼間に切替」、または「夜間に切替」を選択し、切り替え開始の日時を入力します。

開始時間を24時間制で入力します。

設定後は、[昼夜切替日付設定]項目の<登録>をクリックします。

※本製品の自動時計設定機能と併せてご使用になることをおすすめします。

※[昼夜切替曜日設定]項目(P.10-19)の設定と重複する場合は、[昼夜切替日付設定]項目の設定が優先されます。

※昼間から夜間に着信動作が切り替わったあとに、本製品が再起動されたときは、次回設定した日時と時間になるまで、昼間の着信となります。

10 PBX拡張設定

「夜間転送先」画面

PBX拡張設定 > 夜間転送先

■ 夜間転送先

昼夜切り替え動作において、夜間に切り替わったときの転送先を、回線(電話番号)ごとに設定します。

※「営業時間外設定機能」が有効のときは、この画面は設定できません。

また、ユーザー用の「営業時間外の動作設定」で設定した内容が自動で反映されます。

夜間転送先設定			
外線サービスグループ1			
外線電話番号	回線	夜間転送先 ①	着信内線番号 ②
0000000000000000	IP回線	転送しない ▼	なし ▼
0000000000000000	IP回線	転送しない ▼	なし ▼
0000000000000000	IP回線	転送しない ▼	なし ▼
0000000000000000	IP回線	転送しない ▼	なし ▼
0000000000000000	IP回線	転送しない ▼	なし ▼

③ 登録 ④ 取消

- ① 夜間転送先 昼夜切り替え動作で夜間に切り替わったときの着信動作を設定します。
(出荷時の設定：転送しない)
 - ◎転送しない：夜間に切り替わっても「PBX設定」メニューの「着信」画面で設定した着信内線番号に着信します。
 - ◎外線：ユーザー用の「外線着信転送設定」画面で設定した回線(電話番号)ごとの転送先番号へ転送します。
 - ◎内線：[着信内線番号]欄に設定した内線番号、または内線代表番号の子機に着信します。
 - ◎留守番電話：ユーザー用の「留守電ボックス設定」画面で設定した回線(電話番号)ごとの留守電ボックスで応答します。
※留守電ボックスが設定されていないときは、「転送しない」を選択したときと同じ着信動作になります。

- ② 着信内線番号 夜間に切り替わったときに着信させる内線子機の内線番号(ダイヤルイン)を設定します。
(出荷時の設定：なし)
着信内線番号には、内線番号、または内線代表番号を設定できます。

- ③ <登録> 「夜間転送先」項目で設定した内容を登録するボタンです。

- ④ <取消> 「夜間転送先」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

着信動作の優先順位について

管理者用の「夜間転送先設定」画面やユーザー用の設定画面*で重複した着信動作を設定したときは、下記の優先順位になります。

1. 「夜間転送先設定」画面
2. 「外線着信転送設定」画面*
3. 「留守電ボックス設定」画面*
4. 「内線着信転送設定」画面*

★設定について詳しくは、弊社ホームページに掲載の「ユーザー設定画面マニュアル」をご覧ください。

「通話数制限」画面

PBX拡張設定 > 通話数制限

■ 通話数制限設定(システム全体)

本製品に登録したすべての回線(電話番号)について、通話数の制限を設定します。

通話数制限設定(システム全体)	
外線通話本数制限 : ①	150
優先回線用の通話確保数 : ②	0
同時鳴動数制限 : ③	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

- ① 外線通話本数制限 …………… 本製品に登録した回線で、発着信できる総通話数を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「150」です。 (出荷時の設定：150)
※本製品に登録した回線の総通話数が、[外線通話本数制限]欄で設定した通話数になると、新たに発着信があったとき話中になります。
- ② 優先回線用の通話確保数 ……… 優先したい回線に確保する総通話数を設定します。
設定できる範囲は、「0」～「150」です。 (出荷時の設定：0)
※[外線通話本数制限]欄で設定した以上の通話数を設定できますが、本製品で発着信できる総通話数を超える通話はできません。
※[外線通話本数制限]欄と同じ、またそれ以上の通話数を設定した場合は、通常回線★を使用できません。
※通常回線★での通話総数は、外線通話本数制限から優先回線用の通話確保数を除いた値となります。
★本書では、優先回線の割り当てをしない回線を「通常回線」と表記します。
- ③ 同時鳴動数制限 …………… 外線着信で一斉鳴動する電話機を多数設定し、さらに着信が集中した場合、一時的に着信を制限する機能です。 (出荷時の設定：有効)
※特に問題がある場合を除いては、初期設定でお使いください。

「通話数制限」画面

PBX拡張設定 > 通話数制限

■ 通話数制限設定

本製品に登録した回線(電話番号)について、通話数の制限や優先回線の割り当てを設定します。

通話数制限設定			
外線電話番号 ①	回線 ②	通話数制限 ③	優先回線割り当て ④
03-XXXX-XXXX	IP回線	制限なし	しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	制限なし	しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	制限なし	しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	制限なし	しない
03-XXXX-XXXX	IP回線	制限なし	しない

⑤ 登録 ⑥ 取消

- ① 外線電話番号 「電話回線設定」メニューで登録した回線の電話番号が表示されます。
※この欄では電話番号の変更はできません。
- ② 回線 「電話回線設定」メニューで登録した回線の種別が表示されます。
- ③ 通話数制限 電話番号ごとに、発着信できる通話数を制限します。
設定できる範囲は、「制限なし」、「1」～「150」です。(出荷時の設定: 制限なし)
※本製品に登録したKX-HDV230Nの電話機では、回線の使用状況をフレキシブルボタンの点灯で確認できます。
- ④ 優先回線の割り当て 本製品に登録した電話番号ごとに、優先回線の割り当てを設定します。
(出荷時の設定: しない)
○「する」に設定した回線は優先回線として機能します。
優先回線の通話数は[外線通話本数制限](P.10-22)、または[通話数制限] (③)です。
○「しない」に設定した回線は、通常回線★として機能します。
通常回線の通話数は[外線通話本数制限] - [優先回線用の通話確保数] (P.10-22)、または[通話数制限] (③)です。
※優先回線数が外線通話本数以上の場合、通常回線★は使用できません。
★本書では、優先回線の割り当てをしない回線を「通常回線」と表記します。
- ⑤ <登録> 「通話数制限設定」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ <取消> 「通話数制限設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

10 PBX拡張設定

「ゲートウェイ接続」画面

PBX拡張設定 > ゲートウェイ接続

■ ゲートウェイ接続設定

本製品のゲートウェイ接続について設定します。

※特定のシステム環境が必要となりますので、特別な理由がない限り初期設定のままでご使用ください。

ゲートウェイ接続設定	
内線番号	① 31(受付1) ▼
ゲートウェイ接続	② 無効 ▼
内線番号判定	③ 有効 ▼
DisplayName発信者番号を優先	④ しない ▼
ゲートウェイ発信時ドメインを使用	⑤ しない ▼
ゲートウェイ発信先アドレス	⑥ _____
ゲートウェイ発信先ドメイン	⑦ _____
	⑧ 登録 ⑨ 取消

- ① 内線番号 ゲートウェイ接続を使用する内線子機の内線番号を選択します。
※この欄では「PBX設定」メニューで登録した内線番号を変更できません。
- ② ゲートウェイ接続 本製品のゲートウェイ接続について設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、内線子機が本製品にレジストされていなくても通信できる特殊な動作となります。
- ③ 内線番号判定 ゲートウェイ接続時の内線番号判定機能について設定します。
(出荷時の設定：有効)
「無効」に設定すると、内線番号ではなくドメインの一致により、どの端末からの発信か判定します。
この機能により、多台数のゲートウェイ接続端末から内線機能を使用できるようになります。
- ④ DisplayName発信者番号を優先 ゲートウェイ接続を使用した着信時に、内線番号を判定する方法を設定します。
(出荷時の設定：しない)
「する」に設定すると、SIP URIの「DisplayName」エリアと内線番号で判定します。
「ユーザパート」エリアと内線番号で判定するときは、「しない」に設定します。
※この設定に関わらず、「内線番号判定」欄が優先されます。
- ⑤ ゲートウェイ発信時ドメインを使用 ゲートウェイ接続を使用した発信時に、指定されたドメインを使用するか設定します。
(出荷時の設定：しない)
本製品のIPアドレスを使用するときは、「しない」に設定します。

10 PBX拡張設定

「ゲートウェイ接続」画面

PBX拡張設定 > ゲートウェイ接続

■ ゲートウェイ接続設定

ゲートウェイ接続設定	
内線番号	① 31(受付1) ▼
ゲートウェイ接続	② 無効 ▼
内線番号判定	③ 有効 ▼
DisplayName発信者番号を優先	④ しない ▼
ゲートウェイ発信時ドメインを使用	⑤ しない ▼
ゲートウェイ発信先アドレス	⑥ _____
ゲートウェイ発信先ドメイン	⑦ _____
⑧ 登録 ⑨ 取消	

- ⑥ **ゲートウェイ発信先アドレス** … ゲートウェイ接続を使用した発信時に、接続する機器について設定します。指定されたIPアドレスを入力します。
- ⑦ **ゲートウェイ発信先ドメイン** … ゲートウェイ接続を使用した着信時の端末判定に、ドメインを使用する場合に設定します。指定されたドメイン(または該当する機器のIPアドレス)を半角英数字63文字以内で入力します。
- ⑧ **〈登録〉** …………… [ゲートウェイ接続設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑨ **〈取消〉** …………… [ゲートウェイ接続設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

PBX拡張設定 > ゲートウェイ接続

■ ゲートウェイ接続設定一覧

[ゲートウェイ接続設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

ゲートウェイ接続設定一覧					
番号	名前	内線番号	ゲートウェイ接続	ゲートウェイ発信先アドレス	ゲートウェイ発信先ドメイン
1	受付1	31	有効	192.168.1.100	192.168.1.100
2	受付2	32	有効	192.168.1.101	192.168.1.101
3	受付3	33	無効		
4	受付4	34	無効		

※登録した内容を変更するときは、[ゲートウェイ接続設定]項目で該当する内線番号を選択します。

「番号表示変換」画面

PBX拡張設定 > 番号表示変換

■ 発信元回線設定

着信時に、発信元番号(発番号)表示を変換する機能について設定します。

回線	電話番号	番号表示変換 ①
IP回線	03-1234-5678	無効
内線	-	無効

② 登録 ③ 取消

- ① 番号表示変換 着信時に、発信元番号(発番号)を変換して表示するかどうか、登録した回線ごとに設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、「番号表示変換ルール設定」項目で設定したルールにしたがって番号が表示されます。
※「内線」は同じSIPサーバー(本製品)に登録された内線子機からの着信が該当します。
- ② <登録> 「発信元回線設定」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ <取消> 「発信元回線設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「番号表示変換」画面

PBX拡張設定 > 番号表示変換

■ 番号表示変換ルール設定

番号表示変換ルールの対象/例外となる発信元番号(発番号)を設定します。

番号 ①	種別 ②	電話番号 ③	削除桁数 ④	付加番号 ⑤	⑥
1	変換		削除しない		追加

- ① 番号 登録された番号表示変換ルールを比較する順位を指定します。
設定できる範囲は、「1」～「100」です。
- ② 種別 対象となる番号の変換条件を設定します。 (出荷時の設定：変換)
◎**変換**：番号表示変換ルールに一致した場合、表示番号を変換します。
◎**例外**：番号表示変換ルールに一致した場合、表示番号を変換しません。
- ③ 電話番号 対象となる番号を半角数字15桁以内で入力します。 (出荷時の設定：空白)
ここで指定した番号が、着信した番号に含まれている場合(先頭からの部分一致)に、番号表示変換ルールが適用されます。
- ④ 削除桁数 [電話番号]欄で入力した番号を変換する場合に、その先頭から削除する番号の桁数を設定します。 (出荷時の設定：削除しない)
設定できる範囲は、「削除しない」、「1」～「15」です。
- ⑤ 付加番号 先頭に付加する番号を半角数字15桁以内で入力します。
(出荷時の設定：空白)
- ⑥ <追加> [番号表示変換ルール設定]項目で設定した内容を、[番号表示変換ルール一覧]項目に登録するボタンです。

変更ルール設定時の動作例について

下記は、上記画面で設定した変換ルールに対する動作例です。

◎例1

[電話番号] (③)欄:98765432

[削除桁数] (④)欄:削除しない

[付加番号] (⑤)欄:080

この場合、「98765432」から着信すると、「08098765432」に変換されて表示されます。

◎例2

[電話番号] (③)欄:00065432

[削除桁数] (④)欄:3

[付加番号] (⑤)欄:080987

この場合、「00065432」から着信すると、「08098765432」に変換されて表示されます。

10 PBX拡張設定

「番号表示変換」画面

PBX拡張設定 > 番号表示変換

■ 番号表示変換ルール一覧

[番号表示変換ルール設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

番号	種別	電話番号	削除桁数	付加番号	①	②
1	変換	080	削除しない	1234	編集	削除
2	変換	090	削除しない	1234	編集	削除
3	例外	0800			編集	削除
4	変換	5678	4	1234	編集	削除

③ 全削除

- ① <編集> クリックすると、ボタンの左欄に表示された内容を、[番号表示変換ルール設定]項目で編集できます。
- ② <削除> ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。
- ③ <全削除> 登録した内容をすべて削除するとき、クリックします。

設定例について

上記画面の登録例では、着信時、下記のルールにしたがって、発信者番号を変換して表示されます。

◎「080」ではじまる番号に対して「1234」を付加し、「0800」ではじまる番号だけをそのままにするルール

「08012345678」から着信したときは、「123408012345678」に変換されて表示されます。

「08001234567」から着信したときは、番号3(上記画面)の行に設定された「例外」に一致するため、変換されずに「08001234567」がそのまま表示されます。

◎「090」ではじまる番号に対して「1234」を付加するルール

「09012345678」から着信したときは、「123409012345678」に変換されて表示されます。

◎「5678」ではじまる番号に対して「5678」の4桁を削除して、「1234」を付加するルール

「5678123456」から着信したときは、「1234123456」に変換されて表示されます。

◎「0667935301」から着信したときは、番号1～番号4(上記画面)のどの行にも一致しないため、変換されずに「0667935301」がそのまま表示されます。

番号表示変換ルール適用時について

◎変換種別は、例外設定が優先されます。

◎番号表示変換ルールを複数設定しているときは、番号の小さい順に比較を開始します。

条件に一致した時点で、それ以降の識別番号のルールは比較しません。

※削除により番号を付加する前の有効桁数が0以下になる場合、番号表示変換後の桁数が32桁以上になる場合は番号表示変換ルールが適用されません。

10 PBX拡張設定

「DIDボックス」画面

PBX拡張設定 > DIDボックス

■ 使用するボックス

使用するボックス				
05012345678(IP) ▼	05012345679(IP) ▼	05012345677(IP) ▼	05012345676(IP) ▼	05012345675(IP) ▼
				登録 取消

- 使用するボックス…………… 外線で使用するDIDボックスを選択します。（出荷時の設定：使用しない）
設定できる範囲は、「ボックス1」～「ボックス30」です。
※「電話回線設定」メニューの「IP回線」画面で登録したIP電話番号がすべて表示されます。
※DIDボックスを指定すると、「PBX設定」メニューの「着信」画面で設定した着信内線番号が、指定したDIDボックスに変更されます。

10 PBX拡張設定

「DIDボックス」画面

PBX拡張設定 > DIDボックス

■ DIDボックス設定

各DIDボックスの動作について設定します。

DIDボックス設定

番号: ①

応答時間: ② 秒

応答音声: ③

DIDタイムアウト

動作: ④ 通話切断 デフォルト呼出

デフォルト呼出先電話番号: ⑤

時間: ⑥ ⑦ ⑧ 秒

※上図は、[動作]欄を「デフォルト呼出」に設定したときに表示される画面です。

- ① 番号 設定するDIDボックスを選択します。 (出荷時の設定: ボックス1)
設定できる範囲は、「ボックス1」～「ボックス30」です。
- ② 応答時間 外線に着信したとき、[応答音声] (③)を開始するまでの時間(秒)を設定します。
設定できる範囲は、「0」～「10」秒です。 (出荷時の設定: 4)
- ③ 応答音声 本製品のDID(Direct Inward Dialing)機能を使用するときに、IP電話機で流れる応答音声を、「内蔵音声」、「オリジナル音声1」～「オリジナル音声30」から選択します。
(出荷時の設定: 内蔵音声)
※オリジナル音声については、取扱説明書[導入編]をご覧ください。
- ④ 動作 本製品のDID(Direct Inward Dialing)機能を使用するときに、DTMF信号を受信しないまま、一定時間経過したときのタイムアウト動作を設定します。
(出荷時の設定: 通話切断)
※DTMF信号を1つでも受信した場合は、タイムアウトになりません。
◎通話切断 : 端末側無線機を呼び出しせずに通話を切断します。
◎デフォルト呼出 : デフォルト呼出先電話番号で指定した電話番号に発信します。
- ⑤ デフォルト呼出先電話番号 本製品のDID(Direct Inward Dialing)機能を使用するときに、DTMF信号を受信しないまま、一定時間経過したときの発信先の電話番号を設定します。
- ⑥ 時間 本製品のDID(Direct Inward Dialing)機能を使用するときに、DTMF接続から、通話切断、またはデフォルト呼出するまでの時間を設定します。
設定できる範囲は、「0」、または「1～120」(秒)です。 (出荷時の設定: 10)
※「0」の場合は、タイムアウトになりません。
- ⑦ <登録> [DIDボックス設定]で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑧ <取消> [DIDボックス設定]の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

10 PBX拡張設定

「DIDボックス」画面

PBX拡張設定 > DIDボックス

■ DIDボックス設定一覧

[DIDボックス設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

DIDボックス設定一覧					
番号	応答時間	応答音声	DIDタイムアウト		
			動作	デフォルト呼出先電話番号	時間
ボックス1	4	内蔵音声	デフォルト呼出	31	10
ボックス2	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス3	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス4	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス5	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス6	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス7	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス8	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス9	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス10	4	内蔵音声	通話切断	-	10
ボックス11	4	内蔵音声	通話切断	-	10

DID操作について

◎応答音声を開始してから、[時間]欄で設定した時間内に何も操作しないと、[動作]欄で設定した動作に移行します。

※1つでもボタンを押すとタイムアウト処理はされません。

◎DID操作後、[#]を押すと桁間タイマー(5秒)を待たずに即時発信できます。

◎DID番号が存在しない不完全番号の場合は、話中音後切断します。

この章では、
「管理」メニューの設定について説明します。

「管理者」画面	11-2
■ 管理者パスワードの変更	11-2
■ ユーザー画面 管理画面	11-3
「時計」画面	11-4
■ 時刻設定	11-4
■ 自動時計設定	11-5
■ SNTPサーバー設定	11-6
「SYSLOG」画面	11-7
■ SYSLOG設定	11-7
「SNMP」画面	11-8
■ SNMP設定	11-8
■ SNMPv3設定	11-9
「管理ツール」画面	11-10
■ USB設定	11-10
■ HTTP/HTTPS設定	11-13
■ HTTP/HTTPS設定後、設定画面にアクセスできなくなったときは	11-14
■ Telnet/SSH設定	11-15
■ UID確認	11-16
「ネットワークテスト」画面	11-17
■ PINGテスト	11-17
■ 経路テスト	11-18
「再起動」画面	11-19
■ 再起動	11-19
「設定の保存/復元」画面	11-20
■ 設定の保存	11-20
■ 設定の復元	11-20
■ 設定内容一覧	11-21
「初期化」画面	11-22
■ 初期化	11-22
「ファームウェアの更新」画面	11-23
■ ファームウェア情報	11-23
■ オンライン更新	11-24
■ 自動更新	11-25
■ 手動更新	11-26
「内蔵ファームウェアの更新」画面	11-27
■ 内蔵ファームウェア情報	11-27
■ オンライン更新	11-28

「管理者」画面

管理 > 管理者

■ 管理者パスワードの変更

本製品の設定画面にアクセスするためのパスワードを変更します。

管理者パスワードの変更

管理者ID: ① admin

現在のパスワード: ② 

新しいパスワード: ③ 

新しいパスワード(再入力): ④ 

⑤ 登録 ⑥ 取消

- ① 管理者ID 本製品の設定画面へのアクセスを許可する管理者IDが表示されます。
※本製品の設定画面にアクセスすると、ユーザー名として入力を求められますので、本製品の管理者ID(admin)を入力します。
※本製品の[管理者ID]は、変更できません。
- ② 現在のパスワード 新しいパスワードに変更するとき、現在のパスワードを大文字/小文字の区別に注意して入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ③ 新しいパスワード 新しいパスワードを入力します。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(半角31文字以内)で入力します。
※新しいパスワードを登録後は、次のアクセスからパスワードの入力を求める画面が表示されますので、そこに新しいパスワードを入力します。
- ④ 新しいパスワード(再入力) 確認のために、新しいパスワードを再入力します。
- ⑤ <登録> 「管理者パスワードの変更」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ <取消> 「管理者パスワードの変更」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

ご注意

管理者パスワードを忘れた場合、設定画面にアクセスするには、出荷時の状態に戻す必要があります。

※初期化するときには、取扱説明書[導入編]をご覧ください。

「管理者」画面

管理 > 管理者

■ ユーザー画面 管理画面

本製品の「ユーザー設定」画面(ユーザー用)にアクセスするための設定です。

ユーザー画面 管理設定

ユーザーID: ① user

パスワード: ② ****

パスワード(再入力): ③

④ 登録 ⑤ 取消

- ① ユーザーID 本製品の「ユーザー設定」画面へのアクセスを許可するユーザーIDを設定します。
※本製品の「ユーザー設定」画面にアクセスすると、ユーザー名として入力を求められますので、本製品のユーザーID(例：user)を入力します。
- ② パスワード 新しいパスワードを入力します。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(半角31文字以内)で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
※新しいパスワードを登録後は、次のアクセスからパスワードの入力を求める画面が表示されますので、そこに新しいパスワードを入力します。
- ③ パスワード(再入力) 確認のために、新しいパスワードを再入力します。
- ④ <登録> 「ユーザー画面 管理設定」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ <取消> 「ユーザー画面 管理設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「時計」画面

管理 > 時計

■ 時刻設定

本製品の内部時計を手動で設定します。

時刻設定	
本体の現在時刻	① 2023/07/14 01:26
設定する時刻	② 2023 年 07 月 14 日 11 時 57 分 ③ 設定

- ① **本体の現在時刻** 本製品に設定されている時刻が表示されます。
- ② **設定する時刻** 本製品の設定画面にアクセスしたときの時刻が表示されます。
※お使いのWWWブラウザで表示画面を更新すると、パソコンの時計設定を取得して表示します。
- ③ **〈設定〉** [設定する時刻] 欄に表示された時刻を本製品に手動で設定するボタンです。
※時刻を手動で設定するときは、本製品の設定画面に再度アクセスするか、お使いのWWWブラウザで表示画面を更新してから、〈設定〉をクリックしてください。

「時計」画面

管理 > 時計

■ 自動時計設定

本製品の内部時計を自動設定するとき、アクセスするタイムサーバーの設定です。

自動時計設定

自動時計設定: ① 無効 有効
NTPサーバー1: ② 210.173.160.27
NTPサーバー2: ③ 210.173.160.57
NTPステータス: ④ 同期していません (210.173.160.27, 210.173.160.57からの応答がありません)

- ① 自動時計設定 本製品の自動時計設定機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、インターネット上に存在するNTPサーバーに日時の問い合わせをして、内部時計を自動設定します。
- ② NTPサーバー1 アクセスするNTPサーバーのIPアドレスを入力します。
(出荷時の設定: 210.173.160.27)
応答がないときは、[NTPサーバー2]欄で設定したNTPサーバーにアクセスします。
※初期に参照しているNTPサーバーアドレスは、インターネットマルチフィールド株式会社 <https://www.jst.mfeed.ad.jp/> のものです。
- ③ NTPサーバー2 [NTPサーバー1]の次にアクセスさせるNTPサーバーがあるときは、そのIPアドレスを入力します。
(出荷時の設定: 210.173.160.57)
- ④ NTPステータス NTPサーバー、または無線通信モジュールとの同期の状態が表示されます。
同期しているときは、「同期しました」が表示されます。

自動時計設定機能について

自動時計設定機能で「有効」を選択して<登録>を押した直後、NTPサーバーに日時の問い合わせをして、内部時計を自動設定します。

また、自動時計設定機能を「有効」に設定すると、本体起動時にNTPサーバーに日時の問い合わせをします。

それ以降は、設定されたアクセス時間間隔で、内部時計を自動設定します。

ご注意

自動時計設定機能は、NTPサーバーへの問い合わせ先(経路)を設定する必要があります。

経路を設定しないときは、問い合わせできませんので、自動時計設定機能をお使いいただけません。

「ネットワーク設定」メニュー→「IPアドレス」画面→「IPアドレス」項目にある「デフォルトゲートウェイ」欄、または「スタティックルーティング」画面の「スタティックルーティング設定」項目で、ルーティングテーブルを設定してください。

「時計」画面

管理 > 時計

■ SNTPサーバー設定

本製品を弊社製VoIP機器のNTPサーバーとして使用するときの設定です。

Sntpサーバー設定

Sntpサーバー機能: ① 無効 有効
外部NTPサーバーへの経路が確保できない弊社製RoIP機器用です。

② 登録 ③ 取消

- ① **Sntpサーバー機能** 本製品を弊社製RoIP機器用のNTPサーバーとして使用するときの設定です。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、NTPサーバーとして動作する本製品に弊社製RoIP機器が日時の問い合わせをして、内部時計を自動設定します。
※この機能は、外部のNTPサーバーへの問い合わせ先(経路)が設定できない弊社製RoIP機器専用です。
※外部のNTPサーバーへの問い合わせ先(経路)が設定できない弊社製RoIP機器を本製品と併用している場合に、この機能を使用されることをおすすめします。
※この機能を使用するには、あらかじめ「時計」画面で、本製品本体の時計を設定してください。
- ② **〈登録〉** 「時計」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** 「時計」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「SYSLOG」画面

管理 > SYSLOG

■ SYSLOG設定

指定したホストにログ情報などを出力するための設定です。

SYSLOG設定

DEBUG: ① 無効 有効

INFO: ② 無効 有効

NOTICE: ③ 無効 有効

ホストアドレス: ④ _____

⑤ 登録 ⑥ 取消

- ① **DEBUG** 各種デバッグ情報を指定したホスト(④)に出力する設定です。
(出荷時の設定：無効)
- ② **INFO**..... INFOタイプのメッセージを指定したホスト(④)に出力する設定です。
(出荷時の設定：有効)
- ③ **NOTICE** NOTICEタイプのメッセージを指定したホスト(④)に出力する設定です。
(出荷時の設定：有効)
- ④ **ホストアドレス** SYSLOG機能を使用する場合、SYSLOGを受けるホストのアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。
- ⑤ **〈登録〉** [SYSLOG設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ **〈取消〉** [SYSLOG設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「SNMP」画面

管理 > SNMP

■ SNMP設定

IPネットワークにおいて、ネットワーク上の各ホストから本製品の情報を自動的に収集して、ネットワーク管理をする
ときの設定です。

SNMP設定	
SNMP:	① <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
コミュニティID (GET):	② public
場所:	③ _____
連絡先:	④ _____

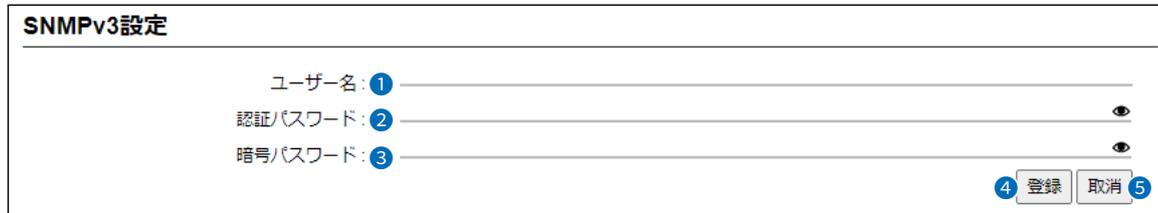
- | | | | |
|-----------------|-------|---|-----------------|
| ① SNMP | | 本製品のSNMP機能を設定します。
「有効」に設定すると、本製品の各種情報をSNMP管理ツール側で管理できま
す。 | (出荷時の設定：有効) |
| ② コミュニティID(GET) | | 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から読み出すことを許可するIDを、
半角31文字以内の英数字で入力します。 | (出荷時の設定：public) |
| ③ 場所 | | MIB-II(RFC1213)に対応するSNMP管理ツール側で表示される場所を、半
角127文字以内の英数字で入力します。 | |
| ④ 連絡先 | | MIB-II(RFC1213)に対応するSNMP管理ツール側で表示される連絡先を、
半角127文字以内の英数字で入力します。 | |

「SNMP」画面

管理 > SNMP

■ SNMPv3設定

認証パスワードと暗号化パスワードを組み合わせ、セキュアな通信をする時の設定です。



SNMPv3設定

ユーザー名: ① _____

認証パスワード: ② _____ 

暗号パスワード: ③ _____ 

④ 登録 ⑤ 取消

- ① ユーザー名 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から読み出すことを許可するユーザー名を、半角英数字31文字以内で入力します。
- ② 認証パスワード 認証パスワードを、半角英数字8文字以上、63文字以内で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- ③ 暗号パスワード 暗号パスワードを、半角英数字8文字以上、63文字以内で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- ④ <登録> [SNMP]画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ <取消> [SNMP]画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ USB設定

市販のUSBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んだときの動作を設定します。

USB設定

USBメモリー: ① 無効 有効

USBアクセス許可: ② ファームウェアの更新
 設定の保存/復元
 オリジナル保留音/メッセージ

USB認証キー: ③

USB認証キーの書き込み: ④

- ① USBメモリー USBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んだときの動作について設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※「無効」に設定されていると、本製品のファームウェアファイルや設定ファイルなどを保存したUSBメモリーを差し込んででもファイルを読み込みません。
- ② USBアクセス許可 本製品に接続されたUSBメモリーから読み込むファイルを選択します。
(出荷時の設定: ファームウェアの更新
 設定の保存/復元
 オリジナル保留音/メッセージ)
※チェックマーク[✓]をはずすと、ファイルを保存したUSBメモリーを差し込んだ状態で、〈USB〉ボタンを短く押しても、該当ファイルを読み込みません。
- ◎ファームウェアの更新(P.11-23～P.11-26)
本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)を保存したUSBメモリーを差し込むと、ファームウェアをバージョンアップします。
- ◎設定の保存/復元(P.11-20)
本製品の設定ファイルをUSBメモリーに保存後、設定が異なる本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元します。
- ◎オリジナル保留音/メッセージ(P.11-20)
オーディオファイル(拡張子: wav)をUSBメモリー(市販品)に保存後、本製品にUSBメモリーを差し込んで、オリジナル保留音/メッセージとして読み込みます。
※読み込めるオーディオファイルは、1件につき最大60秒までです。(最大3件まで)
※オーディオファイルが読み込まれていない状態では、オリジナル保留音を選択しても保留音が再生されないまま保留状態となります。
※オーディオファイルが読み込まれていない状態で、ユーザー用の「着信おまたせ設定」画面でオリジナルおまたせメッセージを選択していると、メッセージが再生されないまま、着信おまたせ機能が動作します。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ USB設定

USB設定

USBメモリー: ① 無効 有効

USBアクセス許可: ② ファームウェアの更新
 設定の保存/復元
 オリジナル保留音/メッセージ

USB認証キー: ③ 

USB認証キーの書き込み: ④

③ USB認証キー

本製品の[USB]ポートに差し込んだUSBメモリーへのファイルの読み込みと書き出しに対するUSB認証キーを設定します。

大文字/小文字の区別に注意して、64文字以内(任意の半角英数字/記号)で入力します。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。

※USB認証キーでアクセス制限できるのは、「ファームウェアの更新」と「設定の保存/復元」です。

※入力後、「管理ツール」画面の〈登録〉をクリックすると、本製品にUSB認証キーが設定されます。

※本製品にUSB認証キーを設定すると、本製品からUSBメモリーに書き込んだUSB認証キーと同じかどうかを認証します。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ USB設定

USB設定

USBメモリー: ① 無効 有効

USBアクセス許可: ② ファームウェアの更新
 設定の保存/復元
 オリジナル保留音/メッセージ

USB認証キー: ③

USB認証キーの書き込み: ④

④ USB認証キーの書き込み ………

本製品に設定されているUSB認証キーを本製品の[USB]ポートに差し込んだUSBメモリーへ書き込むボタンです。
〈書き込み〉をクリックして、表示される画面にしたがって操作してください。

USB認証キーを保存したUSBメモリーを差し込んでいる場合は、「すでに認証キーが書き込まれています。上書きする場合は「進む」ボタンをクリックしてください。」が表示されます。

USB認証キーの書き込み

USBメモリーに認証キーを書き込みます。
USBメモリーを本体に装着し、準備ができたなら「進む」ボタンをクリックしてください。



USB認証キーの書き込み

認証キーの書き込みが完了しました。

※下記の画面が表示されたときは、〈OK〉をクリックして画面を閉じ、「管理ツール」画面の〈登録〉をクリックしてください。

Web ページからのメッセージ

 USB認証キーが変更されています。
変更を登録してから、書き込みを行なってください。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ HTTP/HTTPS設定

HTTPとHTTPSは、WWWブラウザから設定画面にアクセスするためのプロトコルです。

※両方を「無効」に設定すると、WWWブラウザを使用して、本製品の設定画面にアクセスできなくなりますのでご注意ください。

HTTP/HTTPS設定	
HTTP: ①	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
HTTPポート番号: ②	80
HTTPS: ③	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
HTTPSポート番号: ④	443

- ① HTTP 本製品へのHTTPプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：有効)
- ② HTTPポート番号 本製品へのHTTPプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「80」と「1024～65535」です。(出荷時の設定：80)
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTPS、Telnet、SSHを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。
- ③ HTTPS 本製品へのHTTPSプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：無効)
※HTTPSを使用すると、パスワードやデータが暗号化されるため、TelnetやHTTPでのアクセスより安全性が向上します。
- ④ HTTPSポート番号 本製品へのHTTPSプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「443」と「1024～65535」です。
(出荷時の設定：443)
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTP、Telnet、SSHを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。

11 管理

「管理ツール」画面

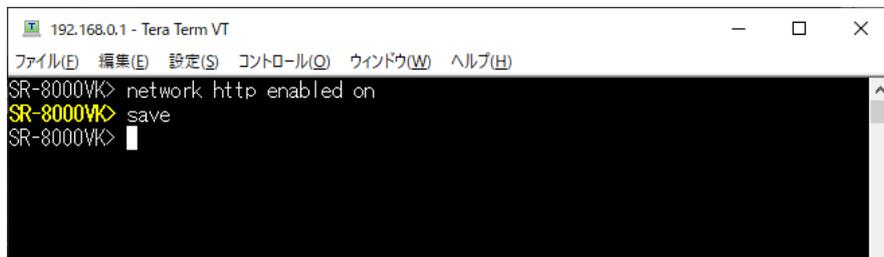
管理 > 管理ツール

■ HTTP/HTTPS設定後、設定画面にアクセスできなくなったときは

TelnetやSSH(取扱説明書[導入編])で本製品(例：192.168.0.1)にアクセスして、SR-8000VK>につづけて、下記の太字部分のように入力後、[Enter]キーを押してください。

※出荷時の設定では、「Telnet/SSH設定」項目の[Telnet]欄が「無効」に設定されているため、Telnetクライアントから本製品にアクセスできません。(P.11-15)

- ① SR-8000VK> **network http enabled on** と入力し[Enter]キーを押します。
- ② SR-8000VK> **save** と入力し[Enter]キーを押す。
- ③ プロンプト応答後、本製品の設定画面へのアクセスを確認します。



```
192.168.0.1 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
SR-8000VK> network http enabled on
SR-8000VK> save
SR-8000VK> 
```

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ Telnet/SSH設定

TelnetクライアントやSSHクライアントからのアクセスについて設定します。

Telnet/SSH設定	
Telnet:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Telnetポート番号:	23
SSH:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
SSH認証方式:	自動 ▼
SSHポート番号:	22
SSH公開鍵:	

- ① Telnet 本製品へのTelnetプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ② Telnetポート番号 本製品へのTelnetプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「23」と「1024～65535」です。(出荷時の設定：23)
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTP、HTTPS、SSHを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。
- ③ SSH 本製品へのSSHプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：有効)
※SSHを使用すると、SSHクライアントプログラムを使用して設定する内容を暗号化して通信できます。
※本製品が対応しているのは、SSHプロトコルのバージョン2だけです。
※SSHを使用するには、別途SSHクライアントをご用意ください。
- ④ SSH認証方式 [SSH]欄で「有効」を設定したとき、本製品へのアクセスに対する認証方式を設定します。
(出荷時の設定：自動)
◎パスワード : パスワードを使用して認証するときに設定します。
◎公開鍵認証 : 公開鍵を使用して認証するときに設定します。
◎自動 : 「パスワード認証」と「公開鍵認証」を自動認識します。
- ⑤ SSHポート番号 本製品へのSSHプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
(出荷時の設定：22)
設定できる範囲は、「22」と「1024～65535」です。
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTP、Telnet、HTTPSを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。
- ⑥ SSH公開鍵 [SSH]欄を「有効」、[SSH認証方式]欄を「自動」/「公開鍵認証」に設定したとき、SSHでアクセスするときに使用する公開鍵を設定します。
設定するSSH公開鍵ファイルをテキストエディターなどで開き、その全文を本欄にペーストしてください。

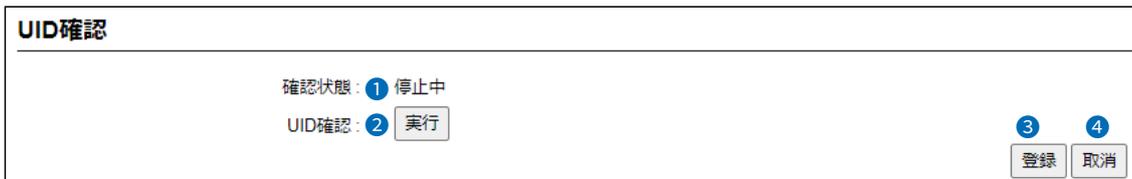
11 管理

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ UID確認

複数設置した場合に、本製品を識別するための機能です。
どの機器の設定画面を操作しているかを、本製品のランプで確認できます。



- ① 確認状態 UID確認の状態が表示されます。
◎**実行中**：UID確認中（[POWER]が \bullet 赤点滅します。）
◎**停止中**：UID確認を実行していない

- ② UID確認 <実行>を押すと、本製品の[POWER]が \bullet 赤点滅します。
※実行中は、ボタンが<停止>に切り替わります。
※UID確認は、2分で自動停止しますが、<停止>をクリックすると、手動で停止できます。

- ③ <登録> 「管理ツール」画面で設定した内容を登録するボタンです。

- ④ <取消> 「管理ツール」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「ネットワークテスト」画面

管理 > ネットワークテスト

■ PINGテスト

本製品からPINGを送出し、ネットワークの疎通確認テストをします。

PINGテスト

ホスト: ① _____

試行回数: ② 4 ▼ 回

パケットサイズ: ③ 64 ▼ バイト

タイムアウト時間: ④ 1000 ▼ ミリ秒

⑤

- ① **ホスト** PINGを送出する対象ホストのIPアドレス、またはドメイン名を半角64文字以内で入力します。
- ② **試行回数** PINGを送出する回数を、「1」、「2」、「4」、「8」から選択します。
(出荷時の設定：4)
- ③ **パケットサイズ** 送信するパケットのデータ部分のサイズを設定します。(出荷時の設定：64)
設定できるサイズは、「32」、「64」、「128」、「256」、「512」、「1024」、「1448」、「1500」、「2048」(バイト)です。
- ④ **タイムアウト時間** PING送後、応答を待つ時間を、「500」、「1000」、「5000」(ミリ秒)から選択します。
(出荷時の設定：1000)
設定した時間以内に応答がないときは、タイムアウトになります。
- ⑤ **〈実行〉** PINGテストを実行するボタンです。
クリックすると、「PING結果」表示に切り替わり、テスト結果が表示されます。

PING結果について

PING結果

```
PING 192.168.100.1 (192.168.100.1) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=1 ttl=59 time=9.82 ms
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=2 ttl=59 time=7.00 ms
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=3 ttl=59 time=5.90 ms
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=4 ttl=59 time=6.62 ms

--- 192.168.100.1 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 received, 0% packet loss, time 3010ms
rtt min/avg/max/mdev = 5.909/7.342/9.824/1.486 ms
```

※上図は、表示例です。

◎〈保存〉をクリックすると、テスト結果をファイル(拡張子:txt)に保存します。

※ファイル名は、「ping_[対象ホストのアドレス].txt」で保存されます。

◎〈実行画面に戻る〉をクリックすると、画面が「PINGテスト」表示に戻ります。

「ネットワークテスト」画面

管理 > ネットワークテスト

■ 経路テスト

本製品から特定のノードに対しての経路テスト(traceroute)をします。

経路テスト

ノード: ① _____

最大ホップ数: ② 16 _____

タイムアウト時間: ③ 3 _____ 秒

DNS名前解決: ④ 無効 有効

⑤

- ① ノード 経路テストをする対象ノード(機器)のIPアドレス、またはドメイン名を半角64文字 以内で入力します。
- ② 最大ホップ数 経由するホップ数(中継設備数)の最大値を、「4」、「8」、「16」、「32」から選択します。
(出荷時の設定: 16)
- ③ タイムアウト時間 テスト開始後、応答を待つ時間を、「1」、「3」、「5」(秒)から選択します。
(出荷時の設定: 3)
設定した時間以内に応答がないときは、タイムアウトになります。
- ④ DNS名前解決 テスト結果に表示するIPアドレスを、ホスト名に変換するかどうか設定します。
(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、中継設備や対象ノードのアドレスに対して、DNS名前解決をします。
- ⑤ <実行> 経路テストを実行するボタンです。
クリックすると、「経路テスト結果」表示に切り替わり、テスト結果が表示されます。

経路テスト結果について

経路テスト結果

```
traceroute to 192.168.100.1 (192.168.100.1), 16 hops max, 38 byte packets
 1 192.168.100.1 1.885 ms 2.101 ms 2.248 ms
 2 192.168.100.2 20.590 ms 32.736 ms 5.745 ms
 3 192.168.54.1 17.774 ms 4.630 ms 4.497 ms
 4 192.168.53.4 5.841 ms 4.537 ms 7.152 ms
 5 192.168.100.3 10.446 ms 8.165 ms 8.240 ms
 6 192.168.100.1 10.473 ms 8.243 ms 8.037 ms
```

※上図は、表示例です。

◎<保存>をクリックすると、テスト結果をファイル(拡張子:txt)に保存します。

※ファイル名は、「tracert_[対象ノードのアドレス].txt」で保存されます。

◎<実行画面に戻る>をクリックすると、画面が「経路テスト」表示に戻ります。

11 管理

「再起動」画面

管理 > 再起動

■ 再起動

〈実行〉をクリックすると、本製品は再起動します。

再起動

再起動:

「設定の保存/復元」画面

管理 > 設定の保存/復元

■ 設定の保存

本製品の設定内容を保存します。

※保存した設定ファイル(拡張子：sav)は、本製品以外の製品では使用できません。

設定の保存
設定の保存： <input type="button" value="保存"/>

設定の保存……………

本製品すべての設定内容をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップできます。

〈保存〉をクリックして、表示された画面にしたがって操作すると、設定ファイル(拡張子：sav)を保存できます。

保存したファイルは、[設定の復元]項目の操作で、本製品に書き込みできます。

管理 > 設定の保存/復元

■ 設定の復元

保存した設定ファイルの本製品に書き込みます。

※書き込みには数分かかる場合があります。

設定の復元
設定ファイルの選択： ① <input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません
復元： ② <input type="button" value="復元"/>

① 設定ファイルの選択 ……………

[設定の保存]項目の操作で保存した設定ファイル(拡張子：sav)の内容を本製品に書き込むとき使用します。

設定ファイルの保存先を指定するため、〈ファイルの選択〉をクリックします。表示された画面から目的の設定ファイルをクリックして、〈開く(O)〉をクリックすると、選択した設定ファイル名が表示されます。

② 復元 ……………

[設定ファイルの選択]欄のテキストボックスに保存先を指定後、〈復元〉をクリックすると、本製品にその設定内容を書き込みます。

書き込む前の設定内容は、消去されますのでご注意ください。

※書き込みを完了すると、本製品は自動的に再起動します。

※市販のソフトウェアなどで編集したものは、誤動作の原因になりますので、本製品に登録しないでください。

設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

11 管理

「設定の保存/復元」画面

管理 > 設定の保存/復元

■ 設定内容一覧

〈表示する〉をクリックすると、初期設定から変更された内容が表示されます。

※画面の内容は表示例です。

※〈隠す〉をクリックすると、非表示に戻ります。

設定内容一覧	<input type="button" value="隠す"/>
<pre>didbox timeout_action 1 call didbox timeout_callednumber 1 "31" ipradio base_list dst_ipaddr 1 "192.168.0.1" ipradio base_list dst_ipaddr 2 "192.168.0.11" ipradio base_list dst_ipaddr 3 "192.168.0.12" ipradio base_list dst_port 1 32000 ipradio base_list dst_port 2 32000 ipradio base_list dst_port 3 32000 ipradio base_list name 1 "本社(マスター)" ipradio base_list name 2 "営業所1(サブ)" ipradio base_list name 3 "営業所2(サブ)" ipradio base_list tn 1 1 ipradio base_list tn 2 1 ipradio base_list tn 3 1 ipradio call_tbl brg_num 20 "g1" ipradio call_tbl call_id 1 201 ipradio call_tbl call_id 2 301 ipradio call_tbl call_id 3 10 ipradio call_tbl call_id 4 11 ipradio call_tbl call_id 5 5 ipradio call_tbl call_id 6 55 ipradio call_tbl call_id 10 101 ipradio call_tbl call_id 15 1 ipradio call_tbl call_id 16 200</pre>	

「初期化」画面

管理 > 初期化

■ 初期化

選択した初期化条件で、本製品の設定内容を初期化します。

※IPアドレスと管理者用のパスワードが不明な場合などの初期化については、取扱説明書[導入編]も併せてご覧ください。

初期化

全設定初期化: ① ① すべての設定を出荷時の設定に戻します。

V/RoIP設定初期化: ② ② [ネットワーク設定]、[ルーター設定]、[管理]以外の設定を出荷時の設定に戻します。 ③ ③

- ① 全設定初期化** …………… 本製品に設定されたすべての内容を出荷時の状態に戻します。
※初期化実行後、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」(出荷時の設定)になります。
初期化によって、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。
- ② V/RoIP設定初期化**…………… 「ネットワーク設定」、「VoIP用ネットワーク設定」、「ルーター設定」、「管理」メニュー以外の設定内容を出荷時の状態に戻します。
- ③ <実行>** …………… 選択された初期化条件にしたがって、初期化します。

「ファームウェアの更新」画面

ファームウェアの更新についてのご注意

- ◎故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。
 - ◎通話中、または留守番電話録音終了後しばらくのあいだ(本製品への書き込みが完了するまで)は、ファームウェアを更新できません。
 - ◎更新中は、KDDI 光ダイレクト、KDDI-IPフォンがご利用いただけません。
そのあいだは、緊急通報(110、118、119)などもかけることができませんのでご注意ください。
 - ◎更新中(数分間)は、すべての接続が切断されます。
インターネットご利用中に更新が実行される場合がありますのでご注意ください。
 - ◎ネットワークやサーバーの状態によっては、更新に失敗することがあります。
- ※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。
故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

管理 > ファームウェアの更新

■ ファームウェア情報

本製品のファームウェアについて、バージョン情報が表示されます。

ファームウェア情報

バージョン: SR-8000VK Ver. ██████████ Copyright ██████████ Icom Inc.

「ファームウェアの更新」画面

管理 > ファームウェアの更新

■ オンライン更新

ファームウェアをオンラインで更新します。

※ファームウェアの確認には、インターネットへの接続環境が必要です。

オンライン更新	
ファームウェアの確認:	<input type="button" value="確認"/>

ファームウェアの確認……………

〈確認〉をクリックすると、アップデート管理サーバーに接続します。
接続に成功すると、最新のファームウェア情報(下図)が表示されます。

ファームウェア情報	
状況	情報取得成功
バージョン	
更新内容	

ファームウェア情報について

- ◎「新しいファームウェアはありません」が表示されるときは、現在のファームウェアが最新ですので、ファームウェアの更新は必要ありません。
- ◎「情報取得成功」と更新内容が表示されたときは、〈ファームウェアを更新〉をクリックすると最新のファームウェアをアップデート管理サーバーからオンラインで更新できます。
- ◎「接続失敗」や「サーバーからエラーが返されました」が表示されるときは、下記を参考に、本製品からアップデート管理サーバーへ接続できる環境であることをご確認ください。

デフォルトゲートウェイとDNSサーバーアドレスを本製品に設定していますか？

→「ネットワーク設定」メニューの「IPアドレス」画面で設定を確認する
本製品からWeb通信することを、ファイアウォールなどで遮断していませんか？

→ネットワーク管理者に確認する

ファームウェアの更新についてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※更新によって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

「ファームウェアの更新」画面

管理 > ファームウェアの更新

■ 自動更新

ファームウェアの自動更新機能を使用するときに設定します。

自動更新	
自動更新: <input checked="" type="radio"/> ① 無効 <input type="radio"/> 有効	<input type="button" value="② 登録"/> <input type="button" value="③ 取消"/>

- ① **自動更新** ファームウェアの自動更新機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
自動更新機能有効時の通知機能について
[MSG]ランプが●緑点灯した場合は、ご都合のよいときにファームウェアの更新をしてください。(取扱説明書[導入編]参照)
※オンラインファーム検知時、ファームウェアは自動的に更新されません。
※更新内容によっては、アップデート管理サーバーから本製品のファームウェアが自動更新されることがあります。
運用中にファームウェアを更新して本製品が再起動しますので、自動更新を望まない場合は「無効」に設定してください。
- ② **〈登録〉** [自動更新]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** [自動更新]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「ファームウェアの更新」画面

管理 > ファームウェアの更新

■ 手動更新

パソコンに保存しているファイルを指定してファームウェアを更新します。

手動更新	
ファームウェアの選択: ①	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません
ファームウェアの更新: ②	<input type="button" value="更新"/>

- ① ファームウェアの選択** …………… <ファイルの選択>をクリックして、表示された画面から、パソコンに保存している本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)を選択して、<開く(O)>をクリックします。
選択した設定ファイル名が表示されます。
- ② ファームウェアの更新** …………… <更新>をクリックすると、[ファームウェアの選択]項目のテキストボックスに表示された保存先のファームウェアファイル(拡張子: dat)を本製品に書き込みます。
更新を開始すると、「ファームウェアを更新しています。」と表示されます。

ファームウェアの更新についてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※更新によって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

「内蔵ファームウェアの更新」画面

ファームウェアの更新についてのご注意

- ◎故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。
- ◎ネットワークやサーバーの状態によっては、更新に失敗することがあります。
- ※更新によって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

管理 > 内蔵ファームウェアの更新

■ 内蔵ファームウェア情報

本製品に内蔵しているファームウェアの情報(機種とバージョン)が表示されます。

内蔵ファームウェア情報

機種	バージョン
IP110H	1.0.0
IP200H	1.0.0
IP200PG	1.0.0
IP210H	1.0.0
VP-2100	1.0.0

「内蔵ファームウェアの更新」画面

管理 > 内蔵ファームウェアの更新

■ オンライン更新

本製品に内蔵しているファームウェアをオンラインで更新します。

※ファームウェアの確認には、インターネットへの接続環境が必要です。

オンライン更新

機種: ①

ファームウェアの確認: ②

- ① **機種** 本製品からファームウェアを更新する機種を選択します。
※2024年10月現在、選択できる機種はIP110H、IP200H、IP200PG、IP210H、VP-2100です。
- ② **ファームウェアの確認** <確認>をクリックすると、アップデート管理サーバーに接続します。
接続に成功すると、最新のファームウェア情報(下図)が表示されます。

内蔵ファームウェア情報

状況	情報取得成功
バージョン	
更新内容	

ファームウェア情報について

- ◎「新しいファームウェアはありません」が表示される場合は、現在のファームウェアが最新ですので、ファームウェアの更新は必要ありません。
- ◎「情報取得成功」と更新内容が表示されたときは、<ファームウェアを更新>をクリックすると最新のファームウェアをアップデート管理サーバーからオンラインで更新できます。
- ◎「接続失敗」や「サーバーからエラーが返されました」が表示される場合は、下記を参考に、本製品からアップデート管理サーバーへ接続できる環境であることをご確認ください。

デフォルトゲートウェイとDNSサーバーアドレスを本製品に設定していますか？

→「ネットワーク設定」メニューの「IPアドレス」画面で設定を確認する
本製品からWeb通信することを、ファイアウォールなどで遮断していませんか？

→ネットワーク管理者に確認する

ファームウェアの更新についてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

